TR8630 series
オンラインマニュアル - 取扱説明書 -

日本語 (Japanese)

目次

オンラインマニュアルのみかた. 10
本文中の記号. 11
タッチ機能対応のデバイスをご使用の場合（Windows）. 12
商標・ライセンスについて. 13
ネットワーク. 31
制限事項について. 34
ネットワーク接続で役立つ情報. 36
工場出荷時初期値（ネットワーク）. 37
同じ名前のプリンターを検出したときは. 39
他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える. 40
プリンターのネットワーク設定情報を印刷する. 41
LAN の接続方法を切り替える／無線 LAN（Wi-Fi）の接続方法を切り替える. 47
無線ダイレクトで接続する. 48
IJ Network Device Setup Utility（macOS）. 52
IJ Network Device Setup Utility について. 53
IJ Network Device Setup Utility を起動する. 54
ネットワークの診断・修復. 55
診断・修復機能がサポートされない機種一覧. 56
セット方法. 57
用紙をセットする. 58
用紙のセットについて. 59
後トレイに普通紙や写真用紙、はがきをセットする. 60
カセットに普通紙をセットする. 66
後トレイに封筒をセットする. 71
原稿をセットする. 76
原稿のセット位置について. 77
原稿台に原稿をセットする. 78
ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする. 79
機能ごとの原稿のセット方法. 81
セットできる原稿について. 84
メモリーカードをセットする. 86
メモリーカードをセットする前に. 87
メモリーカードをセットする. 89
メモリーカードを取り出す. 90

インクタンクを交換する. 91
インクタンクを交換する. 92
インクの状態をタッチスクリーンで確認する. 97
インクについて知っておきたいこと. 98
印刷にかすれやむらがあるときには. 99
お手入れの手順について. 100
ノズルチェックパターンを印刷する. 102
ノズルチェックパターンを確認する. 103
プリントヘッドをクリーニングする. 105
プリントヘッドを強力クリーニングする. 107
プリントヘッド位置を調整する. 109
パソコンからメンテナンス機能を実行する（macOS）. 112
メンテナンスのためにリモート UI を開く. 113
プリントヘッドをクリーニングする. 114
プリントヘッドの位置を調整する. 116
パソコンでインクの状態を確認する. 117
プリンターを清掃する. 118
給紙ローラーをクリーニングする. 119
インクふき取りクリーニングを行う. 121
本製品の基本情報. 124
安全ガイド. 125
安全にお使いいただくために. 126
法規制情報. 129
取り扱い上のご注意. 130
原稿をスキャンするときの注意事項. 131
使用時の注意. 132
プリンターを移送するときの注意. 133
プリンターの修理依頼・貸与・譲渡・破棄をするときの注意. 134
いつもきれいな印刷を楽しむためのポイント. 135
各部の名称と使いかた. 136
各部の名称と役割. 137
前面. 138
背面. 141
内部. 142
操作パネル. 143

電源について. 144
電源が入っているか確認する. 145
電源を入れる／切る. 146
電源プラグ／電源コードについて. 148
電源プラグを抜く. 149
タッチスクリーンの使いかた. 150
プリンターの設定を変更する. 154
パソコンで設定を変更する（macOS）. 155
プリンターの電源を操作する. 156
プリンターの設定を変更する. 157
プリンターの操作パネルで設定を変更する. 158
プリンターの操作パネルで設定を変更する. 159
プリンターの操作パネルで設定できる項目. 161
ファクス設定. 162
印刷設定. 166
LAN 設定. 167
その他の本体設定. 172
言語選択. 174
ファームウェアのアップデート. 175
設定リセット. 176
給紙設定. 177
Web サービス設定. 178
ECO 設定について. 179
夜間利用モードについて. 181
システム情報. 183
仕様. 184
用紙に関する情報. 188
使用できる用紙について. 189
用紙の最大積載枚数. 192
使用できない用紙について. 195
用紙の取り扱いについて. 196
アート紙に印刷する前に. 197
プリント. 199
パソコンから印刷する. 200
アプリケーションソフトで印刷する（macOS AirPrint）. 201

印刷を行う. 202
フチなし全面印刷を行う. 206
はがきに印刷する. 208
プリンターを追加する. 210
プリンターの設定画面の開きかた. 211
印刷の進行状況を確認する. 212
不要になった印刷ジョブを削除する. 213
不要になったプリンターをプリンターリストから削除する. 214
キヤノンのアプリケーションソフトを使って印刷する. 215
スマートフォン／タブレットから印刷する. 216
写真データを印刷する. 217
メモリーカードの写真を印刷する. 218
プリンターの操作パネルを使って写真印刷するときの設定項目. 223
印刷時の用紙設定. 225
コピー. 229
コピーする. 230
コピーするときの設定項目. 233
スキャン. 236
パソコンからスキャンする（macOS）. 237
原稿の種類や目的に合わせてスキャンする（IJ Scan Utility Lite）. 238
IJ Scan Utility Lite でできること. 239
かんたんにスキャンする（おまかせスキャン）. 241
文書や写真をスキャンする. 242
スキャンの役立つ情報. 243
原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）. 244
ファクス. 249
ファクスの準備をする. 250
電話回線を接続する. 251
回線種別を設定する. 255
受信モードを設定する. 257
発信元情報を設定する. 260
送信先を登録する. 265
プリンターの操作パネルを使って送信先を登録する. 266
送信先の電話番号を登録する. 267

グループダイヤルに登録する. 270
登録した情報を変更する. 274
登録した情報を削除する. 275
登録した番号リストを印刷する. 276
短縮ダイヤルツール 2 を使って送信先を登録する（macOS）. 277
短縮ダイヤルツール 2 を起動する. 278
［短縮ダイヤルツール 2］画面の項目. 279
本製品に登録されている電話帳情報をパソコンに保存する. 281
短縮ダイヤルツール 2 を使ってファクス／電話番号を登録する. 282
短縮ダイヤルツール 2 を使ってファクス／電話番号を変更する. 284
短縮ダイヤルツール 2 を使ってファクス／電話番号を削除する. 286
短縮ダイヤルツール 2 を使ってユーザー情報を編集する. 287
短縮ダイヤルツール 2 を使って通信拒否番号を登録／編集する. 288
パソコンに保存した電話帳情報を本製品に登録する. 289
プリンターの操作パネルを使ってファクスを送信する. 290
ファクス／電話番号をダイヤルしてファクスを送信する. 291
リダイヤル機能を使って送信する. 295
ファクスを送信するときの設定項目. 297
パソコンからファクスを送信する（Mac OS）. 298
AirPrint を使用してファクスを送信する. 299
使用上の注意（AirPrint を使用したファクス送信）. 303
ファクスを受信する. 304
ファクスを受信する. 305
用紙の設定を変更する. 308
一時的にプリンターのメモリーに受信する. 310
そのほかの便利なファクス機能. 312
プリンターのメモリーに保存されているファクスについて. 313
プリンターのメモリーに保存されているファクスを印刷する. 314
プリンターのメモリーに保存されているファクスを削除する. 316
プリンターのメモリーに保存されているファクスをメモリーカードに保存する. 318
よくあるご質問. 321
ネットワークについてよくあるご質問. 324
ネットワークに関するトラブル. 327
プリンターが見つからない. 328
セットアップのときにプリンターが見つからない. 329
［プリンターの接続］画面から先に進めない（USB 接続したプリンターが見つからない）. . . 333

無線 LAN 接続（Wi-Fi）で使用中にプリンターが見つからない. 335
ネットワーク接続で使用中のトラブル. 337
プリンターが突然使えなくなった. 338
ネットワークキー（パスワード）を忘れてしまった／わからない. 343
Wi-Fi ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった. 345
ネットワークに関するその他のトラブル. 347
ネットワークに関する設定を調べたい. 348
プリンターの LAN 設定を初期設定状態に戻す. 351
スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンしているときのトラブル. 352
スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンできない. 353
印刷に関するトラブル. 357
印刷が始まらない. 358
インクが出ない. 361
用紙がうまく送られない／「用紙なし」のエラーが発生する. 363
コピー／印刷結果に満足できない. 366
白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじ（線）が入る. 368
線がずれる／ゆがむ. 372
印刷面が汚れる／こすれる. 373
画像の横に縦線パターンが印刷される. 377
スキャンに関するトラブル（macOS）. 378
スキャンができない. 379
スキャナーが動かない. 380
スキャナードライバーがアプリケーションソフトから呼び出せない. 381
ファクスに関するトラブル. 382
ファクスを送信できない. 383
ファクスを送信できない. 384
送信時にエラーが発生しやすい. 386
ファクスを受信できない. 387
ファクスを印刷できない／［メモリー受信しました］と表示される. 388
電話がつながらない. 389
ダイヤルできない. 390
通話中に電話が切れてしまう. 391
受信したファクスの画質が悪い. 392
本体に関するトラブル. 393
電源が入らない. 394

電源が自動的に切れてしまう. 395
USB 接続がうまくいかない. 397
USB 接続で通信ができない. 398
日本語以外の言語が表示されている. 399
インストール／ダウンロードに関するトラブル. 400
MP ドライバーがインストールできない（Windows）. 401
ネットワーク環境で MP ドライバーをアップデートする（Windows）. 402
エラー表示／メッセージについて. 403
トラブルが発生したときは. 404
メッセージ（サポート番号）が表示されている. 406
エラーのサポート番号一覧. 410
用紙がつまったときの対処方法. 412
1300. 413
1303. 415
1304. 417
1313. 419
プリンターの内部で用紙がつまった. 420
つまった用紙を背面から取り除く. 423
1000. 427
1003. 429
1200. 431
1401. 432
1600. 433
1660. 434
1688. 435
1689. 436
1700. 437
輸送用テープなどが残っています（1890）. 438
2110. 439
2113. 442
2114. 445
2900. 448
2901. 449
4103. 450
5011. 451

5012. 452
5100. 453
5200. 454
5B00. 455
6000. 456
C000. 457

オンラインマニュアルのみかた

- 動作環境
- 本文中の記号
- タッチ機能対応のデバイスをご使用の場合（Windows）
- オンラインマニュアルの印刷方法
- 商標・ライセンスについて
- 操作説明で使用している画面について

本文中の記号

⚠警告

取り扱いを誤った場合に、死亡・重傷または財産の損害を負う可能性がある内容が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの警告事項をお守りください。

⚠注意

取り扱いを誤った場合に、傷害または財産の損害を負う可能性がある内容が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの注意事項をお守りください。

重要

製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、守っていただきたい重要事項が書かれています。かならずお読みください。

参考

操作の参考になることや補足説明が書かれています。

基本

ご使用の製品の基本的な操作について説明しています。

参考

- ご使用の製品によって、アイコンは異なる場合があります。

タッチ機能対応のデバイスをご使用の場合（Windows）

タッチ操作の場合、本文中の「右クリック」を OS の設定に合わせて読み替える必要があります。たとえば、ご使用の OS で「長押し」に設定している場合は、「右クリック」を「長押し」に読み替えてください。

商標・ライセンスについて

- Microsoft は、Microsoft Corporation の登録商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OS、macOS、OS X、AirMac、App Store、AirPrint、AirPrint ロゴ、Bonjour、iPad、iPad Air、iPad mini、iPhone、iPod touch および Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- IOS は、米国および他の国々で登録された Cisco の商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。
- Google Cloud Print、Google Chrome、Chrome OS、Chromebook、Android、Google Drive、Google Apps および Google Analytics は、Google Inc.の登録商標または商標です。Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。
- Adobe、Acrobat、Flash、Photoshop、Photoshop Elements、Lightroom および Adobe RGB、Adobe RGB (1998) は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, Inc.の商標であり、キヤノンはライセンスに基づいて使用しています。
- Autodesk、AutoCAD は、米国および／またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。
- USB Type-C™ is a trademark of USB Implementers Forum.

参考

- Windows Vista の正式名称は、Microsoft Windows Vista operating system です。

Copyright (c) 2003-2015 Apple Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Apple Inc. ("Apple") nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY APPLE AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL APPLE OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Apache License

Version 2.0, January 2004

http://www.apache.org/licenses/
TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

   "License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

   "Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

   "Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

   "You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

   "Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

   "Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

   "Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

   "Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

   "Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

   "Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge,

royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
    1. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
    2. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
    3. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
    4. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

       You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.
5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.
   END OF TERMS AND CONDITIONS

---- Part 1: CMU/UCD copyright notice: (BSD like) -----

Copyright 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University

Derivative Work - 1996, 1998-2000

Copyright 1996, 1998-2000 The Regents of the University of California

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and The Regents of the University of California not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific written permission.

CMU AND THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA DISCLAIM ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL CMU OR THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

---- Part 2: Networks Associates Technology, Inc copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2001-2003, Networks Associates Technology, Inc

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of the Networks Associates Technology, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD) -----

Portions of this code are copyright (c) 2001-2003, Cambridge Broadband Ltd.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* The name of Cambridge Broadband Ltd. may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR

OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 4: Sun Microsystems, Inc. copyright notice (BSD) -----

Copyright c 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Use is subject to license terms below.

This distribution may include materials developed by third parties.

Sun, Sun Microsystems, the Sun logo and Solaris are trademarks or registered trademarks of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. and other countries.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of the Sun Microsystems, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 5: Sparta, Inc copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2003-2012, Sparta, Inc

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of Sparta, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 6: Cisco/BUPTNIC copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2004, Cisco, Inc and Information Network Center of Beijing University of Posts and Telecommunications.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of Cisco, Inc, Beijing University of Posts and Telecommunications, nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 7: Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG, 2003 oss@fabasoft.com

Author: Bernhard Penz <bernhard.penz@fabasoft.com>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* The name of Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG or any of its subsidiaries, brand or product names may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 8: Apple Inc. copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2007 Apple Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Apple Inc. ("Apple") nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY APPLE AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL APPLE OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 9: ScienceLogic, LLC copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2009, ScienceLogic, LLC

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of ScienceLogic, LLC nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

LEADTOOLS

Copyright (C) 1991-2009 LEAD Technologies, Inc.

CMap Resources

Copyright 1990-2009 Adobe Systems Incorporated.
All rights reserved.

Copyright 1990-2010 Adobe Systems Incorporated.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of Adobe Systems Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE

DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MIT License

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Copyright 2000 Computing Research Labs, New Mexico State University

Copyright 2001-2015 Francesco Zappa Nardelli

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COMPUTING RESEARCH LAB OR NEW MEXICO STATE UNIVERSITY BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Written by Joel Sherrill <joel@OARcorp.com>.

COPYRIGHT (c) 1989-2000.

On-Line Applications Research Corporation (OAR).

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, THE AUTHOR MAKES NO REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

(1) Red Hat Incorporated

Copyright (c) 1994-2009 Red Hat, Inc. All rights reserved.

This copyrighted material is made available to anyone wishing to use, modify, copy, or redistribute it subject to the terms and conditions of the BSD License. This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY expressed or implied, including the implied warranties of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. A copy of this license is available at http://www.opensource.org/licenses. Any Red Hat trademarks that are incorporated in the source code or documentation are not subject to the BSD License and may only be used or replicated with the express permission of Red Hat, Inc.

(2) University of California, Berkeley

Copyright (c) 1981-2000 The Regents of the University of California.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The FreeType Project LICENSE

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by

David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction

==========

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

o We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. (`as is' distribution)

o You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. (`royalty-free' usage)

o You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. (`credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products.

We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

"""

Portions of this software are copyright © <year> The FreeType

Project (www.freetype.org). All rights reserved.

"""

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms

==========

0. Definitions

Throughout this license, the terms `package', `FreeType Project', and `FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the `FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

`You' refers to the licensee, or person using the project, where `using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a `program' or `executable'.

This program is referred to as `a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive.

If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED `AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

o Redistribution of source code must retain this license file (`FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.

o Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: `FreeType Project', `FreeType Engine', `FreeType library', or `FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it.

Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

o freetype@nongnu.org

Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution.

If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.

o freetype-devel@nongnu.org

Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at

http://www.freetype.org

--- end of FTL.TXT ---

The TWAIN Toolkit is distributed as is. The developer and distributors of the TWAIN Toolkit expressly disclaim all implied, express or statutory warranties including, without limitation, the implied warranties of merchantability, noninfringement of third party rights and fitness for a particular purpose. Neither the developers nor the distributors will be liable for damages, whether direct, indirect, special, incidental, or consequential, as a result of the reproduction, modification, distribution or other use of the TWAIN Toolkit.

JSON for Modern C++

Copyright (c) 2013-2017 Niels Lohmann

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Copyright (c) 2011 - 2015 ARM LIMITED

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of ARM nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2014, Kenneth MacKay

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2006, CRYPTOGAMS by <appro@openssl.org> All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain copyright notices, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of the CRYPTOGAMS nor the names of its copyright holder and contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

ALTERNATIVELY, provided that this notice is retained in full, this product may be distributed under the terms of the GNU General Public License (GPL), in which case the provisions of the GPL apply INSTEAD OF those given above.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ISC License

Copyright (c) 2013-2017

Frank Denis <j at pureftpd dot org>

Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Copyright (c) 2008 The NetBSD Foundation, Inc.

All rights reserved.

This code is derived from software contributed to The NetBSD Foundation
by Lennart Augustsson (lennart@augustsson.net) at
Carlstedt Research & Technology.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2000 Intel Corporation

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

下記は Wi-Fi に対応している製品にのみ該当します。

(c) 2009-2013 by Jeff Mott. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation or other materials provided with the distribution.
* Neither the name CryptoJS nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS," AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ネットワーク

プリンターで利用できるネットワークの接続方法

本製品では、以下のネットワークの接続方法を利用できます。

- **無線 LAN 接続（Wi-Fi）**

  プリンターとパソコン／スマートフォン／タブレットなどの各種機器を、Wi-Fi ルーターを使用して無線 LAN（Wi-Fi）で接続します。

  Wi-Fi ルーターをお持ちの場合は、Wi-Fi ルーターを使用して接続することをお勧めします。

  - Wi-Fi ルーターの種類によって接続方法が異なります。
  - プリンターで、ネットワーク名（SSID）やセキュリティ方式などのネットワーク設定を変更できます。
  - 各種機器と Wi-Fi ルーターの接続が完了していて、各種機器の画面に（Wi-Fi のアイコン）が表示されているときは、Wi-Fi ルーターを使用してプリンターと接続できます。

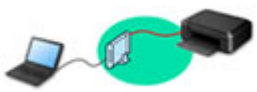
- **無線ダイレクト**

  プリンターとパソコン／スマートフォン／タブレットなどの各種機器を、Wi-Fi ルーターを使用せずに無線 LAN（Wi-Fi）で接続します。

  - 無線ダイレクトで接続する場合、ご使用の環境によってはインターネットに接続できなくなる可能性があります。その間、プリンターの各種ウェブサービスを使用することはできません。
  - Wi-Fi ルーター経由でインターネットに接続している各種機器を、無線ダイレクトのプリンターに接続すると、各種機器と Wi-Fi ルーターの接続は切断されます。このとき、お使いの各種機器によっては、モバイルデータ通信回線に自動的に切り替わることがあります。モバイルデータ通信でインターネットに接続する際の通信料は、お客様のご負担となりますので、ご注意ください。
  - 無線ダイレクトは、複数の機器を同時に 5 台まで接続することができます。すでに 5 台接続された状態で、6 台目を接続しようとすると、エラーが表示されます。エラーが表示された場合は、プリンターを使用しない機器の接続を解除して、再度設定してください。
  - ネットワーク名（SSID）やセキュリティ方式などのネットワーク設定は、プリンターが自動で設定します。

- **有線 LAN 接続**

  プリンター、ハブまたはルーターを LAN ケーブルで接続します。LAN ケーブルを用意してください。

参考

- プリンターとパソコンを USB ケーブルで直接接続する方法もあります（USB 接続）。USB ケーブルを用意してください。USB 接続をネットワーク接続に切り替えるには、「他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える」を参照してください。

ネットワーク接続の設定・セットアップ

プリンターとパソコンやスマートフォン／タブレットの接続設定を行います。

セットアップ手順の詳細はこちらから。

ネットワーク接続の設定を変更する

プリンターとパソコンやスマートフォン／タブレットの接続設定を変更する方法は、以下を参照してください。

- ネットワークの接続方法を変更する場合：
  - LAN の接続方法を切り替える／無線 LAN（Wi-Fi）の接続方法を切り替える
  - 接続モードの変更
- パソコン、スマートフォン／タブレットをプリンターに追加で接続する場合：
  - 他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える
- 一時的に無線ダイレクトを使用する場合：
  - 無線ダイレクトで接続する

IJ Network Device Setup Utility について

IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）は、パソコンとプリンターのネットワーク接続に問題があるときに、プリンターとパソコンの設定を確認・診断し、修復するためのユーティリティです。以下のリンクからダウンロードできます。

- 「IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）」を使ってプリンターの接続状態を確認
- ネットワークの設定、変更（Windows）

  Windows をご使用の場合は、IJ Network Device Setup Utility でネットワークの設定をすることができます。

  - IJ Network Device Setup Utility（Windows）
- ネットワークの診断・修復法（Windows/macOS）

  IJ Network Device Setup Utility でネットワークの診断、修復をすることができます。

  - **Windows をご使用の場合：**
    - IJ Network Device Setup Utility（Windows）
  - **macOS をご使用の場合：**
    - IJ Network Device Setup Utility（macOS）

ネットワーク接続で役立つ情報

プリンターをネットワーク接続で使用するときに役立つ情報を記載しています。以下を参照してください。

- ネットワーク接続で役立つ情報
- ウェブブラウザーからプリンターの設定を変更する
- 不正アクセス防止対策について

トラブルシューティング

ネットワーク接続に関するトラブルシューティングについては、「ネットワークについてよくあるご質問」を参照してください。

ご注意、制限事項

それぞれの制限、注意事項については以下を参照してください。

- ネットワーク接続に関する制限事項：
  - 制限事項について
- 無線 LAN（Wi-Fi）製品をご使用時のセキュリティに関する注意事項：
  - Wi-Fi 対応機器ご使用時におけるセキュリティに関するご注意
- ウェブサービスを使って印刷するときの注意事項：
  - ウェブサービスを使って印刷するときのご注意

制限事項について

すでにパソコンなどの機器がプリンターに接続された状態で、新たに別の機器を接続する場合は、接続していた機器と同じ接続方法で接続してください。
異なる接続方法で接続すると、使用していたパソコンなどの機器の接続が切断されます。

有線 LAN に対応していないプリンターは、有線 LAN で接続をすることができません。

Wi-Fi ルーター経由で接続

- プリンターは、Wi-Fi 接続と有線 LAN 接続の同時使用はできません。
- パソコンなどの機器と Wi-Fi ルーターが接続されていることを確認してください。設定を確認する方法については、Wi-Fi ルーターに付属のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。
すでに Wi-Fi ルーターを使用しないでプリンターと接続している機器は、Wi-Fi ルーター経由で接続し直してください。
- Wi-Fi ルーターの構成やルーター機能の有無、設定方法、セキュリティの設定はご使用の環境によって異なります。詳細については、ご使用の機器のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。
- このプリンターは、IEEE802.11ac、IEEE802.11a、IEEE802.11n（5 GHz）には対応していません。ご使用の機器が IEEE802.11n（2.4 GHz）、IEEE802.11g、または IEEE802.11b のいずれかに対応しているか確認してください。
- ご使用の機器が「IEEE802.11n only」モードに設定されている場合、セキュリティ方式に WEP または TKIP を使用できません。ご使用の機器のセキュリティ方式を WEP、TKIP 以外に変更するか、設定を「IEEE802.11n only」以外に変更してください。
設定変更中は、ご使用の機器と Wi-Fi ルーターとの接続が一時的に切断されます。設定が完了するまでは、本ガイドの画面を操作しないでください。
- オフィスでご使用の場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- セキュリティで保護されていないネットワーク環境に接続する場合は、お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。十分、ご注意ください。

無線ダイレクト

重要

- Wi-Fi ルーター経由でインターネットに接続しているパソコンなどの機器を、無線ダイレクトのプリンターに接続すると、Wi-Fi ルーターとの接続は切断されます。このとき、お使いの機器によっては、モバイルデータ通信回線に自動的に切り替わることがあります。モバイルデータ通信でインターネットに接続すると、ご契約内容によっては課金が発生することがありますのでご注意ください。
  - パソコンなどの機器とプリンターを無線ダイレクトで接続すると、Wi-Fi 設定に接続情報が保存されます。接続を切断したり、別の Wi-Fi ルーターに接続したりしても、自動でプリンターに接続される場合があります。
  - 無線ダイレクトのプリンターに自動で接続しないようにするには、プリンターを使用したあとに接続モードを変更するか、パソコンなどの機器の Wi-Fi 設定で自動的に接続しないように設定してください。
  設定を変更する方法については、パソコンなどの機器に付属のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

- 無線ダイレクトでパソコンなどの機器とプリンターを接続する場合、ご使用の環境によってはインターネットに接続できなくなる可能性があります。その間、プリンターの各種ウェブサービスを使用することはできません。

- 無線ダイレクトは、複数の機器を同時に 5 台まで接続することができます。すでに 5 台接続された状態で、6 台目を接続しようとすると、エラーが表示されます。
  エラーが表示された場合は、プリンターを使用しない機器の接続を解除して、再度設定してください。
- 無線ダイレクトでプリンターに接続しているパソコンなどの機器同士での通信はできません。
- 無線ダイレクト使用中は、プリンターのファームウェアアップデートができません。
- Wi-Fi ルーターを使用しないでプリンターと接続したパソコンなどの機器を、再度セットアップする場合は、接続状態を一度解除してください。Wi-Fi 設定画面でパソコンなどの機器とプリンターの接続を切断しておいてください。

有線 LAN で接続

- プリンターは、Wi-Fi 接続と有線 LAN 接続の同時使用はできません。
- ルーターをご使用の場合は、プリンターとパソコンなどの機器を LAN 側（同一セグメント内）に接続してください。

ネットワーク接続で役立つ情報

- 工場出荷時初期値（ネットワーク）
- 同じ名前のプリンターを検出したときは
- 他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える
- プリンターのネットワーク設定情報を印刷する
- LAN の接続方法を切り替える／無線 LAN（Wi-Fi）の接続方法を切り替える
- 無線ダイレクトで接続する

工場出荷時初期値（ネットワーク）

ネットワーク接続の初期値

項目名	初期値
［有線 LAN の有効/無効］	［無効］
［ネットワーク名(SSID)］	BJNPSETUP
［Wi-Fi セキュリティ］	無効
［IP アドレス］（［IPv4］）	［自動設定］
［IP アドレス］（［IPv6］）	自動設定
［プリンター名設定］ *	XXXXXXXXXXXX
［IPv6 の有効/無効］	［有効］
［WSD の有効/無効］	［有効］
［タイムアウト設定］	［15 分］
［Bonjour の有効/無効］	［有効］
［サービス名］	Canon TR8630 series
［LPR プロトコル設定］	［有効］
［RAW プロトコル］	［有効］
［LLMNR］	［有効］
［PictBridge 通信設定］	［有効］
［有線 LAN 間欠受信設定］	［有効］

（XX は英数字を示す）

* ご使用のプリンターにより異なります。プリンターの操作パネルから設定を確認することができます。

LAN 設定

無線ダイレクトの初期値

項目名	初期値
［ネットワーク名(SSID)］	DIRECT-abXX-TR8630series *1
［パスワード］	YYYYYYYYYY *2
［Wi-Fi セキュリティ］	［WPA2-PSK(AES)］
［接続要求の確認設定］	表示する

*1 "ab"はランダムに生成、"XX"はプリンターの MAC アドレスの下 2 桁。（プリンターの電源を初めて入れたときに設定されます。）

*2 プリンターの電源を初めて入れたときに、自動的に設定されます。

同じ名前のプリンターを検出したときは

プリンターを検出したときに、検出結果で同じ名前のプリンターが複数表示される場合があります。

プリンターの設定と検出結果を照合して、使用するプリンターを選んでください。

- **Windows をご使用の場合：**

  プリンターに設定されている MAC アドレスやプリンターのシリアルナンバーと、検出結果の画面に表示されている MAC アドレスやシリアルナンバーを照合して、使用するプリンターを選んでください。

- **macOS をご使用の場合：**

  検出結果の画面のプリンター名は、プリンター名の末尾に MAC アドレスが付加されて表示される、または Bonjour を使用して設定したプリンター名で表示されます。

  プリンターに設定されている MAC アドレス、Bonjour を使用して設定したプリンター名やプリンターのシリアルナンバーと、検出結果の画面に表示されている MAC アドレス、Bonjour を使用して設定したプリンター名やシリアルナンバーを照合して、使用するプリンターを選んでください。

参考

- 検出結果の画面にシリアルナンバーが表示されない場合があります。

プリンターの MAC アドレスやシリアルナンバーは、ネットワーク設定情報を印刷することで確認することができます。

プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

参考

- プリンターの MAC アドレスやシリアルナンバーは、タッチスクリーンに表示して確認することもできます。

  システム情報

他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える

プリンターとネットワーク接続するパソコンを追加したい場合や、プリンターを USB 接続（USB ケーブル）で使用しているときにネットワーク接続に切り替える場合は、ウェブページのセットアップガイドからセットアップを行います。

プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

プリンターの操作パネルから、現在の LAN 設定を印刷して確認することができます。

重要

- ネットワーク設定情報を印刷した用紙には、お使いのネットワークに関する重要な情報が記載されております。お取り扱いには、十分ご注意ください。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

   ホーム画面が表示されていない場合は、**ホーム**ボタンをタップして表示させてください。

2. A4／レターサイズの普通紙を 3 枚セットする

3. ホーム画面で （**セットアップ**）を選ぶ

4. ［**本体設定**］を選ぶ

5. ［**LAN 設定**］を選ぶ

6. ［**詳細情報印刷**］を選ぶ

7. 表示されたメッセージを確認して、［**はい**］を選ぶ

8. パスワード印刷確認が表示されたら、［**する**］または［**しない**］を選ぶ

   ネットワーク設定情報の印刷が開始されます。

確認できる項目は以下のとおりです。（プリンターの設定によっては設定値が表示されない項目もあります。）

項目番号	項目	項目の内容	現在の状態
1	Product Information	製品情報	—
1-1	Product Name	製品名	XXXXXXXX
1-2	ROM Version	ROM バージョン	XXXXXXXX
1-3	Serial Number	シリアルナンバー	XXXXXXXX
2	Network Diagnostics	ネットワーク診断	—
2-1	Diagnostic Result	診断結果	XXXXXXXX
2-2	Result Codes	診断結果コード	XXXXXXXX
2-3	Result Code Details	診断結果コードの詳細	http://canon.com/ijnwt
3	Wireless LAN	無線 LAN（Wi-Fi）の動作モード	Enable（有効）／Disable（無効）

3-2	Infrastructure	インフラストラクチャー	Enable（有効）／Disable（無効）
3-2-1	Signal Strength	電波強度	0～100（%）
3-2-2	Link Quality	接続強度	0～100（%）
3-2-3	Frequency	周波数	XX（GHz）
3-2-4	MAC Address	MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
3-2-5	Connection	接続状態	Active（接続）／Inactive（未接続）
3-2-6	SSID	SSID	無線 LAN（Wi-Fi）のネットワーク名（SSID）
3-2-7	Channel	無線チャンネル番号	XXX（1～13）
3-2-8	Encryption	暗号方式の種類	none／WEP／TKIP／AES
3-2-9	WEP Key Length	WEP の bit 数	Inactive／128／64
3-2-10	Authentication	認証方式の種類	none（なし）／auto（自動）／open（オープン）／shared／WPA-PSK／WPA2-PSK
3-2-11	TCP/IPv4	TCP/IPv4 の動作モード	Enable（有効）／Disable（無効）
3-2-12	IP Address	IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
3-2-13	Subnet Mask	サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XXX
3-2-14	Default Gateway	デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX
3-2-15	TCP/IPv6	TCP/IPv6 の動作モード	Enable（有効）／Disable（無効）
3-2-16	Link Local Address	リンクローカルアドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
3-2-17	Link Local Prefix Length	リンクローカルプレフィックス長	XXX
3-2-18	Stateless Address1	ステートレスアドレス 1	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
3-2-19	Stateless Prefix Length1	ステートレスプレフィックス長 1	XXX
3-2-20	Stateless Address2	ステートレスアドレス 2	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
3-2-21	Stateless Prefix Length2	ステートレスプレフィックス長 2	XXX
3-2-22	Stateless Address3	ステートレスアドレス 3	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX

3-2-23	Stateless Prefix Length3	ステートレスプレフィックス長 3	XXX
3-2-24	Stateless Address4	ステートレスアドレス 4	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
3-2-25	Stateless Prefix Length4	ステートレスプレフィックス長 4	XXX
3-2-26	Default Gateway1	デフォルトゲートウェイ 1	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
3-2-27	Default Gateway2	デフォルトゲートウェイ 2	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
3-2-28	Default Gateway3	デフォルトゲートウェイ 3	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
3-2-29	Default Gateway4	デフォルトゲートウェイ 4	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
3-2-33	IPsec	IPsec 設定	Active（有効）／Inactive（無効）
3-2-34	Security Protocol	セキュリティ方法	ESP／ESP & AH／AH／空欄（未選択）
3-3	Wireless Direct	無線ダイレクトの動作モード	Enable（有効）／Disable（無効）
3-3-1	MAC Address	MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
3-3-2	Connection	接続状態	Active（接続）／Inactive（未接続）
3-3-3	SSID	SSID	無線ダイレクトのネットワーク名（SSID）
3-3-4	Password	パスワード	無線ダイレクトのパスワード
3-3-5	Channel	無線チャンネル番号	3
3-3-6	Encryption	暗号方式の種類	AES
3-3-7	Authentication	認証方式の種類	WPA2-PSK
3-3-8	TCP/IPv4	TCP/IPv4 の動作モード	Enable（有効）／Disable（無効）
3-3-9	IP Address	IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
3-3-10	Subnet Mask	サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XXX
3-3-11	Default Gateway	デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX
3-3-12	TCP/IPv6	TCP/IPv6 の動作モード	Enable（有効）／Disable（無効）
3-3-13	Link Local Address	リンクローカルアドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX

3-3-14	Link Local Prefix Length	リンクローカルプレフィックス長	XXX
3-3-15	IPsec	IPsec 設定	Active（有効）／Inactive（無効）
3-3-16	Security Protocol	セキュリティ方法	ESP／ESP & AH／AH／空欄（未選択）
4	Wired LAN	有線 LAN の動作モード	Enable（有効）／Disable（無効）
4-1	MAC Address	MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
4-2	Connection	有線 LAN の状態	Active（接続）／Inactive（未接続）
4-3	TCP/IPv4	TCP/IPv4 の動作モード	Enable（有効）／Disable（無効）
4-4	IP Address	IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
4-5	Subnet Mask	サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XXX
4-6	Default Gateway	デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX
4-7	TCP/IPv6	TCP/IPv6 の動作モード	Enable（有効）／Disable（無効）
4-8	Link Local Address	リンクローカルアドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
4-9	Link Local Prefix Length	リンクローカルプレフィックス長	XXX
4-10	Stateless Address1	ステートレスアドレス 1	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
4-11	Stateless Prefix Length1	ステートレスプレフィックス長 1	XXX
4-12	Stateless Address2	ステートレスアドレス 2	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
4-13	Stateless Prefix Length2	ステートレスプレフィックス長 2	XXX
4-14	Stateless Address3	ステートレスアドレス 3	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
4-15	Stateless Prefix Length3	ステートレスプレフィックス長 3	XXX
4-16	Stateless Address4	ステートレスアドレス 4	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
4-17	Stateless Prefix Length4	ステートレスプレフィックス長 4	XXX
4-18	Default Gateway1	デフォルトゲートウェイ 1	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX

			XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
4-19	Default Gateway2	デフォルトゲートウェイ 2	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
4-20	Default Gateway3	デフォルトゲートウェイ 3	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
4-21	Default Gateway4	デフォルトゲートウェイ 4	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
4-25	IPsec	IPsec 設定	Active（有効）／Inactive（無効）
4-26	Security Protocol	セキュリティ方法	ESP／ESP & AH／AH／空欄（未選択）
4-27	Wired LAN DRX	有線 LAN 間欠受信	Enable（有効）／Disable（無効）
5	Other Settings	その他の設定	—
5-1	Printer Name	プリンター名	プリンター名（半角英数字で最大 15 文字）
5-2	Wireless Direct DevName	無線ダイレクトのデバイス名	無線ダイレクトのデバイス名（半角英数字で最大 32 文字）
5-4	WSD Printing	WSD 印刷設定	Enable（有効）／Disable（無効）
5-5	WSD Timeout	タイムアウト時間	1／5／10／15／20 （分）
5-6	LPD Printing	LPD 印刷設定	Enable（有効）／Disable（無効）
5-7	RAW Printing	RAW 印刷設定	Enable（有効）／Disable（無効）
5-9	Bonjour	Bonjour 設定	Enable（有効）／Disable（無効）
5-10	Bonjour Service Name	Bonjour のサービス名	Bonjour のサービス名（半角英数字で最大 52 文字）
5-11	LLMNR	LLMNR 設定	Enable（有効）／Disable（無効）
5-12	SNMP	SNMP 設定	Enable（有効）／Disable（無効）
5-13	PictBridge Commun.	PictBridge 通信設定	Enable（有効）／Disable（無効）
5-14	DNS Server	DNS サーバーの自動取得	Auto／Manual
5-15	Primary Server	プライマリサーバーアドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
5-16	Secondary Server	セカンダリサーバーアドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
5-17	Proxy Server	プロキシサーバー	Enable（使用する）／Disable（使用しない）
5-18	Proxy Address	プロキシアドレス	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
5-19	Proxy Port	ポート指定	1～65535

5-20	Cert. Fingerprt(SHA-1)	証明書の拇印（SHA-1）	xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx
5-21	Cert. Fingerprt(SHA-256)	証明書の拇印（SHA-256）	xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx
6	Bluetooth	Bluetooth の設定	—
6-1	Bluetooth Setting	Bluetooth	Enable（使用する）／Disable（使用しない）
6-3	Bluetooth Device Address	プリンターの Bluetooth デバイスアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
6-5	Bluetooth Device Name	プリンターの Bluetooth デバイス名	XXXXXXXX
7	Web Services	Web サービス	—
7-1	Unsent Usage Logs	未送信ログの数	0～200
7-2	Usage Log Last Sent	最後にログを送信した日時	XXXXXXXX
7-3	Web Service Status	登録ステータス	Not set/Disabled/Registration pending/Registered
7-4	Log Transmission Status	疎通確認結果	Not activated/Processing/Server error/Connection error/Timeout error/Error/Awaiting server response/ Active

（XX は英数字を示す）

LAN の接続方法を切り替える／無線 LAN（Wi-Fi）の接続方法を切り替える

- LAN の接続方法を切り替える
- 無線 LAN（Wi-Fi）の接続方法を切り替える

LAN の接続方法を切り替える

プリンターを LAN 接続で使用しているときに接続方法（有線 LAN 接続または無線 LAN 接続）を切り替えたい場合は、以下のいずれかの方法で行ってください。

- **Windows をご使用の場合：**
  - ウェブページのセットアップガイドからセットアップを再度行う。
  - プリンターの操作パネルで無線 LAN（Windows）または有線 LAN を有効にし、その後 IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）の［**ネットワーク設定**］画面で設定を行う。

    設定の詳細は、「無線 LAN 接続（Wi-Fi）の設定をする／設定を変更する」または「有線 LAN 接続（LAN ケーブル）の設定をする／設定を変更する」を参照してください。
- **macOS をご使用の場合：**
  - ウェブページのセットアップガイドからセットアップを再度行ってください。

無線 LAN（Wi-Fi）の接続方法を切り替える

プリンターを無線 LAN 接続で使用しているときに接続方法（インフラストラクチャー接続または無線ダイレクト）を切り替えたい場合は、以下のいずれかの方法で行ってください。

- **Windows をご使用の場合：**
  - セットアップガイドの「接続モードの変更」を参照してください。
  - IJ Network Device Setup Utility の［**ネットワーク設定**］画面で設定を行う。

    重要

    ■ IJ Network Device Setup Utility で設定を行う場合は、あらかじめプリンターの［**PC/スマホでかんたん接続**］を有効にする必要があります。以下の手順で行います。

    1. プリンターの電源が入っていることを確認する
    2. （**ワイヤレスコネクト**）ボタンを約 3 秒間長押しする

       タッチスクリーンの使いかた
    3. パソコンやスマートフォン／タブレットの案内に従って操作する
    4. 設定完了のメッセージが表示されたら、プリンターの［**OK**］を選ぶ
- **macOS をご使用の場合：**

  セットアップガイドの「接続モードの変更」を参照してください。

無線ダイレクトで接続する

各種機器（パソコンやスマートフォン、タブレットなど）とは、以下の２通りの方法で接続できます。

- Wi-Fi 接続（Wi-Fi ルーターを介して各種機器と接続する）
- 無線で直接接続（Wi-Fi ルーターを介さず各種機種と直接接続する）

ここでは、無線で直接接続して印刷などができる「無線ダイレクト」について説明します。

無線ダイレクトを設定して使用するには、以下の手順で準備してください。

1. プリンターの準備をする

   プリンターの設定を無線ダイレクトに変更する

2. 各種機器をプリンターに接続する

   スマートフォン／タブレット／パソコンをプリンターに接続する

重要

- 無線ダイレクトは、各種機器とプリンターを 5 台まで同時に接続することができます。
- 無線ダイレクトに切り替える前に、制限事項を確認してください。

  制限事項について

プリンターの設定を無線ダイレクトに変更する

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面で （セットアップ）を選び、［**本体設定**］を選ぶ

3. ［**LAN 設定**］を選ぶ

4. ［**無線ダイレクト**］を選ぶ

5. ［**無線ダイレクトの有効/無効**］を選ぶ

6. 表示されたメッセージを確認し、［**する**］を選ぶ

無線ダイレクトが有効になり、プリンターと各種機器を直接無線で接続することができます。

参考

- パスワードは、各種機器と接続するときに必要です。ご使用の機器によっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
- 無線ダイレクト対応の各種機器をプリンターに接続する場合は、プリンターの SSID／デバイス名をご使用の機器で選んでください。
- SSID／デバイス名とパスワードを変更する場合は、以下を参照してください。

  無線ダイレクトの設定を変更する

スマートフォン／タブレット／パソコンをプリンターに接続する

1. スマートフォン／タブレット／パソコンの Wi-Fi 機能を有効にする

   スマートフォン／タブレット／パソコンの「設定」メニューなどにある「Wi-Fi」を有効にします。

   Wi-Fi 機能を有効にする手順については、ご使用のスマートフォン／タブレット／パソコンの取扱説明書を参照してください。

2. ホーム画面で （セットアップ）を選ぶ

3. ［**本体設定**］を選ぶ

4. ［**LAN 設定**］を選ぶ

5. ［**無線ダイレクト**］を選ぶ

6. ［**スマホと接続**］を選ぶ

7. iPhone/iPad で接続する場合は［**iPhone/iPad**］、iPhone/iPad 以外で接続する場合は［**その他**］を選ぶ

   - ［**iPhone/iPad**］

     1. ［**QR コード**］を選ぶ
     2. 表示される QR コードを iPhone/iPad 標準のカメラアプリで読み取る

        iPhone/iPad とプリンターが接続されます。

        参考

        - iPhone/iPad とプリンターが接続できない場合は、プリンターが無線ダイレクトに設定されてない可能性があります。

          「プリンターの設定を無線ダイレクトに変更する」を参照して、プリンターを無線ダイレクトに設定してください。

   - ［**その他**］

     1. ［**次へ**］を選ぶ

        ［**ネットワーク名(SSID)**］と［**パスワード**］が表示されます。

        参考

        - パスワード情報を表示する場合は［**パスワード表示**］を、非表示にする場合は［**パスワード非表示**］を選びます。
        - 表示されるパスワードは、スマートフォン／タブレット／パソコンと接続するときに必要です。

     2. スマートフォン／タブレット／パソコンで、「DIRECT-XXXX-TR8630series」（X は英数字）を選ぶ

参考

- 「DIRECT-XXXX-TR8630series」が表示されない場合は、プリンターが無線ダイレクトに設定されてない可能性があります。

  「プリンターの設定を無線ダイレクトに変更する」を参照して、プリンターを無線ダイレクトに設定してください。

3. ［**パスワード**］をスマートフォン／タブレット／パソコンへ入力する

   スマートフォン／タブレット／パソコンとプリンターが接続されます。

参考

- 「無線ダイレクトの設定を変更する」の［**接続要求の確認設定**］で確認画面を表示させる設定にしている場合、無線ダイレクト対応機器がプリンターに接続するとき、プリンターのタッチスクリーンに接続の許可を求める確認画面が表示されます。

  表示されている機器名がご使用の各種機器名と同じであることを確認して、［**はい**］を選んでください。

ご使用のスマートフォン／タブレットに Canon PRINT Inkjet/SELPHY をインストールすると、スマートフォン／タブレットから印刷などができるようになります。Canon PRINT Inkjet/SELPHY は App Store や Google Play からダウンロードできます。

- iOS はこちら
- Android はこちら

無線ダイレクトの設定を変更する

以下の手順で、無線ダイレクトの設定を変更することができます。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面で （セットアップ）を選び、［**本体設定**］を選ぶ
3. ［**LAN 設定**］を選ぶ
4. ［**無線ダイレクト**］を選ぶ
5. 項目を選ぶ

   必要に応じて下方向にスクロールします。

   - ［**設定情報表示**］

     プリンターを無線ダイレクトで使用するときの各設定値が表示されます。
   - ［**ネットワーク名(SSID)の変更**］

     無線ダイレクトで使用する識別名（SSID）を変更します。

     識別名（SSID）は Wi-Fi Direct 対応の各種機器に表示されるプリンターの名称となります。

     識別名（SSID）を変更する場合は、以下の手順で行います。

     ◦ 手動で設定する場合

       1. 表示されている SSID/デバイス名を選ぶ

2. 表示されるキーボードを使って変更する
3. 変更が終了したら［**OK**］を選ぶ

◦ 自動で設定する場合

1. ［**自動更新**］を選ぶ
2. ［**はい**］を選ぶ

更新された設定を確認できます。

- ［**パスワードの変更**］

無線ダイレクトのパスワードを変更します。

◦ 手動で設定する場合

1. ［**手動で変更**］を選ぶ
2. 表示されているパスワードを選ぶ
3. 新しいパスワードを入力する（10 文字）

表示されるキーボードを使って変更します。

4. 変更が終了したら［**OK**］を選ぶ

◦ 自動で設定する場合

1. ［**自動更新**］を選ぶ
2. ［**はい**］を選ぶ

更新された設定を確認できます。

- ［**接続要求の確認設定**］

Wi-Fi Direct 対応機器がプリンターに接続するときの、確認画面の設定を変更します。

Wi-Fi Direct 対応機器がプリンターに接続しようとしたときに、接続を通知する画面を表示させたい場合［**する**］を選びます。

重要

- 不正なアクセスを防ぐために、確認画面を表示させる設定にしておくことをお勧めします。

参考

- プリンターの無線ダイレクトの設定を変更した場合は、各種機器で接続先の設定を変更してください。

IJ Network Device Setup Utility（macOS）

- IJ Network Device Setup Utility について
- IJ Network Device Setup Utility を起動する
- ネットワークの診断・修復
- 診断・修復機能がサポートされない機種一覧

IJ Network Device Setup Utility について

IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）は、IJ Network Device Setup Utility がインストールされているパソコンとプリンターの接続に問題があるときに、プリンターとパソコンの状態を診断し、修復するためのユーティリティです。

重要

- プリンターをネットワーク接続でお使いになる場合は、Wi-Fi ルーターや LAN ケーブルなど、利用形態に応じて接続環境を準備してください。
- IJ Network Device Setup Utility のインストール時に、ファイアウォールのブロック機能を解除してください。

IJ Network Device Setup Utility を起動する

Dock 内の［**LaunchPad**］を起動し、［**Canon Utilities**］、［IJ Network Device Setup Utility］の順に選びます。

IJ Network Device Setup Utility を起動すると以下の画面が表示されます。

ご使用のパソコンに設定されているパスワードを入力し、［**ヘルパーをインストール**］を選ぶと、ネットワークの診断・修復が始まります。

- ネットワークの診断・修復

ネットワークの診断・修復

ネットワーク上のプリンターから印刷できないなど、トラブルが発生したときにパソコンの設定やパソコンとプリンターの接続状態を診断し、修復します。

重要

- 機種によっては、ネットワークの修復・診断機能を使用できません。

  詳細は以下を参照してください。

  - 診断・修復機能がサポートされない機種一覧

IJ Network Device Setup Utility を起動すると、パソコンの設定を確認します。表示される画面の指示に従って操作してください。

参考

- ネットワークの診断・修復機能では、以下を確認します。
  - パソコンがルーターに接続されているか
  - プリンターがネットワーク上で検出されるか
  - 電波強度、通信レベルが十分か（無線 LAN 接続（Wi-Fi）の場合）
  - プリンターのポートの設定とネットワークの設定が合っているか

診断・修復機能がサポートされない機種一覧

以下の機種は、IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）の「診断・修復機能」を使用することはできません。

- G4000 series
- PRO-500 series
- PRO-1000 series
- MB2100 series
- MB2700 series
- MB5100 series
- MB5400 series
- iB4000 series
- PRO-520
- PRO-540
- PRO-560
- PRO-540S
- PRO-560S
- PRO-2000
- PRO-4000
- PRO-6000
- PRO-4000S
- PRO-6000S
- TS9000 series
- TS8000 series
- TS6000 series
- TS5000 series
- MG3000 series
- E470 series

セット方法

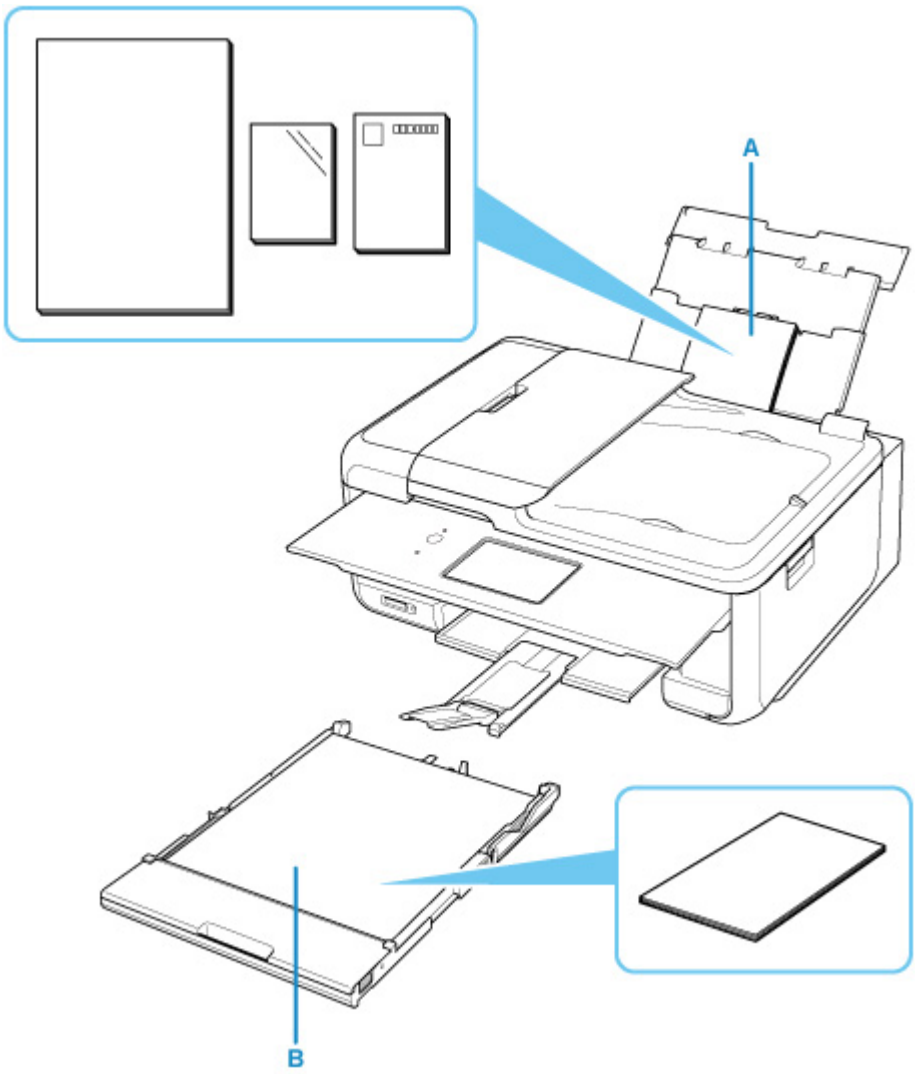
- 用紙をセットする
- 原稿をセットする
- メモリーカードをセットする
- インクタンクを交換する

用紙をセットする

- 用紙のセットについて
- 後トレイに普通紙や写真用紙、はがきをセットする
- カセットに普通紙をセットする
- 後トレイに封筒をセットする

用紙のセットについて

用紙は、後トレイ（A）とカセット（B）の 2 箇所にセットすることができます。



後トレイ

普通紙や写真用紙、はがきなど、使用できるすべての用紙をセットできます。

- 使用できる用紙について

カセット

A4、B5、A5、レターサイズの普通紙をセットできます。

参考

- 印刷する際は、用紙サイズと用紙の種類を正しく設定してください。用紙サイズと用紙の種類を間違えると、給紙箇所が違ったり、正しい印刷品質で印刷されなかったりする場合があります。

  それぞれの給紙箇所への用紙のセット方法については、以下を参照してください。

  - 後トレイに普通紙や写真用紙、はがきをセットする
  - カセットに普通紙をセットする
  - 後トレイに封筒をセットする

後トレイに普通紙や写真用紙、はがきをセットする

普通紙や写真用紙、はがきをセットします。

はがきに印刷するときは、「はがきに印刷するときの注意」の内容を確認してからはがきをセットしてください。

封筒も後トレイにセットします。

■ 後トレイに封筒をセットする

重要

- 普通紙を 2L 判より小さいサイズに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。

参考

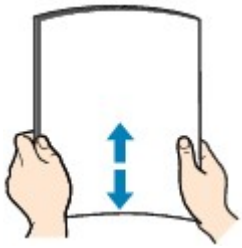
- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。キヤノン純正紙については、「使用できる用紙について」を参照してください。
- 複写機などで使用される一般的なコピー用紙やキヤノン普通紙・ホワイト SW-101、キヤノン普通紙・ビジネス FB-101 が使用できます。用紙の両面に印刷する場合は、キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口 SW-201 がお勧めです。

  本製品で使用できる用紙サイズ、重さについては、「使用できる用紙について」を参照してください。

用紙セットの操作

1. 用紙の準備をする

セットする用紙をそろえます。用紙に反りがあるときは、反りを直してください。

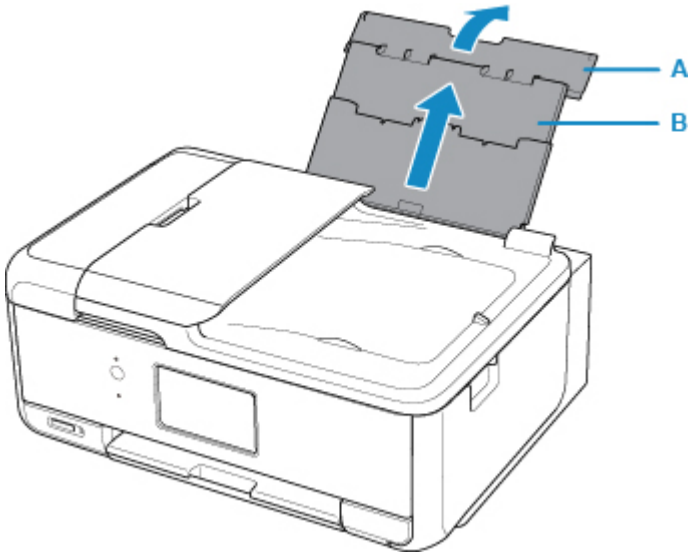


参考

- 用紙の端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙の端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因となることがあります。
- 用紙に反りがあるときは、逆向きに曲げて反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。

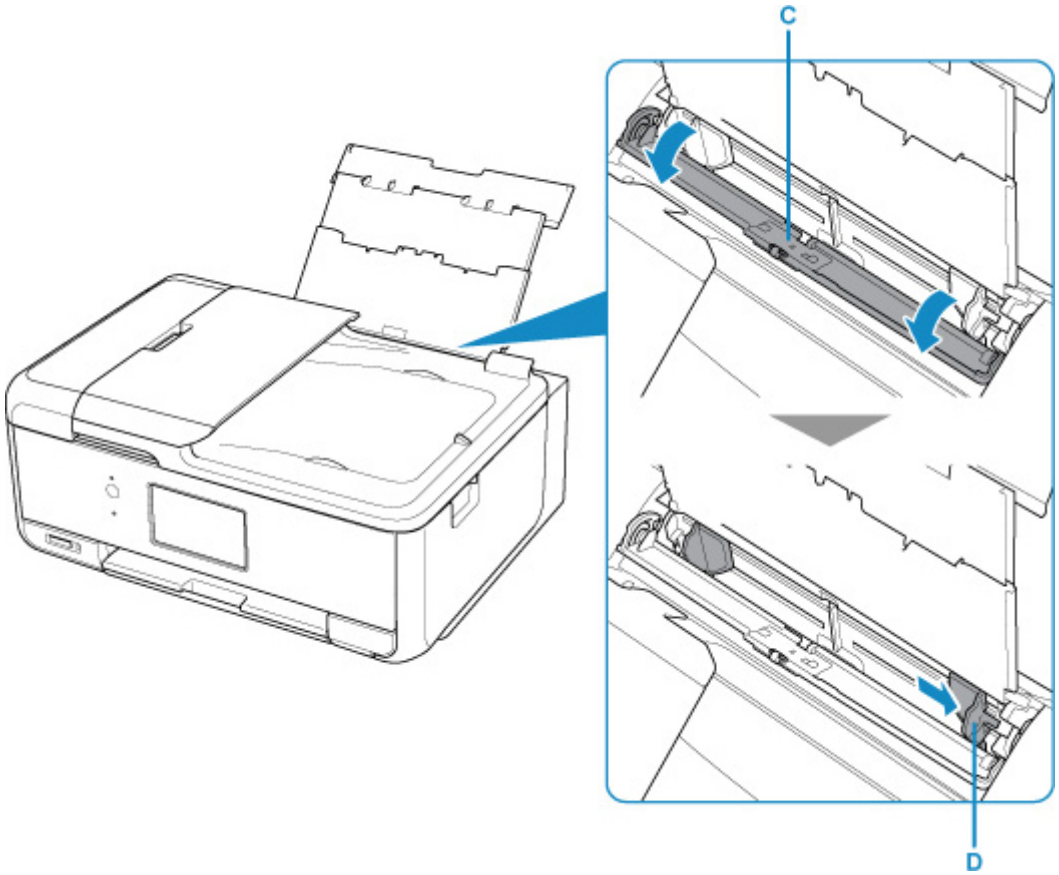
  反りの直しかたについては「印刷面が汚れる／こすれる」の チェック 3 を参照してください。
- キヤノン写真用紙・絹目調 SG-201 をご使用の場合は、用紙が反っていてもそのまま 1 枚ずつセットして使用してください。丸めると用紙の表面にひび割れが発生し、印刷品質が低下する場合があります。

2. 後トレイカバー（A）を開き、用紙サポート（B）をまっすぐ上に引き出して、後方へ倒す

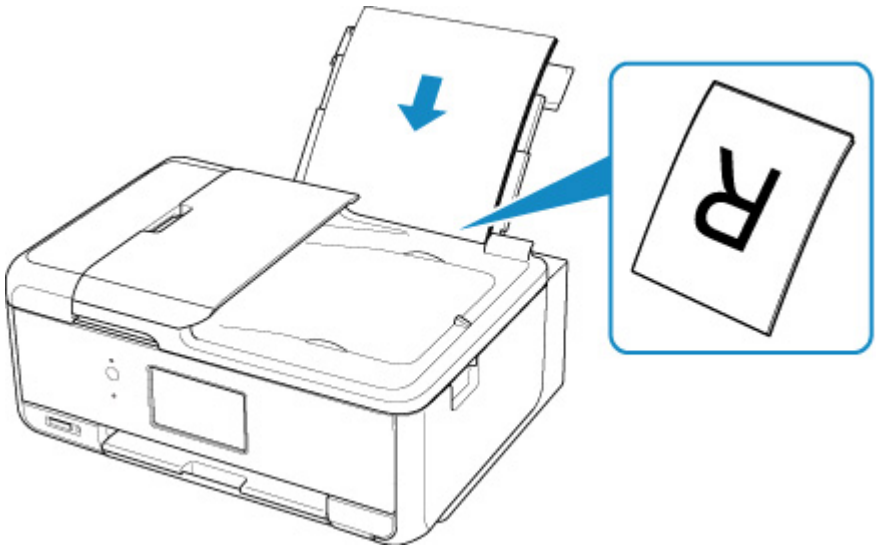


3. 給紙口カバー（C）を開く

4. 右の用紙ガイド（D）を広げる

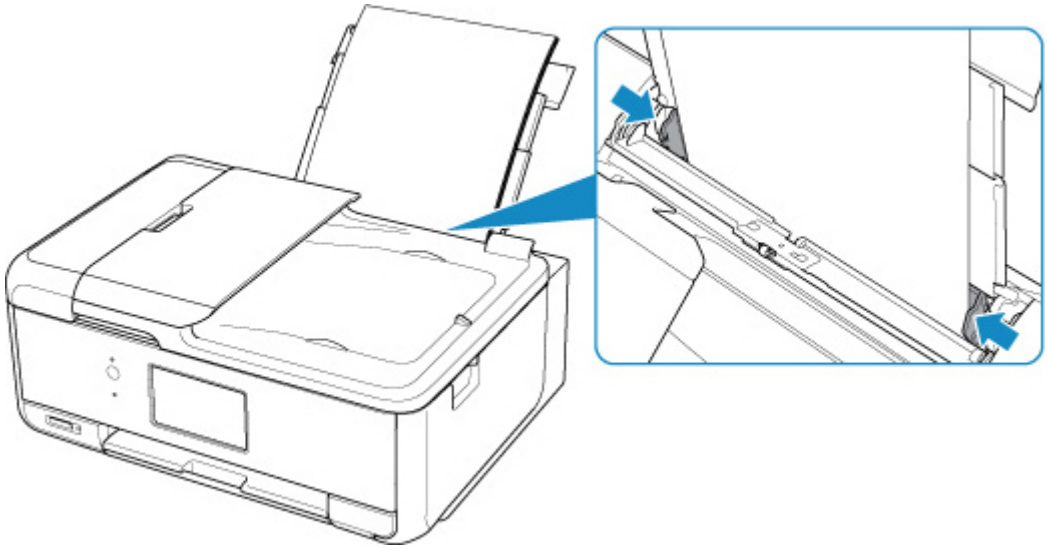


5. **印刷したい面を表に**して、用紙を縦にセットする



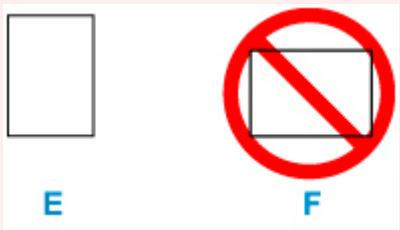
6. 右の用紙ガイドを動かし、用紙の両端に合わせる

用紙ガイドを用紙に強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。



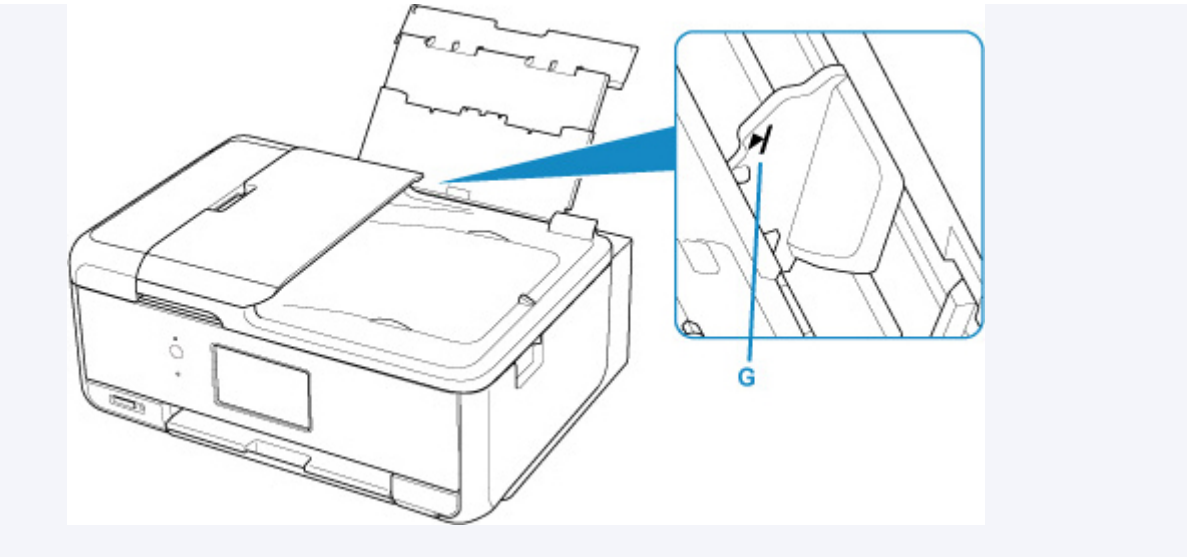
重要

- 用紙（往復はがきを除く）は縦方向（E）にセットしてください。横方向（F）にセットすると紙づまりの原因となります。

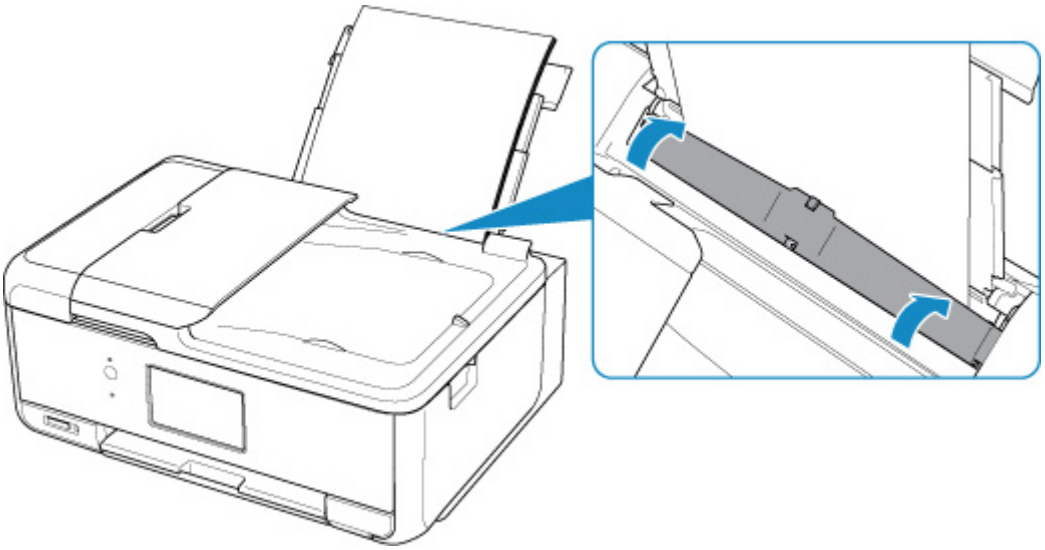


参考

- 用紙は最大用紙量のマーク（G）の線を超えないようにセットしてください。



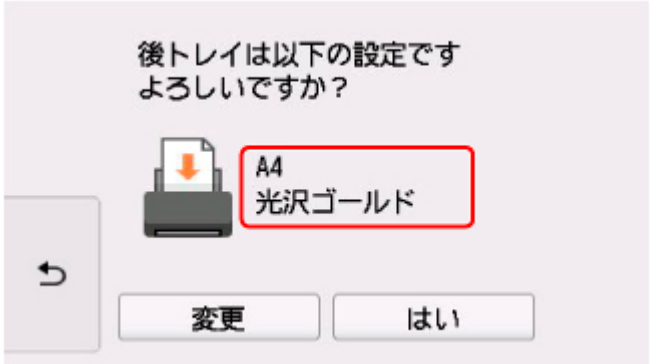
7. 給紙口カバーをゆっくり閉じる



給紙口カバーを閉じると、タッチスクリーンに後トレイの用紙の設定を確認する画面が表示されます。

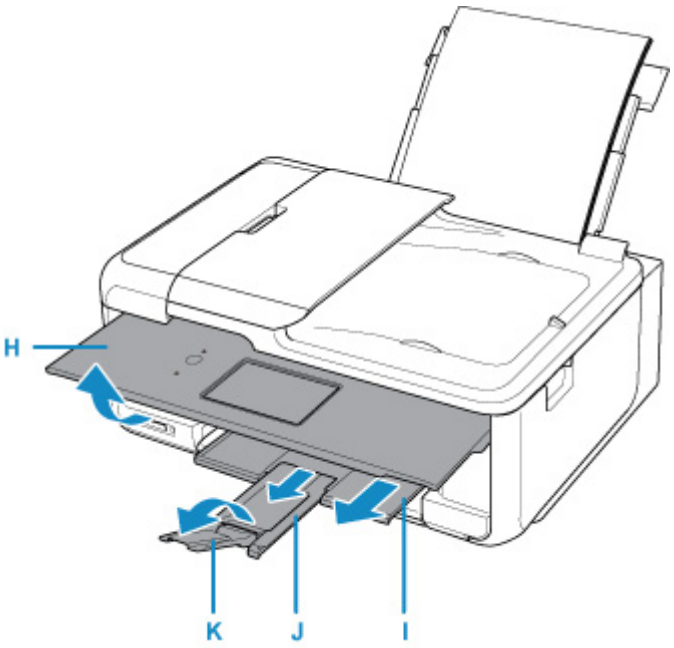
8. 表示された用紙のサイズと種類が、後トレイにセットした用紙と同じであれば［はい］を選ぶ

用紙のサイズや種類が異なるときは、［変更］を選んで、セットした用紙に合わせて設定を変更します。



9. 操作パネル（H）を開き、排紙トレイ（I）と排紙サポート（J）を引き出し、補助トレイ（K）を開く

印刷する前は必ず操作パネルを開いてください。操作パネルが閉まっていると印刷が始まりません。



参考

- 用紙には、写真がきれいに印刷できるよう表面に特殊なコーティングが施されたものや、文書に適したものなどさまざまな種類があります。印刷の設定画面には、それぞれの用紙に最適な画質で印刷できるよう、あらかじめ用紙ごとに異なる設定（インクの使いかた、インクのふき出し方法、ノズルとの間隔など）が用意されています。用紙の設定が正しくないと、カラーの発色がよくないことや、印刷面がこすれることがあります。なお、インクのにじみや色むらが気になる場合は、印刷設定で画質を優先する設定を選んでお試しください。
- 印刷のミスを防ぐため、本製品には後トレイにセットした用紙の設定と印刷時の用紙の設定が一致するかどうかを検知する機能があります。後トレイの用紙の設定に合わせて印刷の設定を行ってください。この機能がオンになっている場合、設定が合っていないと、印刷ミスを防ぐためにエラーメッセージが表示されますので、用紙の設定を確認して正しく設定しなおしてください。

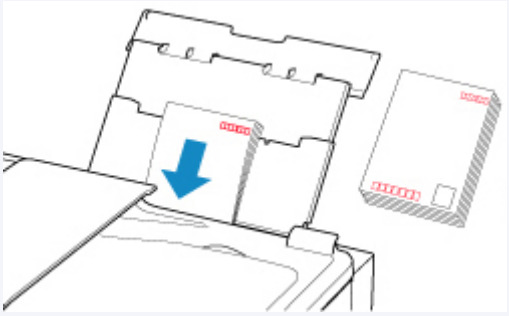
はがきに印刷するときの注意

重要

- あて名面は、操作パネルを使った印刷、および PictBridge（Wi-Fi）対応機器からの印刷には対応していません。
- 写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。
- 往復はがきは以下の印刷には対応していません。
  - ■■ 操作パネルを使った印刷
  - ■■ PictBridge（Wi-Fi）対応機器からの印刷
  - ■■ フチなし全面印刷
- 往復はがきは折り曲げないでください。折り目が付くと、正しく給紙できず印字ずれや紙づまりの原因になります。

参考

- はがき、往復はがきに印刷するときは、印刷したい面を表にして、郵便番号を下に向けてセットしてください。



  - 用紙セットの操作
  - はがきに印刷する（Windows）
  - はがきに印刷する（macOS）
- はがきや往復はがきは、自動両面印刷には対応していません。
- はがきの両面に 1 面ずつ印刷するときは、きれいに印刷するために、通信面を印刷したあとにあて名面を印刷することをお勧めします。
- はがきを持つときは、できるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面に触れないでください。
- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。キヤノン純正紙については、「使用できる用紙について」を参照してください。

カセットに普通紙をセットする

カセットには A4、B5、A5、レターサイズの普通紙をセットします。

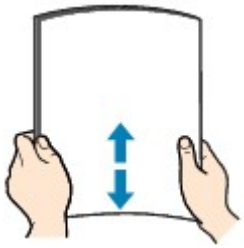
参考

- カセットには普通紙のみセットできます。
- 複写機などで使用される一般的なコピー用紙やキヤノン普通紙・ホワイト SW-101、キヤノン普通紙・ビジネス FB-101 が使用できます。用紙の両面に印刷する場合は、キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口 SW-201 がお勧めです。

  本製品で使用できる用紙サイズ、重さについては、「使用できる用紙について」を参照してください。

1. 用紙の準備をする

セットする用紙をそろえます。用紙に反りがあるときは、反りを直してください。

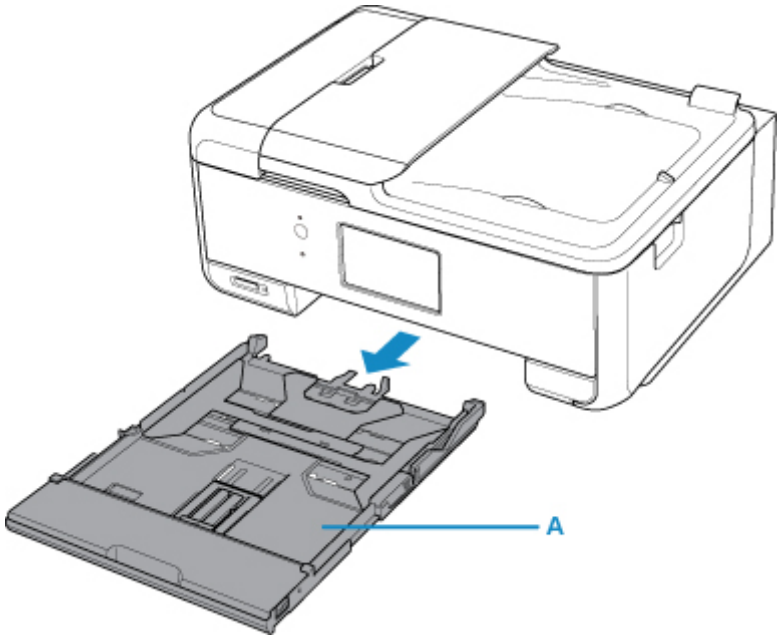


参考

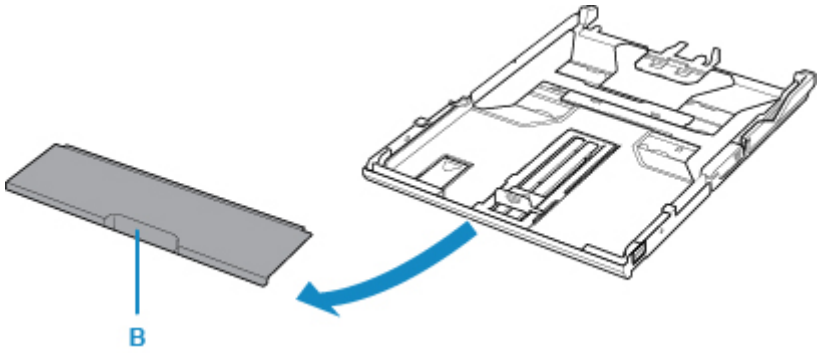
- 用紙の端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙の端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因となることがあります。
- 用紙に反りがあるときは、逆向きに曲げて反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。

  反りの直しかたについては「印刷面が汚れる／こすれる」の チェック 3 を参照してください。

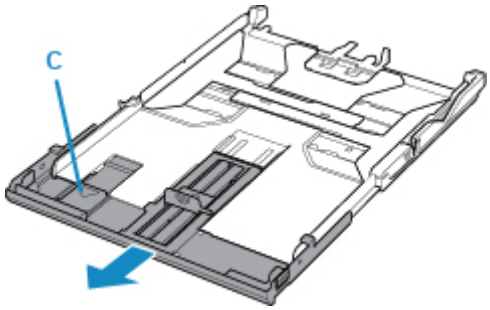
2. カセット（A）を手前に引き出す



3. カセットカバー（B）を取り外す



4. A4 サイズの用紙をセットする場合は、カセットのロック（C）を押して手前に伸ばす

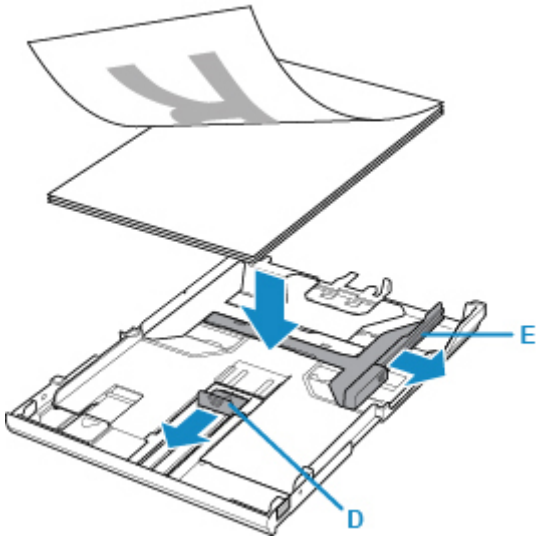


重要

- A4 サイズ以外の用紙をセットする場合は、カセットを伸ばさないでください。

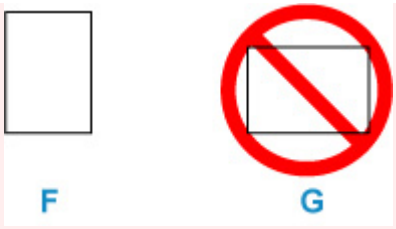
5. 手前の用紙ガイド（D）と右の用紙ガイド（E）を広げる

6. **印刷したい面を下に**して、カセットの中央に合わせて用紙を縦にセットする



重要

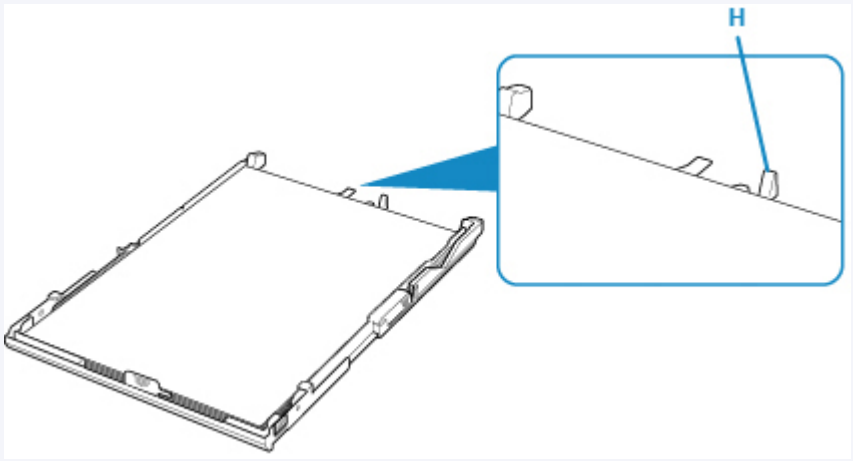
- 用紙は縦方向（F）にセットしてください。横方向（G）にセットすると紙づまりの原因となります。



参考

- 用紙は、図のようにカセットの縁に合わせて重ねてください。

  用紙を突起（H）に突き当てると、正しく給紙されない場合があります。

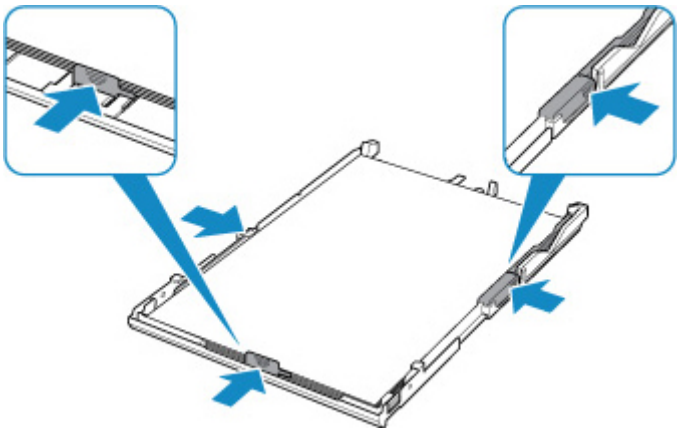


7. 手前の用紙ガイドを用紙の端に合わせる

用紙ガイドが「カチッ」と音がして止まる位置に合わせます。

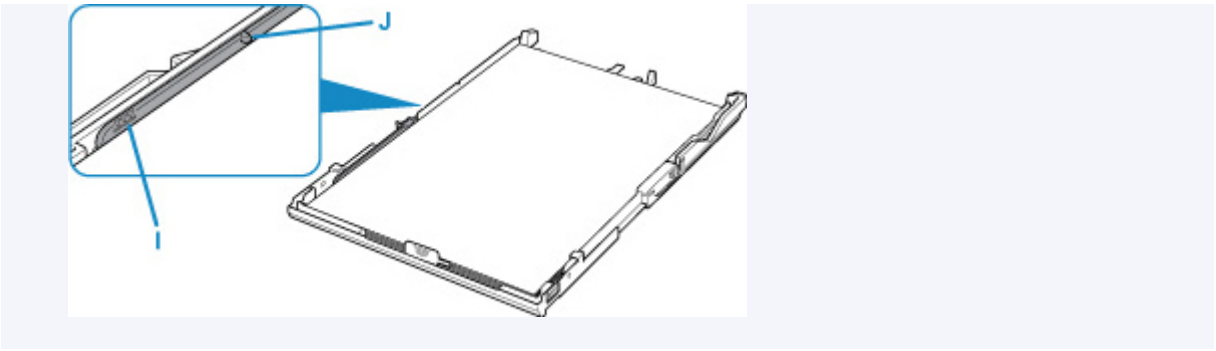
8. 右の用紙ガイドを動かし、用紙の端に合わせる

用紙ガイドを用紙に強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。



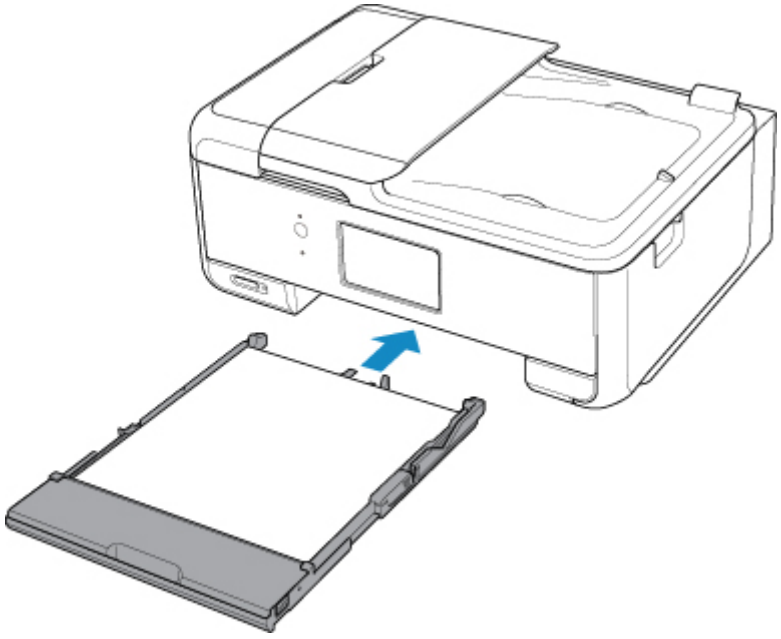
参考

- 用紙は最大用紙量のマーク（I）の線を超えないようにセットしてください。
- 用紙は用紙ガイドのツメ（J）より下にセットしてください。



9. カセットカバーを取り付け、カセットを本体に差し込む

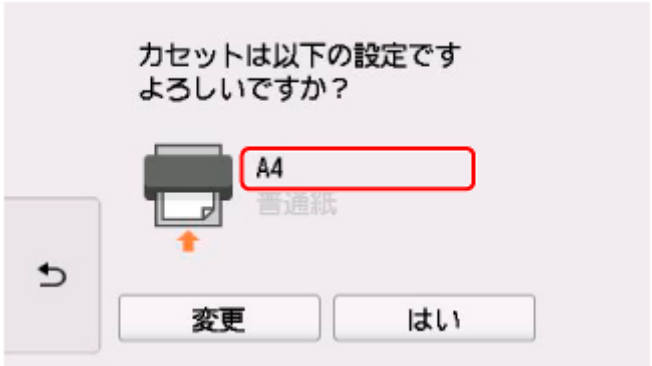
奥に突き当たるまでまっすぐ押し込んでください。



カセットを差し込むと、タッチスクリーンにカセットの用紙の設定を確認する画面が表示されます。

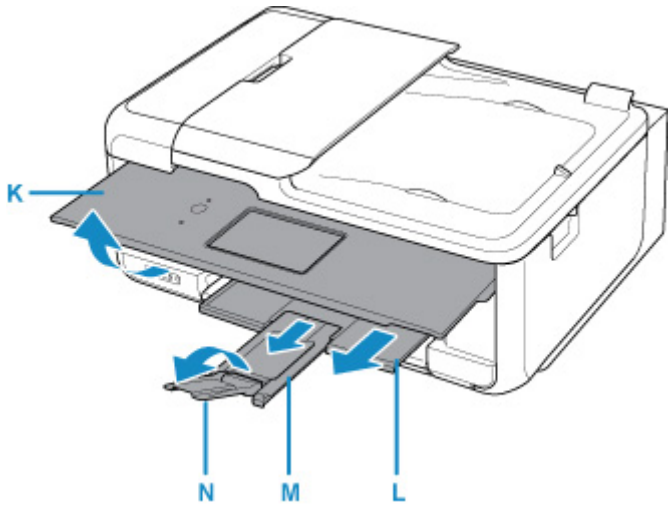
10. 表示された用紙のサイズが、カセットにセットした用紙と同じであれば［はい］を選ぶ

用紙のサイズが異なるときは、［変更］を選んで、セットした用紙に合わせて設定を変更します。



11. 操作パネル（K）を開き、排紙トレイ（L）と排紙サポート（M）を引き出し、補助トレイ（N）を開く

印刷する前は必ず操作パネルを開いてください。操作パネルが閉まっていると印刷が始まりません。



参考

- 印刷のミスを防ぐため、本製品にはカセットにセットした用紙の設定と印刷時の用紙の設定が一致するかどうかを検知する機能があります。カセットの用紙の設定に合わせて印刷の設定を行ってください。この機能がオンになっている場合、設定が合っていないと、印刷ミスを防ぐためにエラーメッセージが表示されますので、用紙の設定を確認して正しく設定しなおしてください。

後トレイに封筒をセットする

封筒は後トレイにセットします。

プリンタードライバーで適切に設定することにより、あて名は封筒の向きに合わせて、自動的に回転して印刷されます。

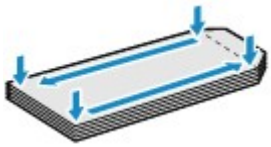
重要

- 次のような封筒は、紙づまりや故障の原因になるため使用できません。
  - ■■ 角形封筒
  - ■■ 型押しやコーティングなどの加工された封筒
  - ■■ ふたが二重になっている封筒
  - ■■ ふたがシールになっている長形封筒
  - ■■ ふた部分の乾燥糊が湿って、粘着性が出てしまった封筒

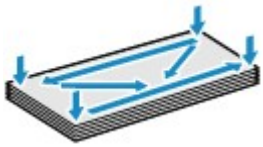
1. 封筒の準備をする

   - 封筒の四隅と縁を押して平らにします。

     長形封筒

     洋形封筒

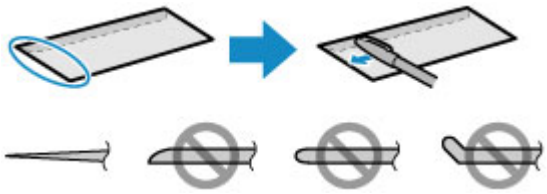
     

   - 封筒が反っている場合は、両手で対角線上の端を持って、逆方向に軽く曲げます。

   - 封筒のふた部分が折れ曲がっている場合は平らにします。
   - 挿入方向の先端部をペンで押して平らに伸ばします。

     長形封筒

洋形封筒

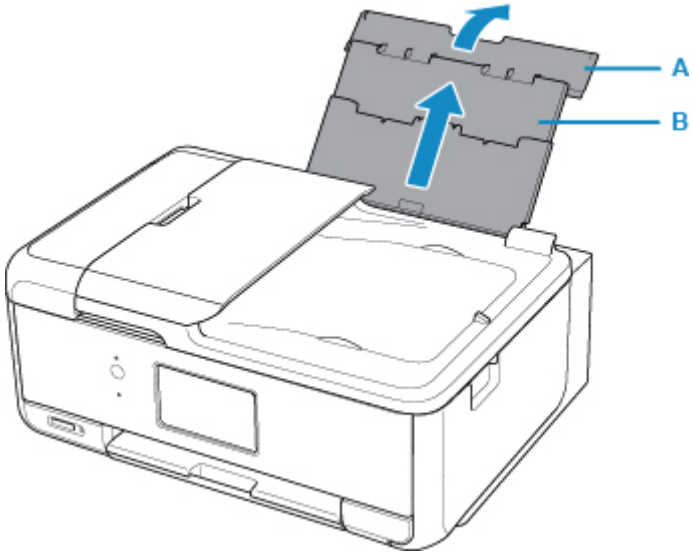


上の図は、封筒の先端部の断面図です。

重要

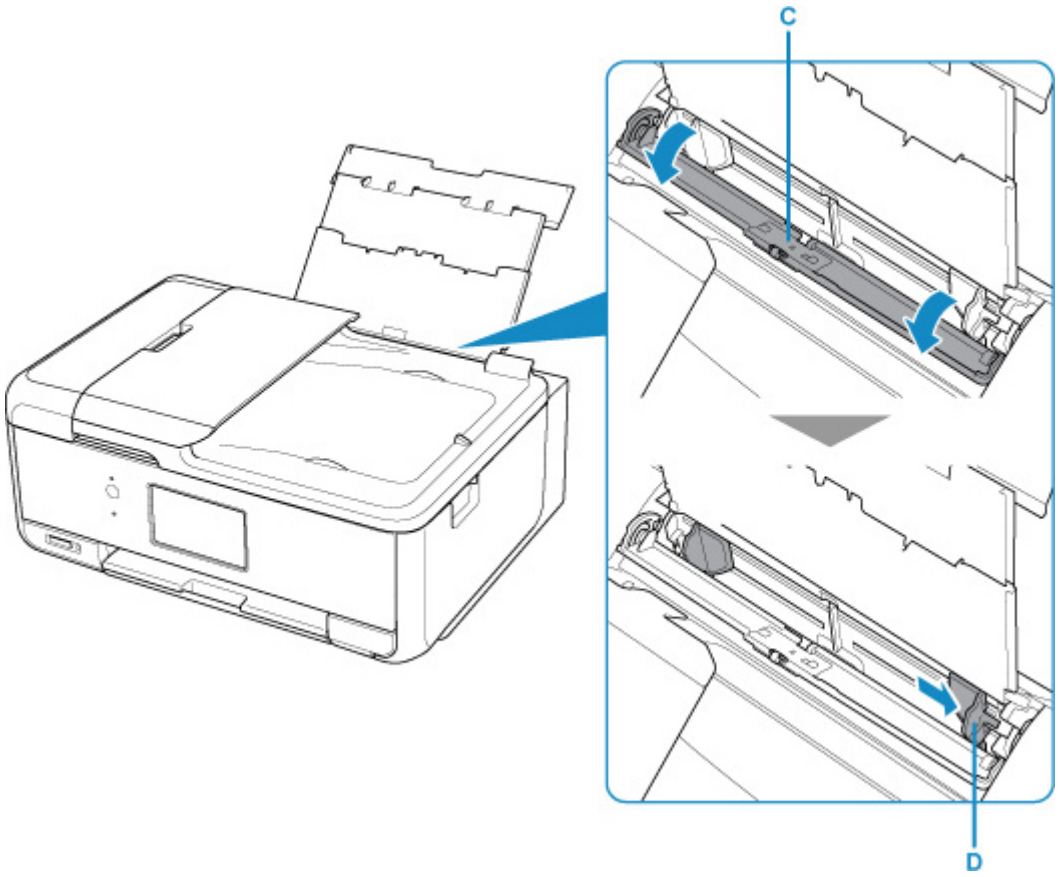
- 平らになっていなかったり、端がそろっていなかったりすると、紙づまりの原因になることがあります。反りやふくらみが 3 mm（0.12 in.）を超えないようにしてください。

2. 後トレイカバー（A）を開き、用紙サポート（B）をまっすぐ上に引き出して、後方へ倒す



3. 給紙口カバー（C）を開く

4. 右の用紙ガイド（D）を広げる



5. **封筒の印刷したい面を表に**して、封筒を縦にセットする

一度に 10 枚までセットできます。

- **長形封筒**

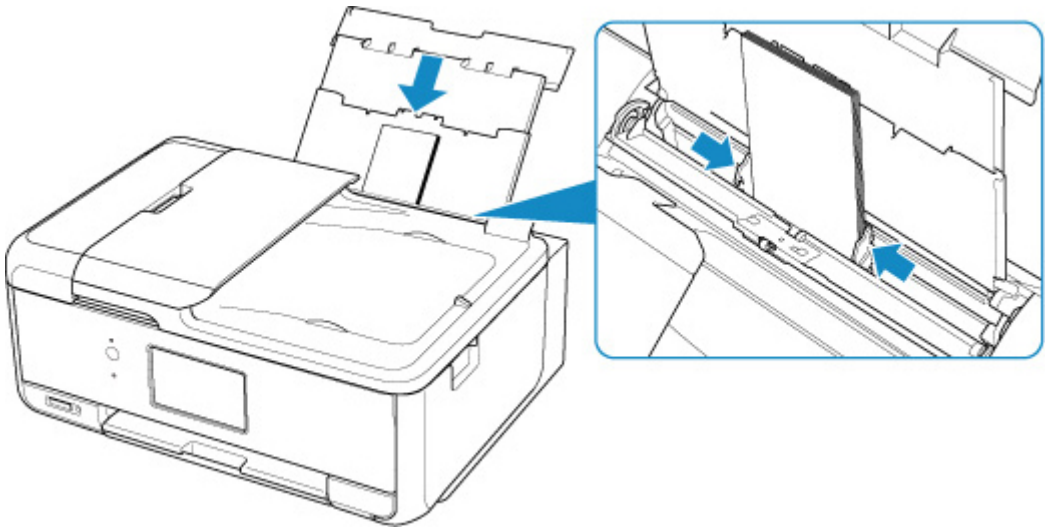
  ふたを折りたたまずに上に向け、縦置きでセットします。

- **洋形封筒**

  あて名面を表にし、ふたを折りたたんで、縦置きでセットします。

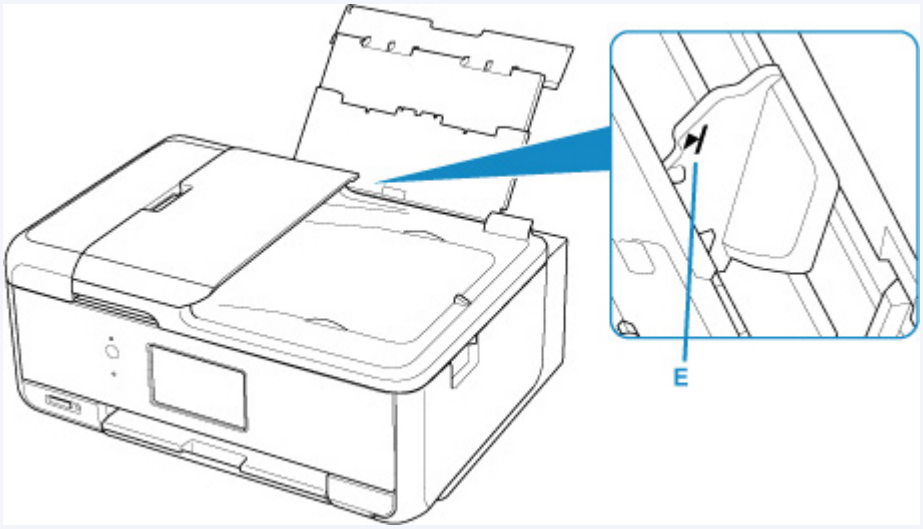
6. 右の用紙ガイドを動かし、封筒の両端に合わせる

用紙ガイドを封筒に強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。

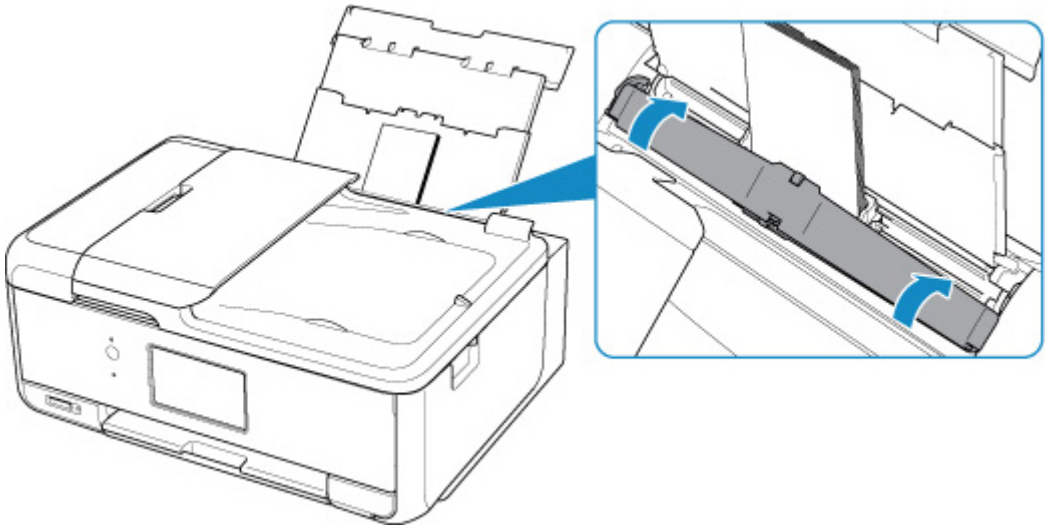


参考

- 封筒は最大用紙量のマーク（E）の線を超えないようにセットしてください。



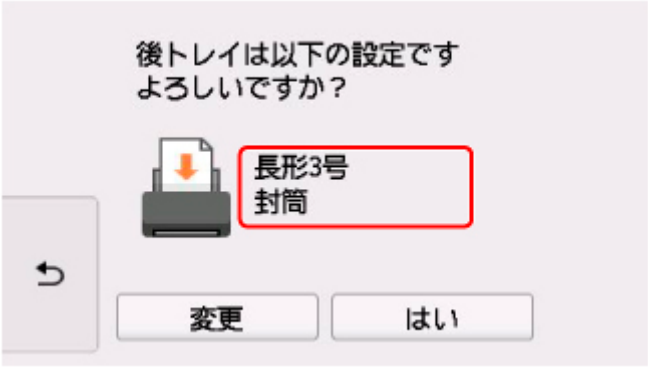
7. 給紙口カバーをゆっくり閉じる



給紙口カバーを閉じると、タッチスクリーンに後トレイの封筒の設定を確認する画面が表示されます。

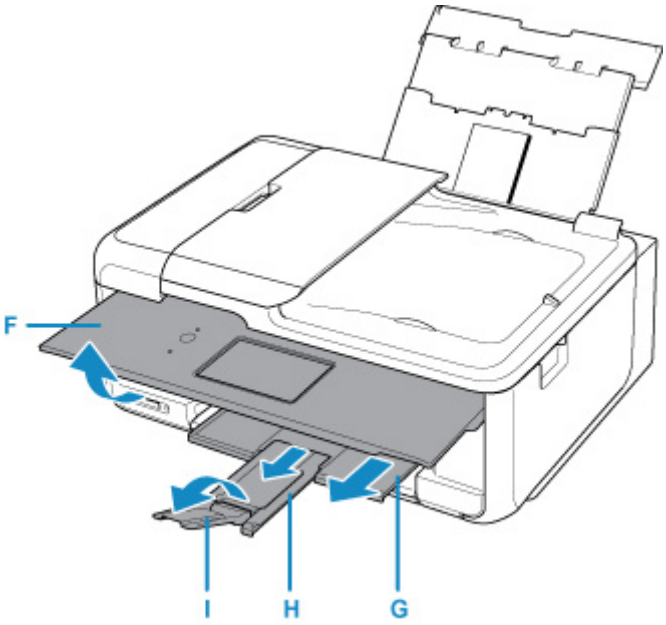
8. 表示された用紙のサイズと種類が、後トレイにセットした封筒と同じであれば［はい］を選ぶ

用紙のサイズや種類が異なるときは、［変更］を選んで、セットした封筒に合わせて設定を変更します。



9. 操作パネル（F）を開き、排紙トレイ（G）と排紙サポート（H）を引き出し、補助トレイ（I）を開く

印刷する前は必ず操作パネルを開いてください。操作パネルが閉まっていると印刷が始まりません。



参考

- 印刷のミスを防ぐため、本製品には後トレイにセットした用紙の設定と印刷時の用紙の設定が一致するかどうかを検知する機能があります。後トレイの用紙の設定に合わせて印刷の設定を行ってください。この機能がオンになっている場合、設定が合っていないと、印刷ミスを防ぐためにエラーメッセージが表示されますので、用紙の設定を確認して正しく設定しなおしてください。

原稿をセットする

- 原稿のセット位置について
- 原稿台に原稿をセットする
- ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする
- 機能ごとの原稿のセット方法
- セットできる原稿について

原稿のセット位置について

原稿は、原稿台と ADF（自動原稿給紙装置）の 2 箇所にセットすることができます。

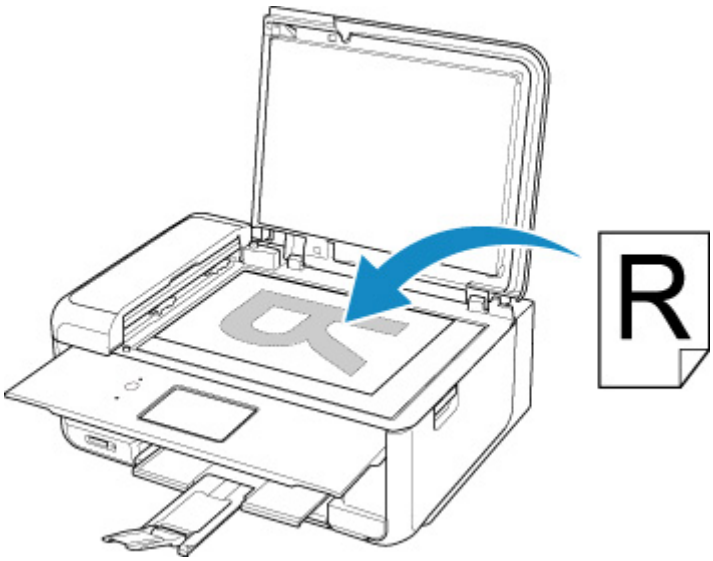
原稿のサイズや種類、用途によってセットする場所を選んでください。

参考

- セットできる原稿については、以下を参照してください。

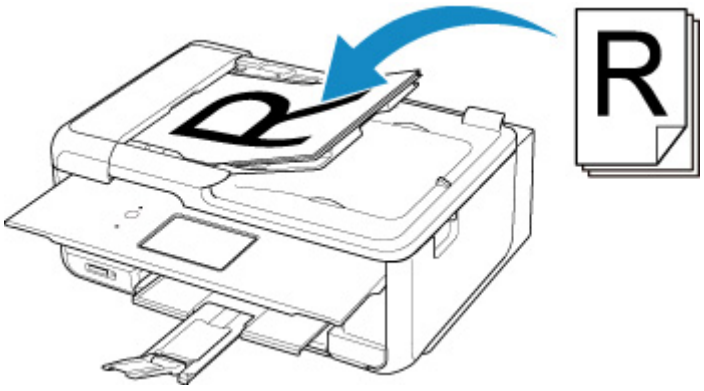
  セットできる原稿について

原稿台に書類や写真、本などをセットする



ADF に複数枚の同じサイズや厚さの原稿をセットする

原稿を 1 枚だけセットすることもできます。



参考

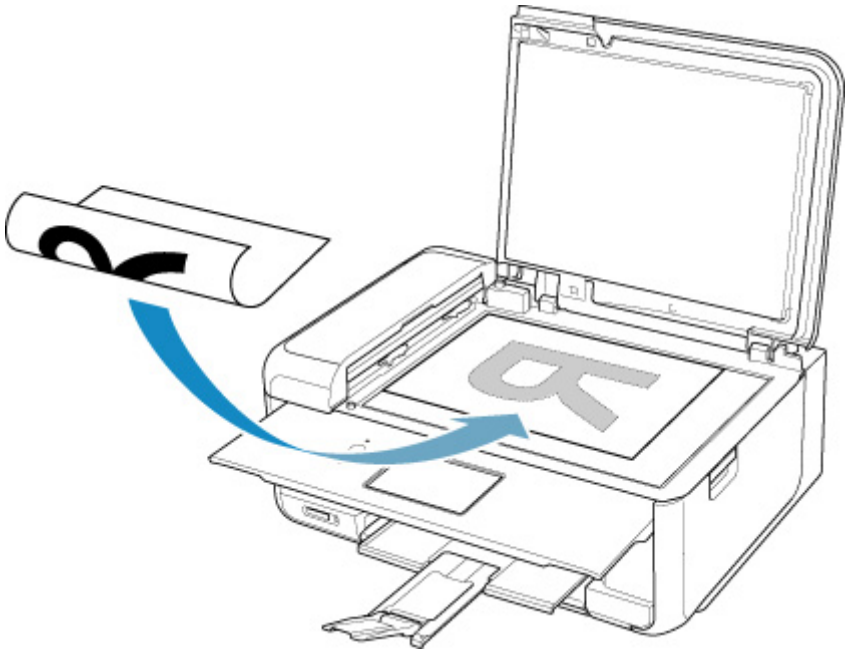
- 原稿をよりきれいに読み取りたいときは、原稿台にセットしてください。

原稿台に原稿をセットする

1. 原稿台カバーを開ける

2. **原稿の読み取る面を下に**して、原稿台にセットする

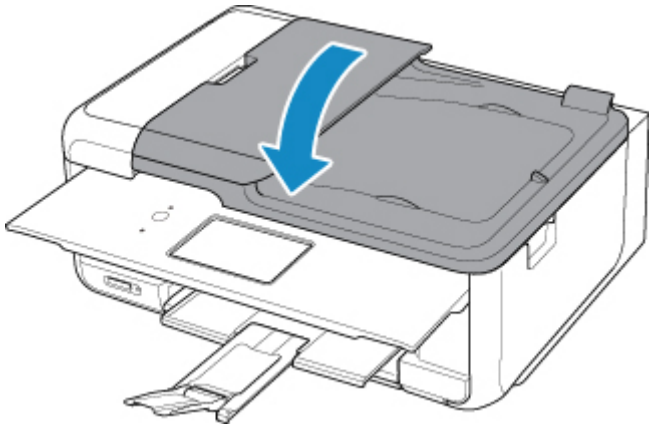
   - 機能ごとの原稿のセット方法
   - セットできる原稿について



重要

- 原稿をセットするときには、以下のことに注意してください。スキャナーが正しく動作しなくなったり、原稿台のガラス面が破損したりすることがあります。
  - 原稿台のガラス面に 2.0 kg 以上の物をのせない
  - 原稿を強く押さえる（2.0 kg を超える力で）など、原稿台のガラス面に重みをかけない

3. 原稿台カバーをゆっくり閉じる



重要

- 原稿台に原稿をセットしたあと、原稿台カバーをきちんと閉じてコピーやスキャンをしてください。

ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする

重要

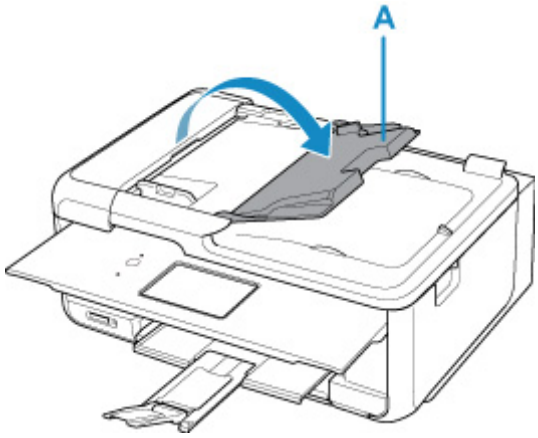
- 原稿排紙口の中に物が入り込まないようにご注意ください。故障の原因になります。

参考

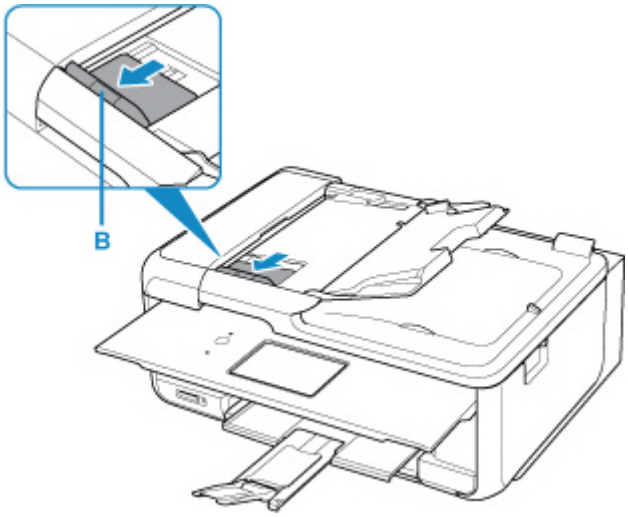
- 原稿をよりきれいに読み取りたいときは、原稿台にセットしてください。
- ADF で両面原稿を自動で読み取ることはできません。

1. 原稿台に原稿がないことを確認する

2. 原稿トレイ（A）を開く



3. 原稿ガイド（B）を広げる



4. **読み取る面を上に**して、原稿を原稿トレイにセットし、ピッという音が鳴るまで差し込む

   原稿の先端は奥まで突き当ててください。

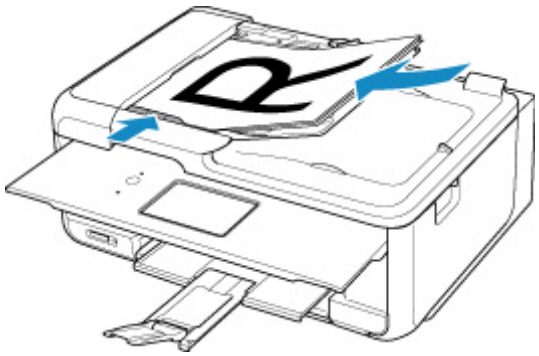
   参考

   - セットできる原稿については、以下を参照してください。

     セットできる原稿について

5. 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

原稿ガイドを原稿に強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。



機能ごとの原稿のセット方法

ご使用になる機能に合わせて原稿をセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては、正しく読み取れない場合があります。

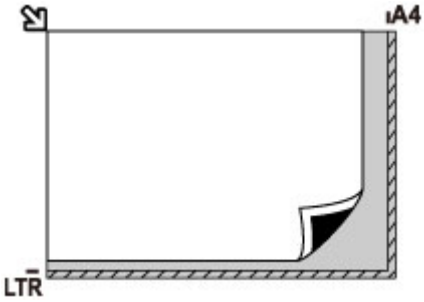
原稿	機能	セット方法
雑誌、新聞、文書	**コピーまたはファクスする**	■■ 原稿位置合わせマークに合わせてセットする
	原稿の種類やサイズを自動で判別してスキャンする 操作パネルからスキャンする場合は、[スキャン]の[原稿種類]で[おまかせスキャン]を選びます。	
	A4、レターなどの定型サイズを指定してスキャンする 操作パネルからスキャンする場合は、[スキャン]の[原稿種類]で[文書]または[写真]を選び、読取サイズにA4、レターなどの定型サイズを指定します。	
写真、はがき、名刺、ディスク(BD/DVD/CD)	**1枚の原稿をスキャンする** 操作パネルからスキャンする場合は、以下の操作を行います。 • [スキャン]の[原稿種類]で[おまかせスキャン]を選ぶ • [スキャン]の[原稿種類]で[写真]を選び、読取サイズに[自動読取]を指定する	■■ 原稿台の中央にセットする
	複数枚の原稿をスキャンする 操作パネルからスキャンする場合は、以下の操作を行います。 • [スキャン]の[原稿種類]で[おまかせスキャン]を選ぶ • [スキャン]の[原稿種類]で[写真]を選び、読取サイズに[自動読取(複数)]を指定する	■■ 複数枚の原稿をセットする

参考

- パソコンからスキャンするときの操作方法やセット方法については、以下を参照してください。
  - ■■ Windowsをご使用の場合：
    - ■■ パソコンからスキャンする(Windows)
  - ■■ macOSをご使用の場合：
    - ■■ パソコンからスキャンする(macOS)

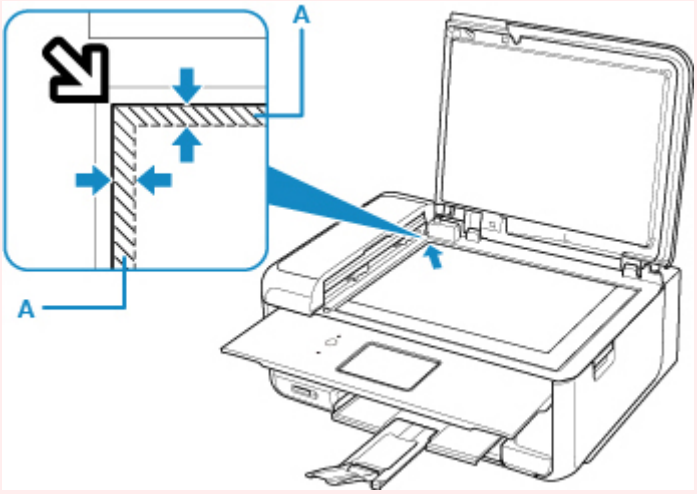
原稿位置合わせマーク（）に合わせてセットする

原稿位置合わせマーク（）に合わせ、**読み取る面を下に**して原稿を置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。



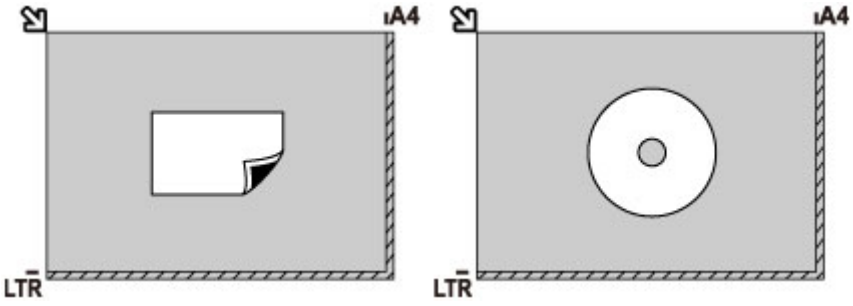
重要

- 原稿台のガラス面の端から 1 mm（0.04 in.）の部分（A）は読み取れません。



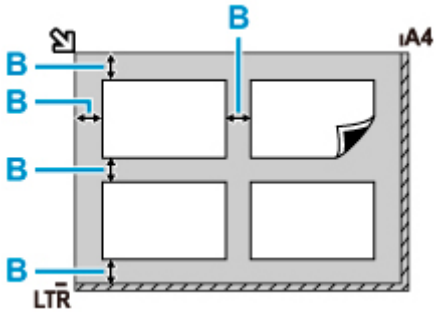
原稿台の中央にセットする

原稿台の端の斜線部分から 1 cm（0.4 in.）以上離し、**読み取る面を下に**して原稿を置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。



複数枚の原稿をセットする

原稿台の端の斜線部分から 1 cm（0.4 in.）以上離し、**読み取る面を下に**して原稿を置いてください。原稿と原稿の間も 1 cm（0.4 in.）以上離してください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。最大 12 枚まで置くことができます。



B : 1 cm（0.4 in.）以上

参考

- 傾き補正機能により、約 10 度までの傾きは自動的に補正されます。長い辺が約 180 mm（7.1 in.）以上の写真の傾きは補正できません。
- 長方形以外の変形した写真（いろいろな形に切り抜いた写真など）は正しくスキャンできない場合があります。

セットできる原稿について

原稿台

項目	内容
原稿の種類	文書、雑誌、新聞 プリント写真、はがき、名刺、ディスク（BD/DVD/CD など） ADF にセットできない原稿
サイズ（幅 x 長さ）	最大 216 x 297 mm（8.5 x 11.7 in.）
枚数	1 枚または複数枚*
厚さ	最大 10 mm（0.4 in.）

* 選んだ機能により、複数枚のセットが可能です。

機能ごとの原稿のセット方法

ADF（自動原稿給紙装置）

項目	内容
原稿の種類	サイズ、厚さ、および重さが同じ、1 枚以上の普通紙原稿
サイズ	A4／レターサイズ／リーガルサイズ 両面コピー、2 in 1 コピー、4 in 1 コピーの場合は A4 またはレターサイズのみ
枚数	A4 とレターサイズ：最大 20 枚（75 g /m^2（20 lb））、高さ 2 mm（0.08 in.）以下 リーガルサイズ：最大 5 枚（75 g /m^2（20 lb））、高さ 0.5 mm（0.02 in.）以下
厚さ	0.07～0.13 mm（0.003～0.005 in.）
質量	60～95 g /m^2（16.0～25.3 lb）

参考

- 原稿にのり、インク、修正液などを使ったときは、乾いてからセットしてください。

  のりが付いている原稿は、乾いていても ADF にセットしないでください。紙づまりの原因となります。
- 原稿にホチキスの針やクリップなどが付いていないことを確認してからセットしてください。
- リーガルサイズの原稿は、ADF にセットしてください。
- 次のような原稿は ADF にセットしないでください。紙づまりの原因となります。
  - しわや折り目のある原稿
  - 丸まっている原稿
  - 破れている原稿
  - 穴のあいている原稿
  - のりが付いている原稿

■■ 付せんが付いている原稿

■■ カーボン紙が付いている原稿

■■ 表面加工が施されている原稿

■■ 薄質半透明紙または薄すぎる原稿

■■ 写真または厚すぎる原稿

メモリーカードをセットする

- メモリーカードをセットする前に
- メモリーカードをセットする
- メモリーカードを取り出す

メモリーカードをセットする前に

本製品で使用できるメモリーカードと画像データは以下のとおりです。

重要

- PictBridge（Wi-Fi）対応機器で動作が保証されていないメモリーカードに撮影／保存されている写真は、本製品で読み込めない場合やデータが破損する場合があります。PictBridge（Wi-Fi）対応機器で動作が保証されているメモリーカードについては、PictBridge（Wi-Fi）対応機器に付属の取扱説明書を参照してください。
- メモリーカードは、DCF Ver.1.0/2.0 規格のデジタルカメラでフォーマットしてください。パソコン固有のフォーマットには対応していません。

カードスロットに直接セットできるメモリーカード：

- SD/SDHC/SDXC メモリーカード

カードアダプターを使用してセットするメモリーカード：

以下のメモリーカードは、かならず専用のカードアダプターに取り付けてからカードスロットにセットしてください。

- miniSD/miniSDHC カード

  専用の「SD カードアダプター」を使用してください。

- microSD/microSDHC/microSDXC カード

  専用の「SD カードアダプター」を使用してください。

重要

- カードアダプターに取り付けずに直接カードスロットにセットすると、メモリーカードが取り出せなくなる場合があります。

  ■ メモリーカードが取り出せない

印刷できる画像データ：

- 本製品は DCF Ver.1.0/2.0 規格のデジタルカメラで撮影した画像データ（Exif ver.2.2/2.21/2.3 準拠）および TIFF（Exif ver.2.2/2.21/2.3 準拠）に対応しています。そのほかの静止画（RAW 画像等）や動画は印刷できません。
- プリンターで原稿種類を［写真］、データ形式を［JPEG］に設定してスキャンし、保存した画像データ（拡張子「.jpg」）に対応しています。

参考

- 本製品には、Microsoft 社より使用を許諾された exFAT ファイルシステムの技術が組み込まれています。

メモリーカードをセットする

重要

- メモリーカードをカードスロットにセットすると、カードスロットのアクセスランプが点灯します。このアクセスランプが点滅しているときは、メモリーカードの読み込みなどが行われていますので、カードスロットの周りには触れないでください。

参考

- メモリーカードに保存されている写真をパソコンで編集・加工したときは、かならずパソコンから印刷してください。操作パネルから印刷を行うと、正しく印刷できないことがあります。

1. メモリーカードを準備する

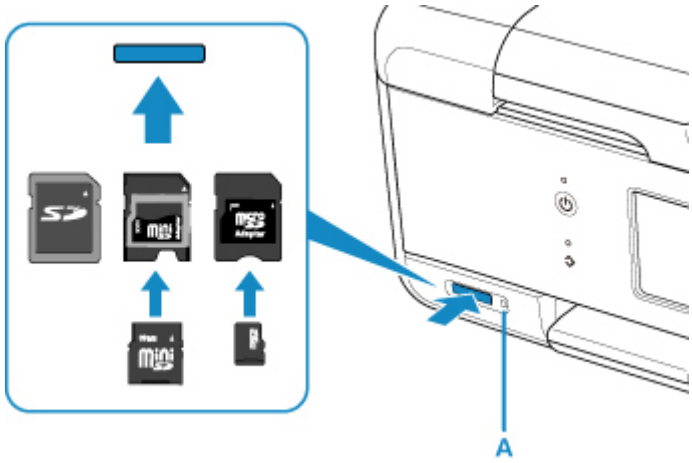
   カードアダプターが必要なメモリーカードは、専用のカードアダプターに取り付けます。

   メモリーカードをセットする前に

2. メモリーカードをセットする

   ラベル面を上にしてカードスロットにまっすぐ差し込んでください。

   メモリーカードが正しくセットされると、アクセスランプ（A）が点灯します。



   以下のメモリーカードはカードアダプターに取り付けてから、カードスロットにセットしてください。

   - miniSD/miniSDHC カード
   - microSD/microSDHC/microSDXC カード

   重要

   - メモリーカードはカードスロットから少しはみ出した状態でセットされます。それ以上は無理に押し込まないでください。プリンターやメモリーカードが破損するおそれがあります。
   - メモリーカードの向きをよく確認して、カードスロットにセットしてください。間違った向きで無理にセットすると、プリンターやメモリーカードが破損するおそれがあります。

メモリーカードを取り出す

アクセスランプが点灯していることを確認して、カードを取り出す

メモリーカードをつまんで、まっすぐ引き出します。

重要

- アクセスランプの点滅中は、メモリーカードを取り出さないでください。ランプが点滅しているときは、メモリーカードからデータを読み込み／書き込みしています。ランプの点滅中にメモリーカードを取り出したり電源を切ったりすると、カードのデータが破損することがあります。

インクタンクを交換する

- インクタンクを交換する
- インクの状態をタッチスクリーンで確認する
- インクについて知っておきたいこと

インクタンクを交換する

インクの残量に関する警告やエラーが発生すると、タッチスクリーンにエラーメッセージが表示されてお知らせします。インクの残量に関する警告やエラーが発生している状態ではプリンターを使って印刷したりスキャンしたりすることはできません。エラーメッセージの内容を確認してから、エラーの対処をしてください。

トラブルが発生したときは

参考

- インクタンクの取り扱い上のご注意については、「インクタンクについてのご注意」を参照してください。

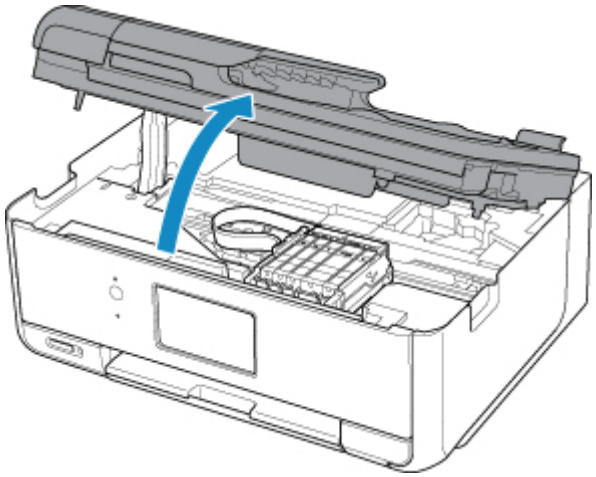
交換の操作

インクタンクの交換が必要な場合は、次の手順で行います。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

2. スキャナーユニット/カバーを開く

   プリントヘッドホルダーが交換位置に移動します。



⚠注意

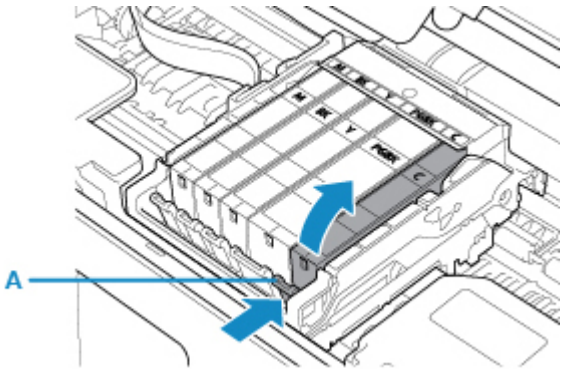
- プリントヘッドホルダーが動いている間はプリントヘッドホルダーを手で止めたり、無理に動かしたりしないでください。プリントヘッドホルダーの動きが止まるまでは、手を触れないでください。

重要

- 本体内部の金属部分やそのほかの部分に触れないでください。

3. インクのなくなったインクタンクを取り外す

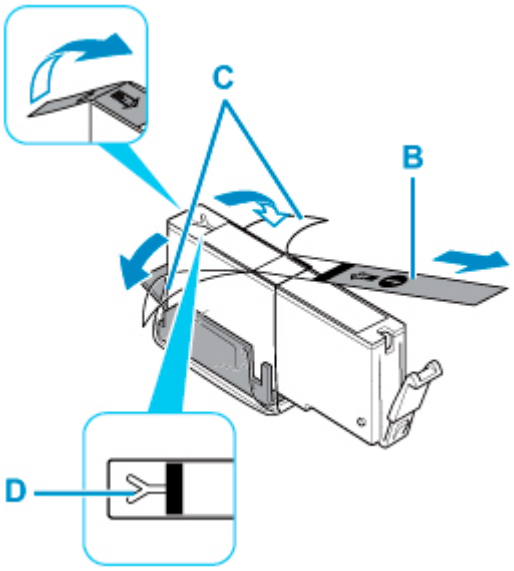
   インクタンクの固定つまみ（A）を押し、インクタンクを上に持ち上げて外します。



重要

- インクタンク以外の部分には触れないでください。

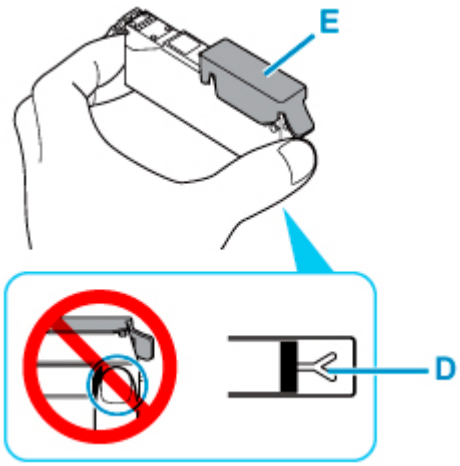
4. 新しいインクタンクをパッケージから取り出し、オレンジ色のテープ（B）をすべてはがしてから、保護フィルム（C）をすべてはがす



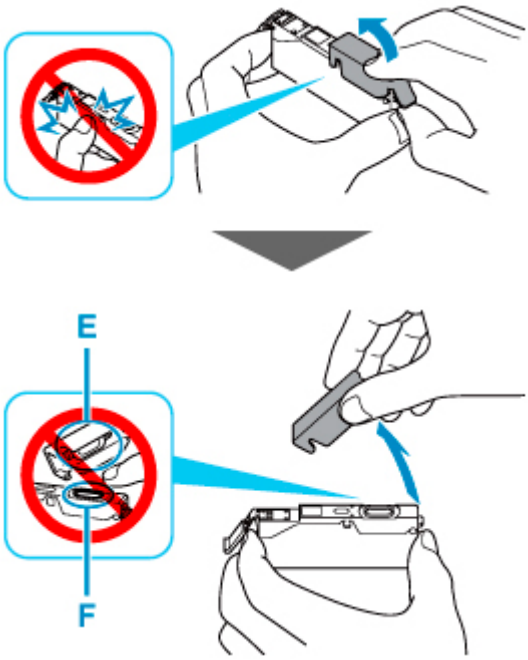
重要

- Y 字の空気溝（D）にオレンジ色のテープが残っていると、インクが飛び散ったり、正しく印刷できなかったりする場合があります。

5. Y 字の空気溝（D）をふさがないように、オレンジ色の保護キャップ（E）を上にして持つ



6. オレンジ色の保護キャップ（E）のレバーを引き上げて、**ゆっくり**取り外す

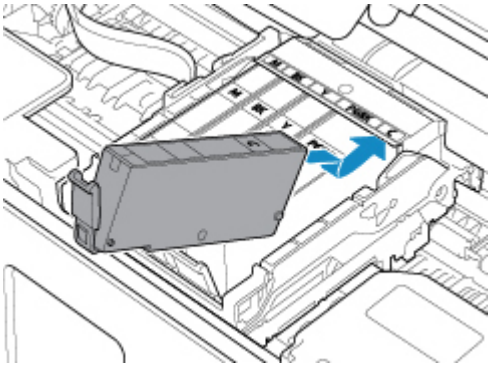


重要

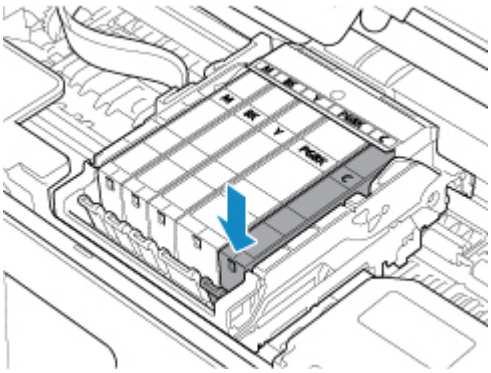
- インクタンクの側面を強く押さないでください。Y 字の空気溝（D）をふさいだ状態でインクタンクの側面を押すと、インクが飛び散る場合があります。
- 保護キャップ（E）の内側やインク出口（F）には触れないでください。インクで手が汚れる場合があります。

7. 新しいインクタンクをプリントヘッドに向かって斜めに差し込む

ラベルに合わせて取り付けます。



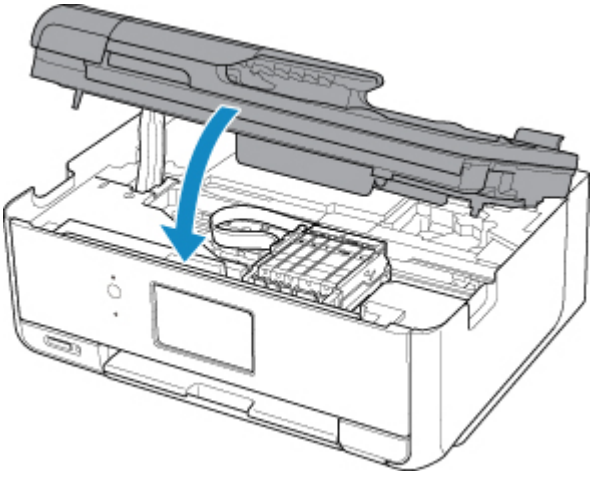
8. インクタンク上面を「カチッ」と音がするまでしっかり押して、インクタンクを固定する



重要

- インクタンクの取り付け位置を間違えると印刷できません。プリントヘッドホルダーに付いているラベルに合わせ、インクタンクを正しい位置に取り付けてください。
- ひとつでもセットされていないインクタンクがあると印刷できません。かならずすべてのインクタンクをセットしてください。

9. スキャナーユニット/カバーをゆっくり閉じる



⚠注意

- スキャナーユニット/カバーを閉じる際は、指などはさまないように注意してください。

参考

- スキャナーユニット/カバーを閉じたあとにタッチスクリーンにエラーメッセージが表示されている場合は、エラーの対処をしてください。

■ トラブルが発生したときは

- 罫線がずれて印刷されるなど、プリントヘッドの位置ずれが確認されたときには、プリントヘッドの位置を調整します。

インクタンクについてのご注意

重要

- インクタンクに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、プリンターの故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
- インクの詰め替えなどによるキヤノン純正品以外のインクのご使用は、印刷品質の低下やプリントヘッドの故障の原因となることがあります。安全上問題はありませんが、まれに、純正品にないインク成分によるとみられるプリントヘッド部分の発熱・発煙事例*も報告されています。キヤノン純正インクのご使用をお勧めします。

  (* すべてのキヤノン純正品以外のインクについて上記事例が報告されているものではありません。)
- キヤノン純正品以外のインクタンクまたはキヤノン純正品以外のインクのご使用に起因する不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。
- キヤノン純正品以外のインクタンクまたはキヤノン純正品以外のインクを使用した製品の修理においては、保守契約の有無や有償修理・無償修理を問わず、追加の特殊点検等のための、特別料金をいただく場合があります。
- インクタンクの交換は速やかに行い、インクタンクを取り外した状態で放置しないでください。
- 交換用インクタンクは新品のものを装着してください。インクを消耗しているものを装着すると、ノズルがつまる原因になります。また、インクタンクの交換時期を正しくお知らせできません。
- 最適な印刷品質を保つため、インクタンクは梱包箱に記載されている「取付期限」までにプリンターに取り付けてください。また、開封後 6 ヶ月以内に使い切るようにしてください (プリンターに取り付けた年月日を、控えておくことをお勧めします)。

参考

- 黒のみの文章を印刷したり、モノクロ写真を印刷したりするときにも、ブラック以外のインクが使われることがあります。また、プリンターの性能を維持するために行うクリーニングや強力クリーニングでも、各色のインクが使われます。

  インクがなくなった場合は、速やかに新しいインクタンクに交換してください。

  ■ インクについて知っておきたいこと

インクの状態をタッチスクリーンで確認する

1. 電源が入っていることを確認し、ホーム画面を表示する

   ホーム画面が表示されていない場合は、 （ホーム）をタップして表示させてください。

2. ホーム画面で （ヒント）を選ぶ

   ■ タッチスクリーンの使いかた

   ヒントメニュー画面が表示されます。

3. ［推定インクレベル］を選ぶ

   インクの残量についてお知らせがあるときは、図の A の部分にマークが表示されます。

インクが少なくなっています。新しいインクタンクをご用意ください。

インクがなくなりました。新しいインクタンクに交換してください。

インクの残量が不明のときに表示されます。

参考

- この画面は、インクの推定残量を表示しています。
- ［インクを購入］を選ぶと、QR コードが表示され、インク購入サイトへアクセスすることができます。インターネットの接続料金はお客様のご負担になります。
- ［インクの型番］を選ぶと、［インクの型番］画面が表示され、インクタンクの型番を確認できます。
- 印刷中にタッチスクリーンに表示される画面でも、インクの状態を確認することができます。
- パソコンでインクの状態を確認することができます。

  ■■ Windows をご使用の場合：

  ■ パソコンでインクの状態を確認する

  ■■ macOS をご使用の場合：

  ■ パソコンでインクの状態を確認する

インクについて知っておきたいこと

印刷以外にもインクが使われる？

意外かもしれませんが、インクは印刷以外にも使われることがあります。

付属のセットアップ用インクタンクを取り付けて初めてプリンターをご使用になる際には、プリントヘッドにインクを満たして印刷可能な状態にするためインクを消費します。このため、セットアップ用インクタンクで印刷できる枚数が、2 回目以降に取り付けるインクタンクが印刷できる枚数より少なくなります。

カタログなどに記載されている印刷コストは、プリンターの初期セットアップに使用したインクタンクまたはインクカートリッジではなく、2 回目以降に取り付けたインクタンクまたはインクカートリッジを使用して算出しています。

きれいな印刷を保つためにインクが使われることもあります。本製品には、インクがふき出されるノズルを自動的にクリーニングし、目づまりを防ぐ機能が付いています。クリーニングでは、ノズルからインクを吸い出すため、わずかな量のインクが使用されます。

重要

- 消費されたインクは、製品内部の「インク吸収体」に吸収されます。インク吸収体は満杯になると交換が必要です。お客様ご自身での交換はできませんので、エラーメッセージが表示されたら、お早めにキヤノンホームページまたはパーソナル機器修理受付センターへ交換をご依頼ください。

  トラブルが発生したときは

モノクロ印刷でもカラーインクが使われる？

モノクロ印刷でも、印刷する用紙の種類やプリンタードライバーの設定によってブラック以外のインクが使われることがあります。モノクロでしか印刷していなくてもカラーインクが減るのはそのためです。

ブラックインクが 2 つあるのはなぜ？

本製品のブラックインクには、染料インクと顔料インクの 2 種類があります。

染料インクはおもに写真やイラストなどの印刷に使われ、顔料インクは文字などの印刷に使われます。それぞれの用途が異なるため、どちらかのインクがなくなっても、もう一方のインクが代わりに使われることはありません。どちらか一方でもインクがなくなった場合には、インクタンクの交換が必要になります。

また、2 つのブラックインクは、印刷する用紙の種類やプリンタードライバーの設定に応じて自動的に使い分けられます。お客様によるインクの使い分けはできません。

印刷にかすれやむらがあるときには

- お手入れの手順について
- ノズルチェックパターンを印刷する
- ノズルチェックパターンを確認する
- プリントヘッドをクリーニングする
- プリントヘッドを強力クリーニングする
- プリントヘッド位置を調整する

お手入れの手順について

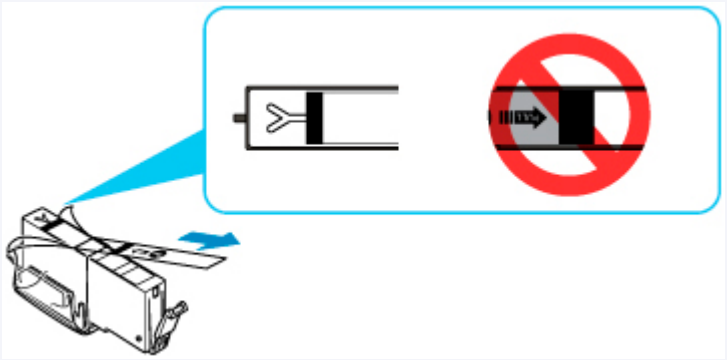
印刷結果がかすれるときや、色が正しく印刷されないとき、罫線がずれるなど印刷結果が思わしくないときは、以下の手順に沿ってお手入れを行ってください。

重要

- プリントヘッドやインクタンクを洗浄したり、ふいたりしないでください。プリントヘッドやインクタンクの故障の原因になります。

参考

- インクタンクにオレンジ色のテープが残っていないかを確認してください。



- インクタンクにインクが残っているか確認してください。

  インクの状態をタッチスクリーンで確認する

- Windows をご使用の場合、プリンタードライバーで印刷品質の設定を上げることで、印刷結果が改善される場合があります。

  印刷品質の変更や画像データの補正

印刷がかすれている、むらがある場合：

ステップ 1 ノズルチェックパターンを印刷する

プリンターから行う

ノズルチェックパターンを印刷する

パソコンから行う

- Windows をご使用の場合：

  ノズルチェックパターンを印刷する

- macOS をご使用の場合：

  ノズルチェックパターンを印刷する

ステップ 2 ノズルチェックパターンを確認する

パターンに欠けや白い横すじがある場合

ステップ 3 プリントヘッドをクリーニングする

プリンターから行う

■ プリントヘッドをクリーニングする

パソコンから行う

- Windows をご使用の場合：
  - ■ プリントヘッドをクリーニングする
- macOS をご使用の場合：
  - ■ プリントヘッドをクリーニングする

クリーニング後、ノズルチェックパターンを印刷して確認：➡ ステップ 1

ステップ 1 からステップ 3 の手順を 2 回繰り返しても改善されない場合

ステップ 4 プリントヘッドを強力クリーニングする

プリンターから行う

■ プリントヘッドを強力クリーニングする

パソコンから行う

- Windows をご使用の場合：
  - ■ プリントヘッドをクリーニングする
- macOS をご使用の場合：
  - ■ プリントヘッドをクリーニングする

参考

- ステップ 4 までの操作を行っても症状が改善されない場合は、電源を切ってから電源プラグを抜かずに 24 時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行ってください。それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。キヤノンホームページまたはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

罫線がずれるなど印刷に均一感がない場合：

ステップ プリントヘッド位置を調整する

プリンターから行う

■ プリントヘッド位置を調整する

パソコンから行う

- Windows をご使用の場合：
  - ■ 自動でプリントヘッドの位置を調整する
- macOS をご使用の場合：
  - ■ プリントヘッドの位置を調整する

ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドのノズルからインクが正しく出ているかを確認するために、ノズルチェックパターンを印刷します。

参考

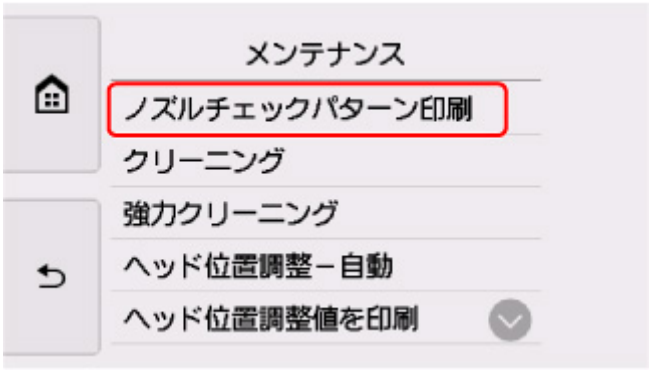
- インク残量が少ないとノズルチェックパターンが正しく印刷されません。インク残量が少ない場合は[インクタンクを交換](#)してください。

用意するもの：A4 またはレターサイズの普通紙 1 枚

1. [プリンターの電源が入っていることを確認する](#)
2. カセットに A4 またはレターサイズの普通紙を 1 枚セットする
   - [カセットに普通紙をセットする](#)
3. ホーム画面で （セットアップ）を選ぶ
   - [タッチスクリーンの使いかた](#)

   セットアップメニュー画面が表示されます。
4. ［メンテナンス］を選ぶ

   ［メンテナンス］画面が表示されます。
5. ［ノズルチェックパターン印刷］を選ぶ



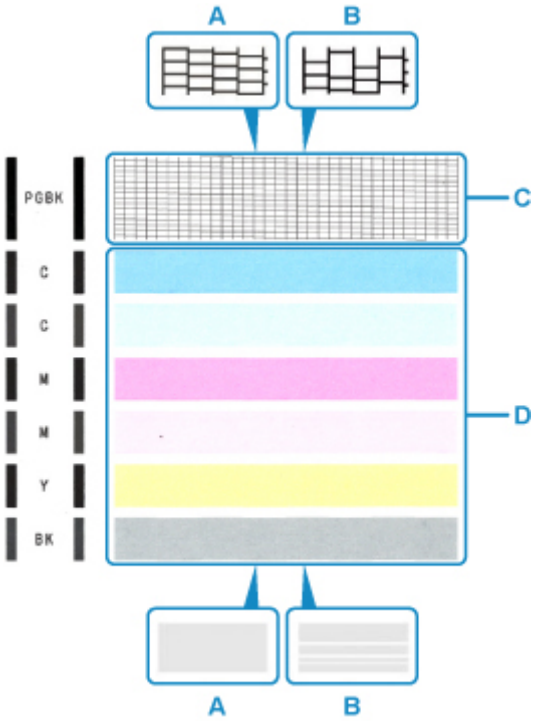
   確認画面が表示されます。
6. ［はい］を選ぶ

   ノズルチェックパターンが印刷され、タッチスクリーンに 2 つのパターン確認画面が表示されます。
7. [ノズルチェックパターンを確認](#)する

ノズルチェックパターンを確認する

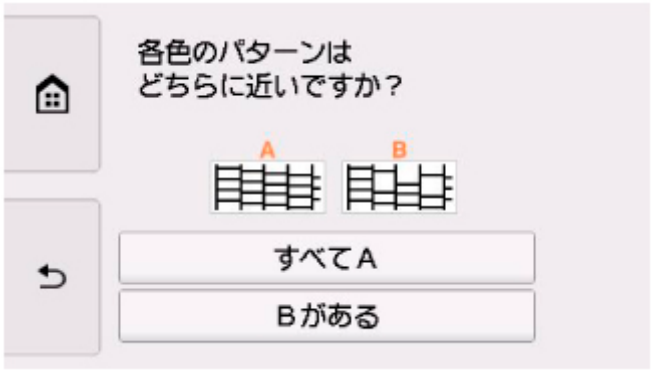
ノズルチェックパターンを確認し、必要な場合はクリーニングを行います。

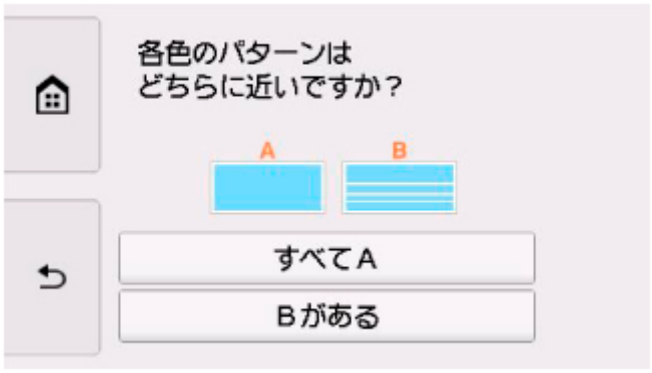
1. パターンCに欠けがないか、パターンDに白い横すじが入っていないかを確認する



A：欠けがない／白い横すじがない
B：欠けがある／白い横すじがある

2. パターン確認画面で、印刷されたパターンに近いものを選ぶ





パターン C と D のどちらにも、欠け／白い横すじがない（A）場合：

クリーニングの必要がないので、［すべて A］を選び、メッセージを確認して［OK］を選びます。

［メンテナンス］画面に戻ります。

パターン C と D のどちらか、または両方に、欠け／白い横すじがある（B）場合：

クリーニングが必要なので、［B がある］を選び、クリーニング確認画面で［はい］を選びます。

プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

- プリントヘッドをクリーニングする

パターン D またはパターン C のいずれかの色が印刷されない場合：

（マゼンタのパターンが印刷されない例）

クリーニングが必要なので、［B がある］を選び、クリーニング確認画面で［はい］を選びます。

プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

- プリントヘッドをクリーニングする

プリントヘッドをクリーニングする

ノズルチェックパターンに欠けや白い横すじがある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。ノズルのつまりを解消し、プリントヘッドを良好な状態にします。インクを消耗しますので、クリーニングは必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4 またはレターサイズの普通紙 1 枚

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

2. カセットに A4 またはレターサイズの普通紙を 1 枚セットする

   - カセットに普通紙をセットする

3. ホーム画面で （セットアップ）を選ぶ

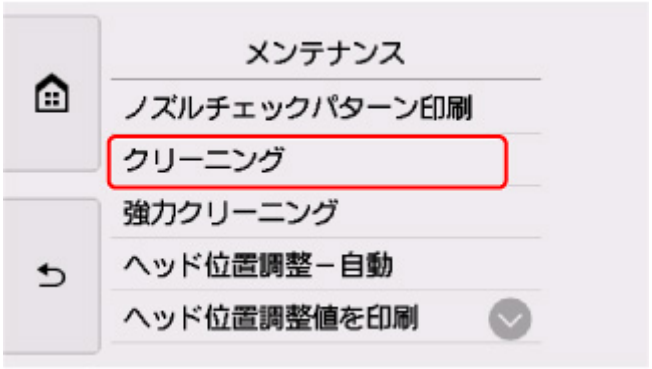
   - タッチスクリーンの使いかた

   セットアップメニュー画面が表示されます。

4. ［メンテナンス］を選ぶ

   ［メンテナンス］画面が表示されます。

5. ［クリーニング］を選ぶ



   確認画面が表示されます。

6. ［はい］を選ぶ

   プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

   クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約 1 分かかります。

   ノズルチェックパターン印刷の確認画面が表示されます。

7. ［はい］を選ぶ

   ノズルチェックパターンが印刷されます。

8. ノズルチェックパターンを確認する

参考

- クリーニングを 2 回繰り返しても改善されないときは、強力クリーニングを行ってください。

プリントヘッドを強力クリーニングする

プリントヘッドのクリーニングを行っても効果がない場合は、強力クリーニングを行ってください。強力クリーニングは、通常のクリーニングよりインクを消耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4 またはレターサイズの普通紙 1 枚

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

2. カセットに A4 またはレターサイズの普通紙を 1 枚セットする

   - カセットに普通紙をセットする

3. ホーム画面で （セットアップ）を選ぶ

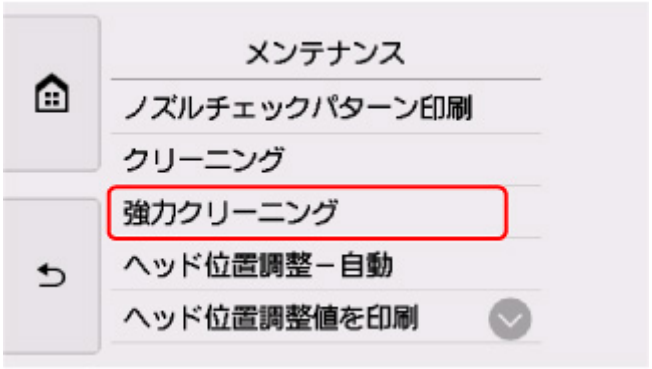
   - タッチスクリーンの使いかた

   セットアップメニュー画面が表示されます。

4. ［メンテナンス］を選ぶ

   ［メンテナンス］画面が表示されます。

5. ［強力クリーニング］を選ぶ

   確認画面が表示されます。

6. ［はい］を選ぶ

   プリントヘッドの強力クリーニングが開始されます。

   強力クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約 1～2 分かかります。

   ノズルチェックパターン印刷の確認画面が表示されます。

7. ［はい］を選ぶ

   ノズルチェックパターンが印刷されます。

8. 強力クリーニング終了のメッセージが表示されたら、［OK］を選ぶ

9. ノズルチェックパターンを確認する

特定の色だけが印刷されない場合は、そのインクタンクを交換します。

改善されない場合は、電源を切ってから電源プラグを抜かずに 24 時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行ってください。

それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。キヤノンホームページまたはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

プリントヘッド位置を調整する

罫線がずれるなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッド位置を調整します。

参考

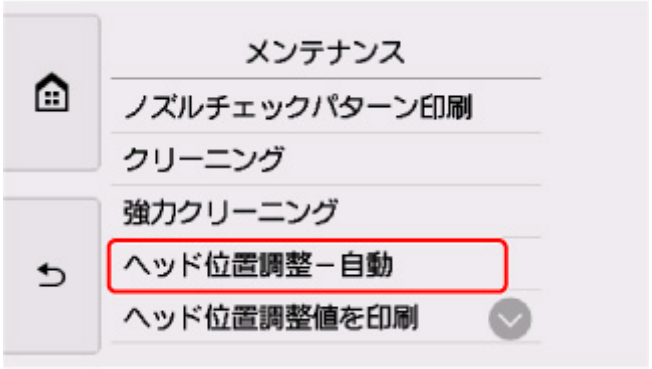
- インク残量が少ないとプリントヘッド位置調整シートが正しく印刷されません。
  インク残量が少ない場合は[インクタンクを交換](#)してください。

用意するもの：A4 またはレターサイズの普通紙 2 枚

1. [プリンターの電源が入っていることを確認する](#)
2. カセットに A4 またはレターサイズの普通紙を 2 枚セットする
   - [カセットに普通紙をセットする](#)
3. ホーム画面で（セットアップ）を選ぶ
   - [タッチスクリーンの使いかた](#)

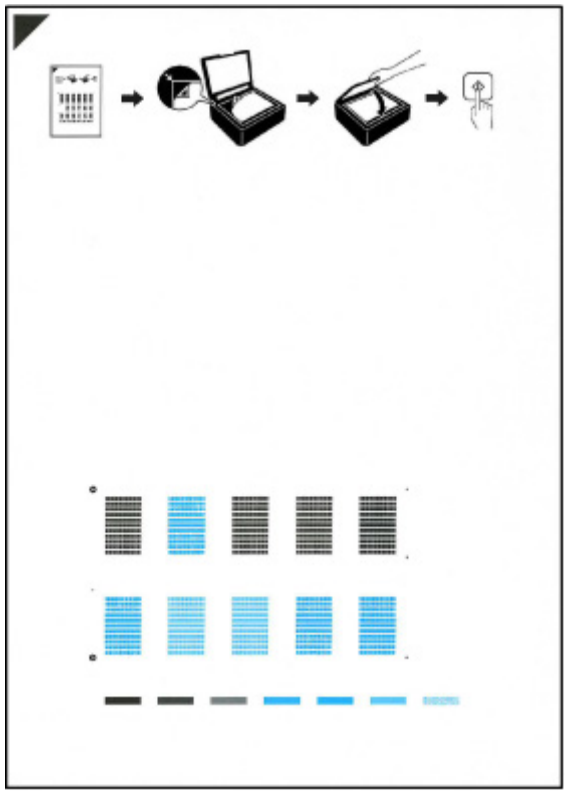
   セットアップメニュー画面が表示されます。
4. ［メンテナンス］を選ぶ

   ［メンテナンス］画面が表示されます。
5. ［ヘッド位置調整－自動］を選ぶ



   確認画面が表示されます。
6. メッセージの内容を確認し、［はい］を選ぶ

   プリントヘッド位置調整シートが印刷されます。

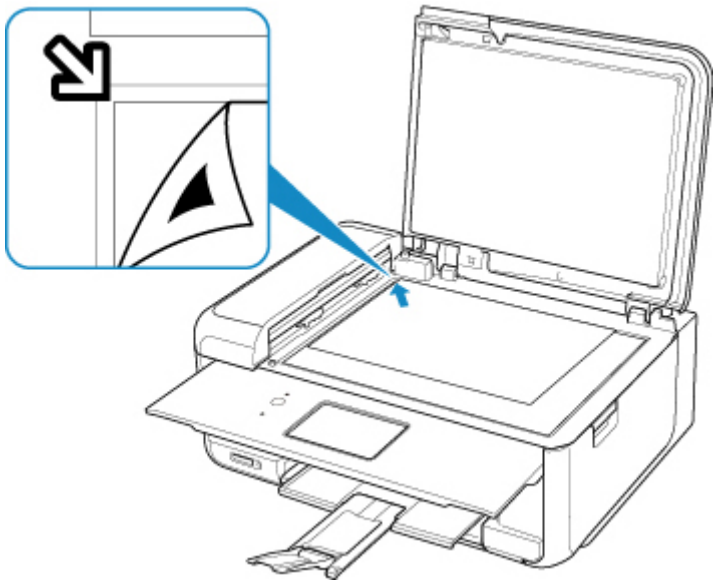


重要

- プリントヘッド位置調整シートの印刷部分には触らないでください。シートに汚れやシワなどがあると正しく読み取れない場合があります。

7. メッセージの内容を確認し、印刷されたプリントヘッド位置調整シートを原稿台にセットする

調整パターンが印刷された面を下にして、シートの左上隅の◤マークを原稿位置合わせマーク（◪）に合わせます。



8. 原稿台カバーをゆっくり閉じて、［OK］を選ぶ

プリントヘッド位置調整シートのスキャンが開始され、自動的にプリントヘッド位置が調整されます。

重要

- プリントヘッド位置の調整中は、原稿台カバーを開けたり、セットしたプリントヘッド位置調整シートを動かしたりしないでください。
- タッチスクリーンにエラーメッセージが表示された場合は、[OK] を選んでエラーを解除し、必要な対処をしてください。

  トラブルが発生したときは

9. ヘッド位置調整終了のメッセージが表示されたら、[OK] を選ぶ

原稿台からプリントヘッド位置調整シートを取り出してください。

参考

- Windows をご使用の場合、記載の手順でプリントヘッド位置調整を行っても印刷結果が思わしくないときは、パソコンから手動でプリントヘッドの位置調整を行ってください。

  手動でプリントヘッドの位置を調整する
- [メンテナンス] 画面で [ヘッド位置調整値を印刷] を選ぶと、現在の調整値を印刷して確認することができます。

パソコンからメンテナンス機能を実行する（macOS）

- メンテナンスのためにリモート UI を開く
- プリントヘッドをクリーニングする
- プリントヘッドの位置を調整する
- パソコンでインクの状態を確認する

メンテナンスのためにリモート UI を開く

リモート UI から、プリンターのメンテナンスを行ったり、プリンターの設定を変更したりすることができます。
リモート UI を開くには、次の手順で行います。

1. **［システム環境設定］**を開き、**［プリンタとスキャナ］**を選ぶ
2. プリンターリストからお使いの機種名を選び、**［オプションとサプライ...］**をクリックする
3. **［一般］**タブの**［プリンタの Web ページを表示...］**をクリックする

   リモート UI が起動します。

   参考

   - リモート UI の起動後にパスワードを入力する必要がある場合があります。その場合は、パスワードを入力し**［OK］**をクリックしてください。パスワードがわからない場合は、**［パスワードとクッキーについて］**をクリックしてください。

関連項目

- プリントヘッドをクリーニングする
- プリントヘッドの位置を調整する
- パソコンでインクの状態を確認する
- ノズルチェックパターンを印刷する
- プリンターの電源を操作する
- プリンターの設定を変更する
- プリンターの動作音を抑える

プリントヘッドをクリーニングする

クリーニングや強力クリーニングを行うとプリントヘッドのノズルの目づまりを改善することができます。
インクは十分あるのにかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりしたときに実行してください。

［クリーニング］

1. リモート UI から **［ユーティリティ］** を選ぶ

2. **［クリーニング］** をクリックする

   クリーニングの実行前に以下の項目を確認してください。

   プリンターの電源が入っていることを確認し、プリンターのカバーを開きます。
   各インクについて次の項目をチェックしてください。その後、必要に応じて **［クリーニング］** を行ってください。

   - インクは残っていますか？
   - 音がするまでしっかりと装着されていますか？
   - オレンジ色のテープがある場合、きれいにはがれていますか？
     テープが残っているとインクが出にくくなります。
   - インクの装着位置は正しいですか？

3. クリーニングを実行する

   ［はい］ をクリックします。

   クリーニングが開始されます。

4. クリーニングを完了する

   続けてノズルチェックパターン印刷のメッセージが表示されます。

5. 結果を確認する

   改善されているか確認する場合は **［はい］** を、確認しない場合は **［いいえ］** をクリックします。

   クリーニングを 1 回行っても改善しないときは、もう一度繰り返してください。

重要

- **［クリーニング］** は少量のインクを使用します。
  頻繁に行うと、インクが早く消費されます。必要な場合のみ実行してください。

［強力クリーニング］

［強力クリーニング］ は、より強力なクリーニング機能です。**［クリーニング］** を 2 回繰り返しても改善しないときに実行してください。

1. リモート UI から **［ユーティリティ］** を選ぶ

2. **［強力クリーニング］** をクリックする

   強力クリーニングの実行前に以下の項目を確認してください。

プリンターの電源が入っていることを確認し、プリンターのカバーを開きます。
各インクについて次の項目をチェックしてください。その後、必要に応じて**［強力クリーニング］**を行ってください。

- インクは残っていますか？
- 音がするまでしっかりと装着されていますか？
- オレンジ色のテープがある場合、きれいにはがれていますか？
  テープが残っているとインクが出にくくなります。
- インクの装着位置は正しいですか？

3. 強力クリーニングを実行する

［はい］をクリックします。

強力クリーニングが開始されます。

4. 強力クリーニングを完了する

続けてノズルチェックパターン印刷のメッセージが表示されます。

5. 結果を確認する

改善されているか確認する場合は**［はい］**を、確認しない場合は**［いいえ］**をクリックします。

重要

- **［強力クリーニング］**は、**［クリーニング］**よりも多くのインクを使用します。
  頻繁に行うと、インクが早く消費されます。必要な場合のみ実行してください。

参考

- **［強力クリーニング］**を行っても改善しないときは、プリンターの電源を切り、24 時間経過してからもう一度実行してください。それでも改善しないときは、インクがなくなっているか、プリントヘッドが消耗している可能性があります。この場合の具体的な対処方法については、「インクが出ない」を参照してください。

関連項目

- ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドの位置を調整する

ヘッド位置調整を行うと、プリントヘッドの取り付け位置の誤差が補正され、色や線のずれなどが改善されます。

［ヘッド位置調整-自動］

1. リモート UI から［**ユーティリティ**］を選ぶ
2. ［**ヘッド位置調整-自動**］をクリックする

   メッセージが表示されます。
3. プリンターに用紙をセットする

   カセットに A4 サイズの普通紙を 1 枚セットします。
4. ヘッド位置調整を実行する

   プリンターの電源が入っていることを確認して、［**はい**］をクリックします。
   ヘッド位置調整が開始されます。画面のメッセージに従って操作してください。

   重要

   - 印刷中は、スキャナーユニット/カバーを開けないでください。スキャナーユニット/カバーを開けると印刷が途中で止まります。

参考

- ［**ヘッド位置調整値を印刷**］をクリックすると、現在の設定を印刷して確認することができます。

パソコンでインクの状態を確認する

インクの残量や、お使いの機種に合ったインクタンクの名称などを確認できます。

リモート UI から**［プリンターの状態］**を選ぶと、インクの状態が、イラストで表示されます。

［推定インクレベル］

インクの種類と状態が確認できます。

インク残量警告やインクなしエラーが発生すると、アイコンを表示して知らせます。

［インクの型番］

プリンターに合ったインクタンクを調べることができます。

参考

- インクの状態は、プリントダイアログのポップアップメニューから**［サプライのレベル］**を選んでも確認できます。

プリンターを清掃する

- プリンターの外側を清掃する
- 原稿台の周辺部分を清掃する
- ADF（自動原稿給紙装置）を清掃する
- 給紙ローラーをクリーニングする
- インクふき取りクリーニングを行う
- カセットの内部を清掃する

給紙ローラーをクリーニングする

給紙ローラーに紙粉や汚れがつくと、用紙がうまく送られないことがあります。そのような場合は、給紙ローラーのクリーニングを行います。給紙ローラーのクリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4 またはレターサイズの普通紙 3 枚

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面で（セットアップ）を選ぶ

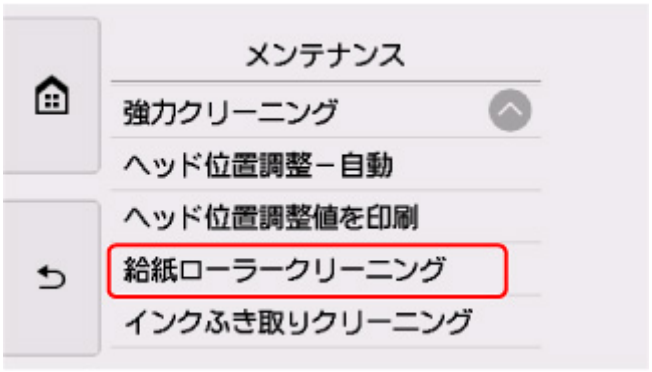
   タッチスクリーンの使いかた

   セットアップメニュー画面が表示されます。

3. ［メンテナンス］を選ぶ

   ［メンテナンス］画面が表示されます。

4. ［給紙ローラークリーニング］を選ぶ



   確認画面が表示されます。

5. ［はい］を選ぶ

6. 給紙ローラーをクリーニングする給紙箇所（［後トレイ］または［カセット］）を選ぶ

7. メッセージに従って、選んだ給紙箇所にセットされている用紙をすべて取り除く

   カセットの給紙ローラーをクリーニングする場合は、カセットの用紙を取り除いてから、カセットを元に戻してください。

8. ［OK］を選ぶ

   給紙ローラーが回転し、用紙を使用しないクリーニングが開始されます。

9. 給紙ローラーの回転が停止したことを確認し、メッセージに従って、給紙ローラーをクリーニングしている給紙箇所に A4 またはレターサイズの普通紙を 3 枚セットする

- 後トレイに普通紙や写真用紙、はがきをセットする
- カセットに普通紙をセットする

10. ［OK］を選ぶ

クリーニングが開始されます。用紙が排出されるとクリーニングが終了します。

11. クリーニング終了のメッセージが表示されたら、［OK］を選ぶ

上記の操作を行っても改善されない場合は、キヤノンホームページまたはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

インクふき取りクリーニングを行う

プリンター内部の汚れを取ります。プリンター内部が汚れていると、印刷した用紙が汚れる場合がありますので、定期的に行うことをお勧めします。

用意するもの：A4 またはレターサイズの普通紙 *1 枚

* 新しい用紙を用意してください。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面で （セットアップ）を選ぶ

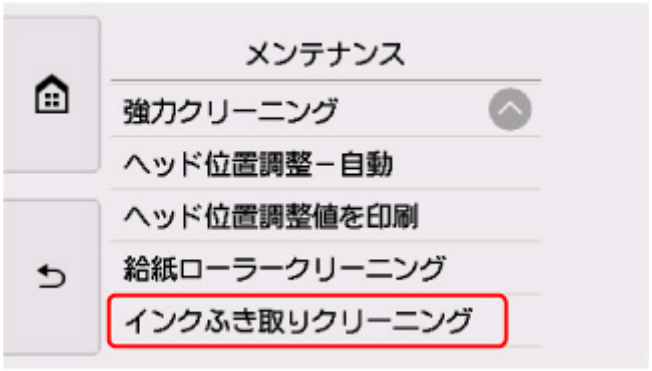
   タッチスクリーンの使いかた

   セットアップメニュー画面が表示されます。

3. ［メンテナンス］を選ぶ

   ［メンテナンス］画面が表示されます。

4. ［インクふき取りクリーニング］を選ぶ



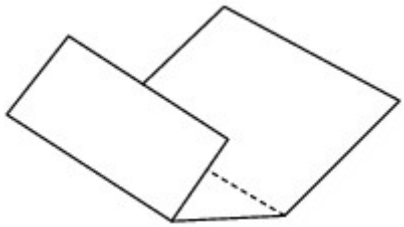
   確認画面が表示されます。

5. ［はい］を選ぶ

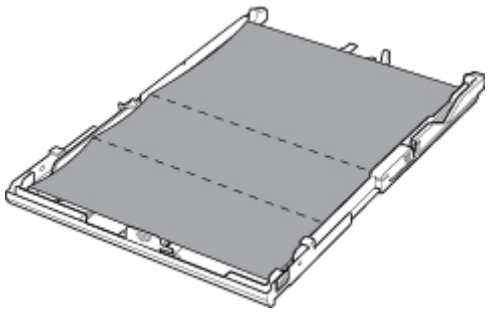
6. メッセージに従って、カセットにセットされている用紙をすべて取り除き、［OK］を選ぶ

7. A4 またはレターサイズの普通紙を横半分に折ってから、開く

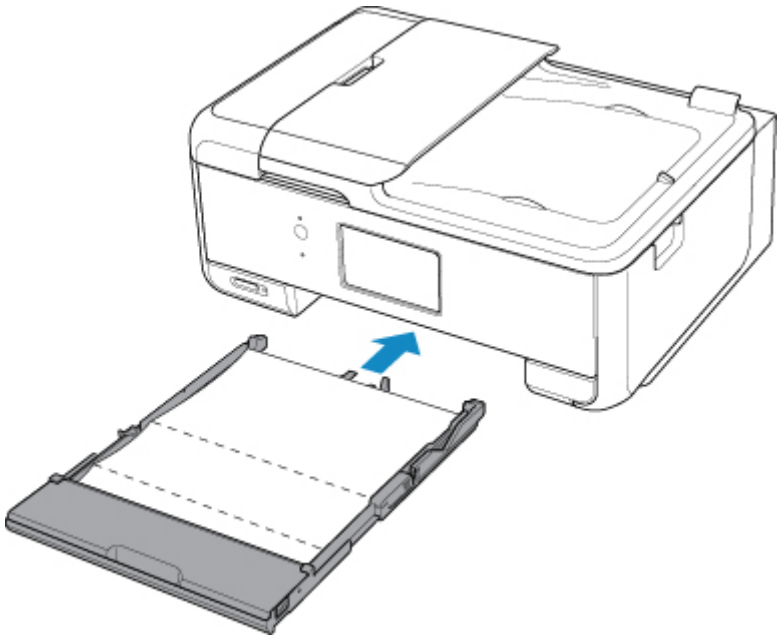
8. 開いた片側を中央の折り目に合わせて折ってから開き、［OK］を選ぶ



9. 開いた面（谷折り）を下にし、折りしろの広いほうが奥になるように、カセットに 1 枚だけセットする



10. カセットカバーを取り付け、カセットを本体に差し込む



11. ［OK］を選ぶ

インクふき取りクリーニングが実行され、用紙が排出されます。

排出された用紙の山折り部分を確認し、インクが付いている場合は再度クリーニングを行います。

12. インクふき取りクリーニング終了のメッセージが表示されたら、［OK］を選ぶ

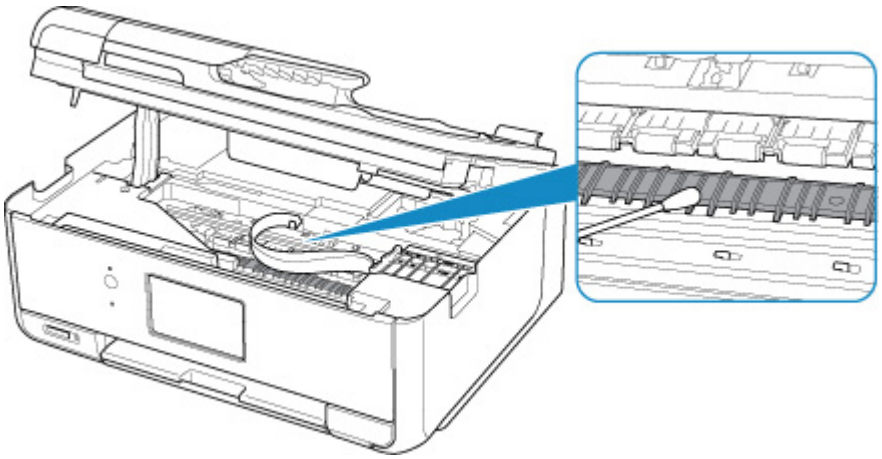
参考

- 再度インクふき取りクリーニングを行う場合は、新しい用紙をご使用ください。

再度クリーニングを行ってもインクが付くときは、プリンター内部の突起が汚れている場合があります。綿棒などを使って突起からインク汚れを丁寧にふき取ってください。

重要

- 清掃する前に、電源を切り、電源プラグを抜いてください。



本製品の基本情報

- **安全ガイド**
  - 安全にお使いいただくために
  - 法規制情報
- **取り扱い上のご注意**
  - 印刷を中止するときは
  - 原稿をスキャンするときの注意事項
  - 使用時の注意
  - プリンターを移送するときの注意
  - プリンターの修理依頼・貸与・譲渡・破棄をするときの注意
  - いつもきれいな印刷を楽しむためのポイント
- **各部の名称と使いかた**
  - 各部の名称と役割
  - 電源について
  - タッチスクリーンの使いかた
- **プリンターの設定を変更する**
  - パソコンで設定を変更する（Windows）
  - パソコンで設定を変更する（macOS）
  - プリンターの操作パネルで設定を変更する
- **仕様**

安全ガイド

- 安全にお使いいただくために
- 法規制情報

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために

- 安全にお使いいただくために、以下の事項を必ずお守りください。また、本製品の取扱説明書に記載されていること以外は行わないでください。思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因になります。
- 各安全マーク/宣言文は、それぞれ該当する国/地域の電圧/周波数にのみ有効です。

⚠警告

- 心臓ペースメーカーをお使いの方へ

  本製品からは微弱な磁気が出ています。異常を感じた場合は、本製品から離れて、医師にご相談ください。

- 以下の場合はすぐに電源を切ってください

  そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。すぐに電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上、修理を依頼してください。

  - ■■ 本体内部に異物（金属片や液体など）が入った。
  - ■■ 発煙した、異臭がする、異音がする。
  - ■■ 電源プラグや電源コードが、発熱している、錆びている、曲がっている、擦れている、損傷がある。

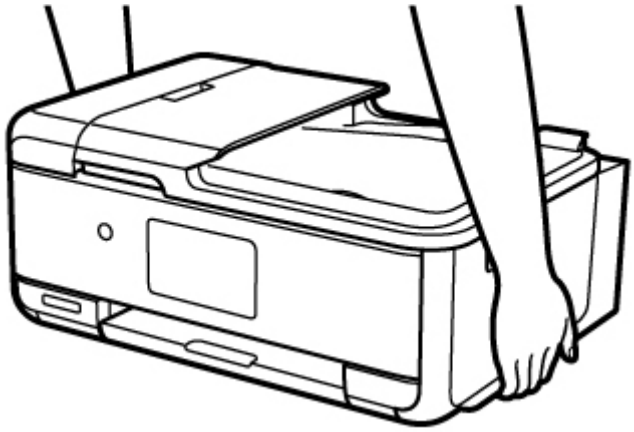
- 守ってください（火災・感電・けがの原因）
  - ■■ 本製品をアルコール、シンナーなどの可燃性溶剤の近くに設置しない。
  - ■■ 本製品を分解、改造しない。
  - ■■ 付属のケーブル類を使用する。また、付属のケーブル類を、他の機器に転用しない。
  - ■■ 指定された電源電圧や周波数以外で使用しない。
  - ■■ 電源プラグを確実にコンセントの奥まで差し込む。
  - ■■ 電源プラグは濡れた手で抜き差ししない。
  - ■■ 電源コードを傷つけない／加工しない／引っ張らない／束ねない／結ばない／無理に曲げない。
  - ■■ 電源コードに重いものをのせない。
  - ■■ 1 つのコンセントに複数の電源プラグを差し込まない。延長コードを複数接続しない。
  - ■■ 近隣で雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜き、本製品を使用しない。
  - ■■ 清掃するときは、ケーブル類と電源プラグは必ず抜き、アルコール、シンナーなどの可燃性の高いスプレーや液体は使用しない。
  - ■■ 電源プラグや電源コードは 1 か月に 1 度コンセントから抜いて、ほこりがたまっていないか、発熱、錆び、曲がり、擦れ、亀裂のような異常な状態になっていないかを確認する。

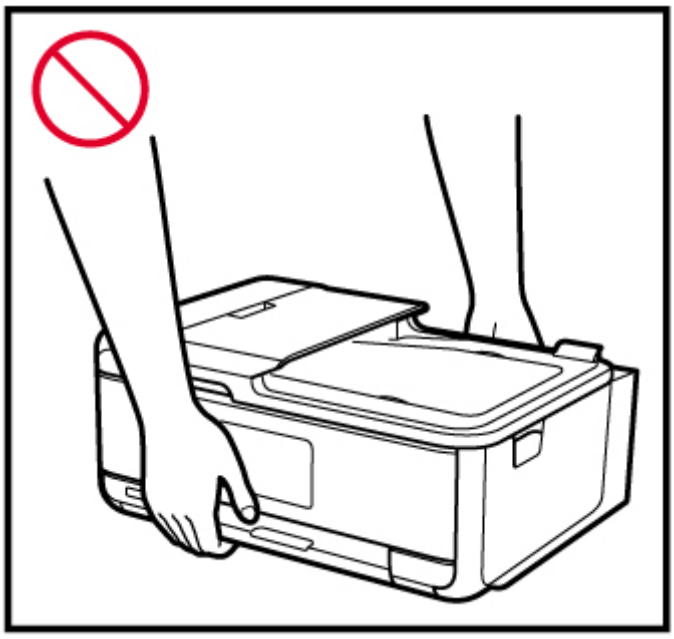
⚠注意

- 印刷中はプリンター内部に手を入れない。
- 印刷直後、プリントヘッドやカートリッジの金属部分に手を触れない。
- インクについて
  - ■■ 乳幼児の手の届く場所にインクタンクを放置しない。
  - ■■ 誤ってインクをなめたり、飲んだりした場合は、口をすすがせるか、コップ 1、2 杯の水を飲ませてください。万一、刺激や不快感が生じた場合には、直ちに医師にご相談ください。
  - ■■ インクが目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けん水で洗い流してください。万一、目や皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師にご相談ください。

- プリンターを運ぶときは

  カセット部などを持たないでください。必ず本体側面を両手でしっかり支えて持つようにします。





取り扱い上のご注意

設置場所について

使用環境については、「仕様」を参照してください。

- 不安定な場所や振動のある場所に設置しないでください。
- 高温になる場所（直射日光が当たる場所、火気の近くなど）、湿度の高い場所、屋外、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 毛足の長いじゅうたんやカーペットの上に設置しないでください。毛やほこりが本体内部に入る恐れがあります。
- プリンター背面を壁に接触させて設置しないでください。

電源について

- いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周囲にはものを置かないでください。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

  コードを引っ張ると、損傷することがあります。

その他

- プリンターを「傾ける」、「立てる」、「逆さにする」などの行為はやめてください。インクが漏れる恐れがあります。
- プリンターの上にものを置かないでください。

  特にクリップやホチキス針などの金属物、液体や引火性溶剤（アルコール・シンナー）の入った容器などを置かないでください。

- 原稿をセットするときには、以下のことに注意してください。スキャナーが正しく動作しなくなったり、原稿台のガラス面が破損したりすることがあります。
  - 原稿台のガラス面に 2.0 kg 以上の物をのせない
  - 原稿を強く押さえる（2.0 kg を超える力で）など、原稿台のガラス面に重みをかけない
- インクタンクを火中に投じないでください。
- インクタンクに穴を開けるなどの改造や分解をするとインクが漏れ、故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
- 本製品は、エコマークに基づく揮発性物質の放散基準を満たしていますが、より快適な環境を保つため、部屋の換気を行うようにしてください。

法規制情報

電波について

使用上の注意

- 本製品を医療用の装置や電子機器の近くで使用しないでください。電波の干渉により、それらの装置や機器の動作や性能に影響を与えることがあります。
- 本製品には電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線装置に貼付されています。

電波干渉に関するご注意

本プリンターの使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本プリンターを使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本プリンターから移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、「サポートガイド」を参照し、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）について相談してください。
3. その他、本プリンターから移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「サポートガイド」を参照し、お問い合わせください。

環境および化学安全情報

製品の環境情報および化学安全情報（SDS）につきましては、キヤノンのウェブサイト（canon.jp/ecology）にてご覧いただけます。

使用済み製品の廃棄について

ご家庭で使用された場合は、お住まいの地方自治体のルールに従い、一般廃棄物として廃棄をお願いいたします。
業務上使用された場合は、産業廃棄物として廃棄をお願いいたします。
キヤノンのウェブサイト（canon.jp/ecology）でも処理についてのご案内をしておりますので、ご確認ください。

取り扱い上のご注意

- 印刷を中止するときは
- 原稿をスキャンするときの注意事項
- 使用時の注意
- プリンターを移送するときの注意
- プリンターの修理依頼・貸与・譲渡・破棄をするときの注意
- いつもきれいな印刷を楽しむためのポイント

原稿をスキャンするときの注意事項

以下を原稿としてスキャンするか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合をのぞき違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題になることがあります。

通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしい物を作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 郵便為替証書
- 株券、社債券
- 定期券、回数券、乗車券
- 国債証券、地方債証券
- 郵便切手、印紙
- 手形、小切手
- その他の有価証券

公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許書、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

[関係法律]

- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国二於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造二関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

使用時の注意

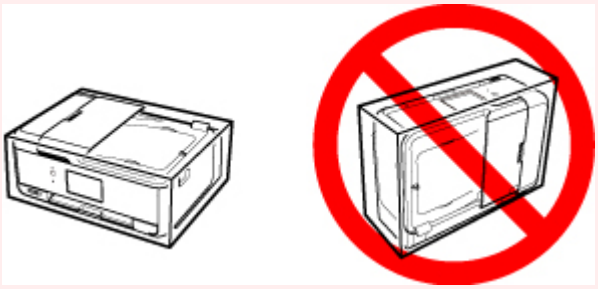
原稿排紙口の中に物が入り込まないようにご注意ください。故障の原因になります。

プリンターを移送するときの注意

引越しや修理などでプリンターを別の場所に移送するときは、次のことに注意してください。

重要

- 丈夫な箱にプリンターの底面が下になるように入れ、保護材を十分につめて梱包し、プリンターが安全に移送されるようにしてください。
- プリントヘッド、インクタンクは取り付けた状態で、プリンターの電源ボタンを押して電源をお切りください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため自動的にキャップをして保護します。
- 梱包後は、箱を傾けたり、立てたり、逆さにしたりしないでください。輸送中にインクが漏れるおそれがあります。
- 運送業者に輸送を依頼するときは、プリンターの底面を下にした状態で、「精密機器」および「天地無用」を指定してください。



1. プリンターの電源を切る
2. 電源ランプが消えていることを確認して、電源プラグをコンセントから抜く

   重要

   - 電源ランプが点灯／点滅しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。プリンターの不良や故障の原因になり、印刷できなくなることがあります。
3. トレイ類を収納する
4. 操作パネルを閉じる
5. カセットを縮める
6. 接続ケーブルと電源コードを取り外す
7. 各カバー類が開かないようにテープを貼って固定し、袋に入れる
8. プリンターの周囲を保護材ではさんで箱に入れる

プリンターの修理依頼・貸与・譲渡・破棄をするときの注意

プリンターに個人情報を登録したり、各種パスワードなどのセキュリティ情報を設定したりしたときは、それらの情報がプリンター内に残っている可能性があります。

情報の漏洩をさけるため、プリンターを修理・貸与などで一時的に手放すときや、譲渡または破棄するときは、以下の作業を行ってください。

- ホーム画面から （セットアップ）→［本体設定］→［設定リセット］→［すべてリセット］→［はい］を順に選んでください。

なお、ファクス機能のあるプリンターに登録したユーザー情報や短縮ダイアルを、修理後のプリンター、または他のキヤノンプリンターに移管する必要がある場合は、設定のリセットをする前に「短縮ダイヤルツール 2」により、パソコンにデータを保存してください。

- 短縮ダイヤルツール 2 を使って送信先を登録する（Windows）
- 短縮ダイヤルツール 2 を使って送信先を登録する（macOS）

いつもきれいな印刷を楽しむためのポイント

きれいな印刷を保つカギは、プリントヘッドの乾燥と目づまりを防ぐこと。そのために次のことを守って、いつもきれいな印刷を楽しんでください。

参考

- 用紙によっては、印刷した部分を蛍光ペンや水性ペンでなぞったり、水や汗が付着したりすると、インクがにじむことがあります。

電源が切れるまで電源プラグは抜かない

電源ボタンを押して電源を切ると、本製品は自動的にプリントヘッド（インクのふき出し口）にキャップをして乾燥を防ぐようになっています。ところが、電源ランプが消える前にコンセントから電源プラグを抜いてしまうと、プリントヘッドが正しくキャップされずに乾燥や目づまりの原因となります。

電源プラグを抜くときは電源ランプが消えていることを確認してください。

定期的に印刷しよう

サインペンは長期間使われないと、キャップをしていてもペン先が乾いて書けなくなることがあります。同様に、プリントヘッドも印刷をしないと乾燥して目づまりを起こす場合があります。最低でも、月に 1 回程度は印刷することをお勧めします。

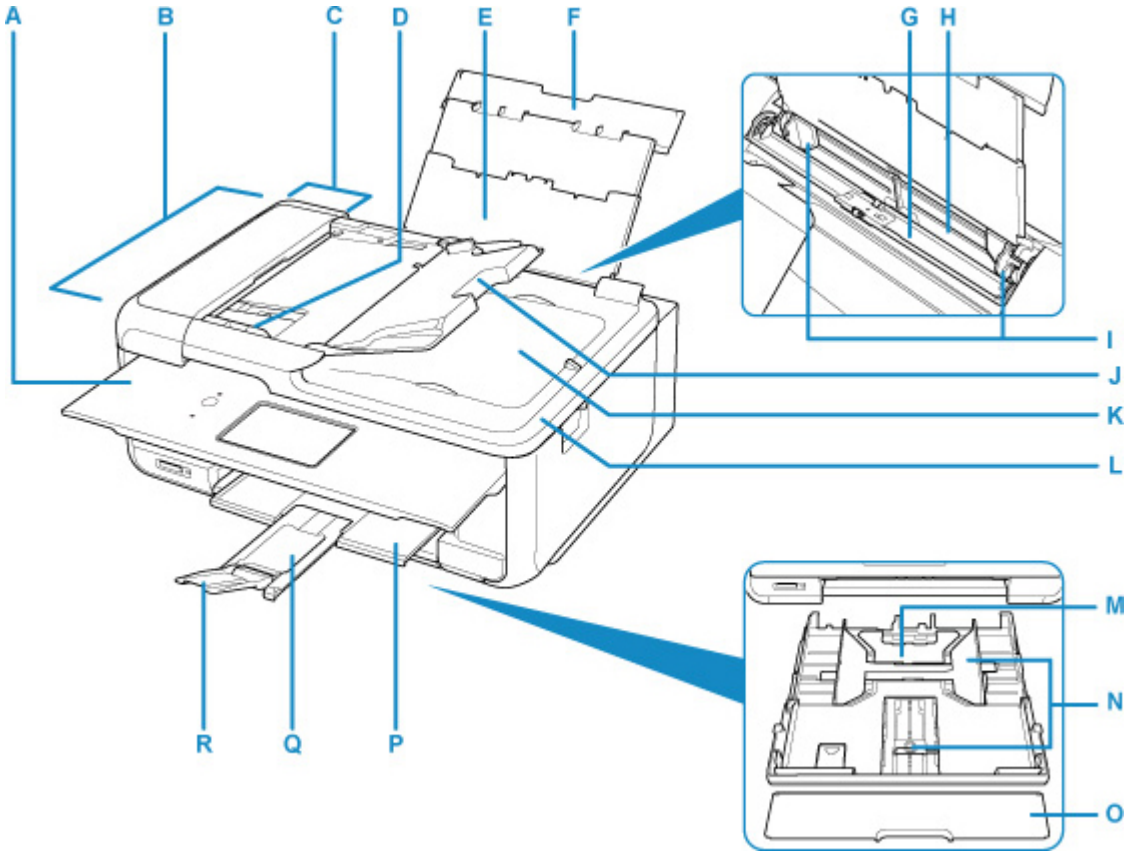
各部の名称と使いかた

- 各部の名称と役割
- 電源について
- タッチスクリーンの使いかた

各部の名称と役割

- 前面
- 背面
- 内部
- 操作パネル

前面



A：操作パネル

プリンターの設定や操作をするときに使用します。

- 操作パネル

B：ADF（自動原稿給紙装置）

原稿をセットします。原稿トレイにセットした原稿を、1 枚ずつ自動的に読み取ります。

- ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする

C：原稿フィーダーカバー

原稿の紙づまりを処理するときに開きます。

D：原稿ガイド

ADF にセットした原稿の幅に合わせて、このガイドを調整します。

E：用紙サポート

後トレイに用紙をセットするときに引き伸ばします。

F：後トレイカバー

後トレイに用紙をセットするときに開きます。

G：給紙口カバー

給紙口に物が落ちるのを防ぎます。

用紙ガイドを動かすときは開き、印刷する前に閉じてください。

H：後トレイ

一度に同じサイズ、種類の用紙を複数枚セットでき、自動的に 1 枚ずつ給紙されます。

- 後トレイに普通紙や写真用紙、はがきをセットする
- 後トレイに封筒をセットする

I：用紙ガイド

用紙の両端に合わせます。

J：原稿トレイ

ADF に原稿をセットするときに開きます。一度に同じサイズ、厚さの原稿を複数枚セットすることができます。原稿は読み取る面を上にして、セットしてください。

K：原稿排紙口

ADF から読み取った原稿が排紙されます。

L：原稿台カバー

原稿台に原稿をセットするときに開きます。

M：カセット

A4、B5、A5、レターサイズなどの普通紙をセットして、本体へ差し込みます。

■ カセットに普通紙をセットする

N：用紙ガイド

用紙の両端および手前に合わせます。

O：カセットカバー

カセットに用紙をセットするときに外します。

P：排紙トレイ

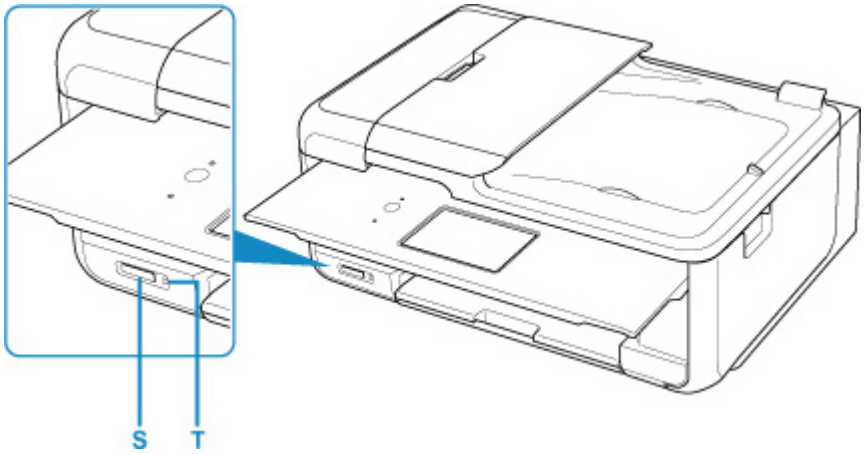
印刷された用紙が排紙されます。印刷する前に、手前に引き出してください。

Q：排紙サポート

排紙された用紙を支えるために手前に引き出します。

R：補助トレイ

排紙された用紙を支えるために手前に開きます。



S：カードスロット

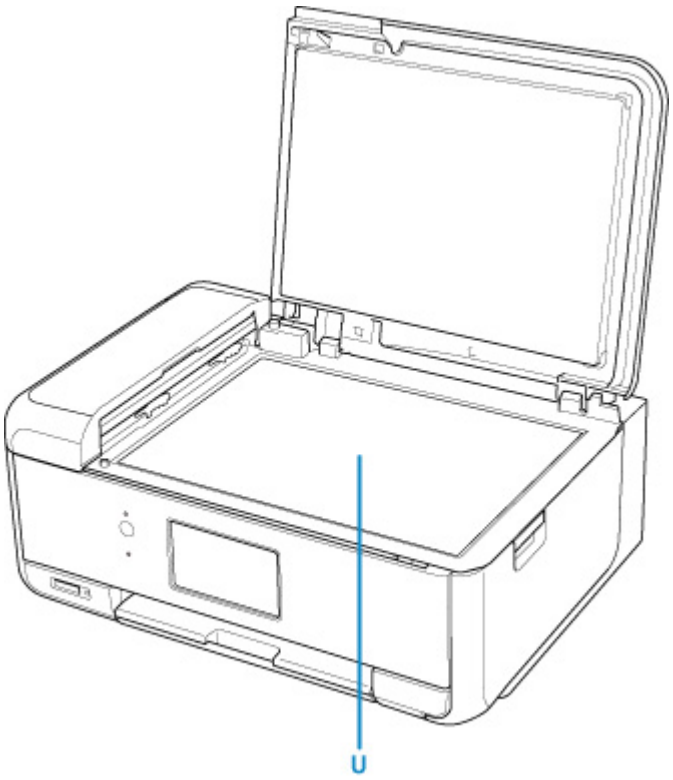
メモリーカードをセットします。

■ メモリーカードをセットする前に

T：アクセスランプ

点灯または点滅して、メモリーカードの状態を知らせます。

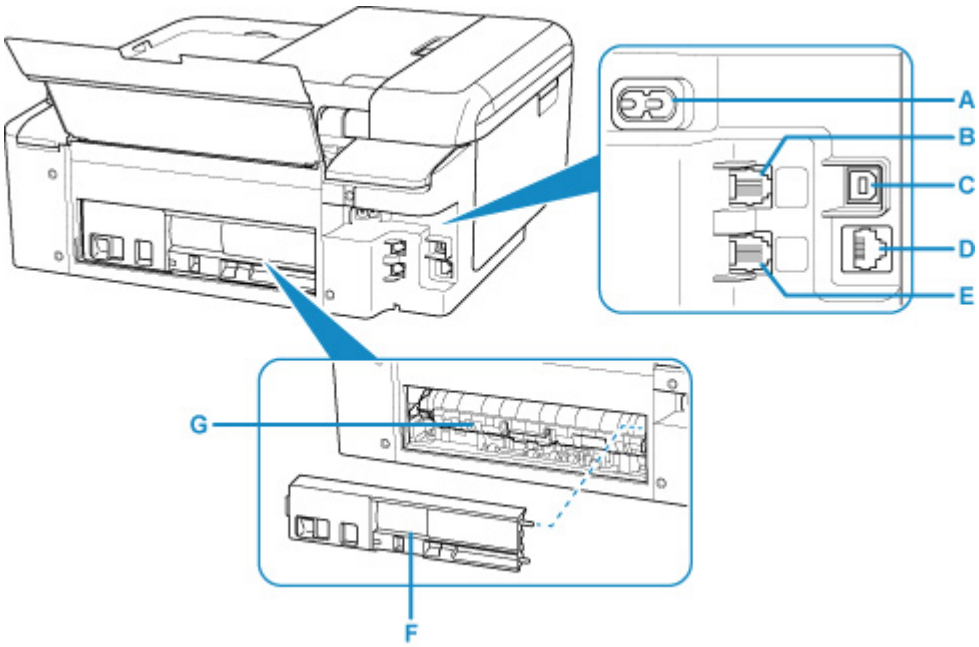
■ メモリーカードをセットする



U：原稿台

原稿をセットします。

背面



A：電源コード接続部

付属の電源コードを接続するためのコネクタです。

B：電話回線接続部

電話回線を接続するためのコネクタです。

C：USB ケーブル接続部

USB ケーブルでパソコンと接続するためのコネクタです。

D：LAN ケーブル接続部

LAN ケーブルでネットワーク接続するためのコネクタです。

E：外付け機器接続部

電話機や留守番電話機を接続するためのコネクタです。

F：背面カバー

紙づまりのときに取り外します。

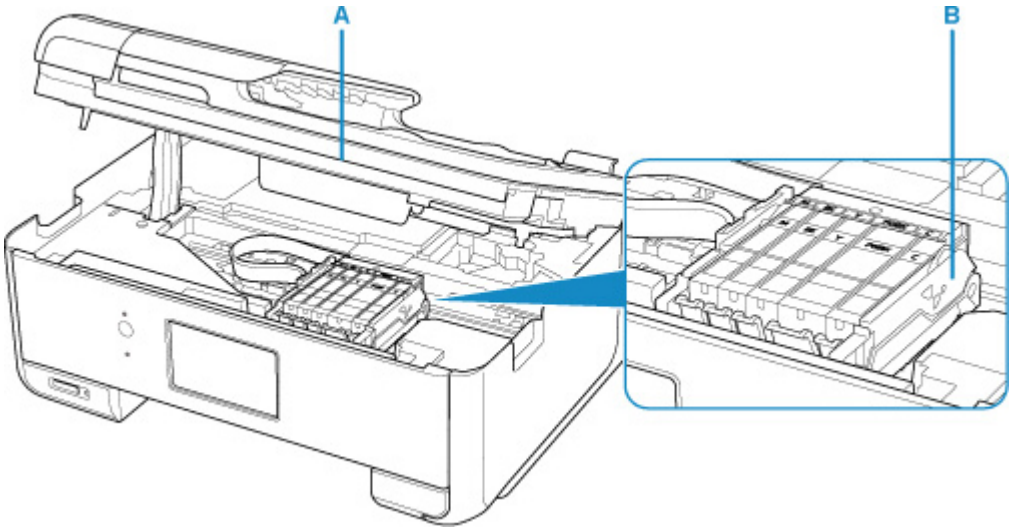
G：搬送ユニットカバー

紙づまりのときに取り外し、つまった用紙を取り除きます。

重要

- 金属部分に触れないでください。
- パソコンにプリンターを接続して印刷または画像をスキャンしているときに、USB ケーブルを抜き差ししないでください。故障の原因になります。

内部



A：スキャナーユニット/カバー

原稿を読み取ります。また、インクタンクを交換するときや、内部につまった用紙を取り除くときに持ち上げて開きます。

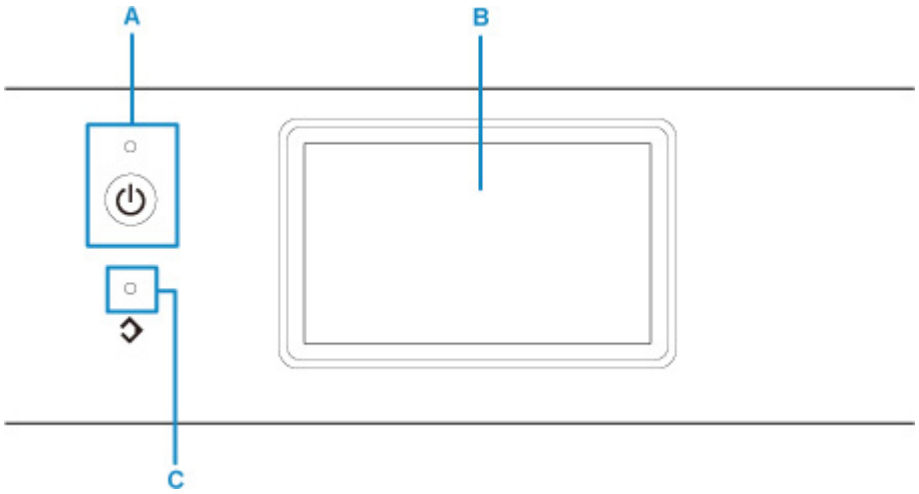
B：プリントヘッドホルダー

プリントヘッドが取り付けられています。

参考

- インクタンクの交換方法は、「インクタンクを交換する」を参照してください。

操作パネル



A：電源ボタン／電源ランプ

電源を入れる／切るときに押します。電源を入れると点滅した後、点灯します。電源を入れるときは、原稿台カバーを閉じてください。

B：タッチスクリーン

メッセージやメニュー項目、動作状況などが表示されます。画面に直接指先で軽く触れてメニュー項目や表示ボタンを選ぶことができます。

タッチスクリーンの使いかた

C：ファクスメモリーランプ

プリンターのメモリーに受信原稿や未送信原稿があるときに点灯します。

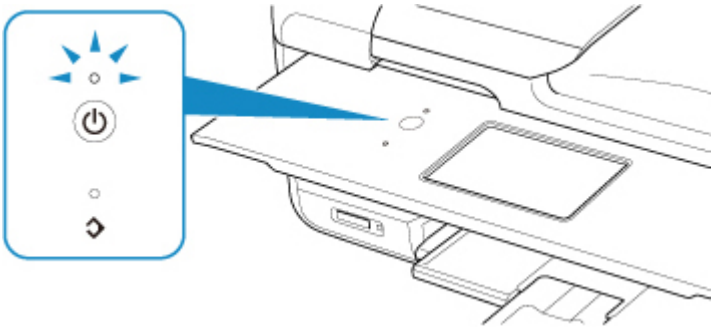
電源について

- 電源が入っているか確認する
- 電源を入れる／切る
- 電源プラグ／電源コードについて
- 電源プラグを抜く

電源が入っているか確認する

電源が入っているときは、電源ランプが点灯します。

電源ランプが点灯しているときは、タッチスクリーンが消えていても、電源が入っている状態です。



参考

- 電源を入れた直後は、印刷が開始されるまで少し時間がかかります。
- 約 10 分間操作をしないと、タッチスクリーンの表示が消えます。そのときは、タッチスクリーンをタッチすると画面が表示されます。また、パソコンなどから印刷を開始しても、タッチスクリーンの表示が復帰します。

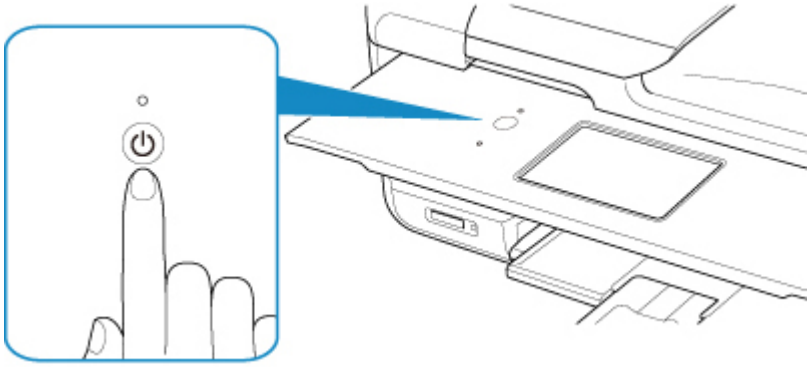
電源を入れる／切る

電源を入れる

プリンターの電源ボタンを押して、電源を入れる

電源ランプが点滅した後、点灯します。

■ 電源が入っているか確認する



参考

- 電源を入れた直後は、印刷が開始されるまで少し時間がかかります。
- タッチスクリーンにエラーメッセージが表示された場合は、「トラブルが発生したときは」を参照してください。
- USB 接続または Wi-Fi のネットワーク経由で印刷やスキャンなどを開始したとき、自動的にプリンターの電源が入るように設定することができます。お買い上げ時は、自動で電源が入る設定にはなっていません。

  プリンターから行う

  ■ ECO 設定について

  パソコンから行う

  ■ Windows をご使用の場合：

  ■ プリンターの電源を操作する

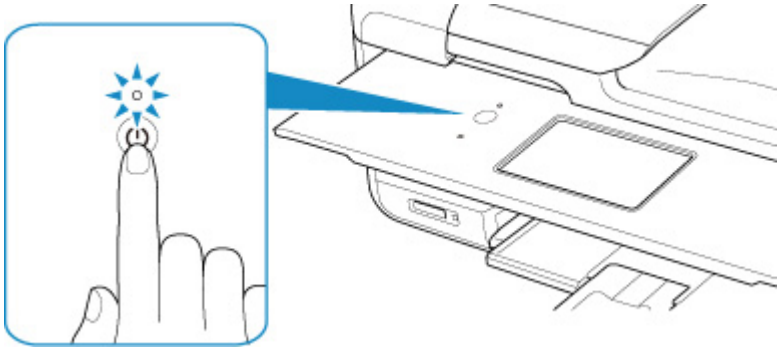
  ■ macOS をご使用の場合：

  ■ プリンターの電源を操作する

電源を切る

プリンターの電源ボタンを押して、電源を切る

電源ランプの点滅が終わると電源が切れます。



重要

- 電源を切ったあと電源プラグを抜くときは、電源ランプが消えたことを確認してください。

参考

- 一定時間、プリンターの操作をしなかったり、パソコンなどから印刷が開始されなかったりする場合は、自動的に電源を切るように設定することができます。お買い上げ時は、自動で電源を切る設定になっています。

  プリンターから行う

  - ECO 設定について

  パソコンから行う

  - Windows をご使用の場合：
    - プリンターの電源を操作する
  - macOS をご使用の場合：
    - プリンターの電源を操作する

電源プラグ／電源コードについて

電源プラグや電源コードは１ヶ月に一度コンセントを抜いて、下記のような異常な状態になっていないか確認してください。

- 発熱していないか
- さびていないか
- 曲がっていないか
- 擦れていないか
- 裂けていないか

⚠注意

- 電源プラグや電源コードが上記のように異常な状態になっている場合は、そのまま使用すると火災や感電の原因となることがあります。電源プラグをコンセントから抜き、キヤノンホームページまたはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

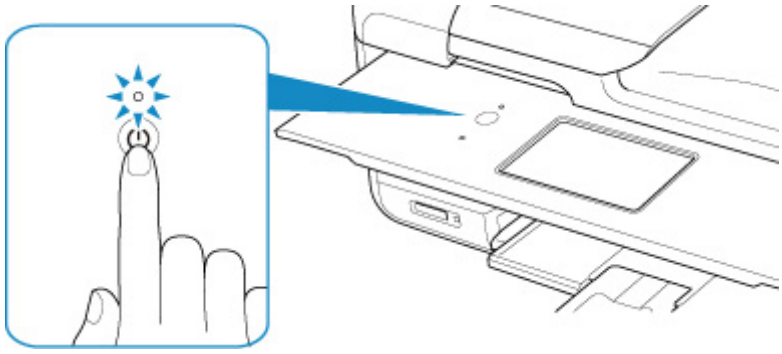
電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くときは、かならず以下の手順に従ってください。

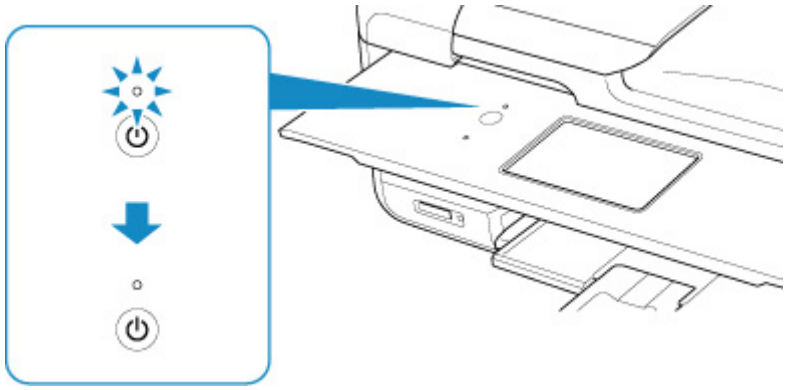
重要

- 電源プラグは、電源ボタンを押して電源ランプが消えたことを確認してから抜いてください。電源ランプが点灯または点滅中に電源プラグを抜くと、プリントヘッドの乾燥や目づまりの原因となり、きれいに印刷できなくなる場合があります。
- 電源プラグを抜くと、日付・時刻情報はリセットされ、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。電源プラグを抜くときは、必要なファクスを送信または印刷するか、メモリーカードに保存してください。

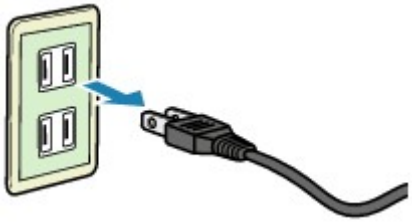
1. プリンターの電源ボタンを押して、電源を切る



2. 電源ランプが消えたことを確認する



3. 電源プラグをコンセントから抜く



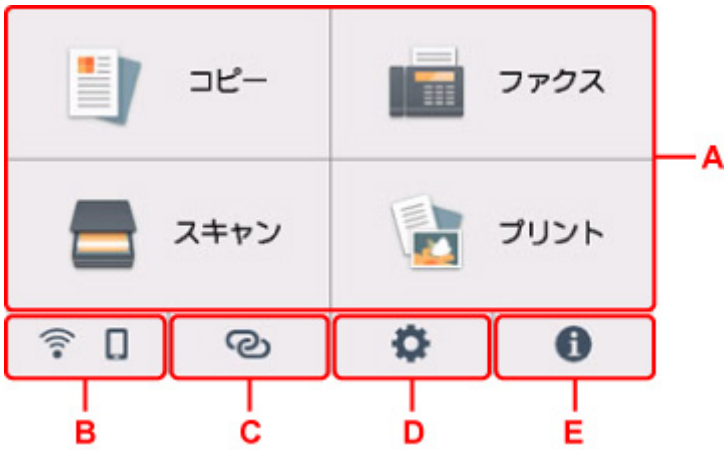
タッチスクリーンの使いかた

プリンターの電源を入れると、タッチスクリーンにホーム画面が表示されます。

タッチスクリーンを指で操作して、コピーやスキャンなどを行うメニューを選びます。

- ホーム画面
- タッチスクリーンに表示されるアイコン
- タッチスクリーンの基本操作

ホーム画面



A：基本メニュー

プリンターの操作パネルからコピーやスキャンなどを行うときに選びます。基本メニューを選んだあと、それぞれ詳細なメニューが表示されます。

B：ネットワーク

ご利用のネットワークが表示されます。また、ネットワークの基本情報の表示や、ネットワークの設定を行うときに選びます。

ご利用のネットワークや状況によって、表示されるアイコンが異なります。

Wi-Fi が有効になっていて、Wi-Fi ルーターと接続できています。

参考

- 電波の状態によって、表示されるアイコンは変化します。

  （電波強度：81%以上）：通常に使用できます。

  （電波強度：51%以上）：ネットワーク状況によっては印刷できないなど、不具合が発生する可能性があります。プリンターと Wi-Fi ルーターを近づけることをお勧めします。

  （電波強度：50%以下）：印刷できないなど、不具合が発生する可能性があります。プリンターと Wi-Fi ルーターを近づけて、ご使用ください。

Wi-Fi は有効になっていますが、Wi-Fi ルーターと接続できていません。

無線ダイレクトが有効になっています。

ネットワークが無効になっています。

C：ワイヤレスコネクト

スマートフォン／タブレットと PC/スマホでかんたん接続で Wi-Fi 接続するときや、Bluetooth 接続するときに選びます。

ボタンをタップすると接続開始の確認画面が表示され、ボタンを長くタッチすると直接、PC/スマホでかんたん接続と Bluetooth 接続の待ち受けモードになります。

- PC/スマホでかんたん接続
- Bluetooth 設定

D：セットアップ

プリンターの設定の変更や、お手入れを行うときに選びます。

本製品のアップデートの通知や、PIXUS/MAXIFY クラウドリンクからお知らせがある場合は、

（NEW）と表示されます。

- ファームウェアのアップデート
- PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する

E：ヒント

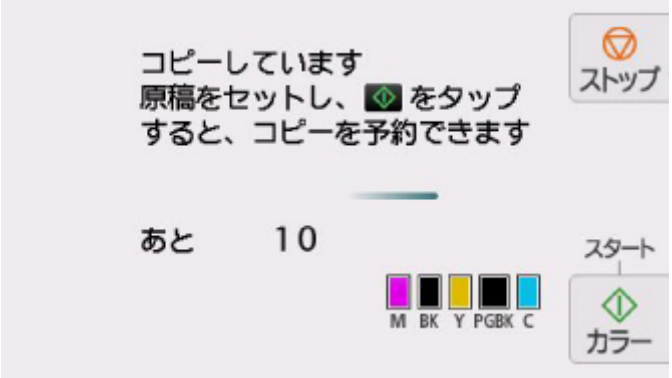
用紙のセット方法やエラーの対処などのクイックガイドや、インクの残量の確認、プリンターの各種情報などを表示するときに選びます。

参考

- 設定項目の変更については、「プリンターの操作パネルで設定を変更する」を参照してください。

タッチスクリーンに表示されるアイコン

タッチスクリーンに表示された画面によって、両端に使用できる機能のアイコンが表示されます。



（ホーム）

ホーム画面を表示するときにタップします。

（戻る）

前の画面に戻るときにタップします。

モノクロ

モノクロでコピー、スキャン、ファクス送信するときなどにタップします。

カラー

カラーでコピー、スキャン、ファクス送信するときなどにタップします。

ストップ

印刷中やコピー中、スキャン中にタップすると、それぞれの動作を中止します。

タッチスクリーンの基本操作

タッチスクリーンに指先で軽く触れたり、触れた指を動かしたりすることで、いろいろな機能や設定などを選ぶことができます。

重要

- タッチスクリーンを操作するときには、以下のことに注意してください。タッチスクリーンが誤動作したり、破損したりすることがあります。
  - タッチスクリーンを指で強く押さない
  - タッチスクリーンを指以外のもの（特にボールペンや鉛筆、爪など先の鋭いもの）で押さない
  - タッチスクリーンに濡れた手や、汚れた手で触れない
  - タッチスクリーン上には何も物を乗せない
- タッチスクリーンに保護フィルムを貼らないでください。はがす際にタッチスクリーンを傷付けるおそれがあります。

タップ

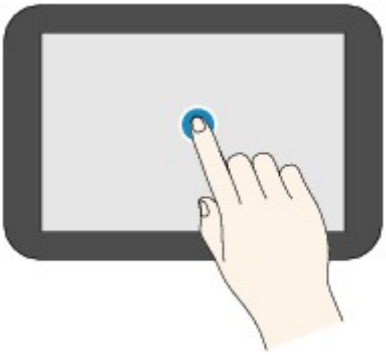
指先で軽く触れ、すぐに離します。

画面の項目や写真を選ぶときなどに使います。

タッチ

指先で軽く触れます。

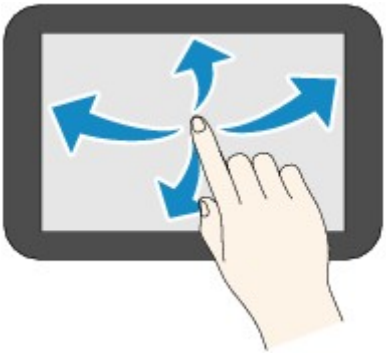
メニューや写真などを連続で進める（戻す）ときは、その方向のマークを押したままにします。



フリック

画面に触れた指を上下左右にはらいます。

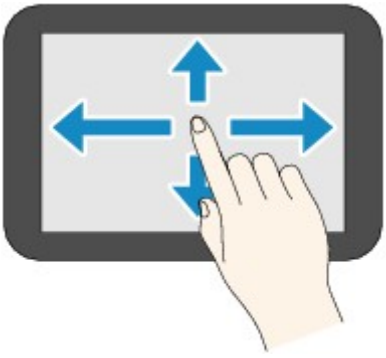
メニュー表示の切り替えや、写真を進める（戻す）ときに使います。



ドラッグ

指先で軽く触れたまま、上下左右に動かします。

項目のリストを見るときや、スライダーを動かすときに使います。



プリンターの設定を変更する

- パソコンで設定を変更する（Windows）
- パソコンで設定を変更する（macOS）
- プリンターの操作パネルで設定を変更する

パソコンで設定を変更する（macOS）

- プリンターの電源を操作する
- プリンターの設定を変更する

プリンターの電源を操作する

リモート UI から、プリンターの電源を操作します。

［省電力設定］

［省電力設定］では、自動電源オフ、自動電源オンの設定を行うことができます。

自動電源オフは、データが送られてこなかったり、プリンターからの操作が一定時間行われなかったりしたときに、自動的にプリンターの電源を切る機能です。
自動電源オンは、データが送られてくると自動的にプリンターの電源が入る機能です。

1. リモート UI から**［本体設定］**を選ぶ
2. **［省電力設定］**をクリックする
3. 以下の項目を設定する

   ［自動電源オフ］
   一覧から設定したい時間を指定します。指定した時間内にデータが送られてこなかったり、プリンターからの操作が行われなかったりしたとき、プリンターの電源が自動的に切れるようになります。

   ［自動電源オン］
   チェックマークを付けると、データが送られてくると自動的にプリンターの電源が入るようになります。

4. 設定を適用する

   ［OK］をクリックします。
   これ以降、プリンターは変更した設定で動作するようになります。

プリンターの設定を変更する

必要に応じてプリンターの設定を変更します。

1. プリンターの電源が入っていることを確認して、リモートUIから**［本体設定］**を選ぶ

2. 必要に応じて、次の項目を設定する

［印刷設定］-［用紙のこすれ改善］

高濃度のページを印刷する場合に、プリントヘッドと用紙の間隔を広げて、用紙のこすれを改善することができます。
用紙のこすれを改善するときはチェックマークを付けます。

［特殊設定］-［用紙の設定不一致を検知］

チェックマークを外すと、パソコンからの印刷時に、プリントダイアログで設定した用紙設定と、プリンター本体で登録する用紙情報が異なっていても、メッセージを表示させずに印刷を続けることができます。

［インク乾燥待ち時間］

次ページの印刷開始までに、プリンターが休止する時間の長さを設定できます。一覧で設定した数字が大きいほど長く、小さいほど短くなります。
印刷面が完全に乾かないうちに次ページが排紙されて、用紙が汚れるような場合は、インク乾燥待ち時間を長く設定してください。
短く設定した場合は、印刷速度が速くなります。

3. 設定を適用する

［OK］をクリックします。

これ以降、プリンターは変更した設定で動作するようになります。

プリンターの操作パネルで設定を変更する

- プリンターの操作パネルで設定を変更する
- プリンターの操作パネルで設定できる項目
- ファクス設定
- 印刷設定
- LAN 設定
- Bluetooth 設定
- PictBridge 設定
- スマホ写真印刷設定
- その他の本体設定
- 言語選択
- ファームウェアのアップデート
- 設定リセット
- 給紙設定
- Web サービス設定
- ECO 設定について
- 夜間利用モードについて
- システム情報

プリンターの操作パネルで設定を変更する

ここでは、フチはみ出し量を設定する操作を例に、本体設定画面の設定変更の手順について説明します。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面で （セットアップ）を選ぶ

   タッチスクリーンの使いかた

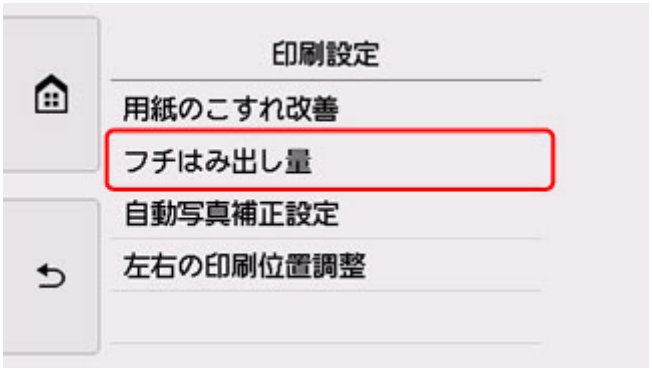
3. ［本体設定］を選ぶ

   ［本体設定］画面が表示されます。

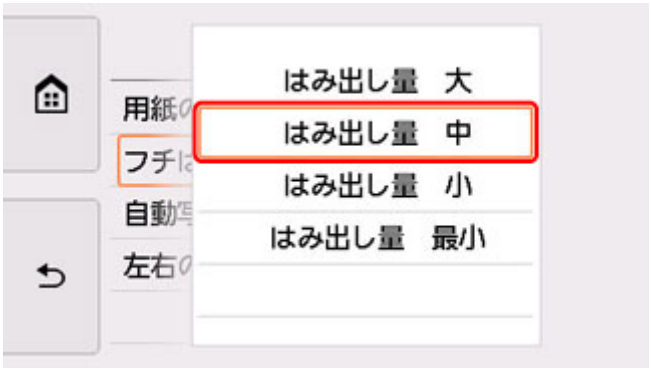
4. 設定したい項目を選ぶ

   選んだメニューの設定画面が表示されます。

5. 設定項目を選ぶ



6. 指定したい設定を選ぶ



プリンターの操作パネルで設定できる項目については、以下を参照してください。

- プリンターの操作パネルで設定できる項目

プリンターの操作パネルで設定できる項目

本体に関する項目

- ファクス設定
- その他の本体設定
- 言語選択
- Web サービス設定
- ECO 設定について
- 夜間利用モードについて

用紙／印刷に関する項目

- 印刷設定
- Bluetooth 設定
- PictBridge 設定
- スマホ写真印刷設定
- 給紙設定

保守／管理に関する項目

- LAN 設定
- ファームウェアのアップデート
- 設定リセット
- システム情報

ファクス設定

- ファクスの基本設定
- ファクスの詳細設定
- 自動印刷設定
- 自動保存設定
- あんしん通信管理
- かんたんセットアップ

参考

- 設定を変更する前にユーザーデータリストを印刷すると、現在の設定を確認できます。
  - 印刷できるレポートとリスト

ファクスの基本設定

- **ユーザー情報設定**

  送信ファクスに印刷される名前、ファクス／ 電話番号を登録します。

  - ユーザー情報を設定する

- **回線種別自動判別**

  プリンターに接続されている電話回線の種類を自動で判別します。

  [**しない**] を選ぶと電話回線の種類を設定できます。

  - 回線種別を設定する

ファクスの詳細設定

- **エラー低減設定（VoIP）**

  [**低減する**] を選ぶと、ひかり電話や IP 電話などインターネット回線に接続しているときの通信エラーの発生率を低減できる可能性があります。

  参考

  - [**低減する**] を選ぶと、V.34（スーパー G3）は使用できなくなります。V.34（スーパー G3）で交信しているときよりも、通信時間が一般的に長くなります。
  - [**送信スタートスピード**]、[**受信スタートスピード**] で [**33600 bps**] を選択していても、この設定が優先されます。

- **自動リダイヤル**

  自動的にリダイヤルするか設定します。

  [**する**] を選ぶと、リダイヤルする回数や、ダイヤルしてから次にリダイヤルするまでの間隔を設定できます。

- **ダイヤルトーン検知**

  発信動作と着信動作が重なったとき、ファクス誤送信を防止します。

  [**する**] を選ぶと、プリンターがダイヤルトーン音を確認してから発信します。

- **ポーズ時間設定**

  "P"（ポーズ）を入力したときのポーズ 1 つ分の長さを設定します。

- **発信元記録位置**

  発信元情報を印刷する位置（画像領域の外または画像領域の中）を設定します。

- **リモート受信**

  リモート受信ができるようにするか選びます。

  [**する**] を選ぶと、リモート受信 ID を変更できます。

  ■■ プリンターに接続されている電話機からファクス受信を指示する（リモート受信）

- **カラー送信処理**

  ADF（自動原稿給紙装置）を使ってカラーでファクスを送信する場合、送信先のファクスがカラーに対応していないときに白黒モードに変換して送信するかを設定します。

  [**送信せずに終了**] を選ぶと、送信先のファクスがカラーに対応していないときにはカラーファクスを送信しません。

- **受信画像縮小**

  セットした用紙サイズにおさまるように、受信ファクスを自動的に縮小するかを設定します。

  [**する**] を選ぶと、縮小する方向を [**縦のみ**] または [**縦横両方**] から選ぶことができます。

- **高度な通信設定**
  - **ECM 送信**

    ECM（自動誤り訂正モード）方式で送信するか設定します。

    ■■ ECM 方式で送受信する
  - **ECM 受信**

    ECM（自動誤り訂正モード）方式で受信するか設定します。

    ■■ ECM 方式で送受信する
  - **送信スタートスピード**

    送信開始時の通信スピードを選びます。

    数値が大きいほど送信スタートスピードが速くなります。

    電話回線や接続の状態がよくないときは、送信スタートスピードを遅くすると、エラーが解消されることがあります。
  - **受信スタートスピード**

    受信開始時の通信スピードを選びます。

    数値が大きいほど受信スタートスピードが速くなります。

    電話回線や接続の状態がよくないときは、受信スタートスピードを遅くすると、エラーが解消されることがあります。

自動印刷設定

- **受信原稿**

  ファクスを受信したとき、自動的に印刷をするかを設定します。

［**印刷しない**］を選ぶと、受信したファクスはプリンターのメモリーに保存されます。

プリンターのメモリーに保存されたファクスについては、以下を参照してください。

■ プリンターのメモリーに保存されているファクスについて

- **通信管理レポート**

  自動的に通信管理レポートを印刷をするか設定します。

  ［**印刷する**］を選ぶと、送受信したファクスの履歴が 20 通信分になったときに自動的に通信管理レポートを印刷します。

  手動で通信管理レポートを印刷する方法については、以下を参照してください。

  ■ 印刷できるレポートとリスト

- **送信結果レポート**

  ファクスを送信したあとに、自動的に送信結果レポート／エラー送信レポートを印刷するかを設定します。

  印刷するときは、［**エラー時のみ印刷**］または［**送信ごとに印刷**］を選んでください。

  ［**エラー時のみ印刷**］または［**送信ごとに印刷**］を選ぶと、送信ファクスの最初のページをレポートの下に印刷するかを選ぶこともできます。

- **受信結果レポート**

  ファクスを受信したあとに、自動的に受信結果レポートを印刷するかを設定します。

  印刷するときは、［**エラー時のみ印刷**］または［**受信ごとに印刷**］を選んでください。

- **インク切れでの印刷**

  インクがなくなったときに、受信したファクスをプリンターのメモリーに保存しないで、強制的に印刷するかを設定します。

  ただし、ファクスを印刷した場合、インク切れにより、部分的もしくはすべて印刷されないことがあります。

自動保存設定

受信したファクスを自動的にメモリーカードに保存するか設定します。

■ 受信したファクスをメモリーカードに自動保存する

あんしん通信管理

- **FAX 番号確認入力**

  ［**する**］を選ぶと、ファクス／電話番号を 2 度入力してから、ファクス送信するように設定します。この設定によってファクスの誤送信を防ぎます。

  ■ 誤送信防止機能を使う

- **送信先の FAX 情報確認**

  ［**する**］を選ぶと、相手先の端末情報が、ダイヤルしたファクス／電話番号と一致するかをプリンターが確認した後、ファクスを送信できるように設定できます。

  ■ 誤送信防止機能を使う

- **オンフックキー設定**

  ［**有効**］を選ぶと、オンフック機能が有効になります。

- **ファクス受信拒否設定**

  ［**する**］を選ぶと、送信元が不明なファクスや、特定の相手からのファクスの受信を拒否するように設定します。

  ■ ファクス受信拒否設定を使う

かんたんセットアップ

ご使用の回線や使用方法に従ってファクス送受信の設定を行います。表示されるメッセージに従って、操作を行ってください。

参考

- セットアップの各設定を個別で設定する、または詳細な設定を行うこともできます。

  設定方法については、以下を参照してください。

  ■ ファクスの準備をする

印刷設定

- **用紙のこすれ改善**

  印刷面がこすれてしまった場合のみ設定します。

  重要

  - 印刷速度が遅くなったり、画質が低下したりする場合があるので、印刷終了後は［しない］に戻してください。

- **フチはみ出し量**

  フチなし全面印刷のときのはみ出し量を設定します。

  フチなし全面印刷では画像は用紙全体に印刷されるように少し拡大されるため、画像の周囲がわずかに欠けます。必要に応じてはみ出し量を設定してください。

  重要

  - 以下の場合には設定が無効になります。

    ■■ PictBridge（Wi-Fi）対応機器からの印刷

    ■■ 定型フォーム印刷

  参考

  - プリンタードライバーやアプリケーションソフトから設定を行っている場合は、その設定が優先されます。
  - フチなし全面印刷をしてもフチありで印刷される場合は、[はみ出し量　大] に設定すると改善される場合があります。

- **自動写真補正設定**

  ［する］を選ぶと、以下の場合に写真データに記録されている Exif 情報を優先して印刷できます。

  - メモリーカードから印刷するときに［写真補正］で［自動写真補正］を選んでいる場合
  - PictBridge（Wi-Fi）対応機器から印刷するときに、PictBridge（Wi-Fi）対応機器側の印刷設定を［標準設定］*、または［入］を選んでいる場合

    * PictBridge (Wi-Fi) 対応機器側の印刷設定を [標準設定] にした場合は、プリンターの [PictBridge 設定］の［写真補正］で［自動写真補正］を選んでください。

- **左右の印刷位置調整**

  左右の余白が均一でない場合に、印刷位置を調整します。

  用紙の左右中央を中心として、左右プラスマイナス 3 mm（0.12 in.）の範囲で 0.1 mm（0.004 in.）刻みで印刷位置を調整できます。

  重要

  - レターサイズまたはリーガルサイズの用紙の場合は、1.5 mm（0.06 in.）より大きい設定値を指定した場合でも、印刷位置を調整できる範囲は左右プラスマイナス 1.5 mm（0.06 in.）までになります。

LAN 設定

- Wi-Fi
- 無線ダイレクト
- 有線 LAN

［詳細情報印刷］を選んで［はい］を選ぶと、ネットワーク設定情報の印刷をすることができます。

- プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

重要

- ネットワーク設定情報を印刷した用紙には、ご使用のパソコンに関する重要な情報が記載されております。お取り扱いには、十分ご注意ください。

Wi-Fi

- **設定情報表示**

  Wi-Fi 接続時のプリンターのネットワーク設定情報が表示されます（プリンターの設定によっては表示されない項目もあります）。

表示される項目名	設定内容
接続状態	有効（接続中）／有効（切断中）／無効
ネットワーク名（SSID）	XXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXX（32 文字以内）
Wi-Fi セキュリティ	無効／WEP(64bit)／WEP(128bit)／WPA-PSK(TKIP)／WPA-PSK(AES)／WPA2-PSK(TKIP)／WPA2-PSK(AES)
電波強度［%］	XXX
IPv4 アドレス	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv4 サブネットマスク	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv4 デフォルトゲートウェイ	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv6 リンクローカルアドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX（32 文字）
Wi-Fi の MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX（12 文字）
プリンター名	XXXXXXXXXXXXXXX（15 文字以内）
Bonjour サービス名	XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX（52 文字以内）

（XX は半角英数字を示す）

- **Wi-Fi の有効/無効**

  Wi-Fi を有効または無効に設定します。

- **Wi-Fi セットアップ**

  Wi-Fi 接続の設定方法を選びます。

  - PC/スマホでかんたん接続

Wi-Fi ルーターを操作せず、各種機器（スマートフォンなど）から直接プリンターに、Wi-Fi ルーターの情報を設定したい場合に選びます。セットアップの手順などについては各種機器（スマートフォンなど）に表示される案内に従ってください。

◦ プリンターで手動接続

Wi-Fi 接続の設定を手動で行うときに選びます。

◦ ルーターのボタンで接続

■ AOSS（バッファロー）

AirStation One-Touch Secure System（AOSS）に対応している Wi-Fi ルーターを利用して、Wi-Fi 接続の設定をするときに選びます。

■ WPS（プッシュボタン方式）

Wi-Fi Protected Setup（WPS）プッシュボタン方式に対応している Wi-Fi ルーターを使用して Wi-Fi 接続の設定をするときに選びます。表示される案内に従って操作してください。

◦ その他の接続方法

■ プリンターで手動接続（詳細）

Wi-Fi 接続の設定を手動で行うときに選びます。複数の WEP キーを設定することができます。

■ WPS（PIN コード方式）

Wi-Fi Protected Setup（WPS）PIN コード方式に対応している Wi-Fi ルーターを使用して Wi-Fi 接続の設定をするときに選びます。表示される案内に従って操作してください。

- **詳細設定**

設定項目については、以下を参照してください。

■ 詳細設定

無線ダイレクト

- **設定情報表示**

無線ダイレクト時のプリンターのネットワーク設定情報が表示されます（プリンターの設定によっては表示されない項目もあります）。

参考

- ［無線ダイレクトの設定表示］画面で［パスワード表示］／［パスワード非表示］を選ぶと、パスワードの表示／非表示を切り替えることができます。

表示される項目名	設定内容
接続状態	有効／無効
ネットワーク名（SSID）	DIRECT-XXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXX（32 文字以内）
パスワード	XXXXXXXXXX（10 文字）
Wi-Fi セキュリティ	WPA2-PSK(AES)
現在の接続台数	XX/XX
IPv4 アドレス	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv4 サブネットマスク	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）

IPv4 デフォルトゲートウェイ	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv6 リンクローカルアドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX（32 文字）
Wi-Fi の MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX（12 文字）
プリンター名	XXXXXXXXXXXXXXX（15 文字以内）
Bonjour サービス名	XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX（52 文字以内）

（XX は半角英数字を示す）

- **スマホと接続**

  タッチスクリーンに表示される QR コードをスマートフォンで読み取り、プリンターと接続できます。また、ネットワーク名とパスワードを手入力して接続することもできます。

- **無線ダイレクトの有効/無効**

  無線ダイレクトを有効または無効に設定します。

- **ネットワーク名（SSID）の変更**

  無線ダイレクト時の識別名（SSID/Wi-Fi Direct 対応の各種機器に表示されるプリンターの名称）を変更します。

- **パスワードの変更**

  無線ダイレクト利用時のパスワードを変更します。

- **接続要求の確認設定**

  Wi-Fi Direct 対応機器がプリンターに接続したときにプリンターのタッチスクリーンに確認画面を表示するかを設定します。

- **詳細設定**

  設定項目については、以下を参照してください。

  詳細設定

有線 LAN

- **設定情報表示**

  有線 LAN 接続時のプリンターのネットワーク設定情報が表示されます（プリンターの設定によっては表示されない項目もあります）。

表示される項目名	設定内容
接続状態	有効（接続中）／有効（切断中）／無効
IPv4 アドレス	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv4 サブネットマスク	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字
IPv4 デフォルトゲートウェイ	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv6 リンクローカルアドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX（32 文字）

有線 LAN の MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX（12 文字）
プリンター名	XXXXXXXXXXXXXXX（15 文字以内）
Bonjour サービス名	XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX（52 文字以内）

（XX は半角英数字を示す）

- **有線 LAN の有効/無効**

  有線 LAN を有効または無効に設定します。

- **詳細設定**

  設定項目については、以下を参照してください。

  詳細設定

詳細設定

- **プリンター名設定**

  プリンター名を設定します。最大 15 文字まで入力できます。

  参考

  - すでに LAN 接続されている機器と同じプリンター名は使用できません。
  - プリンター名の最初と最後の文字に、-（ハイフン）は使用できません。

- **TCP/IP 設定**

  IPv4 または IPv6 の設定を行います。

- **WSD 設定**

  WSD（Windows がサポートするネットワークプロトコルの一つ）を利用するときの設定項目です。

  - WSD の有効/無効

    WSD の有効／無効を選びます。

    参考

    ■ 本設定を有効にした場合、Windows のネットワークエクスプローラーにプリンターアイコンが表示されます。

  - WSD 受信の最適化

    ［有効］に設定すると、WSD 印刷のデータ受信を高速で行います。

  - 本機からの WSD スキャン

    ［有効］に設定すると、WSD を利用して、スキャンしたデータをパソコンに転送します。転送するときは、プリンターの［カラー］をタップしてください。

    参考

    ■ WSD を利用して検索したパソコンを転送先に選んだ場合は、原稿の種類を選ぶことはできません。

◦ タイムアウト設定

タイムアウトの時間を設定します。

- **Bonjour 設定**

Bonjour を使用するときに設定します。

◦ Bonjour の有効/無効

［有効］に設定すると、Bonjour を使用してネットワークの設定ができるようになります。

◦ サービス名

Bonjour のサービス名を設定します。最大 48 文字まで入力できます。

参考

■ すでに LAN 接続されている機器と同じサービス名は使用できません。

- **LPR プロトコル設定**

LPR の設定（有効／無効）を切り替えます。

- **RAW プロトコル**

RAW 印刷の有効／無効を切り替えます。

- **LLMNR**

LLMNR（Link-Local Multicast Name Resolution）の有効／無効を切り替えます。［有効］を選ぶと、DNS サーバーがない環境でも、プリンター名からプリンターの IP アドレスを割り出すことができます。

- **IPP 設定**

［有効］に設定すると、IPP プロトコルを使って、ネットワーク経由で印刷できます。

- **PictBridge 通信設定**

PictBridge（Wi-Fi）対応機器から写真を印刷するときの設定項目です。

◦ 通信の有効/無効

［有効］に設定すると、PictBridge（Wi-Fi）対応機器から印刷することができます。

◦ タイムアウト設定

タイムアウトの時間を設定します。

- **有線 LAN 間欠受信設定**

［有効］に設定すると、有線 LAN に対応している機器に接続しているときに、データ受信を断続的に行います（間欠受信）。間欠受信によって、消費電力を抑えることができます。

- **IPsec 設定**

［有効］に設定すると、IPsec のセキュリティを設定できます。

その他の本体設定

- **日付/時刻設定**

  現在の日付／時刻を設定します。

  発信元情報を設定する

  重要

  - 停電が発生したり電源プラグを抜いたりすると、設定がリセットされます。

- **日付表示形式**

  タッチスクリーンに表示、または送信ファクスや写真に印刷される日付の表示形式を選びます

  参考

  - メモリーカードから印刷するときの印刷設定画面で［日付印刷］を［ON］に設定しているときは、選んだ日付の並び順で撮影日が印刷されます。

    プリンターの操作パネルを使って写真印刷するときの設定項目

- **音の調整**

  音量を調節します。

  - キータッチ音量設定

    操作パネルのボタンを押したときや、タッチスクリーンにタッチしたときに出る音の音量を選びます。

  - アラーム音量設定

    アラーム音の音量を選びます。

  - 通信音量設定

    通信中の音量を選びます。

  - オフフック アラーム

    接続している電話機の受話器が外れているときに鳴る警告の音量を選びます。

- **省電力設定**

  節電のためにプリンターの電源を自動的にオン／オフしたりするようにできます。

  - 自動電源オフ

    操作がされなかった場合やパソコンから印刷データが送られなかった場合に、自動的にプリンターの電源を切るまでの時間を設定することができます。

  - 自動電源オン

    ［する］を選ぶと、印刷データが送られたり、パソコンからスキャンの動作がされたりしたときに、自動的にプリンターの電源が入るように設定することができます。

  参考

  - ホーム画面で （セットアップ）を選んだあと［ECO］を選び、［省電力設定］を選んでも本設定を選ぶことができます。

    ECO 設定について

- **原稿取り忘れ通知設定**

  スキャンした後読み取った原稿を原稿台から取り忘れたときに、通知画面を表示するように設定できます。

  重要

  - 原稿の種類や原稿台カバーの状態によっては、原稿の取り忘れを検知できない場合があります。

- **Wi-Fi ペアリング設定**

  Canon PRINT Inkjet/SELPHY とペアリングして接続するための各種設定を行います。

  - ペアリングの有効/無効

    プリンターの Wi-Fi ペアリング機能を有効または無効に設定します。

  - ペアリング追加の許可/禁止

    別の機器で使用している Canon PRINT Inkjet/SELPHY とのペアリングの追加を許可または禁止します。

  - ペアリング済み機器の削除

    Canon PRINT Inkjet/SELPHY とのペアリングをすべて解除します。

- **キーボードレイアウト**

  キーボードのレイアウトを以下の 3 種類から選択することができます。

  - QWERTY 配列
  - QWERTZ 配列
  - AZERTY 配列

言語選択

タッチスクリーンに表示する言語を変更します。

日本語/英語/ドイツ語/フランス語/イタリア語/スペイン語/ポルトガル語/オランダ語/デンマーク語/ノルウェー語/スウェーデン語/フィンランド語/ロシア語/ウクライナ語/ポーランド語/チェコ語/スロベニア語/ハンガリー語/スロバキア語/クロアチア語/ルーマニア語/ブルガリア語/トルコ語/ギリシャ語/エストニア語/ラトビア語/リトアニア語/簡体中文/韓国語/繁体中文/タイ語/インドネシア語/ベトナム語

ファームウェアのアップデート

プリンターのファームウェアのアップデート、ファームウェアのバージョンの確認、アップデートの通知、DNS サーバーおよびプロキシサーバーの設定を行います。

重要

- この機能を使用する場合は、プリンターがインターネットに接続されていることを確認してください。

参考

- ［LAN 設定］の［Wi-Fi］の［Wi-Fi の有効/無効］で［無効］を選んでいる場合は、［現在のバージョンを確認］のみ使用できます。

- **アップデートの実行**

  プリンターのファームウェアのアップデートを行います。［はい］を選ぶとアップデートを開始します。表示される案内に従ってアップデートを行ってください。

  参考

  - アップデートに失敗したときは以下を確認し、対処してください。

    ■■ Wi-Fi ルーターなど、ネットワークの設定を確認してください。

    ■■ タッチスクリーンに［サーバーに接続できません］と表示された場合は、［OK］を選んで、しばらく待ってから操作をやり直してください。

- **現在のバージョンを確認**

  現在のファームウェアのバージョンを確認できます。

- **アップデートの通知設定**

  ［する］を選ぶと、ファームウェアのアップデートが可能なときに、タッチスクリーンにアップデートの通知画面が表示されます。

- **DNS サーバー設定**

  DNS サーバーの設定を行います。［自動設定］または［手動設定］を選んでください。［手動設定］を選んだ場合は、表示に従って設定を行ってください。

- **プロキシサーバー設定**

  プロキシサーバーの設定を行います。表示に従って設定を行ってください。

設定リセット

プリンターの設定をご購入時の設定に戻すことができます。

- **Web サービス設定のみ**

  Web サービスの設定のみをご購入時の設定に戻します。

- **LAN 設定のみ**

  LAN の設定をご購入時の設定に戻します。

- **電話番号登録のみ**

  登録した電話／ファクス番号をすべて消去します。

- **設定値のみ**

  ネットワークおよびファクス以外の設定（用紙サイズや用紙の種類、各設定の項目など）をご購入時の設定に戻します。

- **ファクス設定のみ**

  すべてのファクス設定をご購入時の設定に戻します。プリンターに接続されている電話線を抜いてからリセットを行ってください。

  リセットしたあとは、必要に応じてセットアップをやり直してください。

- **すべてリセット**

  上記の設定のすべてをご購入時の設定に戻します。リモート UI や IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）で設定した管理者パスワードも、初期設定に戻ります。

  リセットしたあとは、必要に応じてセットアップをやり直してください。

参考

- 次の設定項目は、ご購入時の設定には戻りません。
  - 表示する言語
  - プリントヘッド位置調整結果
  - 国または地域の設定
  - SSL/TLS（暗号通信）設定の CSR（証明書署名要求）の生成状態

  登録したユーザー名とユーザー電話番号は、以下の手順で削除することができます。

  1. ［ユーザー情報設定］画面を表示する
     - 発信元情報を設定する
  2. ユーザー名または電話番号を選んで、入力されている文字または数字をすべて削除する
  3. すべて削除されたら、［OK］を選ぶ

給紙設定

本製品では、後トレイやカセットにセットした用紙のサイズや種類をあらかじめプリンターに設定しておくことで、セットした用紙と印刷時の用紙設定が合っていない場合に、印刷前にメッセージを表示して印刷ミスを防止することができます。

詳しくは以下を参照してください。

■ 印刷時の用紙設定

参考

- プリンタードライバー（Windows）で指定できる用紙の設定と、プリンターのタッチスクリーンで指定できる用紙の設定の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。

  ■ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
  ■ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

- **後トレイの用紙設定**

  後トレイにセットする用紙のサイズ、種類を設定します。

- **カセットの用紙設定**

  カセットにセットする用紙のサイズ、種類を設定します。

  参考

  - カセットには普通紙のみセットできます。

- **用紙の設定不一致を検知**

  ［有効］を選ぶと、［給紙設定］で設定した用紙のサイズ、種類と印刷時の用紙設定が一致しているかを検知します。一致しない状態で印刷を開始した場合は、エラーメッセージが表示されます。

  参考

  - ［無効］を選んだ場合は、［給紙設定］で設定した用紙の設定が無効になります。

- **用紙の交換を確認**

  ［する］を選ぶと、用紙の交換操作（給紙口カバーの開閉またはカセットの抜き差し）を検知します。用紙を交換したときに用紙情報の登録画面が表示されるので、用紙のサイズと種類を登録してください。

Web サービス設定

この設定項目は、 （セットアップ）の中の ［Web サービス設定］から選んでください。

- **Web サービス利用設定の登録／Web サービス利用設定の解除**

  PIXUS クラウドリンクなどプリンターの機器情報を利用する Web サービス利用設定を登録／解除します。

- **Web サービス接続設定**

  以下の設定をすることができます。

  - IJ Cloud Printing Center 設定

    Canon Inkjet Cloud Printing Center への登録、削除を行います。

  - Web サービス設定の確認

    Canon Inkjet Cloud Printing Center にプリンターを登録しているかを確認できます。

- **登録コードの発行**

  Web サービスとプリンターの関連付けを行うための登録コードをサービス元から取得します。

- **DNS サーバー設定**

  DNS サーバーの設定を行います。［自動設定］または［手動設定］を選んでください。［手動設定］を選んだ場合は、表示に従って設定を行ってください。

- **プロキシサーバー設定**

  プロキシサーバーの設定を行います。表示に従って設定を行ってください。

ECO 設定について

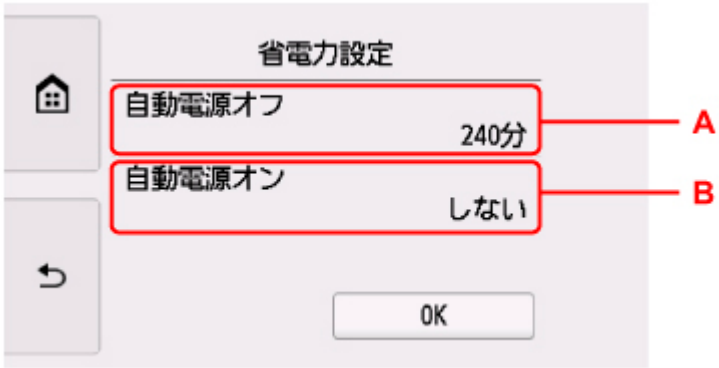
ECO 設定を使うと、用紙の節約のためにあらかじめ自動両面印刷するように設定したり、節電のためにプリンターの電源を自動的にオン／オフしたりするようにできます。

- 省電力に設定する
- 両面印刷を設定する

省電力に設定する

以下の手順で省電力機能を設定します。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面で（セットアップ）を選ぶ
   - タッチスクリーンの使いかた
3. ［ECO］を選ぶ
4. ［省電力設定］を選ぶ
5. 表示されるメッセージを確認して、［次へ］を選ぶ
6. 必要に応じて設定する



A：操作がされなかった場合やパソコンから印刷データが送られなかった場合に、自動的にプリンターの電源を切るまでの時間を設定します。

B：［する］を選ぶと、印刷データが送られたり、パソコンからスキャンの動作がされたりしたときに、自動的にプリンターの電源が入るように設定することができます。

両面印刷を設定する

以下の手順であらかじめ両面印刷を行う機能を設定します。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

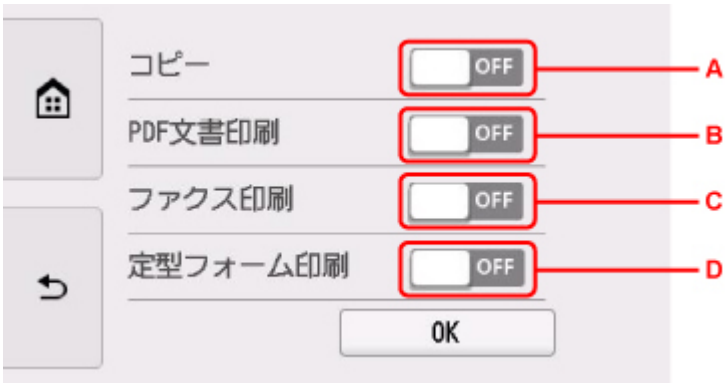
2. ホーム画面で（セットアップ）を選ぶ

タッチスクリーンの使いかた

3. ［ECO］を選ぶ

4. ［両面印刷設定］を選ぶ

5. 必要に応じて設定する



A：コピーするときの両面印刷を設定します。

B：メモリーカードに保存されている PDF 文書を印刷するときの両面印刷を設定します。

C：送受信したファクス、レポート、リストを印刷するときの両面印刷を設定します。

D：プリンターに内蔵されている定型フォームを印刷をするときの両面印刷を設定します。

参考

- 両面印刷を設定すると、各機能の印刷設定画面の両面設定の項目にが表示されます。

夜間利用モードについて

夜間など、プリンターの動作音が気になるときに、動作音をおさえることができます。また、動作音をおさえる時間帯を指定することもできます。

重要

- 夜間利用モードを設定する前に、現在の日付、時刻を設定してください。

  発信元情報を設定する

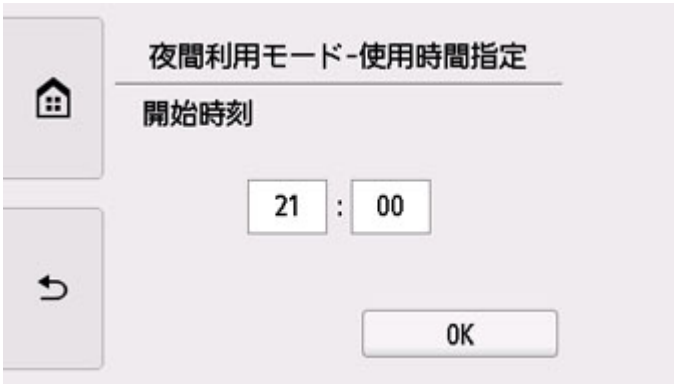
以下の手順で設定します。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面で（セットアップ）を選ぶ

   タッチスクリーンの使いかた
3. ［夜間利用モード］を選ぶ
4. ［する］または［指定時間だけ使用する］を選ぶ
   - ［**する**］を選んだ場合：

     常に印刷時の動作音をおさえることができます。
   - ［**指定時間だけ使用する**］を選んだ場合：

     ［**夜間利用モード-使用時間設定**］画面が表示されます。

     時刻をタップして、開始時刻を指定します。

同様の手順で終了時刻を指定し、［OK］を選びます。

指定した時間の間、印刷時の動作音をおさえることができます。

［夜間利用モード］のメニューアイコンが に変わります。

重要

- ［しない］を選んだときに比べ、動作が遅くなります。
- 設定によっては、効果が少ない場合があります。また、準備動作時の音などは、通常の音と変わりません。

参考

- 夜間利用モードは、プリンターの操作パネルやプリンタードライバー、ScanGear（スキャナードライバー）から設定することができます。いずれの方法で設定した場合でも、プリンターの操作パネルからの操作や、パソコンからの印刷・スキャンを行うときなどに適用されます。

システム情報

このメニューを表示するには、 （ヒント）の中の ［システム情報］を選んでください。

- **現在のバージョン**

  現在のファームウェアのバージョンを表示します。

- **プリンター名**

  現在設定されているプリンター名を表示します。

- **シリアル番号**

  プリンターのシリアルナンバーを表示します。

- **Wi-Fi の MAC アドレス**

  プリンターを Wi-Fi で使用するときの MAC アドレスを表示します。

- **有線 LAN の MAC アドレス**

  プリンターを有線 LAN で使用するときの MAC アドレスを表示します。

- **ルート証明書の拇印（SHA-1）**

  プリンターのルート証明書の拇印（SHA-1）を表示します。

  参考

  - プリンターにパスワードを設定している場合は、パスワードの入力が求められる場合があります。

- **ルート証明書の拇印（SHA-256）**

  プリンターのルート証明書の拇印（SHA-256）を表示します。

  参考

  - プリンターにパスワードを設定している場合は、パスワードの入力が求められる場合があります。

仕様

装置の概要

インターフェイス	**プリンター接続部：** Hi-Speed USB * **ネットワーク接続部：** 有線 LAN 100BASE-TX / 10BASE-T Wi-Fi　IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b **カードスロット：** あり * Hi-Speed USB でのご使用は、パソコン側が Hi-Speed USB に対応している必要があります。 また、Hi-Speed USB インターフェイスは USB 1.1 の完全上位互換ですので、パソコン側のインターフェイスが USB 1.1 でも接続してご使用いただけます。 USB とネットワークは同時に使用することができます。 Wi-Fi と有線 LAN を同時に使用することはできません。
動作環境	**温度：**5 ～ 35 ℃ **湿度：**10 ～ 90 % RH（結露しないこと） ※温度・湿度条件によっては、プリンターの性能を発揮できず、印刷品質の低下が起きる場合があります。 推奨環境は、以下のとおりです。 **温度：**15 ～ 30 ℃ **湿度：**10 ～ 80 % RH（結露しないこと） ※写真印刷用紙などの温度・湿度条件については、用紙のパッケージまたは用紙に付属の取扱説明書を参照してください。
保存環境	**温度：**0 ～ 40 ℃ **湿度：**5 ～ 95 % RH（結露しないこと）
電源	AC 100-240 V 50/60 Hz （付属の電源コードはお買い求めの国・地域専用です。）
消費電力	**印刷時（コピー時）：**15 W 以下 *1 **待機時（スリープ時）：**1.3 W 以下 *1*2 **電源 OFF 時：**0.3 W 以下 *3 *1 USB 接続時および Bluetooth 設定有効時 *2 スリープへの移行時間は変更できません。 *3 電源を切った状態でも若干の電力が消費されています。電力消費をなくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
外形寸法（幅 x 奥行き x 高さ）	約 438 x 351 x 190 mm（約 17.3 x 13.8 x 7.5 in.） ※カセットとトレイ類を格納した状態
質量	本体 約 7.9 kg（17.4 lb）

	※プリントヘッド/インクタンクを取り付けた状態

スキャナー仕様

スキャナードライバー	**Windows：** TWAIN 1.9 Specification に準拠、WIA
最大原稿サイズ	**原稿台：** A4/レター、216 x 297 mm（8.5 x 11.7 in.） **ADF：** A4/レター/リーガル、216 x 356 mm（8.5 x 14.0 in.）
光学解像度（主走査 x 副走査）	1200 x 2400 dpi * * 光学解像度は、ISO 14473 規格をもとに、原稿を読み取る際の最大のサンプリングレートを表しています。
読み取り階調（入力/出力）	**グレースケール：** 16 bit/8 bit **カラー：** RGB 各色 16 bit/8 bit

ファクス仕様

適応回線	加入電話回線（PSTN） 固定 IP 電話回線（050 以外で始まる電話番号のひかり電話など）
直流抵抗値	約 294 Ω
通信モード	スーパー G3、G3
データ圧縮方式	**モノクロ：** MH、MR、MMR **カラー：** JPEG
モデム速度	最大 33.6 kbps （自動フォールバック機能付き）
電送速度	**モノクロ：** 約 3 秒/ページ（33.6 kbps） （キヤノン FAX 標準チャート No.1 標準モード使用時） **カラー：** 約 1 分/ページ（33.6 kbps） （キヤノンカラーファクステストシート使用時）
読み取り階調	**モノクロ：** 256 階調 **カラー：** 24 bit フルカラー（RGB 各色 8 bit）
濃度調整	3 段階
メモリー	**送受信：** 約 250 ページ （キヤノン FAX 標準チャート No.1 標準モード使用時）
ファクス解像度	**モノクロ〈標準〉：** 8 pels/mm x 3.85 lines/mm（203 pels/in. x 98 lines/in.） **モノクロ〈ファイン〉、〈写真〉：** 8 pels/mm x 7.7 lines/mm（203 pels/in. x 196 lines/in.） **モノクロ〈ファイン EX〉：** 300 x 300 dpi **カラー：** 200 x 200 dpi

ダイヤル	自動ダイヤル • 宛先（最大 100 件） • グループダイヤル（最大 99 件） 通常ダイヤル 自動リダイヤル 手動リダイヤル（最大 10 件）
その他	通信管理レポート（20 通信ごとに印刷） 同報送信（最大 101 件） ファクス受信拒否（最大 10 件） エラー低減設定（VoIP） * * 詳細については［ファクスの詳細設定］の［エラー低減設定（VoIP)］を参照してください。

ネットワーク仕様

通信プロトコル	SNMP、HTTP、TCP/IP（IPv4/IPv6）
有線 LAN 部	**準拠規格：**IEEE802.3u（100BASE-TX） / IEEE802.3（10BASE-T） **伝送速度：**10 Mbps/100 Mbps（自動切替）
Wi-Fi 部	**準拠規格：**IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b **周波数帯域：**2.4 GHz 帯 **チャンネル：**1-13 **有効範囲：**屋内 50 m（164 フィート） ※環境条件により異なります。 **セキュリティ：** WEP（64/128 bit） WPA-PSK（TKIP/AES） WPA2-PSK（TKIP/AES） **セットアップ：** AOSS WPS（プッシュボタン方式/PIN コード方式） PC/スマホでかんたん接続

動作条件

OS の動作条件が高い場合はそれに準じます。

Windows

対応 OS	Windows 10、Windows 8.1、Windows 7 SP1 注）Windows 7 以降がプレインストールされているコンピューター
ドライバーをインストールするのに必要な容量	1.5 GB 以上

	容量は予告なく変更となる場合があります。

macOS

対応 OS	macOS 10.12.6 - macOS 10.15

その他

iOS、iPadOS、Android、Chrome OS

ご利用頂ける機能等に制限があります。

詳細は、キヤノンのウェブサイトでご確認ください。

本マニュアルの内容は、予告なく変更することがあります。

用紙に関する情報

- **使用できる用紙について**
  - 用紙の最大積載枚数
- **使用できない用紙について**
- **用紙の取り扱いについて**
- **アート紙に印刷する前に**
- **印刷できる範囲**

使用できる用紙について

最適な印刷結果を得るために、印刷に適した用紙をお選びください。キヤノンでは、文書のための用紙はもちろん、写真やイラストなどの印刷に適したさまざまな種類の用紙をご用意しています。大切な写真の印刷には、キヤノン純正紙のご使用をお勧めします。

- 用紙の種類
- サイズ
- 重さ

用紙の種類

キヤノン純正紙

参考

- 用紙の裏表や使用上の注意については、各用紙の取扱説明書を参照してください。
- 用紙の種類やサイズは、販売されている国や地域によって異なります。用紙の種類やサイズについて詳しくは、キヤノンのウェブサイトを参照してください。

文書やレポートの印刷に適する用紙：

- キヤノン普通紙・ホワイト <SW-101>
- キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口 <SW-201>
- キヤノン普通紙・ビジネス <FB-101>
- 高品位専用紙 <HR-101S>

写真の印刷に適する用紙：

- キヤノン写真用紙・光沢 プロ ［クリスタルグレード］ <CR-101>
- キヤノン写真用紙・光沢 プロ ［プラチナグレード］ <PT-201>
- キヤノン写真用紙・光沢 スタンダード <SD-201>
- キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド <GL-101>
- キヤノン写真用紙・微粒面光沢 ラスター <LU-101>
- キヤノン写真用紙・絹目調 <SG-201>
- マットフォトペーパー <MP-101>
- プレミアムファインアート・ラフ <FA-RG1>

年賀状や挨拶状の印刷に適する用紙：

- キヤノン写真はがき・マット <MH-101>
- キヤノン写真はがき・光沢 <KH-401>

オリジナルグッズが作れる用紙：

- フォトシールセット <PSHRS>（2 面/4 面/9 面/16 面）
- 両面マット名刺用紙 <MM-101>
- 貼ってはがせるプリントシール <RP-101>
- オリジナルマグネットシート <MG-101>

- アイロンプリントシート ［白生地用］ <LF-101>
- アイロンプリントシート ［カラー生地用］ <DF-101>

キヤノン純正紙以外の用紙

- 普通紙（再生紙を含む）
- はがき／年賀はがき
- インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき
- インクジェット光沢はがき／写真用年賀はがき
- 往復はがき
- 封筒
- T シャツ転写紙
- スクラップブッキング用紙
- 和紙

■ 用紙の最大積載枚数
■ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Windows）

参考

- PictBridge（Wi-Fi）対応機器などの写真を印刷するときは、用紙サイズと用紙の種類を設定してください。
  ■ デジタルカメラから印刷する
- アート紙をご使用になる場合は、「アート紙に印刷する前に」を参照してください。

サイズ

使用できる用紙サイズは、以下のとおりです。

参考

- ご使用の OS により、使用できる用紙サイズや用紙の種類は異なります。

定型：

- レター
- リーガル
- A5
- A4
- B5
- KG/10x15cm(4x6)
- 13x18cm(5"x7")
- 7x10
- 六切/8"x10"
- L 判
- 2L 判

- スクエア 89mm
- スクエア 127mm
- はがき
- 往復はがき
- 商用 10 号封筒
- DL 封筒
- 長形 3 号
- 長形 4 号
- 洋形 4 号
- 洋形 6 号
- 名刺(55x91mm)

非定型：

- 最小サイズ：55.0 x 89.0 mm（2.17 x 3.50 in.）
- 最大サイズ：215.9 x 676.0 mm（8.50 x 26.61 in.）

重さ

使用できる用紙の重さは以下のとおりです。

- 普通紙：64～105 g /m^2（17～28 lb）

用紙の最大積載枚数

後トレイやカセット、排紙トレイに積載できる枚数は、以下のとおりです。

- 後トレイ／カセットの最大積載枚数
- 排紙トレイの最大積載枚数

参考

- 用紙の種類やサイズは、販売されている国や地域によって異なります。用紙の種類やサイズについて詳しくは、キヤノンのウェブサイトを参照してください。

後トレイ／カセットの最大積載枚数

キヤノン純正紙

文書やレポートの印刷に適する用紙：

用紙の名称 <型番>	後トレイ	カセット
キヤノン普通紙・ホワイト <SW-101>	約 90 枚	約 90 枚
キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口 <SW-201>	約 80 枚	約 80 枚
キヤノン普通紙・ビジネス <FB-101>	約 100 枚	約 100 枚
高品位専用紙 <HR-101S>*1	約 80 枚	使用不可

写真の印刷に適する用紙：

用紙の名称 <型番>	後トレイ
キヤノン写真用紙・光沢 プロ［クリスタルグレード］<CR-101>*2 キヤノン写真用紙・光沢 プロ ［プラチナグレード］ <PT-201>*2 キヤノン写真用紙・光沢 スタンダード <SD-201>*2 キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド <GL-101>*2 キヤノン写真用紙・微粒面光沢 ラスター <LU-101>*2 キヤノン写真用紙・絹目調 <SG-201>*2 マットフォトペーパー <MP-101>	A4、レター、13x18cm(5"x7")、六切/8"x10"、2L 判：10 枚 KG/10x15cm(4x6)、L 判、スクエア 89mm、スクエア 127mm、はがき：20 枚
プレミアムファインアート・ラフ <FA-RG1>	1 枚

年賀状や挨拶状の印刷に適する用紙：

用紙の名称 <型番>	後トレイ
キヤノン写真はがき・マット <MH-101> キヤノン写真はがき・光沢 <KH-401>	20 枚

オリジナルグッズ作りに適する用紙：

用紙の名称 <型番>	後トレイ
フォトシールセット <PSHRS>（2 面/4 面/9 面/16 面） 貼ってはがせるプリントシール <RP-101> オリジナルマグネットシート <MG-101>	1 枚

アイロンプリントシート ［白生地用］ <LF-101> アイロンプリントシート ［カラー生地用］ <DF-101>	
両面マット名刺用紙 <MM-101>	20 枚

キヤノン純正紙以外の用紙

用紙の名称	後トレイ	カセット
普通紙（再生紙を含む）*1	約 100 枚（リーガル：10 枚）	約 100 枚
はがき／年賀はがき インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき	40 枚	使用不可
インクジェット光沢はがき／写真用年賀はがき 往復はがき*1	20 枚	使用不可
封筒	10 枚	使用不可
T シャツ転写紙	1 枚	使用不可
スクラップブッキング用紙	1 枚	使用不可
和紙	1 枚	使用不可

*1 用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を半分以下に減らしてください。
*2 用紙を重ねてセットすると、用紙を引き込む際に印刷面に跡が付いたり、用紙がうまく送られなかったりする場合があります。その場合は、用紙を 1 枚ずつセットしてください。

排紙トレイの最大積載枚数

キヤノン純正紙

文書やレポートの印刷に適する用紙：

用紙の名称 <型番>	排紙トレイ
キヤノン普通紙・ホワイト <SW-101> キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口 <SW-201> キヤノン普通紙・ビジネス <FB-101> 高品位専用紙 <HR-101S>	約 50 枚

年賀状や挨拶状の印刷に適する用紙：

用紙の名称 <型番>	排紙トレイ
キヤノン写真はがき・マット <MH-101> キヤノン写真はがき・光沢 <KH-401>	20 枚

キヤノン純正紙以外の用紙

用紙の名称	排紙トレイ

普通紙（再生紙を含む）	約 50 枚（リーガル：10 枚）
はがき／年賀はがき インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき インクジェット光沢はがき／写真用年賀はがき	20 枚

上記以外の用紙については、にじみや変色を防ぐため、続けて印刷するときは、先に印刷した用紙を排紙トレイから取り出すことをお勧めします。

使用できない用紙について

以下の用紙は使用しないでください。きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。

- 折れている／反りのある／しわが付いている用紙
- 濡れている用紙
- はがきより薄い紙、普通紙やメモ用紙を裁断した用紙（はがき／L 判など、A5 サイズより小さい用紙に印刷する場合）
- 絵はがき
- 一度折り曲げた往復はがき
- 写真付きはがきやステッカーを貼ったはがき
- 角形封筒
- ふたが二重になっている封筒
- ふたがシールになっている長形封筒
- 型押しやコーティングなどの加工された封筒
- ふた部分の乾燥糊が湿って、粘着性が出てしまった封筒
- 穴のあいている用紙
- 長方形または正方形以外の形状の用紙
- ホチキスや粘着剤などでとじている用紙
- ラベルシールなど裏面に粘着剤が付いている用紙
- 表面にラメなどが付いている用紙

用紙の取り扱いについて

- すべての用紙は、こすったり、傷をつけたりしないように丁寧に扱ってください。
- できるだけ用紙の端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。手についた汗や油分が印刷面に付くと、印刷品質が低下する場合があります。
- 印刷後は、インクが十分に乾いてから取り扱ってください。また乾いたあとも、できるだけ印刷した面に触れないよう丁寧に扱ってください。顔料インクの特性上、こすったり、引っかいたりすると、インクがはがれる場合があります。
- 用紙は印刷する直前に、印刷する枚数だけをパッケージから取り出して使用してください。
- 反りを防ぐため、使用しない用紙は用紙が入っていたパッケージに入れ、水平に置いて保管してください。また、高温・多湿・直射日光を避けて保管してください。

アート紙に印刷する前に

アート紙は紙粉が発生しやすく、印刷面に微小な印刷ぬけが発生する場合があります。

印刷をする直前に用紙の紙粉除去を行うことをお勧めします。

用意するもの

OA 機器清掃用などに使用される柔らかい毛のハケもしくはブラシ

毛先が柔らかいもの

毛の材質：ポリプロピレン、ポリエチレン、馬毛、山羊毛など

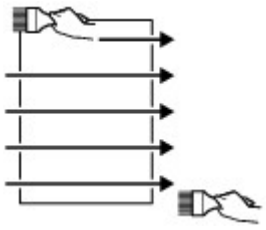
重要

- 以下のようなものは使用しないでください。印刷面を傷つける可能性があります。

紙粉除去を行う

1. ハケにゴミやほこりなどが付着していないこと、ハケが乾いていることを確認する

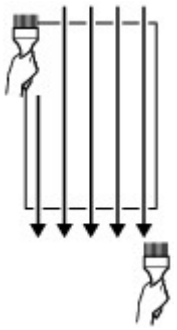
2. 用紙の左端から始め、印刷面全体を一方向にハケでていねいに払い落とす



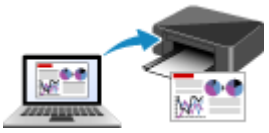
重要

- かならず用紙の端から行ってください。用紙の途中から始めたり、途中で止めたりしないでください。
- 用紙はできるだけ端を持ち、印刷面には触れないようにご注意ください。

3. 用紙の上端から下端へ一方向にハケで払い落とす



プリント



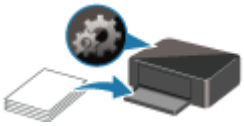
パソコンから印刷する

スマートフォン／タブレットから印刷する

プリンターの操作パネルから印刷する

デジタルカメラから印刷する

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する



印刷時の用紙設定

パソコンから印刷する

- アプリケーションソフトで印刷する（Windows プリンタードライバー）
- アプリケーションソフトで印刷する（macOS AirPrint）
- キヤノンのアプリケーションソフトを使って印刷する
- Chrome OS から印刷する

アプリケーションソフトで印刷する（macOS AirPrint）

- 印刷を行う 基本
- フチなし全面印刷を行う
- はがきに印刷する
- プリンターを追加する
- プリンターの設定画面の開きかた
- 印刷の進行状況を確認する
- 不要になった印刷ジョブを削除する
- 不要になったプリンターをプリンターリストから削除する

印刷を行う

本プリンターは、macOS の標準印刷システム（AirPrint）に対応しています。
特別なソフトウェアなどをインストールすることなく、本プリンターを Mac に接続すればすぐに印刷を行うことができます。

お使いの環境を確認する

はじめに、お使いの環境を確認してください。

- AirPrint の動作環境
  最新バージョンの OS がインストールされている Mac
- 使用条件
  Mac とプリンターが次のいずれかの方法で接続されていること
  - 同一のネットワーク上で **LAN** 接続されている
  - Wi-Fi ルーターを介さずに直接接続されている（ダイレクト接続）
  - USB 接続されている

Mac から印刷する

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

   参考

   - **［自動電源オン］**を有効にしている場合、印刷ジョブを受信するとプリンターの電源は自動的に入ります。

2. プリンターに用紙をセットする

3. プリンターで用紙のサイズと用紙の種類を選ぶ

   セットした用紙のサイズ、用紙の種類をプリンターの操作パネルで登録します。
   登録方法については、「印刷時の用紙設定」を参照してください。

4. お使いのアプリケーションソフトから印刷を開始する

   プリントダイアログが表示されます。

5. プリンターを選ぶ

   プリントダイアログの**［プリンタ］**でお使いの機種名を選びます。

参考

- **［詳細を表示］**をクリックすると、設定画面が詳細表示に切り替わります。

6. 印刷設定を確認する

［用紙サイズ］や、ポップアップメニューの**［メディアと品質］**から**［配紙トレイ］**、**［メディアのタイプ］**、そのほかの項目を設定します。
用紙の両面に印刷しない場合は、**［両面］**のチェックマークを外します。

重要

- プリントダイアログで設定した用紙のサイズと、プリンター本体で登録する用紙サイズが異なる場合、エラーが発生することがあります。印刷する用紙に合わせて、プリントダイアログとプリンター本体それぞれの正しい項目を選んでください。
- **［A4］**、**［A5］**、**［JIS B5］**、**［レター］**に印刷する場合は、プリントダイアログの**［配紙トレイ］**から給紙したい給紙口（**［リアトレイ］**または**［主トレイ］**）を設定してください。**［配紙トレイ］**で**［自動選択］**を選んでいる場合は、**［メディアのタイプ］**によって、給紙口が異なります。**［メディアのタイプ］**が普通紙の場合はカセット（主トレイ）、そのほかの用紙の場合は後トレイ（リアトレイ）から給紙されます。

- 写真用紙やはがきなどの両面印刷ができない用紙に印刷するときは、**[両面]**のチェックマークを外してください。

参考

- プリントダイアログでは、レイアウトや印刷順序など印刷全般の設定ができます。
  印刷設定については、macOS のヘルプを参照してください。

7. [プリント] をクリックする

設定に従って印刷されます。

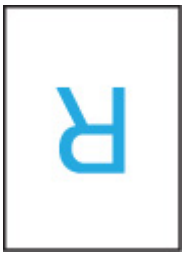
参考

- プリンターの電源が入ってから無線 **LAN** 接続（Wi-Fi）で通信できるようになるまで、数分かかる可能性があります。プリンターがネットワークに接続されていることを確認してから、印刷を実行してください。
- プリンターの Bonjour 設定が無効の場合は、使用することができません。プリンターの **LAN** 設定を確認し、Bonjour 設定を有効にしてください。
- 印刷しているときのトラブルについては、「AirPrint で印刷できない」を参照してください。
- お使いのアプリケーションソフトによっては、設定画面の表示が異なる場合があります。
- **[メディアのタイプ]** で **[プレミアムファインアート・ラフ]** を使用して印刷すると、用紙がこすれて、用紙の上端と下端の印刷品質が低下することがあります。アプリケーションソフトで印刷データを作成する際に、上端と下端に 35mm の余白を作ることをお勧めします。

封筒印刷について

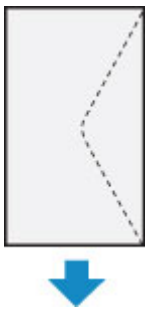
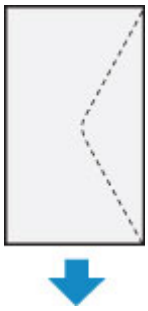
Mac から封筒に印刷するときは、以下を参考にしてください。

- 長形封筒に印刷する場合

	印刷結果イメージ	印刷データの向き	封筒セットの向き
縦書き		 印刷結果イメージと 180 度反転した印刷データを作成します	 ふたを折りたたまずに手前に向け、縦置きでセットします
横書き		 印刷結果イメージと 180 度反転した印刷データを作成します	

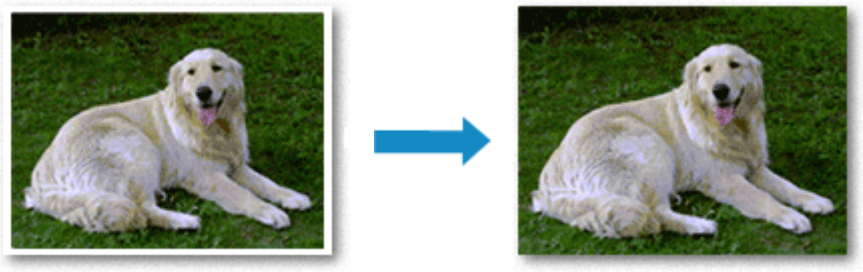
			ふたを折りたたまずに手前に向け、縦置きでセットします

- 洋形封筒に印刷する場合

	印刷結果イメージ	印刷データの向き	封筒セットの向き
縦書き			 あて名面を上にし、ふたを折りたたんで、ふたが右側になるように縦置きでセットします
横書き		印刷結果イメージと 180 度反転した印刷データを作成します	 あて名面を上にし、ふたを折りたたんで、ふたが右側になるように縦置きでセットします

フチなし全面印刷を行う

フチなし全面印刷は、用紙からわずかにはみ出す大きさに原稿を拡大して、紙面いっぱいに印刷する機能です。通常の印刷は原稿の周囲に余白ができますが、フチなし全面印刷ではこの余白ができません。写真などを用紙の全面に印刷したいときに設定してください。



フチなし全面印刷の手順を説明します。

フチなし全面印刷の設定

1. プリンターの操作パネルで**［フチはみ出し量］**を設定する

   はみ出し量の設定方法については、「印刷設定」を参照してください。

   重要

   - **［はみ出し量　大］**に設定した場合、用紙の裏面が汚れることがあります。

2. フチなし全面印刷用の用紙サイズを選ぶ

   プリントダイアログの**［用紙サイズ］**で「XXX 縁なし」を選びます。

3. **［プリント］**をクリック

   印刷を実行すると、紙面いっぱいに原稿が印刷されます。

重要

- フチなし全面印刷は、使用できる用紙サイズが決められています。**［用紙サイズ］**から「縁なし」と表示されている用紙を選んでください。

- 用紙の種類によっては、フチなし全面印刷を行うと用紙の上端や下端の印刷品質が低下したり、汚れが発生したりすることがあります。
- 用紙サイズによっては、画像データとの縦横の比率が異なるため、画像の一部が用紙に収まらないことがあります。
  その場合は、用紙サイズに合わせてアプリケーションソフトで画像データをトリミングしてください。
- 拡大/縮小印刷や割り付け印刷の設定を行っている場合は、フチなし全面印刷は機能しません。

参考

- **［メディアと品質］**の**［メディアのタイプ］**で**［普通紙］**を選んでいる場合は、フチなし全面印刷を推奨しません。

印刷範囲を広げたいときは

確実にフチなし全面印刷を実行するためには、原稿のはみ出し量を多くしておけば安心ですが、はみ出した部分の原稿は紙面に印刷されません。そのため、端のほうにある被写体が用紙に収まらないことがあります。

フチなし全面印刷の結果に満足できなかった場合は、プリンターの操作パネルではみ出し量を少なくしてください。

重要

- はみ出し量を少なくした場合は、用紙のサイズによっては余白ができることがあります。

参考

- **［はみ出し量　最小］**に設定すると、画像データは原寸で印刷されます。はがきのあて名面を印刷する場合に設定すると、差出人の郵便番号が正しい位置に印刷されます。

はがきに印刷する

はがき印刷の手順を説明します。

1. プリンターにはがきをセットする

2. プリンターで用紙のサイズと用紙の種類を選ぶ

   プリンターの操作パネルから、用紙のサイズに**［はがき］**を登録します。
   また、お使いの用紙に合わせて、用紙の種類に**［ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄはがき］**、**［ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄ写真ﾊｶﾞｷ］**、または**［はがき］**を登録します。はがきのあて名面に印刷するときは、**［はがき］**を登録してください。

3. プリントダイアログで**［用紙サイズ］**、**［メディアのタイプ］**を選ぶ

   プリントダイアログの**［用紙サイズ］**で、**［はがき］**または**［はがき 縁なし］**を選びます。はがきのあて名面に印刷するときは、**［はがき］**を選んでください。
   プリントダイアログの**［メディアのタイプ］**で、**［はがき］**、**［はがき(あて名面)］**、**［インクジェットはがき(あて名面)］**、**［インクジェットはがき(通信面)］**、**［インクジェット写真用はがき(あて名面)］**、**［インクジェット写真用はがき(通信面)］**のいずれかを選びます。

   重要

   - 写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。

4. **［両面］**のチェックマークを外す

重要

- はがきでは両面印刷ができないため、**［両面］**のチェックマークを外してください。**［両面］**のチェックマークを付けて印刷すると、思い通りの印刷結果にならないことがあります。
- きれいに印刷するために、通信面を印刷したあとにあて名面を印刷することをお勧めします。

5. ［プリント］をクリックする

設定に従ってはがきに印刷されます。

プリンターを追加する

お使いの Mac にプリンターを追加する手順を説明します。

一度削除したプリンターを追加し直す場合は、**［システム環境設定］**の**［プリンタとスキャナ］**を開き、プリンターリストの**［+］**をクリックして、下記の手順を行ってください。

プリンターを USB 接続でお使いの場合、USB ケーブルで Mac に接続すると、プリンターが自動的に追加されます。下記の操作は必要ありません。

1. 表示されたダイアログで**［デフォルト］**が選ばれていることを確認する

   参考

   - ご使用のプリンター名が表示されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。

2. プリンターを選ぶ

   ［Bonjour マルチファンクション］と表示されているプリンターを選びます。

   参考

   - プリンターが表示されない場合は、以下のことを確認してください。
     - プリンターの電源が入っていること
     - セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能がオフになっていること
     - 無線 **LAN** 接続（Wi-Fi）の場合：プリンターが Wi-Fi ルーターに接続されている、または直接パソコンに接続（ダイレクト接続）されていること
     - 有線 **LAN** 接続の場合：プリンターが **LAN** ケーブルでネットワーク機器に接続されていること

3. **［ドライバ］**から**［セキュリティ保護された AirPrint］**（**［Secure AirPrint］**）を選ぶ

4. **［追加］**をクリックする

   お使いの Mac にプリンターが追加されます。

プリンターの設定画面の開きかた

プリンターの設定画面は、お使いのアプリケーションソフトから表示できます。

ページ設定ダイアログを開く

印刷する前にページ（用紙）設定を行う場合、この方法を使います。

1. お使いのアプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定...］、または［用紙設定］を選ぶ

   ページ設定ダイアログが表示されます。

プリントダイアログを開く

印刷する前に印刷設定を行う場合、この方法を使います。

1. お使いのアプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント...］を選ぶ

   プリントダイアログが表示されます。

印刷の進行状況を確認する

次の手順で印刷の進行状況を確認します。

1. 印刷状況の確認画面を起動する

- 印刷データがプリンターに送られている場合
  印刷状況の確認画面が自動的に起動します。Dock 上に表示される（プリンターのアイコン）をクリックすると、印刷状況の確認画面が表示されます。
- 印刷データがプリンターに送られていない場合
  [システム環境設定] を開き、**[プリンタとスキャナ]** を選びます。
  プリンターリストからお使いの機種名を選び、**[プリントキューを開く...]** をクリックすると、印刷状況の確認画面が表示されます。

2. 印刷状況を確認する

印刷中または印刷待ちのファイル名が確認できます。

指定した印刷ジョブを削除します。

指定した文書の印刷を一時停止します。

指定した文書の印刷を再開します。

すべての文書の印刷を一時停止します。

すべての文書の印刷を一時停止しているときのみ表示され、すべての文書の印刷を再開します。

重要

- エラーが発生した場合は、印刷状況の確認画面にエラーメッセージが表示されます。
- エラーメッセージの内容は OS のバージョンによって異なる場合があります。
- エラーメッセージ内で表示されるプリンター各部の名称は、本マニュアルの表記と異なる場合があります。
- エラーメッセージの内容がわかりにくい場合は、プリンター本体の操作パネルに表示されているエラーメッセージを確認してください。

不要になった印刷ジョブを削除する

印刷が開始されない場合、途中で印刷をやめたり、印刷に失敗したりしたときのデータが残っている可能性があります。
印刷状況の確認画面で、不要になった印刷ジョブを削除してください。

1. **［システム環境設定］**を開き、**［プリンタとスキャナ］**を選ぶ
2. お使いの機種名を選んで、**［プリントキューを開く...］**をクリックする

   印刷状況の確認画面が表示されます。
3. 不要な印刷ジョブを選んで、（削除）をクリックする

   印刷ジョブが削除されます。

不要になったプリンターをプリンターリストから削除する

使わなくなったプリンターはプリンターリストから削除することができます。
プリンターを削除する前に、プリンターとパソコンを接続しているケーブルを取り外してください。

管理者の権限を持ったユーザーでログインしていない場合は、プリンターの削除はできません。管理者ユーザーについては、**［システム環境設定］**を開き、**［ユーザとグループ］**からご確認ください。

1. **［システム環境設定］**を開き、**［プリンタとスキャナ］**を選ぶ
2. プリンターリストからプリンターを削除する

   プリンターのリストから、削除したいプリンターを選び、**[-]**をクリックします。

   確認のメッセージが表示されたら、**［プリンタを削除］**をクリックします。

キヤノンのアプリケーションソフトを使って印刷する

- **Easy-PhotoPrint Editor ガイド**

スマートフォン／タブレットから印刷する

- iPhone／iPad／iPod touch（iOS）から印刷する
- スマートフォン／タブレット（Android）から印刷する

写真データを印刷する

- メモリーカードの写真を印刷する 基本
- プリンターの操作パネルを使って写真印刷するときの設定項目

メモリーカードの写真を印刷する

メモリーカードに保存されている写真をかんたんな操作で印刷することができます。

ここでは、［選んで写真印刷］で印刷するときの操作手順について説明します。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する
2. 写真用紙をセットする
3. ホーム画面から ［プリント］を選ぶ
   - タッチスクリーンの使いかた
4. ［メモリーカードから］を選ぶ

   メモリーカード印刷メニューが表示されます。
5. ［選んで写真印刷］を選ぶ
6. メモリーカードをカードスロットにセットする

   写真選択画面が表示されます。

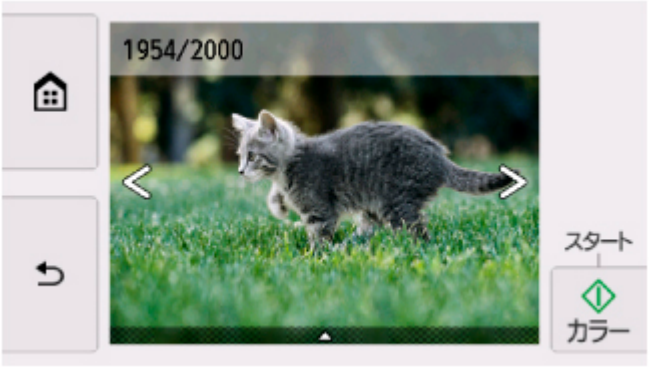
   参考

   - メモリーカード印刷メニューを表示する前にメモリーカードをセットした場合も写真選択画面が表示されます。

     また、メモリーカードに写真データと文書データ（PDF ファイル）が保存されている場合、どちらを印刷するか確認する画面が表示されます。［写真データを印刷］を選んでください。
   - メモリーカードに印刷できる写真データが保存されていない場合は、タッチスクリーンに［適切なデータが保存されていません］というメッセージが表示されます。
   - メモリーカードに 2000 枚を超える写真データが保存されている場合は、日付（写真データの更新日）が新しい順に 2000 枚ごとのグループに分けられます。画面に表示されるメッセージを確認し、［OK］を選んでください。
7. 必要に応じて設定する
   - 印刷する写真を選ぶときは：

     左右にフリックして写真を選びます。

     または をタップして、写真を選ぶこともできます。



［カラー］をタップすると、表示されている写真を 1 部印刷できます。

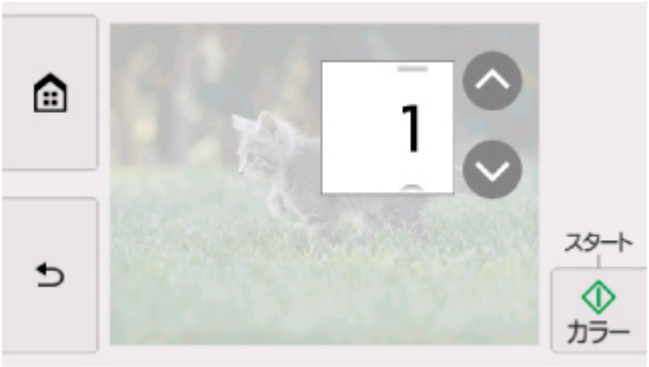
- 写真の表示方法や印刷部数、印刷設定を変更するときは：

  写真の下辺付近の△をタップすると、メニューが表示されます。

A：合計印刷部数が表示されます。

選ぶと［選択画像の部数確認］画面が表示され、写真ごとの印刷部数を確認することができます。［選択画像の部数確認］画面では写真ごとに部数を変更することもできます。

B：印刷部数を指定できます。



または をタップして、印刷部数を指定します。

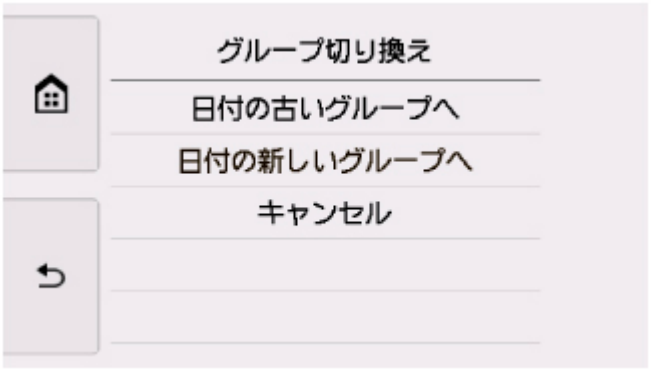
タッチし続けると、10 枚ずつ部数が増減します。

数字を上下にフリックして、指定することもできます。

参考

■ 写真ごとに印刷部数を指定することができます。印刷したい写真をそれぞれ表示してから、写真ごとに印刷部数を指定します。

C：表示するグループを切り換えることができます。



詳しくは、以下を参照してください。

■ 便利な表示機能を使う

D：[印刷設定] 画面が表示されます。

用紙サイズや用紙種類、印刷品質などの印刷設定を変更することができます。

設定項目については、以下を参照してください。

■ プリンターの操作パネルを使って写真印刷するときの設定項目

E：写真を 2 枚並べて表示することができます。

詳しくは、以下を参照してください。

■ 便利な表示機能を使う

F：写真を拡大して表示することができます。

詳しくは、以下を参照してください。

■ 便利な表示機能を使う

G：表示する写真を日付（写真データの更新日）で指定できます。

詳しくは、以下を参照してください。

■ 便利な表示機能を使う

H：複数の写真を一度に表示できます。

表示方法については、以下を参照してください。

■ 便利な表示機能を使う

8. ［カラー］をタップする

印刷が開始されます。

参考

- 印刷を中止するときは、［ストップ］をタップします。
- 印刷中にも、続けて印刷する写真を追加（フォト印刷予約）することができます。

  ■ 写真印刷を予約する

写真印刷を予約する

写真を印刷している途中でも、印刷する写真を追加（フォト印刷予約）することができます。

以下の手順で、印刷する写真を追加します。

1. 印刷中に写真をフリックして、次に印刷したい写真を選ぶ

参考

- 写真を選んでいる間も、印刷待ちの写真は順に印刷されます。
- 印刷中や印刷待ちの写真には、 印刷予約済みアイコンが表示されます。

2. 写真ごとに部数や印刷設定を指定する

参考

- 印刷予約する写真の［用紙サイズ］と［用紙種類］は変更できません。印刷中や印刷待ちの写真と同じ設定となります。

3. ［カラー］をタップする

すでに印刷を開始した写真の次に、印刷予約した写真の印刷が開始されます。

さらに印刷する写真を追加したい場合は、手順 1 から操作してください。

参考

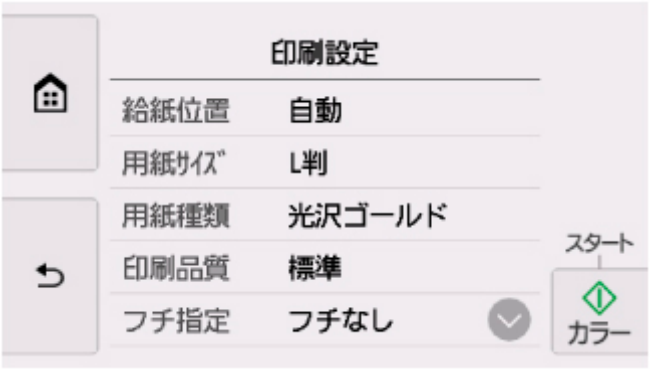
- 印刷予約中は、ホーム画面を表示したり、ほかの印刷メニューに変更したりできません。またパソコンやほかの機器からの印刷もできません。
- 印刷予約中は、グループを切り替えることはできません。
- 印刷予約中に［ストップ］をタップすると、印刷予約を中止する方法を選択する画面が表示されます。［すべての予約をキャンセル］を選ぶと、印刷中や印刷予約したすべての写真の印刷を中止します。［最後の予約をキャンセル］を選ぶと、最後に予約した印刷を中止します。
- 印刷予約が多いときは、タッチスクリーンに［これ以上、印刷を予約できません　しばらく待ってから、印刷を予約してください］と表示される場合があります。しばらく待ってから、印刷予約してください。

プリンターの操作パネルを使って写真印刷するときの設定項目

メモリーカードに保存されている写真を印刷するときに用紙サイズや用紙種類、補正などの設定を変更することができます。

印刷設定画面について

［印刷設定］を選ぶと、以下の画面が表示されます。



項目について

上下にフリックして設定項目を表示し、設定項目を選ぶと各設定が表示されます。設定を選んで指定します。

参考

- 設定項目によっては、ほかの設定項目の設定や印刷メニューと組み合わせて指定できない設定があります。組み合わせて指定できない設定が選ばれている場合は、タッチスクリーンに と［エラー詳細］が表示されます。タッチスクリーン左上の を選んでメッセージを確認し、設定を変更してください。
- いったん指定した用紙種類や印刷品質などの設定は、他の印刷メニューに変更したり電源を入れ直したりしても保持されます。

以下の設定項目を変更できます。

- 給紙位置

  用紙をセットした給紙位置（後トレイ／カセット／自動）を選びます。

  参考

  - ［自動］を選ぶと、用紙設定（用紙サイズ／用紙種類）と一致する用紙がセットされている給紙位置から給紙します。

- 用紙サイズ

  セットした用紙のサイズを選びます。

- 用紙種類

  セットした用紙の種類を選びます。

- 印刷品質

  印刷品質を設定できます。

- フチ指定

  フチのあり／なしを設定できます。

- 写真補正

  ［自動写真補正］を選ぶと、撮影された写真のシーンや被写体の顔などを認識して、それぞれの写真に最適な補正が自動的に行われます。逆光などで暗くなった人物の顔を明るくしたり、風景、夜景、人物などのシーンを解析し、各シーンに最適な色あい、明るさ、コントラストに自動的に補正したりして印刷が行われます。

  参考

  - メモリーカードに保存されている写真は、標準では自動写真補正で印刷されます。
  - ［補正しない］を選ぶと、写真の補正をせずに印刷が行われます。

- 赤目補正

  人物の目が赤く写った写真を補正して印刷できます。

  写真によっては赤目が補正されなかったり、目以外の部分が補正されたりする場合があります。

- 日付印刷

  写真に日付（撮影日）を付けて印刷するか設定できます。

  参考

  - 日付の印刷形式は［本体設定］の［その他の本体設定］にある［日付表示形式］の設定に従って印刷されます。

    その他の本体設定

印刷時の用紙設定

本製品では、後トレイやカセットに用紙をセットするときに、用紙のサイズや種類を設定しておくことで、セットした用紙と印刷時の用紙設定が合っていない場合に、印刷前にメッセージを表示して印刷ミスを防止することができます。

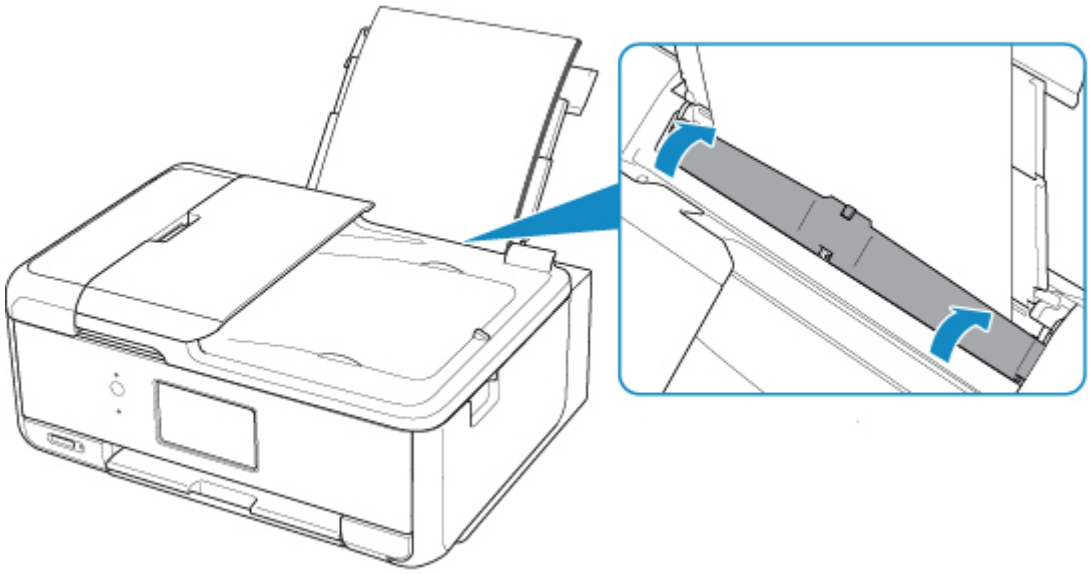
参考

- 印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能は、プリンターの操作パネルを使って印刷やコピーするとき、スマホ／タブレットから印刷するとき、Windows から印刷するとき、macOS から印刷するときで、ご購入時の設定が異なります。

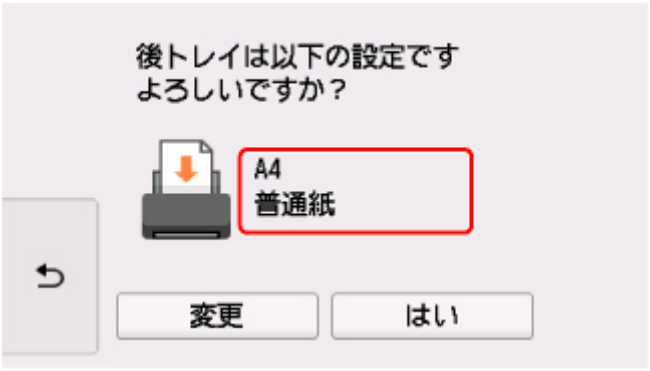
  印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能の初期設定について

用紙をセットした後に：

- **後トレイの給紙口カバーを閉じると：**



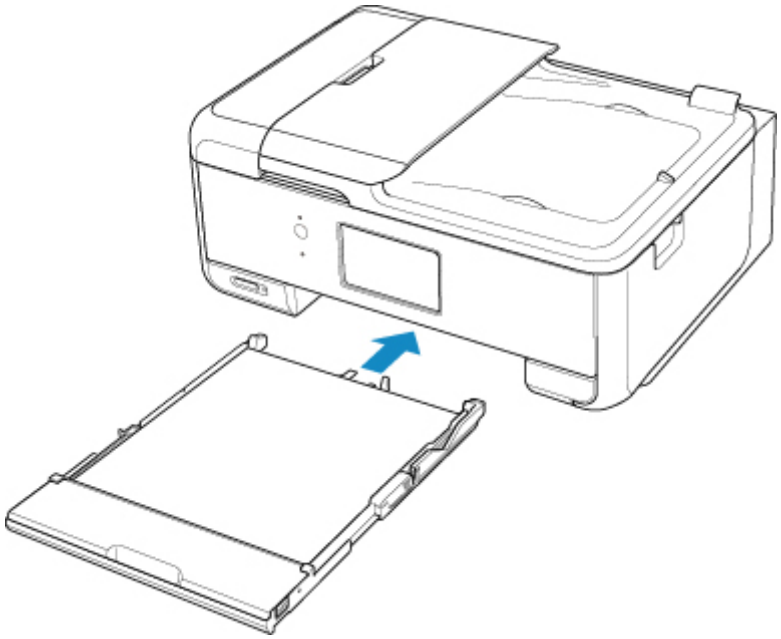
後トレイの用紙の設定を確認する画面が表示されます。



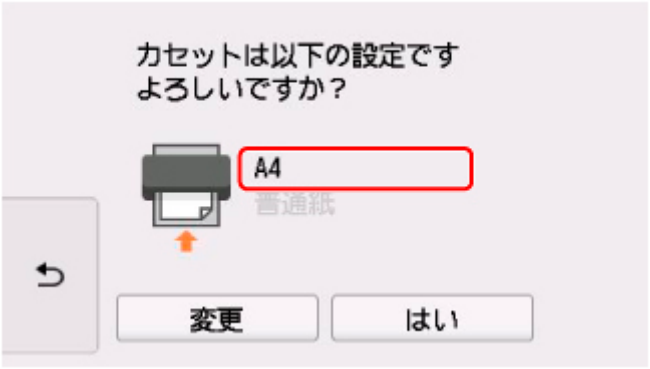
表示された用紙のサイズと種類が、後トレイにセットした用紙と同じであれば、［はい］を選びます。

用紙のサイズや種類が異なるときは、［変更］を選び、セットした用紙に合わせて設定を変更します。

- **カセットをセットすると：**



カセットの用紙の設定を確認する画面が表示されます。



表示された用紙のサイズが、カセットにセットした用紙と同じであれば、［はい］を選びます。

用紙のサイズが異なるときは、［変更］を選び、セットした用紙に合わせて設定を変更します。

※カセットには普通紙のみセットできます。

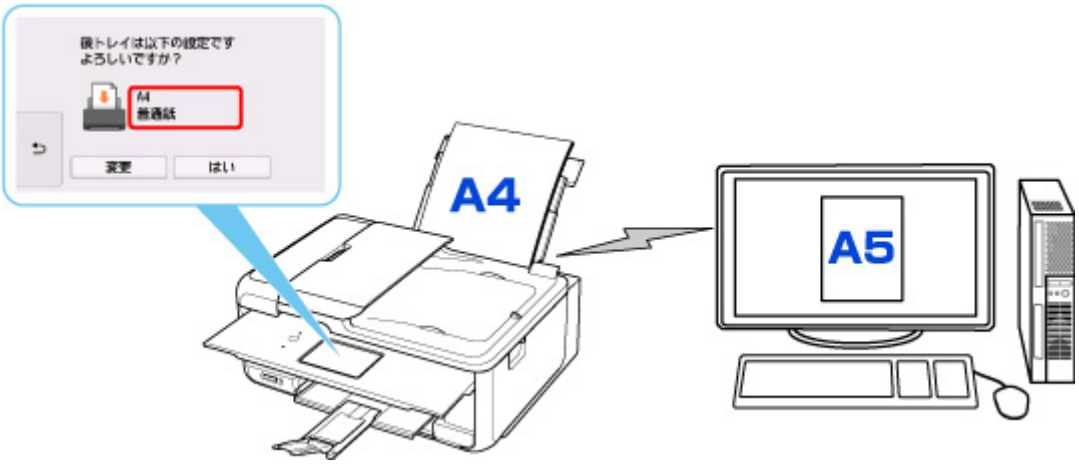
重要

- プリンタードライバー（Windows）で指定できる用紙の設定と、プリンターのタッチスクリーンで指定できる用紙の設定の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

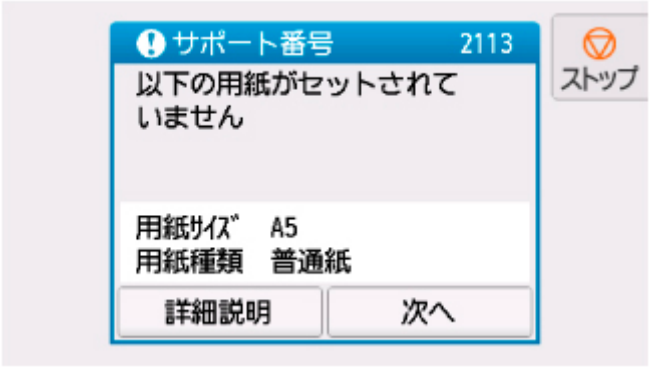
印刷やコピーするときの用紙設定が、プリンターに用紙をセットしたときの用紙設定と異なっていると：

例：

- 印刷やコピーするときの用紙設定：A5 サイズ
- プリンターに用紙をセットしたときの用紙設定：A4 サイズ



印刷やコピーしようとすると、メッセージが表示され、印刷やコピーするときに指定した用紙設定がメッセージの下に表示されます。



表示された内容を確認して、［次へ］を選んでください。処理方法を選ぶ画面が表示されますので、以下のいずれかを選んでください。

参考

- 設定によっては、以下の処理方法が表示されない場合があります。

セットしている用紙で印刷

印刷やコピーするときに設定した用紙サイズまたは用紙種類のままで、印刷やコピーする場合に選びます。

例えば、印刷やコピーするときの用紙サイズの設定が A5 サイズで、給紙時に A4 サイズと設定していた場合、A5 サイズの設定のまま後トレイまたはカセットにセットされている用紙に印刷またはコピーします。

用紙を交換して印刷

後トレイまたはカセットの用紙を交換してから印刷する場合に選びます。

例えば、印刷やコピーするときの用紙サイズの設定が A5 サイズで、給紙時に A4 サイズと設定していた場合、後トレイまたはカセットの用紙を A5 サイズの用紙に交換してから印刷またはコピーします。

用紙を交換した後、セットした用紙の設定を確認する画面が表示されます。セットした用紙に合わせて、設定を変更してください。

参考

- 印刷やコピーするときに指定した用紙設定を確認したい場合は、処理方法を選ぶ画面で（戻る）をタップしてください。

- プリンタードライバー（Windows）で指定できる用紙の設定と、プリンターのタッチスクリーンで指定できる用紙の設定の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

印刷中止

印刷を中止します。

印刷やコピーするときに指定した用紙設定を変更する場合に選びます。用紙設定を変更して印刷やコピーをやり直してください。

印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能の初期設定について

- **プリンターの操作パネルを使って印刷／コピーするときや、スマホ／タブレットから印刷するときは**

  初期設定で印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能が有効となっています。

  設定を変更するには：

  - 給紙設定

- **Windows から印刷するときは**

  初期設定で印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能が無効となっています。

  設定を変更するには：

  - プリンターの設定を変更する

- **macOS から印刷するときは**

  初期設定で印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能が有効となっています。

  設定を変更するには：

  - プリンターの設定を変更する

重要

- 印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能を無効にしているときは：

  印刷やコピーするときの用紙設定と用紙をセットしたときの用紙設定が異なっていても、そのまま印刷またはコピーが始まります。

コピー

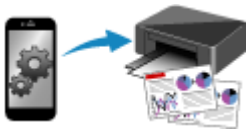
コピーする 基本

拡大／縮小してコピーする

両面コピーをする

部単位でコピーする

便利なコピー機能を使う



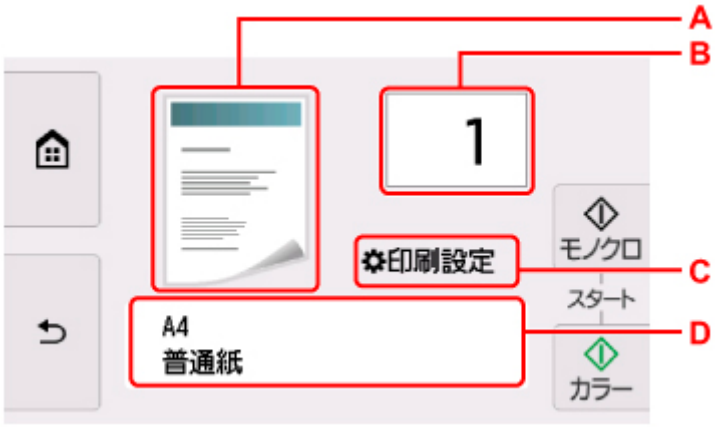
スマートフォン／タブレットを使ってコピーする

コピーする

ここでは、［標準コピー］でコピーする手順について説明します。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する
2. 用紙をセットする
3. ホーム画面から ［コピー］を選ぶ
   - タッチスクリーンの使いかた
4. ［標準コピー］を選ぶ

   コピー待機画面が表示されます。
5. 原稿台または ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする
6. 必要に応じて設定する



A：読み取り方式とコピーレイアウトが表示されます。

ADF の読取方式とレイアウトの設定（片面、両面）を切り替えます。

B：印刷部数を指定します。

または をタップして、印刷部数を指定します。

タッチし続けると、10 枚ずつ部数が増減します。

数字を上下にフリックして、指定することもできます。

C：印刷設定項目が表示されます。

設定項目については、以下を参照してください。

コピーするときの設定項目

D：用紙サイズと用紙種類を指定します。

7. ［モノクロ］または［カラー］をタップする

コピーが開始されます。

コピー終了後、原稿台または原稿排紙口から原稿を取り出してください。

重要

- 原稿の読み取りが終わるまで原稿台カバーを開けたり、原稿を原稿台から取り出したりしないでください。
- ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットした場合、コピーが終わるまでセットした原稿を動かさないでください。

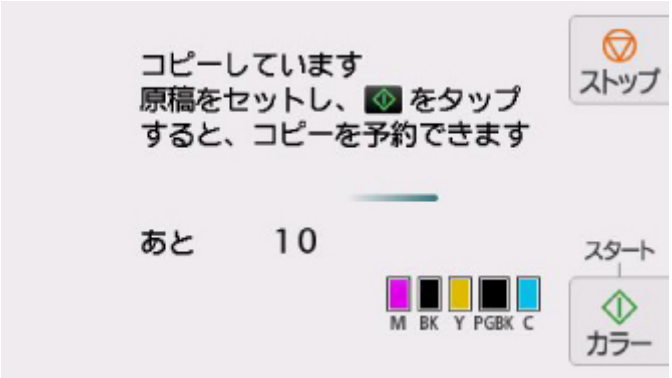
参考

- コピーを中止するときは、［ストップ］をタップします。

続けて原稿をコピーする（コピー予約）

原稿台に原稿をセットしたときは、コピー中でも、続けて次の原稿をセットして読み取ることができます（コピー予約）。

続けて次の原稿をセットできるときは、以下のような画面が表示されます。



次の原稿をセットして、コピー中の原稿をコピーするときに選んだボタン（[モノクロ] または [カラー]）と同じボタンをタップしてください。

重要

- 原稿をセットするときは、原稿台カバーをゆっくり開閉してください。

参考

- [印刷品質] が [きれい] に設定されているときは、コピーが終了するまでお待ちください。
- 続けてコピーするときは、用紙サイズや用紙の種類などの印刷設定や部数を変更できません。
- コピー予約中に [ストップ] をタップすると、コピー予約を中止する方法を選択する画面が表示されます。[すべての予約をキャンセル] を選ぶと、読み取ったすべての原稿のコピーを中止します。[最後の予約をキャンセル] を選ぶと、最後にセットした原稿のコピーを中止します。
- 続けてコピーする原稿が多いときは、タッチスクリーンに [これ以上、コピーの予約はできません しばらく待ってからコピーを予約してください] と表示される場合があります。[OK] を選んでしばらく待ってから、コピーしてください。
- 原稿の読み取り中に [コピーを予約できませんでした　最初からやり直してください] と表示された場合は、[OK] を選んでから、[ストップ] をタップし、いったんコピーを中止してください。そのあと、コピーできなかった原稿からコピーし直してください。

コピーするときの設定項目

コピーをするときに、倍率や濃度などの印刷設定を変更することができます。

印刷設定画面について

参考

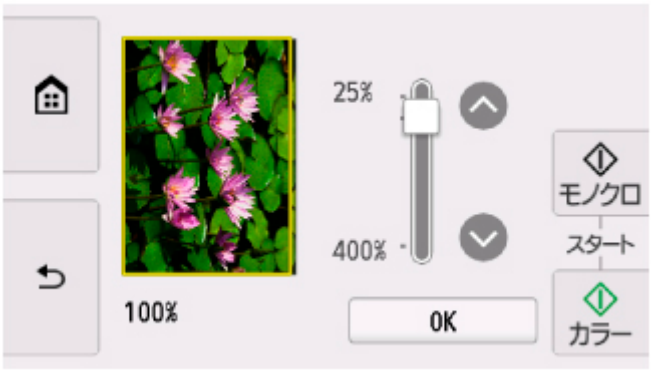
- ［写真コピー］の印刷設定画面と設定項目については、「写真をコピーする」を参照してください。

コピー待機画面で［印刷設定］を選ぶと、以下の画面が表示されます。

［標準コピー］の画面例：

プレビューについて

印刷設定の画面で［プレビュー］が表示されているときに選ぶと、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。



詳しくは、以下を参照してください。

- プレビュー画面を表示する

設定項目について

上下にフリックして設定項目を表示し、設定項目を選ぶと各設定が表示されます。設定を選んで指定します。

参考

- コピーメニューによって、変更できる設定項目が異なります。ここでは、［標準コピー］で印刷するときの設定項目について説明しています。

  変更できない設定項目はグレーアウト表示になります。

［写真コピー］でコピーするときの設定項目については、「写真をコピーする」を参照してください。

- 設定項目によっては、ほかの設定項目の設定やコピーメニューと組み合わせて指定できない設定があります。組み合わせて指定できない設定が選ばれている場合、設定項目に が表示されます。タッチスクリーン左上の を選んでメッセージを確認し、設定を変更してください。
- いったん指定した用紙サイズや用紙種類などの設定は、コピーメニューを変更する、または電源を入れ直しても保持されます。
- すでに用紙サイズや用紙の種類などを設定しているときに、その設定ではコピーできないメニューでコピーを開始しようとすると、タッチスクリーンに［現在の設定では、指定した機能を実行できません］というメッセージが表示されます。メッセージに従って、設定を変更してください。

以下の設定項目を変更できます。

- 濃度

  濃度（明るさ）を設定します。

  A：選んで、自動濃度調整をオン／オフします。

  オンにすると、原稿台にセットした原稿に合わせて自動で濃度を調整して印刷できます。

  B：ドラッグして濃度を指定します。

  参考

  ■ 自動濃度調整をオンにすると、ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットできません。

- 倍率

  拡大／縮小の方法を設定します。

  ■ 拡大／縮小してコピーする

- 給紙位置

  用紙をセットした給紙位置（後トレイ／カセット／自動）を選びます。

  参考

  - ［自動］を選ぶと、用紙設定（用紙サイズ／用紙種類）と一致する用紙がセットされている給紙位置から給紙します。

- 用紙サイズ

  コピーする用紙のサイズを選びます。

- 用紙種類

  コピーする用紙の種類を選びます。

- 印刷品質

コピーしたい原稿に合わせて印刷品質を設定します。

重要

- ［用紙種類］が［普通紙］の場合、［下書き］を選んで思ったような印刷品質で印刷できないときは、［印刷品質］で［標準］または［きれい］を選んで、もう一度印刷してみてください。
- グレースケールでコピーしたいときは、［印刷品質］で［きれい］を選んでください。グレースケールとは、二値（2 階調）で表現している白黒に対し、グレーの濃淡を数多くの階調で表現したものです。

- レイアウト

  レイアウトの設定をします。

  - 2 枚の原稿を 1 枚にコピーする
  - 4 枚の原稿を 1 枚にコピーする

- ADF 両面読取設定

  ADF にセットした原稿の両面を読み取るかを設定します。

  - 両面コピーをする

- 両面印刷設定

  用紙の両面にコピーするかどうかを設定します。

  - 両面コピーをする

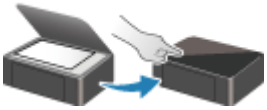
- 部単位で印刷

  複数ページある原稿を複数部コピーするときに、ページ順に 1 部ずつまとめてコピーするかを設定します。

  - 部単位でコピーする

スキャン

パソコンからスキャンする（Windows）



プリンターの操作パネルを使ってスキャンする

パソコンからスキャンする（macOS）

パソコンからスキャンする（macOS）

- **原稿の種類や目的に合わせてスキャンする（IJ Scan Utility Lite）**
  - IJ Scan Utility Lite でできること
  - かんたんにスキャンする（おまかせスキャン） 基本
  - 文書や写真をスキャンする
- **スキャンの役立つ情報**
  - 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

重要

- ご使用のスキャナーまたはプリンターによって、使用できる機能や設定できる項目は異なります。

原稿の種類や目的に合わせてスキャンする（IJ Scan Utility Lite）

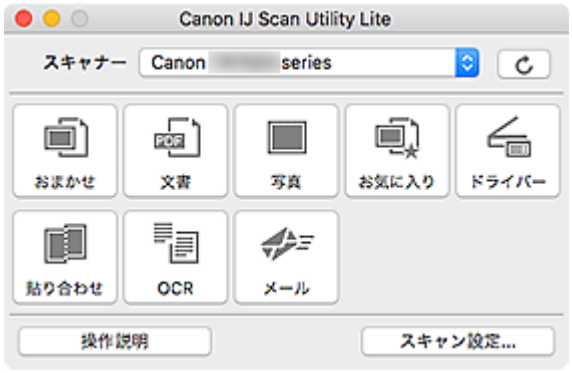
- **IJ Scan Utility Lite でできること**
- **かんたんにスキャンする（おまかせスキャン）** 基本
- **文書や写真をスキャンする**

重要

- ご使用のスキャナーまたはプリンターによって、使用できる機能や設定できる項目は異なります。

IJ Scan Utility Lite でできること

IJ Scan Utility Lite（アイジェイ・スキャン・ユーティリティー・ライト）を使うと、目的のアイコンをクリックするだけで、文書や写真などを手軽にスキャンして、保存までを一度に行うことができます。



重要

- ご使用のスキャナーまたはプリンターによって、表示される項目や使用できる機能は異なります。

目的に合わせてかんたんにスキャン

かんたんにスキャンしたいときは［**おまかせ**］、文書や雑誌の文字をくっきりさせてスキャンしたいときは［**文書**］、写真に適した設定でスキャンしたいときは［**写真**］など、原稿の種類や目的に合ったアイコンをクリックするだけでスキャンできます。

参考

- IJ Scan Utility Lite 基本画面について、詳しくは、「IJ Scan Utility Lite 基本画面」を参照してください。

スキャンした画像を自動で保存

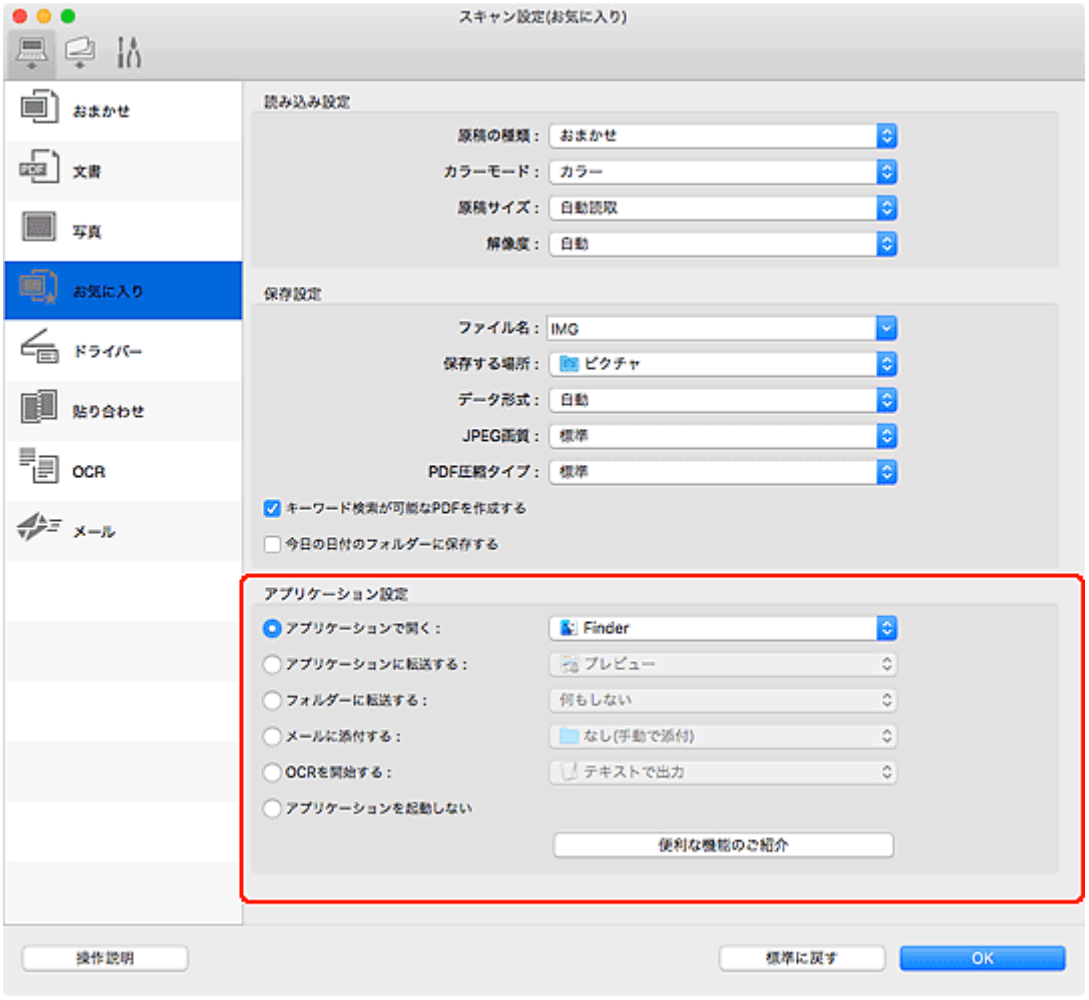
スキャンした画像は、あらかじめ指定されているフォルダーに自動で保存されます。保存先を変更することも可能です。

参考

- 初期設定では、［**ピクチャ**］フォルダーに保存されます。
- 保存先の指定方法については、「スキャン設定ダイアログ」を参照してください。

アプリケーションソフトとの連携

スキャンした画像をお好みのアプリケーションソフトで表示したり、メールに添付したり、画像から文字をテキストとして抽出したりするなど、ほかのアプリケーションソフトと連携してスキャン画像を活用することができます。



参考

- 連携するアプリケーションソフトの設定方法については、「スキャン設定ダイアログ」を参照してください。

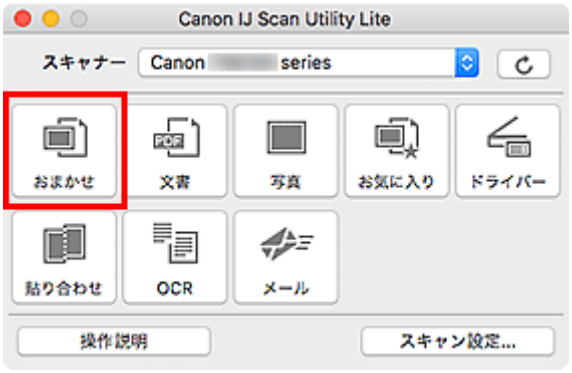
かんたんにスキャンする（おまかせスキャン）

原稿台や ADF（自動原稿給紙装置）にセットした原稿の種類を自動で判別し、かんたんにスキャンできます。

重要

- この機能はお使いの機種によっては対応していません。
- 次のような原稿は、正しくスキャンできないことがあります。その場合は、IJ Scan Utility Lite 基本画面で［**ドライバー**］をクリックして表示された画面でクロップ枠（選択ボックス（スキャンする範囲））を調整して、再度スキャンしてください。
  - 周囲が白っぽい写真
  - 白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など
  - 薄い原稿
  - 厚みのある原稿
- ADF から 2 枚以上の原稿をスキャンする場合は、原稿サイズを揃えてください。

1. ご使用のスキャナーまたはプリンターの電源が入っていることを確認する
2. 原稿台または ADF に原稿をセットする
   - 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）
3. IJ Scan Utility Lite を起動する
4. ［**おまかせ**］をクリックする



スキャンが開始されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、［**キャンセル**］をクリックしてください。
- ［**スキャン設定(おまかせ)**］ダイアログでは、スキャンした画像の保存先を設定したり、スキャンするときの詳細な設定をしたりできます。
- 原稿の種類を指定してスキャンしたいときは、以下のページを参照してください。
  - 文書や写真をスキャンする
  - お気に入りの設定でスキャンする
  - ADF（自動原稿給紙装置）から、複数の原稿を一度にスキャンする

文書や写真をスキャンする

原稿台にセットされた原稿を、文書や写真に適した設定でスキャンできます。

文書は PDF や JPEG などの形式で、写真は JPEG や TIFF などの形式で保存できます。

1. 原稿台に原稿をセットする

   原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

2. IJ Scan Utility Lite を起動する

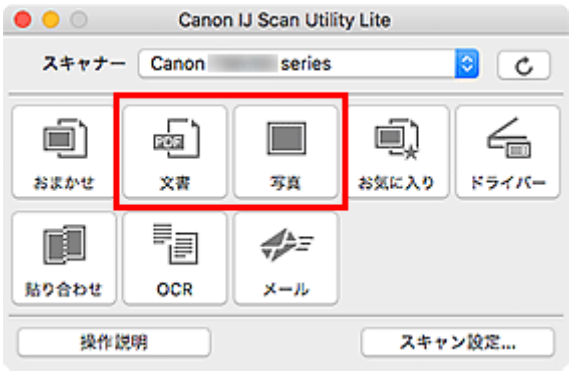
3. 原稿サイズや解像度、PDF の設定などを行いたい場合は、［**スキャン設定...**］をクリックし、スキャン設定ダイアログで、各項目を設定する

   参考

   - スキャン設定ダイアログで一度設定しておくと、次回以降も同じ設定でスキャンできます。
   - スキャン設定ダイアログでは、原稿の傾きなどの画像処理設定や、スキャンした画像の保存先なども設定できます。

   設定が完了したら［**OK**］をクリックしてください。

4. ［**文書**］または［**写真**］をクリックする



   スキャンが開始されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、［**キャンセル**］をクリックしてください。

スキャンの役立つ情報

- 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

ご使用のスキャナーまたはプリンターの原稿台および ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする方法について説明します。スキャンする原稿の種類に合わせて正しくセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては正しくスキャンできない場合があります。

重要

- 原稿をセットするときには、以下のことに注意してください。スキャナーが正しく動作しなくなったり、原稿台のガラス面が破損したりすることがあります。
  - ■ 原稿台のガラス面に 2.0 kg 以上の物をのせない
  - ■ 原稿を強く押さえる（2.0 kg を超える力で）など、原稿台のガラス面に重みをかけない
- 原稿台カバーはきちんと閉じてスキャンしてください。
- 原稿台カバーを開閉するときに、操作パネルのボタンや液晶モニターには手を触れないでください。誤操作の原因となることがあります。
- パーソナル向けスキャナーを立て置きで使用する場合は、原稿の種類を自動で判別できないことがあります。その場合は、IJ Scan Utility Lite で原稿の種類を指定してスキャンしてください。

■ 原稿のセットのしかた（原稿台）
■ 原稿のセットのしかた（ADF（自動原稿給紙装置））
■ 原稿のセットのしかた（立て置きスタンドを使用する場合）

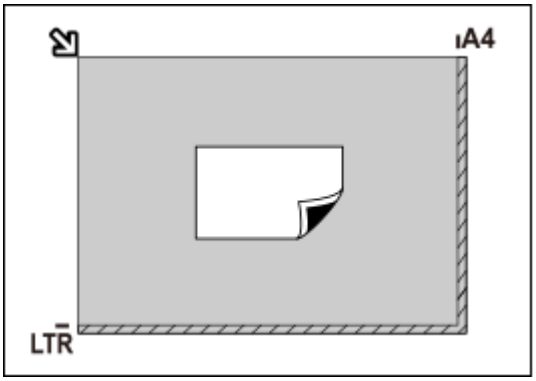
原稿のセットのしかた（原稿台）

原稿の種類やサイズを自動で判別してスキャンする場合は、以下の原稿のセットのしかたに従って原稿を置いてください。

重要

- お使いの機種によっては、原稿の種類やサイズを自動で判別してスキャンする機能は表示されません。
- 原稿のサイズを指定してスキャンする場合は、原稿の上端を原稿台にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせて置いてください。
- いろいろな形に切り抜いた写真や 3 cm（1.2 inches）四方より小さい原稿は、正しく切り抜いてスキャンすることができません。
- ディスクのレーベル面が鏡面状の場合、期待どおりにスキャンできないことがあります。
- 原稿の種類やサイズを自動で判別してスキャンした場合、異なる動作をすることがあります。その場合は、手動でクロップ枠（選択ボックス）を調整してください。

写真、はがき、名刺、BD／DVD／CD の場合	雑誌、新聞、文書の場合
 原稿が 1 枚の場合： 原稿台の端の斜線部分から 1 cm（0.4 inch）以上離し、スキャンする面を下にして原稿を置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。	 原稿の上端を原稿台にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせ、スキャンする面を下にして置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。

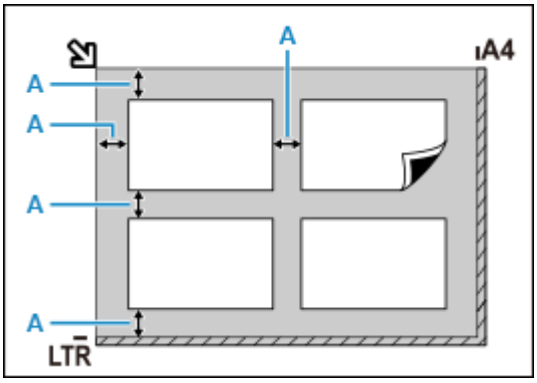


重要

- A4 サイズの写真など原稿のサイズが大きく原稿台の端や矢印（原稿位置合わせマーク）から離して置けない原稿は、PDF ファイルで保存されることがあります。PDF 以外の形式で保存したい場合は、データ形式を指定してスキャンしてください。

原稿が複数の場合：

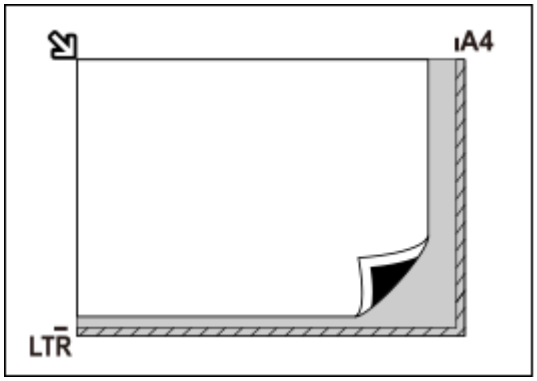
原稿が 2 枚以上ある場合は、原稿台の端の斜線部分から 1 cm（0.4 inch）以上離し、原稿と原稿の間も 1 cm（0.4 inch）以上離して置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。



A：1 cm（0.4 inch）以上

参考

- IJ Scan Utility Lite では、原稿を 12 枚まで置くことができます。
- 原稿の傾きが 10 度以内のときは、傾きが自動的に補正されます。



重要

- **インクジェット複合機をご使用の場合：**

  原稿を読み取ることができない範囲については、お使いの機種のオンラインマニュアルのホームから「原稿をセットする」のページを検索して、参照してください。

- **パーソナル向けスキャナーをご使用の場合：**

  原稿を読み取ることができない範囲については、お使いの機種のオンラインマニュアルのホームから「セットできる原稿と原稿セットの方法」のページを検索して、参照してください。

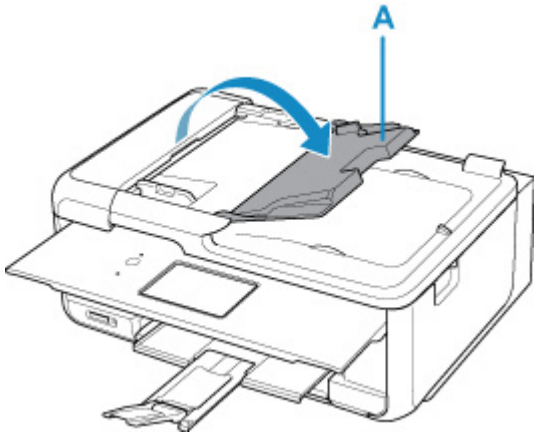
原稿のセットのしかた（ADF（自動原稿給紙装置））

重要

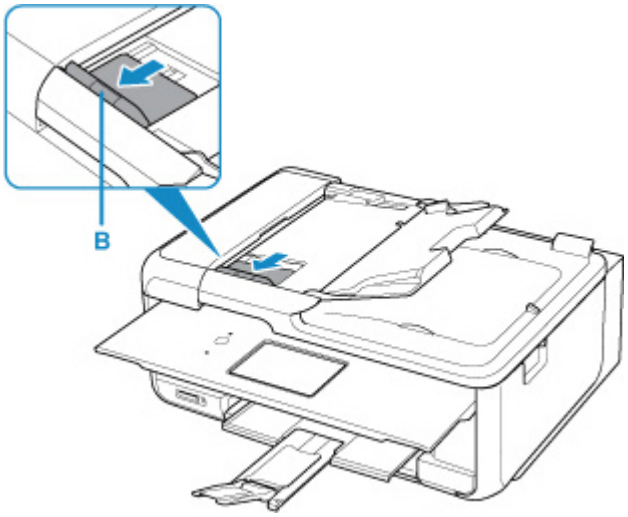
- 2 枚以上の原稿をスキャンする場合は、同じサイズの原稿を揃えてセットしてください。
- ADF からスキャンできる原稿サイズについては、お使いの機種のオンラインマニュアルのホームから「セットできる原稿について」のページを検索して、参照してください。

1. 原稿台に原稿がないことを確認する

2. 原稿トレイ（A）を開く



3. 原稿ガイド（B）を広げる

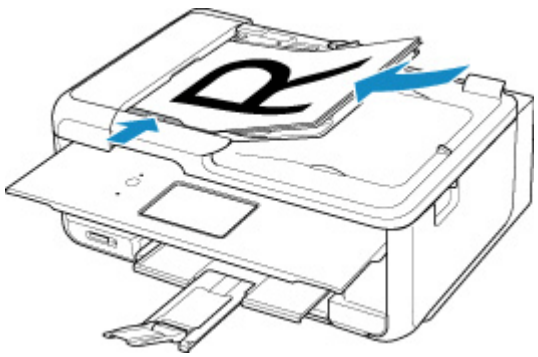


4. 読み取る面を上にして、原稿を原稿トレイにセットする

原稿の先端は奥まで突き当ててください。

5. 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

原稿ガイドを原稿に強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。



参考

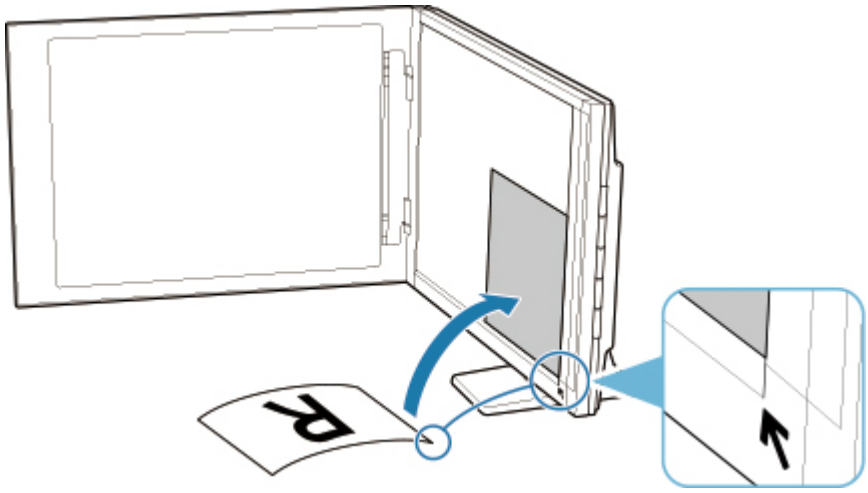
- 両面原稿をスキャンする場合は、原稿の表を上にしてセットしてください。表と裏を間違えてセットすると、正しくスキャンされません。

原稿のセットのしかた（立て置きスタンドを使用する場合）

1. 原稿を原稿台にセットする

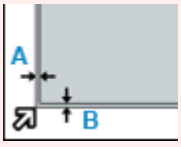
1. 原稿台カバーを開きます。

2. スキャンする面を原稿台側に向け、原稿位置合わせマークに合わせて原稿をセットします。



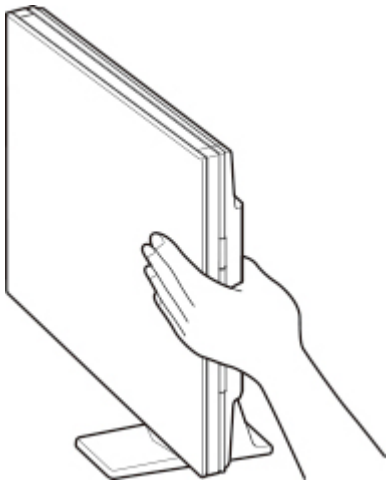
重要

- 原稿台カバーを大きく開くとスキャナーが倒れることがあります。
- 原稿台の左端から 2.4 mm（0.094 inch）の部分（A）と、手前から 2.7 mm（0.106 inch）の部分（B）は読み取れません。



2. 原稿台カバーをゆっくり閉じる

スキャン中は原稿台カバーが開かないよう、手で軽く押さえてください。



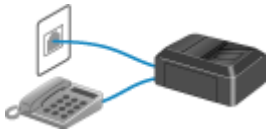
重要

- 立て置きで使用する場合は、以下のことに注意してください。

■■ スキャナーの動作中に振動を与えないでください。画像がぶれるなどして正しい画像結果が得られないことがあります。

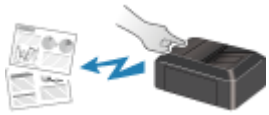
■■ 原稿の種類を自動判別できないことがあります。その場合は、IJ Scan Utility Lite で原稿の種類を指定してスキャンしてください。

ファクス



ファクスの準備をする

送信先を登録する



プリンターの操作パネルを使ってファクスを送信する

パソコンからファクスを送信する（Windows）

パソコンからファクスを送信する（Mac OS）

ファクスを受信する

そのほかの便利なファクス機能

ファクスの準備をする

ファクス機能をご使用になる前に、電話回線の接続や使用方法に合わせた設定を行います。また、プリンターに発信元情報や日付／時刻を設定します。

重要

- 電源が切れたとき

  セットアップ中や各設定を行ったあと、停電でプリンターの電源が切れたときや、誤って電源プラグをコンセントから抜いてしまった場合は、日付／時刻の設定がリセットされます。

  ■■ ユーザー情報や電話帳の設定は保持されます。

  ■■ 未送信のファクスや受信したファクスなど、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

  電源が切れていると、次のような状態になります。

  ■■ ファクスの送受信やコピー、スキャンはできません。

  ■■ 電話機を接続している場合、電話がご利用できるかは、ご契約の電話回線や電話機により異なります。

セットアップを行う

電話回線や使用方法に合わせて、プリンターのセットアップを行います。

すべてを設定するとき

ファクス設置ガイド

それぞれを設定するとき

ステップ 1 電話回線を接続する

ステップ 2 回線種別を設定する

ステップ 3 受信モードを設定する

ステップ 4 発信元情報を設定する

参考

- ファクスのセットアップはタッチスクリーンに表示される案内に沿って行うこともできます。

  ■■ かんたんセットアップ

電話回線を接続する

接続方法はご使用の電話回線によって異なります。

- プリンターを設置する部屋の壁の電話回線に直接接続する場合／ADSL スプリッターを使って接続する場合：

  ■■ 基本的な接続方法について（一般回線に接続する）

- 光回線や ADSL 回線など、他の回線と接続する場合：

  ■■ さまざまな回線に接続する

誤った接続ではファクスの送受信ができませんので、正しく接続してください。

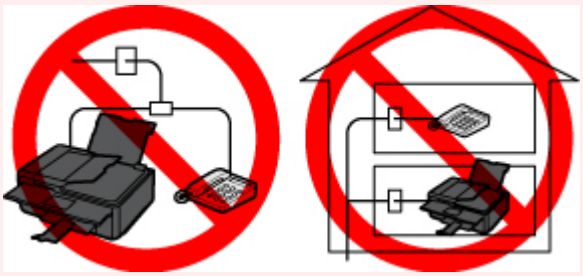
重要

- 電話線分配器を使用してブランチ接続（並列接続）はしないでください。

  1 つの電話回線に複数台のファクス／電話機をつなぐブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。

  ■■ ファクスを受信しているときに、ブランチ接続（並列接続）している電話機の受話器を上げると、送受信中のファクスの画像が乱れたり、通信エラーが起こる場合があります。

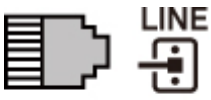
  ■■ 電話機能の発信者番号通知サービスなどが正常に動作しない場合があります。

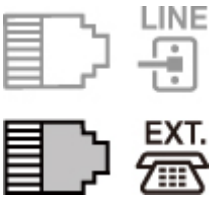
  やむを得ずブランチ接続（並列接続）をする場合は、上記の内容をよくご理解頂いた上で、受信モードを［電話優先モード］に設定してご使用ください。ファクスを受信する場合は、手動受信のみ可能です。

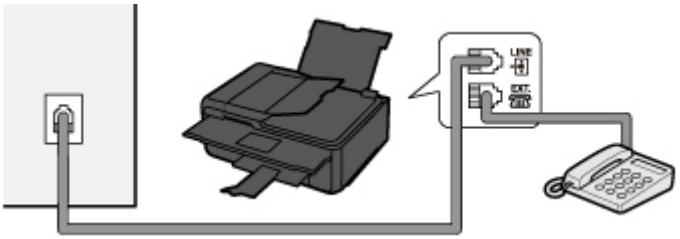
基本的な接続方法について（一般回線に接続する）

プリンターの電源が切れていることを確認し、付属のモジュラーケーブルをプリンターの電話回線接続部（「LINE」と表示されている差し口）と、壁側のモジュラージャックまたは ADSL スプリッターの電話用ジャックに接続してください。



プリンターと電話機（留守番電話など）を接続するときは、プリンターの電源が切れていることを確認し、モジュラーケーブルでプリンターの外付け機器接続部（「EXT.」と表示されている差し口）と、電話機を接続してください。





重要

- 電話回線は、かならずプリンターの電源を入れる前に接続してください。

  プリンターの電源が入っているときに電話回線を接続した場合は、いったんプリンターの電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。1 分以上待ってから、電話回線を接続し、電源プラグを差してください。

参考

- プリンターの電話回線接続部や外付け機器接続部の位置については、「背面」を参照してください。
- 電話機を接続する場合は、プリンターの外付け機器接続部のキャップを取り外してから接続してください。
- 電話回線がつながったか、117（時報）に電話して確認することをお勧めします。ただし、117 への通話料はお客様のご負担になります。回線がつながらない場合は、回線種別（ダイヤル回線／プッシュ回線）が正しく判別されていない可能性があります。その場合は、手動で回線種別を設定してください。

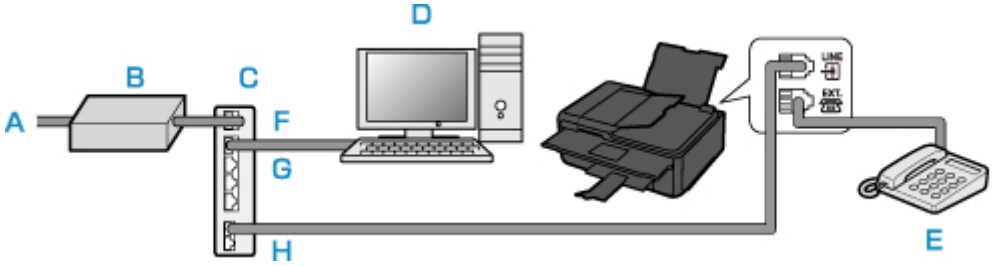
  回線種別を設定する

さまざまな回線に接続する

ここでは、光回線や ADSL 回線など、さまざまな回線との接続方法について紹介します。

ここで紹介する接続方法は代表例です。すべての接続を保証するものではありません。詳しくは、プリンターと接続するネットワーク機器（xDSL（Digital Subscriber Line）モデムやターミナルアダプターなどの制御装置）に付属している取扱説明書を参照してください。

- **光回線（ひかり電話）に接続する**



A：光回線
B：光回線終端装置
C：IP 電話対応ブロードバンドルーター
D：パソコン

E：電話機（留守番電話機）
F：WAN ポート
G：LAN ポート
H：TEL ポート

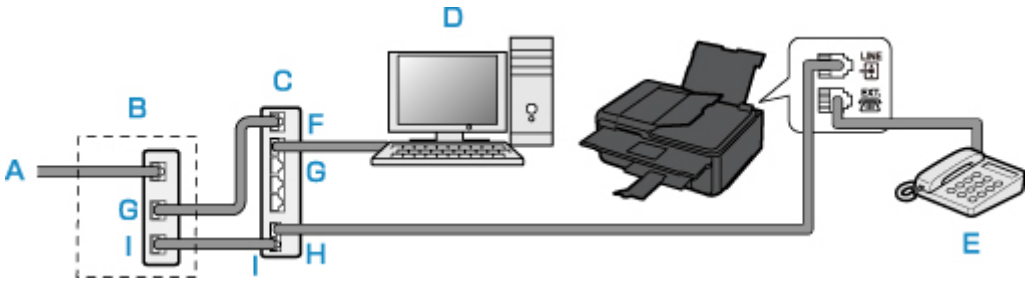
※接続ポートの構成や名称などは、商品により異なります。

参考

- 光回線（光電話）に接続するときは、回線種別としてプッシュ回線（トーン）を選んでください。

  回線種別を設定する

- **IP 電話に接続する**



A：ADSL 回線
B：ADSL モデム
C：IP 電話対応ブロードバンドルーター
D：パソコン
E：電話機（留守番電話機）
F：WAN ポート
G：LAN ポート
H：TEL ポート
I：LINE ポート

※ADSL モデムはスプリッターと本体が分かれているものもあります。

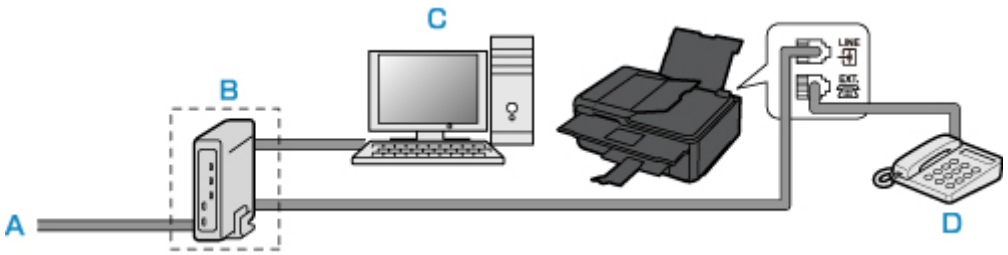
※接続ポートの構成や名称などは、商品により異なります。

参考

- ADSL 回線に接続するときは、回線種別でご契約のタイプと同じタイプ（プッシュ回線／ダイヤル回線 20pps／ダイヤル回線 10pps のいずれか）の回線を設定してください。

  回線種別を設定する

- **ADSL 回線に接続する**



A：ADSL 回線
B：ADSL モデム
C：パソコン
D：電話機（留守番電話機）

※ADSL モデムはスプリッターと本体が分かれているものもあります。

重要

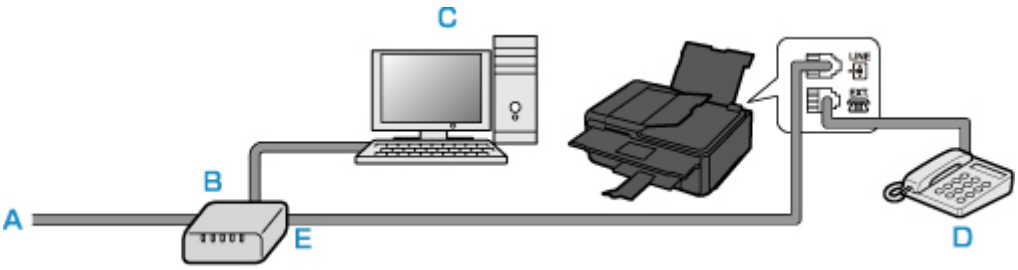
- ADSL モデムとスプリッターが分かれている場合、スプリッターより前（壁側）で電話線を分岐しないでください。また、スプリッターを複数並列接続する場合は、ご使用のインターネット・プロバイダーの窓口にお問い合わせください。

参考

- ADSL 回線に接続するときは、回線種別でご契約のタイプと同じタイプ（プッシュ回線／ダイヤル回線 20pps／ダイヤル回線 10pps のいずれか）の回線を設定してください。

  回線種別を設定する

- **ISDN 回線に接続する**



A：ISDN 回線
B：ターミナルアダプターなど
C：パソコン
D：電話機（留守番電話機）
E：アナログポート

参考

- ISDN 回線に接続するときは、回線種別をターミナルアダプターのアナログポートの設定に合わせてください。一般的には、プッシュ回線（トーン）を選びます。

回線種別を設定する

プリンターに電源コードを接続して電源を入れると、回線種別（ダイヤル回線／プッシュ回線）が自動的に判別されます。ただし、ADSL 回線、光回線、PBX（構内電話交換機）などの制御装置に接続している場合、正しく判別されないことがあります。

この場合は、手動で回線種別を設定してください。

■ 回線種別を手動で設定する

参考

- 接続する回線によって、回線種別の設定が異なります。

  接続する回線別の設定については、以下を参照してください。

  ■ さまざまな回線に接続する
- 現在の回線種別の設定は、ユーザーデータリストを印刷して確認することができます。

  ■ 印刷できるレポートとリスト

回線種別を手動で設定する

ここでは、手動で回線種別を設定するときの操作手順について説明します。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面で （セットアップ）を選ぶ

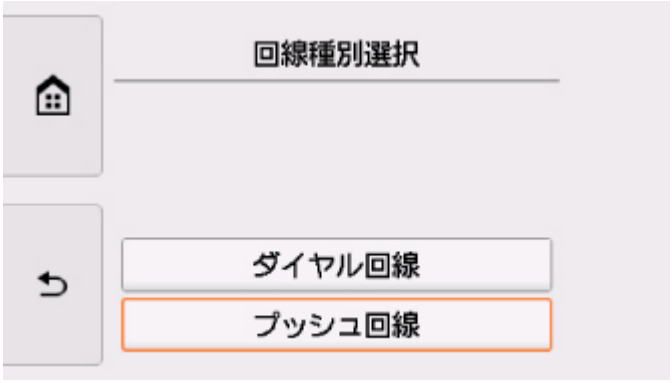
   ■ タッチスクリーンの使いかた
3. ［**本体設定**］を選ぶ
4. ［**ファクス設定**］を選ぶ
5. ［**ファクスの基本設定**］を選ぶ
6. ［**回線種別自動判別**］を選ぶ

   現在の回線種別の設定が表示されます。
7. 現在の回線種別の設定を確認し、［**OK**］を選ぶ

   参考

   - 回線種別の設定を変更する必要がない場合は、 （ホーム）をタップしてください。ホーム画面に戻ります。
8. ［**しない**］を選ぶ

9. 設定したい回線種別を選ぶ



[ダイヤル回線]

ご加入の電話回線がダイヤル式（パルス式）の場合に選びます。

ダイヤル速度を選ぶ画面が表示されますので、[**20 PPS**]または[**10 PPS**]を選んでください。

[プッシュ回線]

ご加入の電話回線がプッシュ式（トーン式）の場合に選びます。

プッシュ式（トーン式）の回線では、ダイヤルするときに「ピポパ」という音（トーン信号）が鳴ります。

受信モードを設定する

ファクスを受信したときの動作（受信モード）を設定します。

受信モードの設定のしかたについては、以下を参照してください。

■ 受信モードを設定する

受信モードは、ご利用形態に合わせて選べます。

選べる受信モードについては、以下を参照してください。

■ 受信モードの種類

受信モードの詳細設定については、以下を参照してください。

■ 受信モードの詳細設定

参考

- ファクスを受信したときの操作は、設定した受信モードによって異なります。

  ファクスを受信したときの操作については、以下を参照してください。

  ■ ファクスを受信する

- 1 つの回線をファクスと電話で共用したい場合は、プリンターと電話機（留守番電話など）を接続する必要があります。

  プリンターと電話機を接続する方法については、以下を参照してください。

  ■ 基本的な接続方法について（一般回線に接続する）

受信モードを設定する

ここでは、受信モードを設定するときの操作手順について説明します。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面から ［**ファクス**］を選ぶ

   ■ タッチスクリーンの使いかた

3. ［**機能一覧**］を選ぶ

   ［**機能一覧**］画面が表示されます。

4. ［**受信モード設定**］を選ぶ

5. 受信モードを選び、［**OK**］を選ぶ

   参考

   - ［**詳細設定**］を選ぶと、詳細な設定を行うことができます。

     詳細設定については、以下を参照してください。

     ■ 受信モードの詳細設定

   - 受信モードについては、以下を参照してください。

受信モードの種類

- それぞれの受信モードでファクスを受信したときの操作手順については、「ファクスを受信する」を参照してください。

受信モードの種類

受信モードは、ファクス専用の回線につなぐかなど、ご利用の形態に合わせて選べます。

- **電話優先モード**

  おもに電話（留守番電話を含む）を使用するときに選びます。

  ファクス受信時の動作：

  1. 着信時に外付け電話機が鳴ります。
  2. 受話器を上げます。

     相手が電話の場合は、通話をします。

     相手がファクスの場合は、受信が始まったら受話器を置きます。

  参考

  - 電話機をプリンターに接続しても、電話機の種類や設定によっては、着信時に電話機の呼び出し音が鳴らない場合があります。

- **ファクス専用モード**

  ファクス専用で使用するときに選びます。

  ファクス受信時の動作：

  1. ファクスが送られてきたら、自動的に受信します。

受信モードの詳細設定

それぞれの受信モードで、詳細な設定をすることができます。

- **電話優先モードの詳細設定**

  以下の設定項目があります。

  - **自動受信切換：する／自動受信切換：しない**

    [**自動受信切換：する**]を選ぶと、一定の時間呼び出し音を鳴らしたあとに自動的にファクスを受信します。

    自動受信を開始するまでの時間を指定できます。

  - **受信開始時間**

    [**自動受信切換：する**]を選んだときの、自動受信を開始するまでの時間を指定します。時間を指定して、[**OK**]を選んでください。

  - **親切受信：する／親切受信：しない**

    [**親切受信：する**]を選ぶと、受話器を上げるか、留守番電話機が応答したときに、ファクス信号（CNG 信号）を検出すると、自動的にファクスの受信に切り替わります。留守番電話機を本製品に接続している場合で、留守番電話機が応答したあと、自動的にファクスの受信に切り替えたいときなどに設定してください。

［**親切受信：しない**］を選ぶと、ファクス信号（CNG 信号）を検出しても、自動的にファクスの受信には切り替わりません。通話中に自動的にファクスの受信に切り替わらないようにしたいときに設定してください。

- **ファクス専用モードの詳細設定**

  以下の設定項目があります。

  - **呼び出し回数**

    着信時の外付け電話機の呼び出し回数を指定します。

    回数を指定して、［**OK**］を選んでください。

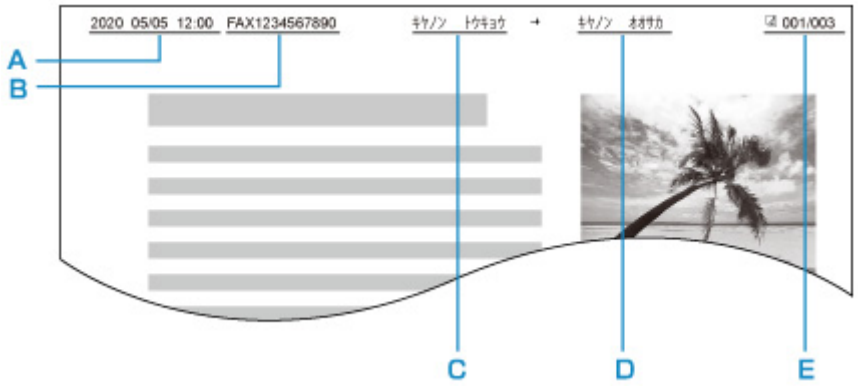
発信元情報を設定する

ユーザー情報や日付／時刻など、送信したファクスに表示される発信元情報を設定します。

- 発信元情報について
- 日付と時刻を設定する
- ユーザー情報を設定する

発信元情報について

ユーザー名やご使用のファクス／電話番号を登録しておくと、ファクス送信時に相手先の記録用紙に発信元情報として日付や時刻とともに印刷されます。



A：送信した日付と時刻
B：ユーザーのファクス／電話番号
C：ユーザー名
D：登録されている相手先の名前が印刷されます。
E：ページ番号

参考

- 登録した発信元情報は、ユーザーデータリストを印刷して確認することができます。
  - 印刷できるレポートとリスト
- 白黒ファクスの送信時に、発信元情報を画像領域の内側と外側のどちらに表示させるかを選ぶことができます。

  ［**ファクス設定**］の［**ファクスの詳細設定**］にある［**発信元記録位置**］で設定します。
  - ファクスの詳細設定
- 日付の表示は［**年／月／日**］、［**月／日／年**］、［**日／月／年**］の 3 つの形式から選ぶことができます。

  ［**本体の基本設定**］の［**日付表示形式**］で設定します。
  - その他の本体設定

日付と時刻を設定する

ここでは、日付と時刻を設定するときの操作手順について説明します。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面で（セットアップ）を選ぶ

タッチスクリーンの使いかた

3. ［**本体設定**］を選ぶ

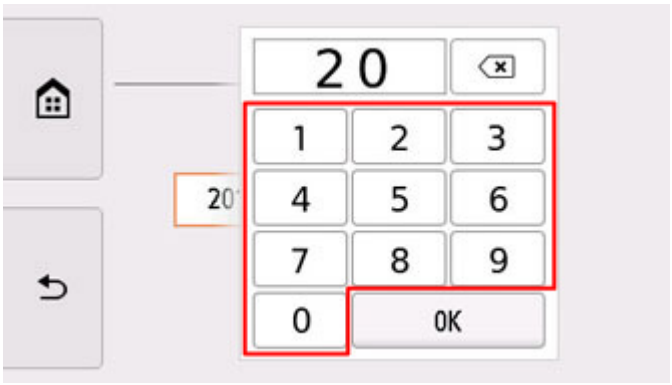
4. ［**その他の本体設定**］を選ぶ

5. ［**日付/時刻設定**］を選ぶ

6. 日付を設定する

   1. 変更したい項目を選びます。

   2. 数字を選んで、入力します。



      西暦は下 2 桁を入力してください。

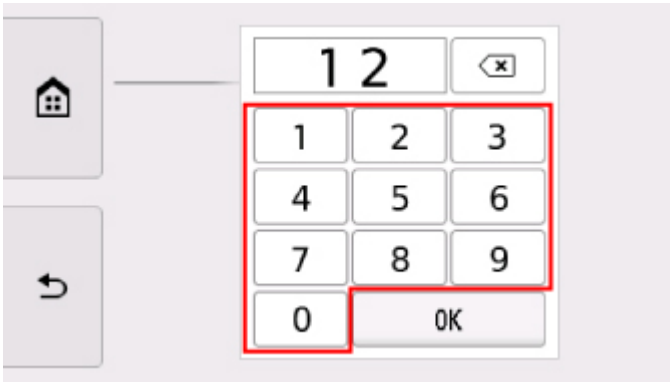
   3. ［**OK**］を選びます。

   4. 設定が完了したら、再度［**OK**］を選びます。

7. 時刻を設定する

   1. 変更したい項目を選びます。

2. 数字を選んで、入力します。



時間は 24 時間表示で設定します。

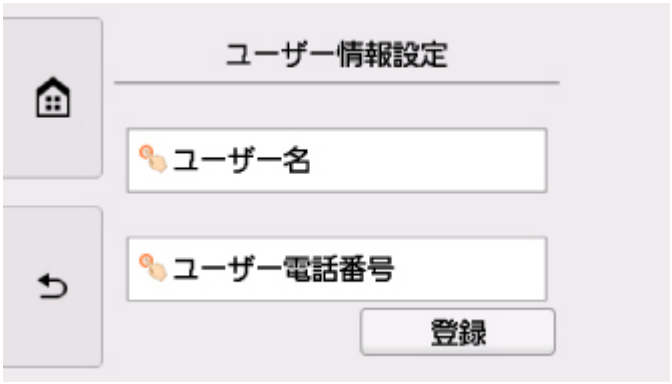
3. ［**OK**］を選びます。
4. 設定が完了したら、再度［**OK**］を選びます。

ユーザー情報を設定する

ここでは、ユーザー情報を設定するときの操作手順について説明します。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面で（セットアップ）を選ぶ
   - タッチスクリーンの使いかた
3. ［**本体設定**］を選ぶ
4. ［**ファクス設定**］を選ぶ
5. ［**ファクスの基本設定**］を選ぶ
6. ［**ユーザー情報設定**］を選ぶ

   ユーザー名とユーザー電話番号を登録する画面が表示されます。



7. ユーザー名を入力する

1. ［**ユーザー名**］の入力欄を選びます。

   文字入力画面が表示されます。

2. ユーザー名を入力します。

3. ［**OK**］を選びます。

参考

- 名前はスペースを含む最大 24 文字まで入力できます。

8. ファクス／電話番号を入力する

1. ［**ユーザー電話番号**］の入力欄を選びます。

   番号入力画面が表示されます。

2. ファクス／電話番号を入力します。

3. ［**OK**］を選びます。

参考

- ファクス／電話番号はスペースを含む最大 20 桁まで入力できます。

9. ［**登録**］を選んで、登録を終了する

送信先を登録する

- プリンターの操作パネルを使って送信先を登録する
- 短縮ダイヤルツール 2 を使って送信先を登録する（Windows）
- 短縮ダイヤルツール 2 を使って送信先を登録する（macOS）

プリンターの操作パネルを使って送信先を登録する

よく利用する送信先をあらかじめプリンターに登録しておくと、かんたんにダイヤルできます。

登録のしかたには、以下の 2 つの方法があります。

- 宛先登録

  宛先登録をすると、電話帳から登録された送信先を選ぶだけで、ファクスを送信できます。

  ■ 送信先の電話番号を登録する

- グループダイヤル登録

  あらかじめ登録した複数の送信先を 1 つのグループにまとめることができます。同じ原稿をグループ内のすべての送信先に一度に送信できます。

  ■ グループダイヤルに登録する

登録可能数（個別の送信先とグループダイヤルを合わせて）：

最大 100 件

参考

- プリンターに登録された送信先を変更したいときは、「登録した情報を変更する」を参照してください。
- プリンターに登録された送信先を削除したいときは、「登録した情報を削除する」を参照してください。
- 登録したファクス／電話番号の一覧を印刷したいときは、「登録した番号リストを印刷する」を参照してください。
- 短縮ダイヤルツール 2 を使用して、パソコンで送信先の登録や変更、削除することもできます。

  ■ Windows をご使用の場合：

  ■ 短縮ダイヤルツール 2 を使って送信先を登録する（Windows）

  ■ macOS をご使用の場合：

  ■ 短縮ダイヤルツール 2 を使って送信先を登録する（macOS）

送信先の電話番号を登録する

電話帳を使ってダイヤルする前に、送信先のファクス／電話番号を登録します。以下の手順で、送信先のファクス／電話番号を登録してください。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面から ［**ファクス**］を選ぶ

   タッチスクリーンの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。

3. ［**機能一覧**］を選ぶ

   ［**機能一覧**］画面が表示されます。

4. ［**電話番号登録**］を選ぶ

5. ［**電話帳の登録**］を選ぶ

   ID 番号を選ぶ画面が表示されます。

参考

- すでに送信先が登録されている番号には送信先の名前が、グループダイヤルを登録されている番号には アイコンとグループ名が表示されます。

6. 未登録の ID 番号を選ぶ

参考

- すでに送信先が登録されていて名前の順に表示されているときは、［**表示切換**］を選んでください。ID 番号順に表示されます。
- ［**新規登録**］を選ぶと、番号順に未登録の ID 番号が選ばれます。

7. ［**宛先登録**］を選ぶ

8. 登録方法を選ぶ

9. 送信先のファクス／電話番号を登録する

選んだ登録方法に従って、登録します。

- ［**番号を入力して登録**］

  名前とファクス／電話番号を登録する画面が表示されます。次の手順に進んでください。

- ［**発信履歴から登録**］

  この登録方法を選ぶと、発信履歴からファクス／電話番号を選ぶ画面が表示されます。

  発信履歴からファクス／電話番号を選ぶと、名前とファクス／電話番号を登録する画面が表示されます。次の手順に進んでください。

10. 送信先の名前を入力する

1. 名前欄を選びます。

文字入力画面が表示されます。

2. 送信先の名前を入力します。

3. ［**OK**］を選びます。

参考

- 名前はスペースを含む最大 16 文字まで入力できます。

11. 送信先のファクス／電話番号を入力する

［**発信履歴から登録**］でファクス／電話番号を選んだ場合は、すでにファクス／電話番号が入力されています。ファクス／電話番号を変更しないときは、次の手順に進んでください。

1. ファクス／電話番号入力欄を選びます。

番号入力画面が表示されます。

2. 送信先のファクス／電話番号を入力します。

3. ［**OK**］を選びます。

参考

- ファクス／電話番号はスペースを含む最大 60 桁まで入力できます。
- ［**ファクス設定**］の［**ファクスの基本設定**］にある［**回線種別自動判別**］を［**しない**］に設定し、さらに［**回線種別選択**］で［**ダイヤル回線**］を選んでいる場合、トーンキーを選ぶと「T」（トーン）を入力できます。

12. ［**登録**］を選んで、登録を終了する

参考

- 続けてほかの送信先を登録するには、未登録の番号を選んでから同様の手順で操作してください。
- 宛先電話番号リストを印刷して、登録した送信先を確認できます。

登録した番号リストを印刷する

グループダイヤルに登録する

登録した送信先をグループダイヤルとして登録することで、複数の送信先に順次ファクスを送信することができます。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面から ［**ファクス**］を選ぶ

   タッチスクリーンの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。

3. ［**機能一覧**］を選ぶ

   ［**機能一覧**］画面が表示されます。

4. ［**電話番号登録**］を選ぶ

5. ［**電話帳の登録**］を選ぶ

   ID 番号を選ぶ画面が表示されます。

参考

- すでに送信先が登録されている番号には送信先の名前が、グループダイヤルを登録されている番号には アイコンとグループ名が表示されます。

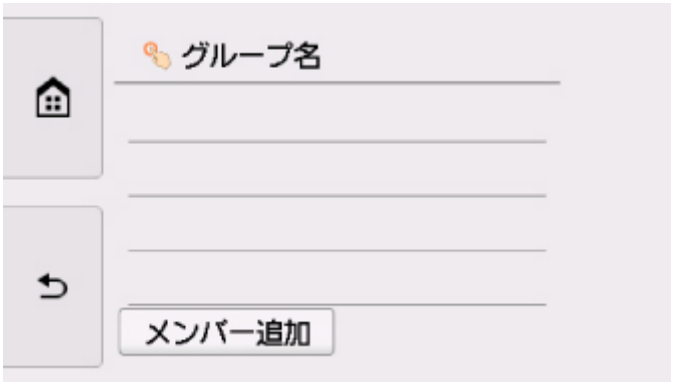
6. 未登録の ID 番号を選ぶ

参考

- すでに送信先が登録されていて名前の順に表示されているときは、［**表示切換**］を選んでください。ID 番号順に表示されます。
- ［**新規登録**］を選ぶと、番号順に未登録の ID 番号が選ばれます。

7. ［**グループダイヤル登録**］を選ぶ

   グループ名とメンバーを登録する画面が表示されます。



8. グループ名を入力する

1. グループ名欄を選びます。

文字入力画面が表示されます。

2. グループ名を入力します。

3. ［**OK**］を選びます。

参考

- 名前はスペースを含む最大 16 文字まで入力できます。

9. 登録済みの送信先をグループダイヤルのメンバーとして登録する

1. ［**メンバー追加**］を選びます。

電話帳が表示されます。

名前順表示

ID 番号順表示

A：選ぶと、名前順表示／ID 番号順表示が切り換わります。

B：選ぶと、名前の先頭文字を選ぶ画面が表示されます。登録した送信先を名前の先頭文字で検索できます。

名前の先頭文字を選ぶと、選んだ文字順に送信先が表示されます。

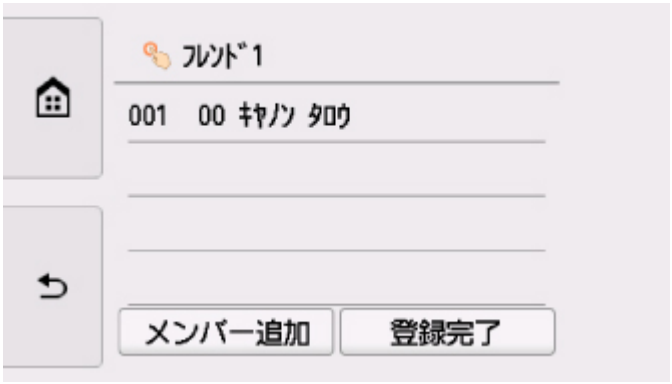
C：選ぶと、登録した送信先の ID 番号を選ぶ画面が表示されます。登録した送信先を ID 番号で検索できます。

ID 番号を入力して［**OK**］を選ぶと、入力した ID 番号の送信先から表示されます。

D：登録できる送信先が表示されます。

2. 送信先を選んで、登録するメンバーを選びます。

登録するメンバーが一覧に表示されます。



参考

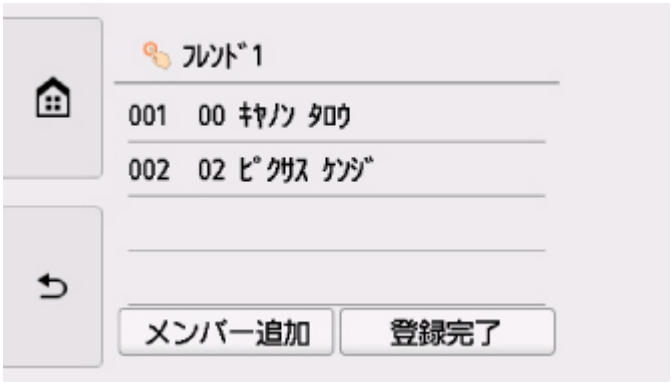
- 一覧に表示されている送信先を選ぶと、グループダイヤルから削除できます。削除確認画面で［**はい**］を選ぶと、グループダイヤルから削除できます。

3. ほかのメンバーを追加する場合は、再度［**メンバー追加**］を選びます。

   電話帳が表示されます。

4. 送信先を選んで、登録するメンバーを選びます。

   登録するメンバーが一覧に表示されます。



手順を繰り返して、同じグループダイヤルに、ほかのメンバーを追加してください。

10. ［**登録完了**］を選んで、登録を終了する

参考

- 続けてほかのグループダイヤルを登録するには、未登録の番号を選んでから同様の手順で操作してください。
- グループダイヤル電話番号リストを印刷して、登録した送信先を確認できます。

  登録した番号リストを印刷する

登録した情報を変更する

次の手順に従って登録した送信先やグループダイヤルを変更します。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面から ［**ファクス**］を選ぶ

   タッチスクリーンの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。

3. ［**機能一覧**］を選ぶ

   ［**機能一覧**］画面が表示されます。

4. ［**電話番号登録**］を選ぶ

5. ［**電話帳の登録**］を選ぶ

6. 変更したい送信先またはグループダイヤルを選ぶ

7. 登録内容を変更する

   - 個別の送信先を変更する場合：
     1. ［**宛先の編集**］を選びます。

        送信先の情報画面が表示されます。
     2. 名前欄またはファクス／電話番号入力欄を選びます。

        それぞれの編集画面が表示されます。
     3. 名前またはファクス／電話番号を変更します。
     4. ［**OK**］を選びます。

        送信先の情報画面に戻ります。
     5. ［**登録**］を選びます。
   - グループダイヤルを変更する場合：
     1. ［**グループダイヤルの編集**］を選びます。

        グループダイヤルの情報画面が表示されます。
     2. グループ名を変更する場合は、名前欄を選びます。

        グループ名の編集画面が表示されたら、グループ名を変更し、［**OK**］を選んでください。
     3. メンバーを追加する場合は、［**メンバー追加**］を選びます。

        電話帳が表示されたら、追加したい送信先を選んでください。
     4. メンバーを削除する場合は、削除したい送信先を選びます。

        削除確認画面が表示されたら、［**はい**］を選んでください。
     5. 変更が完了したら、［**登録完了**］を選びます。

登録した情報を削除する

次の手順に従って登録した送信先やグループダイヤルを削除します。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面から ［**ファクス**］を選ぶ

   タッチスクリーンの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。

3. ［**機能一覧**］を選ぶ

   ［**機能一覧**］画面が表示されます。

4. ［**電話番号登録**］を選ぶ

5. ［**電話帳の登録**］を選ぶ

6. 削除したい送信先またはグループダイヤルを選ぶ

7. 登録内容を削除する

   - 個別の送信先を削除するとき：
     1. ［**宛先の削除**］を選びます。
     2. 削除確認画面が表示されたら、［**はい**］を選びます。
   - グループダイヤルを削除するとき：
     1. ［**グループダイヤルの削除**］を選びます。
     2. 削除確認画面が表示されたら、［**はい**］を選びます。

登録した番号リストを印刷する

登録したファクス／電話番号の一覧を印刷できます。このリストをプリンターのそばに置いておくと、ダイヤルするときに便利です。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する
2. 用紙をセットする
3. ホーム画面から ［**ファクス**］を選ぶ

   ■ タッチスクリーンの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。
4. ［**機能一覧**］を選ぶ

   ［**機能一覧**］画面が表示されます。
5. ［**レポート/リスト印刷**］を選ぶ
6. ［**電話帳リスト**］を選ぶ
7. 印刷したい項目を選ぶ
   - ［**宛先**］を選んだとき：

     リストを名前順で印刷するかを確認する画面が表示されます。

     ［**はい**］を選ぶと、名前の 50 音順、またはアルファベット順で宛先電話番号リストが印刷されます。

     ［**いいえ**］を選ぶと、電話帳の ID 番号順で宛先電話番号リストが印刷されます。
   - ［**グループダイヤル**］を選んだとき：

     印刷確認画面が表示されます。［**はい**］を選んでください。グループダイヤル電話番号リストが印刷されます。

短縮ダイヤルツール 2 を使って送信先を登録する（macOS）

短縮ダイヤルツール 2 について

短縮ダイヤルツール 2 は、本製品に登録された電話帳情報をパソコンに転送し、パソコン上で登録、編集を行うためのユーティリティです。また、パソコン上で登録、編集した電話帳情報を本製品に登録することや、本製品に登録されている電話帳情報のバックアップデータとしてパソコンに保存することもできます。

万一のデータ損失に備えて、短縮ダイヤルツール 2 を使用してバックアップデータを保存することをお勧めします。

- 短縮ダイヤルツール 2 を起動する
- ［短縮ダイヤルツール 2］画面の項目
- 本製品に登録されている電話帳情報をパソコンに保存する
- 短縮ダイヤルツール 2 を使ってファクス／電話番号を登録する
- 短縮ダイヤルツール 2 を使ってファクス／電話番号を変更する
- 短縮ダイヤルツール 2 を使ってファクス／電話番号を削除する
- 短縮ダイヤルツール 2 を使ってユーザー情報を編集する
- 短縮ダイヤルツール 2 を使って通信拒否番号を登録／編集する
- パソコンに保存した電話帳情報を本製品に登録する

短縮ダイヤルツール 2 を起動する

重要

- 短縮ダイヤルツール 2 を起動する前に、本製品とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。
- プリンターが動作しているときや、パソコンがスリープモードまたはスタンバイモードのときにケーブル類を抜き差ししないでください。
- ご使用の機種がネットワーク接続対応機種の場合、ネットワーク経由で短縮ダイヤルツール 2 を使用するときは、パソコンとネットワーク接続されていることを確認してください。
- 起動時や操作の途中で、パスワード入力画面が表示される場合があります。表示された場合は、プリンターに設定されている管理者パスワードを入力し、[**OK**] をクリックしてください。ご不明な場合は管理者にお問い合わせください。

以下の手順で短縮ダイヤルツール 2 を起動します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. Finder の［**移動**］メニューから［**アプリケーション**］を選ぶ
3. ［Canon Utilities］フォルダーをダブルクリックする
4. ［短縮ダイヤルツール 2］フォルダーをダブルクリックする
5. ［短縮ダイヤルツール 2］をダブルクリックする

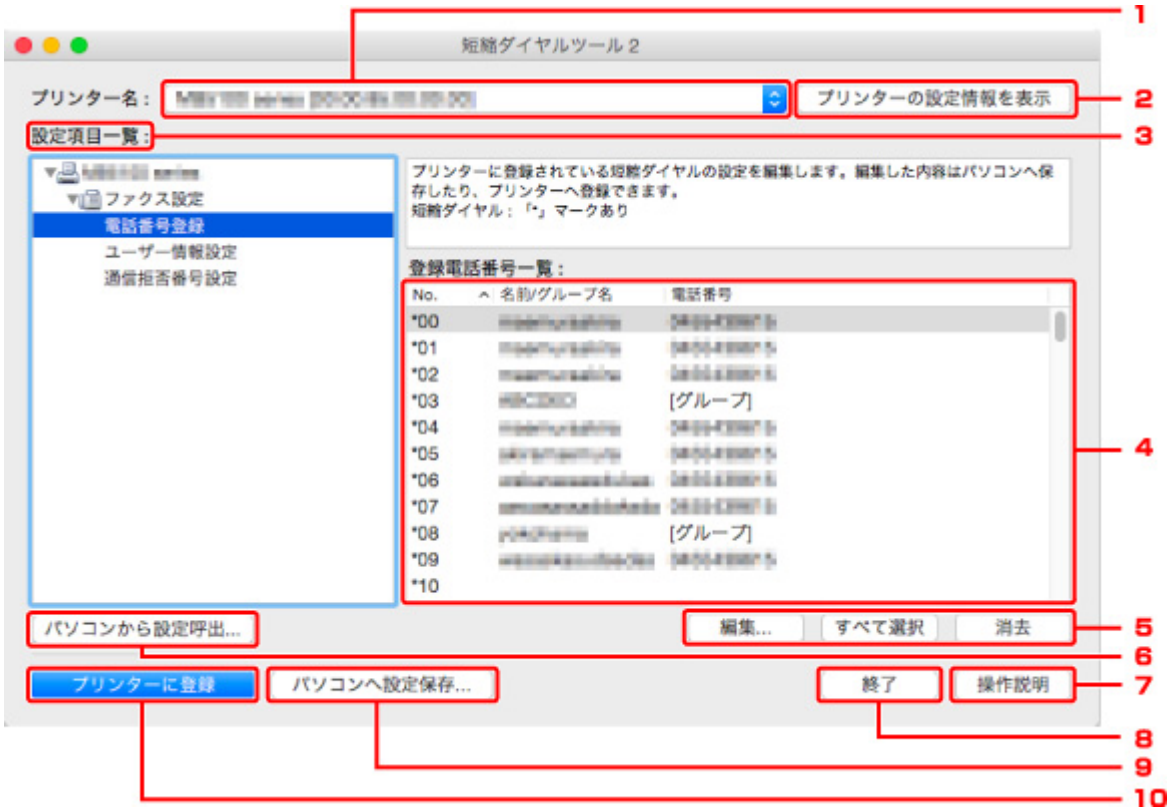
   短縮ダイヤルツール 2 が起動します。

参考

- Quick Utility Toolbox（クイック・ユーティリティー・ツールボックス）から起動することもできます。

［短縮ダイヤルツール 2］画面の項目

［**短縮ダイヤルツール 2**］画面には、以下の項目があります。



1. ［プリンター名:］

短縮ダイヤルツール 2 を使って、電話帳情報の操作を行う製品名を選びます。

製品名の後ろには MAC アドレスが表示されます。

参考

- MAC アドレスの確認方法については、オンラインマニュアルのホームからご使用の機種の「ネットワークに関する設定を調べたい」を参照してください。
- 無線 LAN 接続／有線 LAN 接続双方に対応している機種は、接続方法に関わらず有線 LAN 接続の MAC アドレスが表示されます。

2. ［プリンターの設定情報を表示］

［**プリンター名:**］で選んだ製品に登録されている電話帳情報を、短縮ダイヤルツール 2 に読み込みます。

3. ［設定項目一覧:］

操作を行う設定項目を選びます。［**電話番号登録**］、［**ユーザー情報設定**］、［**通信拒否番号設定**］のうちのひとつを選びます。

4. 詳細一覧表示

［**設定項目一覧**:］で選んだ項目の内容が表示されます。

参考

- 項目名をクリックすると、表示順を並び替えることができます。

5.［**編集...**］／［**すべて選択**］／［**消去**］

［**設定項目一覧:**］で選択した項目を編集、すべてを選択、削除するときに使用します。

詳細一覧画面で複数の項目を選択している場合は、［**編集...**］ボタンの操作はできません。

6.［**パソコンから設定呼出...**］

パソコンに保存した電話帳情報を表示するときに使用します。

7.［**操作説明**］

本マニュアルが表示されます。

8.［**終了**］

短縮ダイヤルツール 2 を終了するときに使用します。登録、編集された内容は更新されません。

9.［**パソコンへ設定保存...**］

短縮ダイヤルツール 2 で操作を行った電話帳情報をパソコンに保存するときに使用します。

10.［**プリンターに登録**］

短縮ダイヤルツール 2 で操作を行った電話帳情報を本製品に登録するときに使用します。

本製品に登録されている電話帳情報をパソコンに保存する

以下の手順に従って、本製品に登録されている電話帳情報（宛先の名前やファクス／電話番号、グループダイヤル、発信元情報のユーザー名やファクス／電話番号、通信拒否番号）をパソコンに保存します。

1. 短縮ダイヤルツール 2 を起動する

2. ［**プリンター名:**］リストボックスから本製品を選び、［**プリンターの設定情報を表示**］ボタンをクリックする

3. ［**パソコンへ設定保存...**］ボタンをクリックする

4. 表示された画面でファイル名を入力し、［**保存**］ボタンをクリックする

参考

- 電話帳情報のデータ（RSD ファイル、*.rsd）は短縮ダイヤルツール 2 を使用して他のプリンターにも取り込むことができます。

  パソコンに保存した電話帳情報を本製品に登録する

短縮ダイヤルツール 2 を使ってファクス／電話番号を登録する

以下の手順に従ってファクス／電話番号を登録します。

参考

- 短縮ダイヤルツール 2 を使って本製品にファクス／電話番号を登録するときは、本製品のファクスが動作していないことを確認してください。

1. 短縮ダイヤルツール 2 を起動する

2. ［**プリンター名:**］リストボックスから本製品を選び、［**プリンターの設定情報を表示**］ボタンをクリックする

3. ［**設定項目一覧:**］から［**電話番号登録**］をクリックする

   登録電話番号一覧が表示されます。

4. 登録電話番号一覧からまだ使用されていない番号を選び、［**編集...**］ボタンをクリックする

   ［**個別/グループの選択**］ダイアログが表示されます。

5. ［**個別電話番号の登録**］ボタンまたは［**グループダイヤルの登録**］ボタンをクリックし、［**次へ...**］ボタンを押す

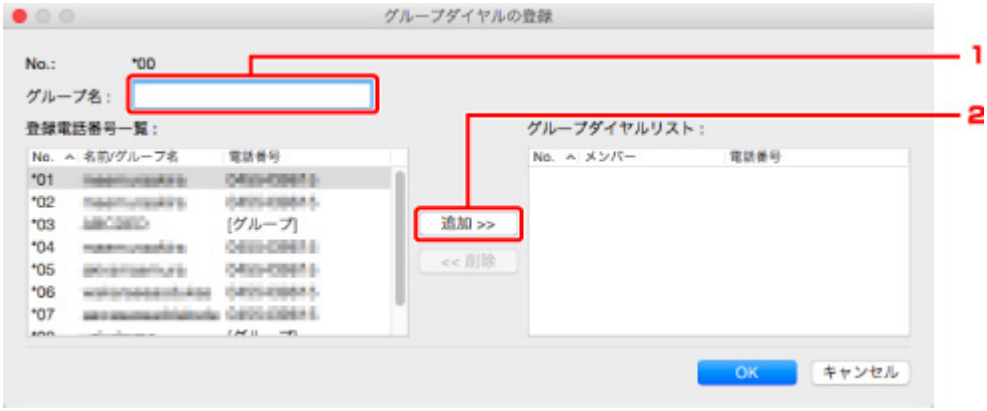
   - ［**個別電話番号の登録**］を選んだ場合：

     1. 名前を入力します。
     2. ファクス／電話番号を入力します。

        参考

        - 全角文字を入力した場合は、入力確定後半角文字に変換されます。
        - 漢字入力には対応していません。

   - ［**グループダイヤルの登録**］を選んだ場合：



1. グループ名を入力します。
2. グループに追加したい番号を登録電話番号一覧から選び、［**追加 >>**］ボタンをクリックします。

参考

- グループダイヤルに登録できるのは、すでに登録されているファクス／電話番号だけです。

6.［OK］ボタンをクリックする

続けて登録を行う場合は、手順 4～6 を繰り返します。

- 登録した内容をパソコンに保存する場合：
  1.［**パソコンへ設定保存...**］ボタンをクリックします。
  2. 表示された画面でファイル名を入力し、［**保存**］ボタンをクリックします。
- 登録した内容を本製品に登録する場合：
  1.［**プリンターに登録**］ボタンをクリックします。
  2. メッセージが表示されますので、内容を確認し［**OK**］ボタンをクリックします。

     入力した内容が本製品に登録されます。

短縮ダイヤルツール 2 を使ってファクス／電話番号を変更する

以下の手順に従ってファクス／電話番号を変更します。

参考

- 短縮ダイヤルツール 2 を使って本製品のファクス／電話番号を変更するときは、本製品のファクスが動作していないことを確認してください。

1. 短縮ダイヤルツール 2 を起動する

2. ［**プリンター名:**］リストボックスから本製品を選び、［**プリンターの設定情報を表示**］ボタンをクリックする

3. ［**設定項目一覧:**］から［**電話番号登録**］をクリックする

   登録電話番号一覧が表示されます。

4. 登録電話番号一覧から変更する番号を選び、［**編集...**］ボタンをクリックする

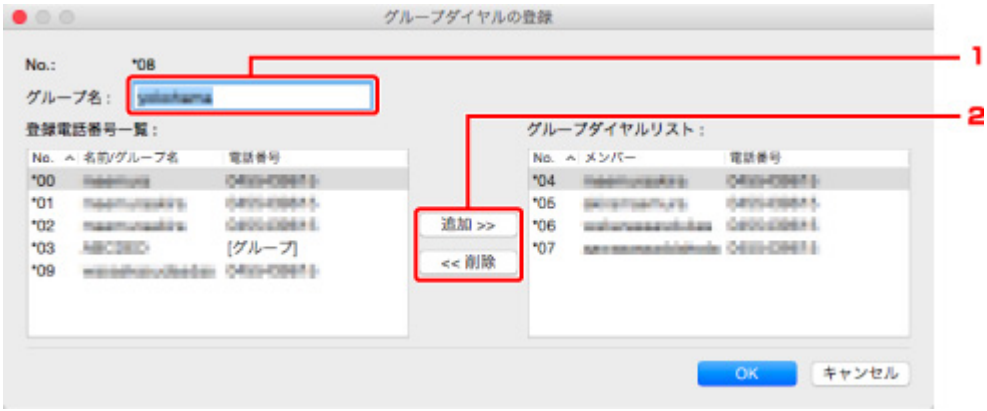
   - 個別のファクス／電話番号を選んだ場合：

     1. 新しい名前を入力します。
     2. 新しいファクス／電話番号を入力します。

        参考

        - 全角文字を入力した場合は、入力確定後半角文字に変換されます。
        - 漢字入力には対応していません。

   - グループダイヤルを選んだ場合：



     1. 新しいグループ名を入力します。
     2. グループダイヤルへの追加またはグループダイヤルから削除の操作をします。

番号を追加する場合

登録番号の一覧から追加したい番号を選び、[**追加 >>**]ボタンをクリックします。

番号を削除する場合

グループダイヤルリストから削除したい番号を選び、[**<< 削除**]ボタンをクリックします。

5. [**OK**]ボタンをクリックする

続けて変更を行う場合は、手順 4、5 を繰り返します。

- 変更した内容をパソコンに保存する場合：
  1. [**パソコンへ設定保存...**]ボタンをクリックします。
  2. 表示された画面でファイル名を入力し、[**保存**]ボタンをクリックします。
- 変更した内容を本製品に登録する場合：
  1. [**プリンターに登録**]ボタンをクリックします。
  2. メッセージが表示されますので、内容を確認し[**OK**]ボタンをクリックします。

     入力した内容が本製品に登録されます。

短縮ダイヤルツール 2 を使ってファクス／電話番号を削除する

以下の手順に従ってファクス／電話番号を削除します。

参考

- 短縮ダイヤルツール 2 を使って本製品のファクス／電話番号を削除するときは、本製品のファクスが動作していないことを確認してください。

1. 短縮ダイヤルツール 2 を起動する

2. ［**プリンター名:**］リストボックスから本製品を選び、［**プリンターの設定情報を表示**］ボタンをクリックする

3. ［**設定項目一覧:**］から［**電話番号登録**］をクリックする

   登録電話番号一覧が表示されます。

4. 登録電話番号一覧から削除する番号を選び、［**消去**］ボタンをクリックする

   参考

   - 登録電話番号一覧にあるすべての番号を削除する場合は、［**すべて選択**］ボタン、［**消去**］ボタンの順にクリックします。

5. 削除確認画面が表示されたら、［**OK**］ボタンをクリックする

   ファクス／電話番号が削除されます。

   続けて削除を行う場合は、手順 4、5 を繰り返します。

   - 削除した内容をパソコンに保存する場合：
     1. ［**パソコンへ設定保存...**］ボタンをクリックします。
     2. 表示された画面でファイル名を入力し、［**保存**］ボタンをクリックします。
   - 削除した内容を本製品に登録する場合：
     1. ［**プリンターに登録**］ボタンをクリックします。
     2. メッセージが表示されますので、内容を確認し［**OK**］ボタンをクリックします。

        入力した内容が本製品に登録されます。

短縮ダイヤルツール 2 を使ってユーザー情報を編集する

以下の手順に従って、本製品に登録されている発信元情報のユーザー名やファクス／電話番号を編集します。

1. 短縮ダイヤルツール 2 を起動する

2. ［**プリンター名:**］リストボックスから本製品を選び、［**プリンターの設定情報を表示**］ボタンをクリックする

3. ［**設定項目一覧:**］から［**ユーザー情報設定**］をクリックする

   ユーザー情報が表示されます。

4. 編集したい項目を選び、［**編集...**］ボタンをクリックする

   ［**ユーザー情報**］ダイアログが表示されます。

5. ［**ユーザー名**］でユーザー名を、［**電話番号**］でファクス／電話番号をそれぞれ再入力し、［**OK**］ボタンをクリックする

   参考

   - 全角文字を入力した場合は、入力確定後半角文字に変換されます。
   - 漢字入力には対応していません。

   - 編集した内容をパソコンに保存する場合：
     1. ［**パソコンへ設定保存...**］ボタンをクリックします。
     2. 表示された画面でファイル名を入力し、［**保存**］ボタンをクリックします。
   - 編集した内容を本製品に登録する場合：
     1. ［**プリンターに登録**］ボタンをクリックします。
     2. メッセージが表示されますので、内容を確認し［**OK**］ボタンをクリックします。

        入力した内容が本製品に登録されます。

短縮ダイヤルツール 2 を使って通信拒否番号を登録／編集する

以下の手順に従って通信拒否番号を登録、変更、削除します。

1. 短縮ダイヤルツール 2 を起動する

2. ［**プリンター名:**］リストボックスから本製品を選び、［**プリンターの設定情報を表示**］ボタンをクリックする

3. ［**設定項目一覧:**］から［**通信拒否番号設定**］をクリックする

   受信拒否番号リストが表示されます。

   - 通信拒否番号を登録する場合：

     1. 受信拒否番号リストからまだ使用されていない番号を選び、［**編集...**］ボタンをクリックします。
     2. ［**通信拒否番号**］画面でファクス／電話番号を入力し、［**OK**］ボタンをクリックします。

   - 通信拒否番号を変更する場合：

     1. 受信拒否番号リストから編集する番号を選び、［**編集...**］ボタンをクリックします。
     2. ［**通信拒否番号**］画面でファクス／電話番号を再入力し、［**OK**］ボタンをクリックします。

     参考

     - 全角文字を入力した場合は、入力確定後半角文字に変換されます。
     - 漢字入力には対応していません。

   - 通信拒否番号を削除する場合：

     1. 受信拒否番号リストから削除する番号を選び、［**消去**］ボタンをクリックします。

        ファクス／電話番号が削除されます。

        参考

        - 通信拒否番号一覧にあるすべての番号を削除する場合は、［**すべて選択**］ボタン、［**消去**］ボタンの順にクリックします。

パソコンに保存した電話帳情報を本製品に登録する

パソコンに保存した電話帳情報のデータ（RSD ファイル、*.rsd）を呼び出して、本製品に登録します。

他のプリンターから保存した電話帳情報のデータ（RSD ファイル、*.rsd）も呼び出して登録することもできます。

参考

- 短縮ダイヤルツール 2 では、短縮ダイヤルツールを使用してパソコンに保存した電話帳情報のデータ（RSD ファイル、*.rsd）を呼び出すことができます。

1. 短縮ダイヤルツール 2 を起動する

2. ［**プリンター名:**］リストボックスから本製品を選び、［**プリンターの設定情報を表示**］ボタンをクリックする

3. ［**パソコンから設定呼出...**］ボタンをクリックする

4. 本製品に登録したい電話帳情報のデータ（RSD ファイル、*.rsd）を選ぶ

5. ダイアログの［**開く**］をクリックする

   選んだ電話帳情報が表示されます。

   参考

   - 他のプリンターから保存した電話帳情報のデータ（RSD ファイル、*.rsd）を選んだ場合は、確認メッセージが表示されます。［**OK**］ボタンをクリックしてください。

6. ［**プリンターに登録**］ボタンをクリックする。

   パソコンに保存した電話帳情報が本製品に登録されます。

プリンターの操作パネルを使ってファクスを送信する

- ファクス／電話番号をダイヤルしてファクスを送信する 基本
- リダイヤル機能を使って送信する
- ファクスを送信するときの設定項目

ファクス／電話番号をダイヤルしてファクスを送信する

ここでは送信先のファクス／電話番号をダイヤルして、原稿を送信する方法について説明します。

重要

- 相手先番号の押し間違い、ファクス／電話番号の登録ミスなどにより、意図しない相手に原稿が送信されるおそれがあります。大切な原稿を送信する場合は、相手先の状況を確認してから原稿を送信することをお勧めします。

  送信先の状況を確認してから送信する

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

2. 原稿台または ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする

   参考

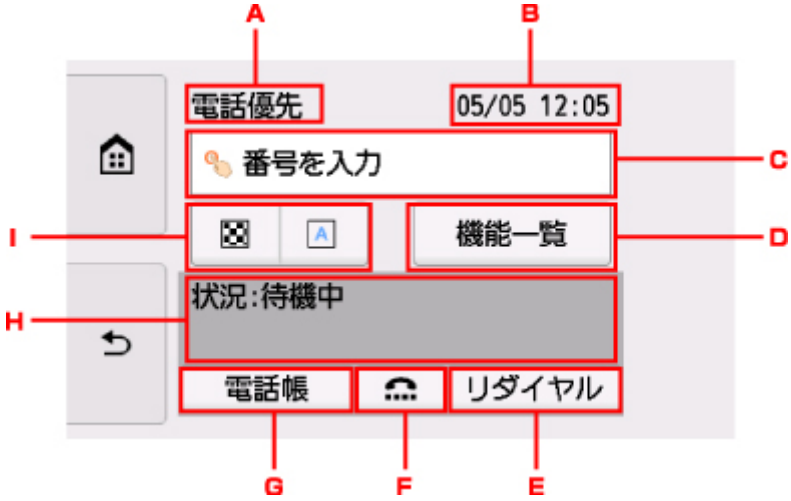
   - 送信できる原稿の種類や条件、セットのしかたについては、以下を参照してください。

     原稿をセットする

3. ホーム画面から ［**ファクス**］を選ぶ

   タッチスクリーンの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。



A：現在、設定している受信モードが表示されます。

B：日付と時刻が表示されます。

C：選ぶと、ファクス／電話番号入力画面が表示されます。

D：ファクスに関する各機能を利用、設定できます。

E：リダイヤルでファクスを送信するときに選びます。

リダイヤル機能を使って送信する

F：オンフック機能を使ってファクスを送信するときに選びます。

オンフック機能を使う

G：登録している電話番号を選べます。

■ 登録した送信先に送信する

H：現在の状況が表示されます。

I：ファクスを送信するときの設定を変更できます。

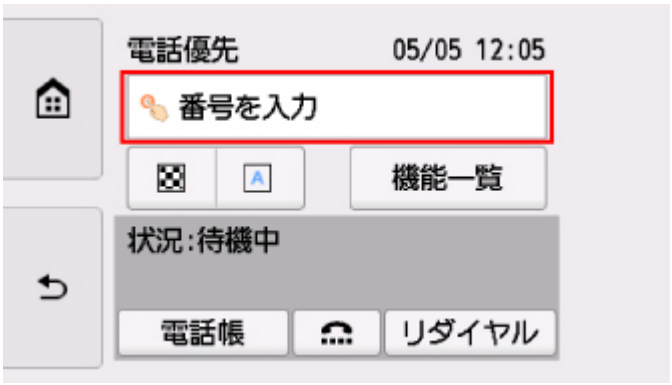
■ ファクスを送信するときの設定項目

参考

- ファクスを送受信するための各設定を行っていない場合は、初めて［**ファクス**］を選んだときに、セットアップの案内画面が表示されます。セットアップを行うときは、表示されるメッセージに従って操作を行ってください。

4. 送信先のファクス／電話番号をダイヤルする

1. ファクス／電話番号入力欄を選びます。



2. ファクス／電話番号を入力します。

A：番号を入力します。

B："P"（ポーズ）を入力します。

C：入力した番号を削除します。

D：スペースを入力します。

3. ［**OK**］を選びます。

ファクス待機画面に戻ります。

5. ［モノクロ］または［カラー］をタップする

原稿の読み取りが開始されます。

重要

- カラー送信は送信先のファクス機がカラーに対応しているときのみ有効になります。
- 読み取り中は原稿台カバーを開けないでください。

6. 送信を開始する

- **ADF に原稿をセットした場合：**

  読み取りを終了した原稿から、自動的に送信を開始します。

  参考

  - 送信を中止するときは、［ストップ］をタップします。送信中のときは［ストップ］をタップし、タッチスクリーンの表示に従ってください。
  - 原稿の読み取り中に［ストップ］をタップして原稿が ADF に残った場合は、タッチスクリーンに［ADF に原稿が残っています 原稿トレイに残っている原稿を取り除き、[OK]をタップしてください］と表示されます。［**OK**］を選ぶと、ADF に残った原稿が自動的に排紙されます。

- **原稿台に原稿をセットした場合：**

  原稿の読み取りが終了するごとに、次の原稿をセットするかを確認する画面が表示されます。

  1 枚の原稿のみを送信するときは、［**このまま送信**］を選ぶと送信を開始します。

  原稿が複数枚の場合は、メッセージに従って次の原稿をセットしてから［**読取開始**］を選びます。すべての原稿を読み取ったあと［**このまま送信**］を選ぶと送信が始まります。

  参考

  - 送信を中止するときは、［ストップ］をタップします。

参考

- プリンターを PBX（構内電話交換機）などに接続しているときは、それぞれの操作方法に従って、送信先のファクス／電話番号をダイヤルしてください。
- 送信先が話し中などでファクスを送信できなかったときに、間隔をあけて自動的にリダイヤルする機能があります。お買い上げ時は自動リダイヤルする設定になっています。

  自動リダイヤル
- リダイヤル中などで送信が完了していない原稿はプリンターのメモリーに保存されます。ただし、送信エラーになった場合は保存されません。

  プリンターのメモリーに保存されているファクスについて
- すべての原稿が送信されるまで、電源プラグは抜かないでください。電源プラグを抜くと、プリンターのメモリーに保存されている未送信の原稿は削除されます。

リダイヤル機能を使って送信する

リダイヤルする方法には、自動リダイヤルと手動リダイヤルの 2 つがあります。

- 自動リダイヤル

  送信先が話し中などでファクスを送信できなかったときは、間隔をあけて自動的にリダイヤルします。

  ■ 自動リダイヤル

- 手動リダイヤル

  番号入力してダイヤルしたファクス／電話番号にリダイヤルすることができます。

  ■ 手動リダイヤル

重要

- 相手先番号の押し間違い、ファクス／電話番号の登録ミスなどにより、意図しない相手に原稿が送信されるおそれがあります。大切な原稿を送信する場合は、相手先の状況を確認してから原稿を送信することをお勧めします。

  ■ 送信先の状況を確認してから送信する

参考

- お買い上げ時は自動リダイヤルをする設定になっています。
- ファクスを送信するときの基本的な操作については、以下を参照してください。

  ■ ファクス／電話番号をダイヤルしてファクスを送信する

自動リダイヤル

自動リダイヤルをするか、また自動リダイヤルをするときの回数や間隔を設定できます。

設定は、［**ファクス設定**］の［**ファクスの詳細設定**］にある［**自動リダイヤル**］で行ってください。

■ ファクスの詳細設定

重要

- 自動リダイヤル中のファクスは、送信が完了するまで一時的にプリンターのメモリーに保存されています。自動リダイヤルでの送信が完了する前に、停電が発生したり、電源プラグを抜いたりすると、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去され、送信されません。

参考

- 自動リダイヤルを中止するときは、リダイヤルが開始されたあと、［ストップ］をタップしてください。
- 自動リダイヤルを取り消す場合は、自動リダイヤルの待機中に送信が完了していないファクスをプリンターのメモリーから削除してください。詳しくは、「プリンターのメモリーに保存されているファクスを削除する」を参照してください。

手動リダイヤル

以下の手順で、手動リダイヤルを行います。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

2. 原稿台または ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする

3. ホーム画面から ［**ファクス**］を選ぶ

   タッチスクリーンの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。

4. 必要に応じて、送信設定を変更する

   ファクスを送信するときの設定項目

5. ［**リダイヤル**］を選ぶ

   ［**リダイヤル**］画面が表示されます。

6. リダイヤルする送信先番号を選ぶ

7. ［モノクロ］または［カラー］をタップする

重要

- カラー送信は送信先のファクス機がカラーに対応しているときのみ有効になります。

参考

- 手動リダイヤルでは、番号入力してダイヤルした最近 10 件までの送信先が記憶されています。登録した送信先やリダイヤルのダイヤル履歴は記憶されません。
- 手動リダイヤルを中止するときは、［ストップ］をタップします。送信中のときは［ストップ］をタップし、タッチスクリーンの表示に従ってください。
- 原稿の読み取り中に［ストップ］をタップして原稿が ADF に残った場合は、タッチスクリーンに［ADF に原稿が残っています 原稿トレイに残っている原稿を取り除き、[OK]をタップしてください］と表示されます。［**OK**］を選ぶと、ADF に残った原稿が自動的に排紙されます。

ファクスを送信するときの設定項目

ファクス待機画面で、読取画質や読取濃度など、ファクスを送信するときの設定を変更できます。

選んで、送信設定を変更します。

- **[読取画質]**

  以下の読取画質が選べます。

  [標準]
  文字だけの原稿に適しています。

  [ファイン]
  細かい文字の原稿に適しています。

  [ファイン EX]
  詳細なイラストや細かい文字の入った原稿に適しています。

  送信先のファクス機が［**ファイン EX**］（300×300 dpi）に対応していない場合は、［**標準**］または［**ファイン**］の解像度でファクスを送信します。

  [写真]
  写真の原稿に適しています。

  参考

  - カラーファクスを送信する場合は、すべて同じ解像度（200×200 dpi）で読み取られ、設定した読取画質により、画質（圧縮率）が異なります。ただし、［**ファイン EX**］と［**写真**］は同じ画質になります。

- **[読取濃度]**

  ［**薄く**］、［**標準**］、［**濃く**］の 3 つから選べます。

設定を完了した後［**OK**］を選ぶと、ファクス待機画面に戻ります。

パソコンからファクスを送信する（Mac OS）

- AirPrint を使用してファクスを送信する
- 使用上の注意（AirPrint を使用したファクス送信）

AirPrint を使用してファクスを送信する

AirPrint を使用してプリンターからファクスを送信できます。

ファクスを送信する際は、パソコンにご使用のプリンターを登録してください。

ご使用の環境を確認する

はじめに、ご使用の環境を確認してください。

- **AirPrint の動作環境**

  Mac OS がインストールされているパソコン。

  参考

  - 使用可能な OS バージョンについては、お使いの機種のオンラインマニュアルのホームから「仕様」のページを検索して、参照してください。

- **使用条件**

  パソコンとご使用のプリンターが、正しく接続されていること。

パソコンにご使用のプリンターを登録する

1. ［**システム環境設定**］を開き、［**プリンタとスキャナ**］（［**プリントとスキャン**］）を選択
2. ［**+**］をクリックして、プリンターリストを表示
3. ［**Bonjour マルチファンクション**］と表示されているご使用のプリンターの機種名を選択

   参考

   - プリンターが表示されない場合は、以下のことを確認してください。
     - プリンターの電源が入っていること
     - セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能がオフになっていること
     - プリンターがアクセスポイントに接続されている、または直接パソコンに接続されていること
   - プリンターを USB 接続でお使いの場合は、［**USB マルチファンクション**］を選んでください。

4. ［**ドライバ**］から［**Secure AirPrint**］または［**AirPrint**］を選択
5. ［**追加**］をクリック

ファクスを送信する

参考

- モノクロ送信にのみ対応しています。

1. プリンターの電源が入っていることを確認

2. 送信する文書をアプリケーションソフトで開く

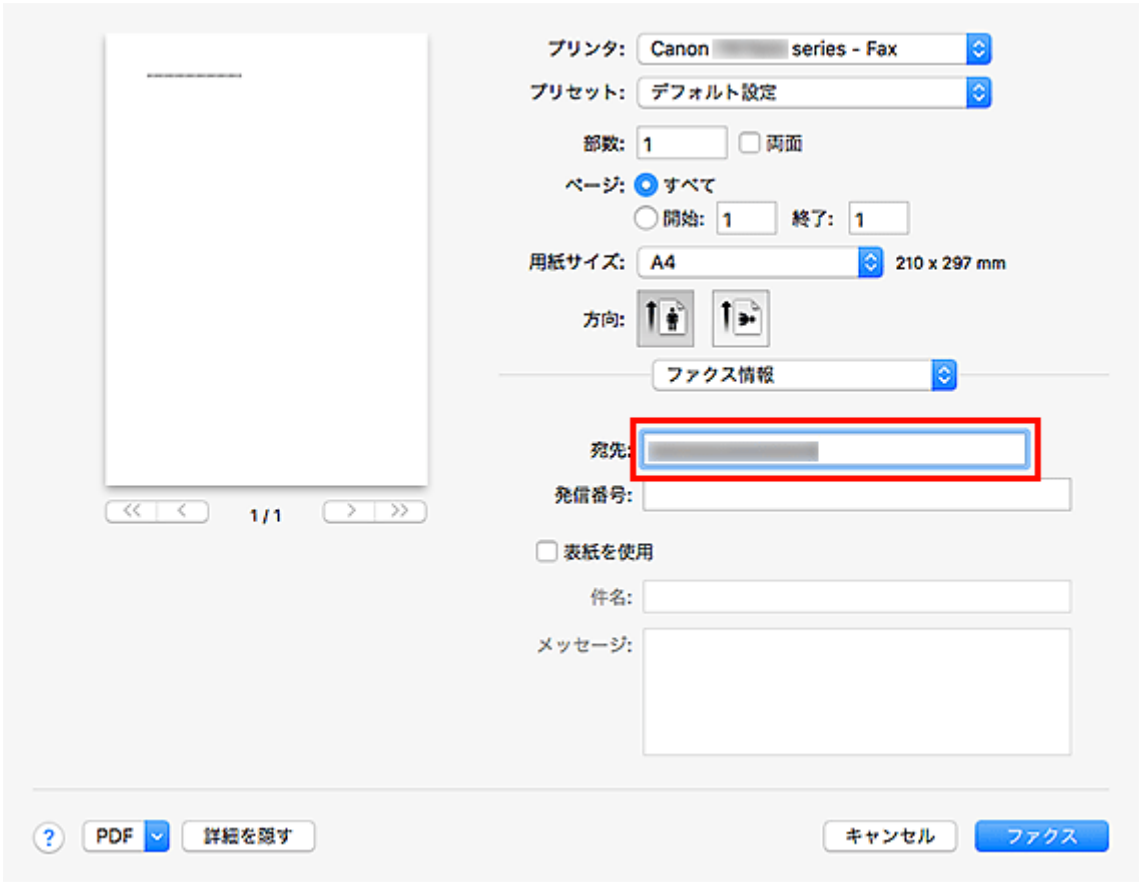
3. プリントダイアログを開く

   プリントダイアログを開くには、一般的にアプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント...］を選びます。

4. ［**プリンタ**］から「**Canon XXX series - Fax**」（「XXX」は機種名）を選択

5. 必要に応じてファクス用紙設定を行う

6.［**宛先**］にファクス／電話番号を入力



必要に応じて発信番号の入力や、表紙の設定を指定してください。

7. [**ファクス**] をクリック

自動的にダイヤルし、ファクスを送信します。

参考

- ファクスの送信を中止するときは、プリンターの**ストップ**ボタンを押します。

自動リダイヤル

送信先が話し中などでファクスを送信できなかったときは、プリンターの自動リダイヤルの設定に従って、自動リダイヤルを行います。

自動リダイヤルをするか、また自動リダイヤルをするときの回数や間隔を設定できます。

参考

- 自動リダイヤルを中止するときは、リダイヤルが開始されたあと、プリンターの**ストップ**ボタンを押します。
- 詳しくは、お使いの機種のオンラインマニュアルのホームから「ファクス設定」のページを検索して、参照してください。

使用上の注意（AirPrint を使用したファクス送信）

ファクス送信する際は、以下のような制限事項があります。

- ［**宛先**］と［**発信番号**］の文字数の合計が半角数字記号で 40 文字以内になるように入力してください。
- ［**宛先**］に使用できる文字／記号は以下のとおりです。

文字／記号	説明
0～9 * #	電話番号やファクス番号に使います。
+ スペース	番号を読みやすくするために使います。ただし、スペースを番号の先頭に入れることはできません。

- ［**発信番号**］に使用できる文字／記号は以下のとおりです。

文字／記号	説明
0～9 * #	電話番号やファクス番号に使います。
p	番号の間にポーズを入れるときに使います。
T	この後のファクス番号はプッシュ（トーン）信号で発信されます。
+ スペース	番号を読みやすくするために使います。ただし、スペースを番号の先頭に入れることはできません。

ファクスを受信する

- ファクスを受信する
- 用紙の設定を変更する
- 一時的にプリンターのメモリーに受信する

ファクスを受信する

ここでは、ファクス受信に必要な準備や、ファクスを受信する方法を説明します。

ファクス受信の準備をする

ファクスを受信するためには、以下の手順に従って準備してください。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

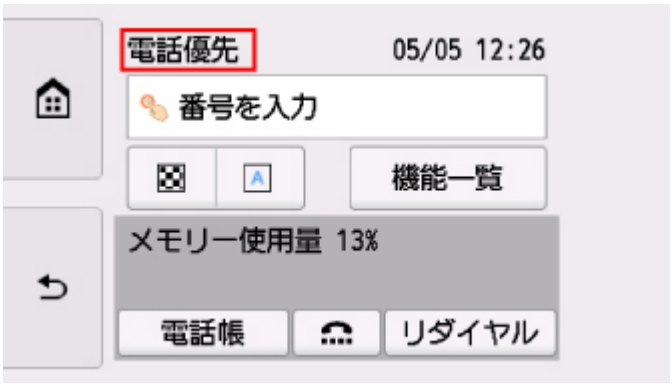
2. ホーム画面から ［**ファクス**］を選ぶ

   タッチスクリーンの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。

3. 受信モードを確認する

   ファクス待機画面で表示されている受信モードを確認します。

   参考

   - 受信モードを変更する場合は、以下を参照してください。

     受信モードを設定する

4. 用紙をセットする

   普通紙をセットしてください。

5. 必要に応じて、用紙の設定を変更する

   用紙の設定を変更する

   以上で、ファクスを受信するための準備は完了です。

   ファクスを受信すると、セットした用紙に自動的に印刷されます。

ファクスを受信する

ファクスが送られてきたときの受信の操作手順は、設定されている受信モードによって異なります。

参考

- 受信モードについては、以下を参照してください。

  受信モードを設定する

- それぞれの受信モードでは、詳細な設定を行うことができます。

  詳細設定については、以下を参照してください。

  受信モードの詳細設定

- 受信したファクスを印刷できなかった場合は、一時的にプリンターのメモリーに保存されます。

  一時的にプリンターのメモリーに受信する

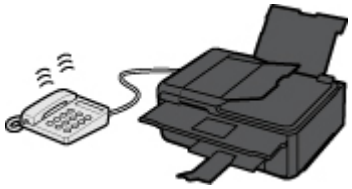
- 受信したファクスを自動的に PDF としてメモリーカードに保存することもできます。

  受信したファクスをメモリーカードに自動保存する

［電話優先モード］が設定されている場合：

- **ファクスが送られてくると…**

  電話機の呼び出し音が鳴ります。



  受話器を上げて、「ポーポー」音が聞こえたあと、無音が 5 秒以上続いたら、受話器を置いてください。

  ファクスが受信されます。

参考

- ファクスに切り替わらない場合は、ホーム画面で［**ファクス**］を選び直してから［モノクロ］または［カラー］をタップしてください。
- 受話器を上げずにファクスを受信するときは［**詳細設定**］から［**自動受信切換：する**］に設定してください。続けて、［**受信開始時間**］でファクス受信に切り替わるまでの秒数を設定できます。
- プリンターに接続されている電話機の操作でファクスを受信する（リモート受信）こともできます。

  プリンターに接続されている電話機からファクス受信を指示する（リモート受信）

- 留守番電話を接続しているときは：

■■ 留守番電話機を留守モードに設定している場合は、[**詳細設定**]から[**親切受信：する**]に設定してください。相手がファクスを送信しようとした場合は、自動的にファクスの受信に切り替わります。

■■ 留守番電話機の留守モードを解除している場合は、受話器を上げて、「ポーポー」音が聞こえたあと、無音が 5 秒以上続いたら、受話器を置いてください。

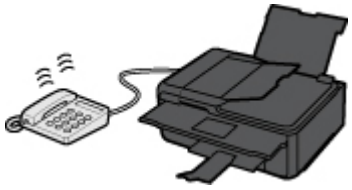
■■ [**詳細設定**]から[**自動受信切換：する**]を設定した場合、[**受信開始時間**]は留守番電話機の応答メッセージが開始するまでの時間より長く設定してください。設定後、携帯電話などから電話をかけて、正しく留守番電話機に録音できるか確認することをお勧めします。

■■ 留守番電話機の留守モードの設定は、次のようにしてください。

- 応答メッセージの長さは 15 秒以内にしてください。
- メッセージでは、ファクスの送信方法を説明してください。

- **電話がかかってくると…**

電話機の呼び出し音が鳴ります。



受話器を上げて話してください。

参考

- 相手と通話しているときに、意図せずファクスに切り替わってしまう場合は、[**詳細設定**]から[**親切受信：しない**]に設定してください。
- [**詳細設定**]から[**自動受信切換：する**]に設定した場合は、[**受信開始時間**]で設定した時間内に受話器を上げないとファクス受信に切り替わり、通話できなくなります。

[ファクス専用モード]が設定されている場合：

- **ファクスが送られてくると…**

自動的にファクスが受信されます。

参考

- 電話機を接続している場合は、着信時に呼び出し音が鳴ります。
- [**詳細設定**]から[**呼び出し回数**]で着信呼び出し回数を変更することができます。

用紙の設定を変更する

本製品は、受信したファクスをあらかじめセットされている用紙に印刷します。ここでは、操作パネルから用紙の設定を変更する方法について説明します。セットした用紙に合わせて正しく設定してください。

重要

- 設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙がセットされていた場合、受信したファクスはいったんプリンターのメモリーに保存され、[用紙サイズを確認して、 [OK]を選んでください］と表示されます。その場合は、設定した用紙サイズと同じサイズの用紙をセットして、［**OK**］を選んでください。

  または、［ストップ］をタップして操作を続け、あとでプリンターのメモリーに保存されたファクスを印刷することもできます。

  プリンターのメモリーに保存されているファクスを印刷する
- 用紙がセットされていない場合、または印刷中に用紙がなくなった場合、受信したファクスはいったんプリンターのメモリーに保存され、用紙なしに関するエラーメッセージが表示されます。その場合は用紙をセットし、［**OK**］を選んでください。

  または、［ストップ］をタップして操作を続け、あとでプリンターのメモリーに保存されたファクスを印刷することもできます。

  プリンターのメモリーに保存されているファクスを印刷する

参考

- 送信元が A3 や B4 など、A4 よりも大きいサイズの原稿を送信した場合、送信元のファクス機が自動的に原稿を縮小、分割して送信する、または原稿の一部分（A4 の範囲）だけを送信することがあります。

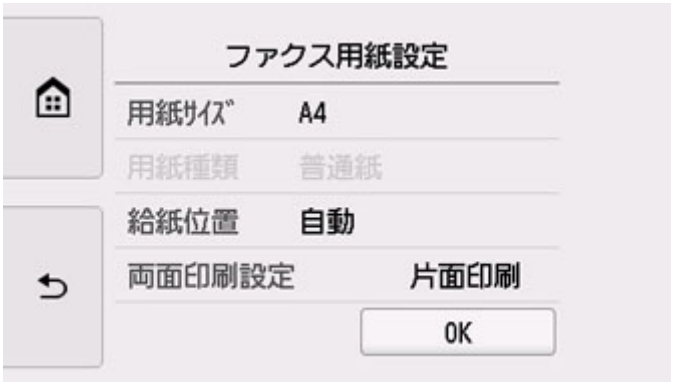
1. プリンターの電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面から ［**ファクス**］を選ぶ

   タッチスクリーンの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。
3. ［**機能一覧**］を選ぶ

   ［**機能一覧**］画面が表示されます。
4. ［**ファクス用紙設定**］を選ぶ

   ［**ファクス用紙設定**］画面が表示されます。
5. 設定を変更する



用紙サイズ

［A4］、［レター］、または［リーガル］から用紙のサイズを選びます。

用紙種類

［普通紙］に設定されます。

給紙位置

用紙をセットした給紙位置（後トレイ／カセット／自動）を選びます。

参考

- ［自動］を選ぶと、用紙設定（用紙サイズ／用紙種類）と一致する用紙がセットされている給紙位置から給紙します。

両面印刷設定

用紙の両面に印刷するか片面に印刷するかを選びます。

両面印刷は、モノクロのファクスを受信したときのみ有効です。カラーのファクスを受信した場合は、設定にかかわらず片面に印刷されます。

［両面印刷］を選んだ場合、［詳細設定］からとじ方向を選ぶことができます。

参考

- ［用紙サイズ］で［A4］または［レター］を選んでいるときのみ、両面に印刷できます。

6. ［OK］を選ぶ

一時的にプリンターのメモリーに受信する

受信したファクスを印刷できなかった場合は、プリンターのメモリーに自動的に保存されます。ファクスメモリーランプが点灯し、ファクス待機画面で［**メモリー受信しました**］と表示されます。

重要

- プリンターのメモリーにファクスが保存されているときに電源プラグを抜くと、保存されているファクスはすべて消去されます。次回電源を入れると確認画面が表示されますので、［**OK**］を選んでください。消去されたファクスの一覧（メモリークリアリスト）が印刷されます。

次のような状況でファクスを受信すると、ファクスが自動的にプリンターのメモリーに保存されます。

- **受信ファクスをプリンターのメモリーに保存する設定になっているとき：**

  ［**ファクス設定**］の［**自動印刷設定**］で［**受信原稿**］を［**印刷しない**］に設定していると、受信ファクスはプリンターのメモリーに保存されます。

  プリンターのメモリーに保存されたファクスは、［**機能一覧**］の［**メモリー照会**］から印刷することができます。

  プリンターのメモリーに保存されているファクスを印刷する

  参考

  - 受信したファクスを自動で印刷する場合は、［**ファクス設定**］から［**自動印刷設定**］を選び、［**受信原稿**］を［**印刷する**］に設定してください。

    自動印刷設定

- **プリンターにエラーが発生しているとき：**

  ［**ファクス設定**］の［**自動印刷設定**］で［**受信原稿**］を［**印刷する**］に設定していると、受信ファクスは自動で印刷されます。ただし、以下のようなエラーが発生すると、受信ファクスはプリンターのメモリーに保存されます。

  エラーが解消されると、プリンターのメモリーに保存されたファクスは自動的に印刷されます。

  ◦ 印刷するのに十分なインクが残っていないとき：

    インクタンクを交換してください。

    インクタンクを交換する

    参考

    ■ インクがなくなっても、受信したファクスを強制的に印刷するように設定することができます。

    ［**ファクス設定**］から［**自動印刷設定**］を選び、［**インク切れでの印刷**］を［**印刷する**］に設定してください。

    ただし、インク切れにより、ファクスの内容が部分的もしくはすべて印刷されないことがあります。

    また、ファクスの内容はプリンターのメモリーに保存されません。

    なお、すでにインクがなくなっている場合は、［**ファクス設定**］から［**自動印刷設定**］を選び、［**受信原稿**］を［**印刷しない**］に設定して、受信したファクスを一度プリンターのメモリーに保存することをお勧めします。インクタンクを交換したあとに［**自動印刷設定**］の［**受信原稿**］を［**印刷する**］に設定を戻すと、プリンターのメモリーに保存されたファクスは自動で印刷されます。

■ 自動印刷設定

- 用紙がなくなったとき：

  用紙をセットし、タッチスクリーンに表示されている［**OK**］を選んでください。

- ［**ファクス用紙設定**］の［**用紙サイズ**］で設定したサイズと異なるサイズの用紙がセットされているとき：

  ［**用紙サイズ**］で設定したサイズと同じサイズの用紙をセットし、タッチスクリーンに表示されている［**OK**］を選んでください。

- **［ストップ］をタップして、受信したファクスの印刷を中止したとき：**

  （ホーム）をタップしてから、再度［**ファクス**］を選んでファクス待機画面を表示すると、中止したファクスが印刷されます。

参考

- プリンターのメモリーには、最大 250 ページ分*（最大 30 件）のファクスが保存できます。

  * キヤノン FAX 標準チャート No.1（標準モード）使用時

- メモリー受信中にプリンターのメモリーがいっぱいになった場合、受信済みのページのみ保存されます。プリンターのメモリーに保存されているファクスを印刷、またはメモリーカードに保存し、プリンターのメモリーから削除してから、送信元に連絡して、もう一度送信してもらってください。

  ■ プリンターのメモリーに保存されているファクスについて

そのほかの便利なファクス機能

- プリンターのメモリーに保存されているファクスについて

プリンターのメモリーに保存されているファクスについて

送信が完了していない場合や受信したファクスを印刷できなかった場合、これらのファクスはプリンターのメモリーに保存されます。

ただし、送信エラーになった場合は、プリンターのメモリーに保存されません。

次の場合、受信したファクスは印刷されず、プリンターのメモリーに自動的に保存されます。

- 印刷するのに十分なインクが残っていないとき
- 用紙がなくなったとき
- [**ファクス用紙設定**]の[**用紙サイズ**]で設定したサイズと異なるサイズの用紙がセットされているとき
- [**ファクス設定**]の[**自動印刷設定**]にある[**受信原稿**]が[**印刷しない**]に設定されているとき
- [ストップ]をタップして、受信したファクスの印刷を中止したとき

重要

- 電源プラグを抜くと、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

  電源プラグの抜きかたについては、「電源プラグを抜く」を参照してください。

プリンターのメモリーに保存されているファクスを印刷したり削除したりできます。また、プリンターのメモリーに保存されているファクス（受信したファクスのみ）をメモリーカードに保存することもできます。

- プリンターのメモリーに保存されているファクスを印刷するとき

  プリンターのメモリーに保存されているファクスを印刷する
- プリンターのメモリーに保存されているファクスを削除するとき

  プリンターのメモリーに保存されているファクスを削除する
- プリンターのメモリーに保存されているファクスをメモリーカードに保存するとき

  プリンターのメモリーに保存されているファクスをメモリーカードに保存する

参考

- プリンターのメモリーに保存されているファクスから特定のファクスを印刷や削除、または確認をするときは、受付番号でファクスを指定します。プリンターのメモリーに保存されているファクスの受付番号が印字される原稿リストをあらかじめ印刷しておくと便利です。

  原稿リストの印刷のしかたについては、「プリンターのメモリーに保存されているファクスを印刷する」を参照してください。

プリンターのメモリーに保存されているファクスを印刷する

プリンターのメモリーに保存されたファクスは、ファクスを指定して印刷する、または保存されているすべての受信ファクスを一度に印刷することができます。

また、ファクスを指定して印刷する場合は受付番号でファクスを指定します。プリンターのメモリーに保存されているファクスの受付番号が印字される原稿リストをあらかじめ印刷しておくと便利です。

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

2. 用紙をセットする

3. ホーム画面から ［**ファクス**］を選ぶ

   タッチスクリーンの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。

4. ［**機能一覧**］を選ぶ

   ［**機能一覧**］画面が表示されます。

5. ［**メモリー照会**］を選ぶ

   原稿リストが表示されます。

   A：送受信した日時とファクス／電話番号が表示されます。

   B：受付番号が表示されます。

   0001 ～ 4999 は、送信ファクスを指します。

   5001 ～ 9999 は、受信ファクスを指します。

   C：カラーファクスを送受信したときは［カラー］と表示されます。白黒ファクスを送受信したときは何も表示されません。

   参考

   - プリンターのメモリーに何も保存されていないときは、［メモリーに保存されている原稿がありません］と表示されます。［**OK**］を選ぶと元の画面に戻ります。

6. 印刷メニューを選ぶ

   - 原稿リストを印刷したいときは：

［**原稿リスト印刷**］を選ぶと、プリンターのメモリーに保存されているファクスの原稿リストを印刷できます。

印刷確認画面が表示されたら、［**はい**］を選んでください。印刷が開始します。

原稿リストには、未送信または印刷できなかったファクスの受付番号、通信モード、相手先や枚数、日付、送受信したときの時刻が印刷されます。

原稿リストに印字されている受付番号は、0001～4999 が送信ファクスを、5001～9999 が受信ファクスを表します。

- 印刷する原稿を指定したいときは：

  ［**原稿リスト**］画面で印刷したいファクスを選んでから、［**指定原稿を印刷**］を選びます。

  参考

  - 指定した原稿がプリンターのメモリーにない場合は、［**印刷できる原稿がありません**］と表示されます。［**OK**］を選ぶと元の画面に戻ります。

  先頭ページのみを印刷するかを確認する画面が表示されます。

  ［**はい**］を選ぶと、最初のページのみが印刷されます。ファクスはプリンターのメモリーに保存されたままです。

  ［**いいえ**］を選ぶと、すべてのページが印刷されます。印刷が終了したあと、印刷したファクスをプリンターのメモリーから削除するかを確認する画面が表示されます。

- プリンターのメモリーに保存されているすべての受信ファクスを印刷したいときは：

  ［**一括処理**］を選んでから、［**受信原稿を一括印刷**］を選びます。

  印刷確認画面が表示されたら、［**はい**］を選んでください。受付番号ごとにすべてのファクスが印刷されます。

  受付番号ごとに印刷が終了すると、すべてのファクスをプリンターのメモリーから削除するかを確認する画面が表示されます。

  ［**はい**］を選ぶと、ファクスは削除されます。

プリンターのメモリーに保存されているファクスを削除する

プリンターのメモリーに保存されたファクスは、ファクスを指定して削除する、または保存されているすべてのファクスを一度に削除することができます。

参考

- ファクスを指定して削除する場合は受付番号でファクスを指定します。プリンターのメモリーに保存されているファクスの受付番号が印字される原稿リストをあらかじめ印刷しておくと便利です。

  プリンターのメモリーに保存されているファクスを印刷する

1. プリンターの電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面から ［**ファクス**］を選ぶ

   タッチスクリーンの使いかた

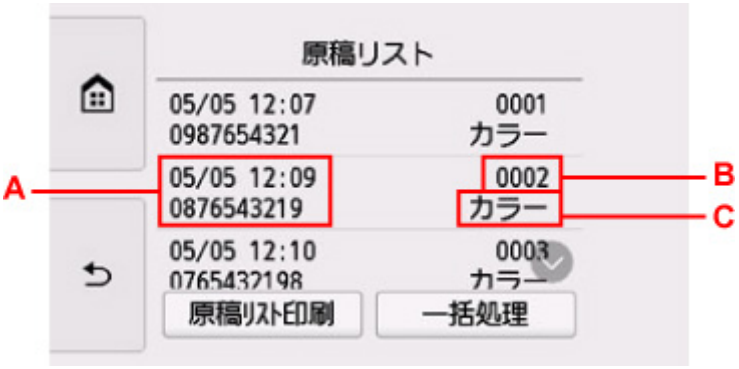
   ファクス待機画面が表示されます。

3. ［**機能一覧**］を選ぶ

   ［**機能一覧**］画面が表示されます。

4. ［**メモリー照会**］を選ぶ

   原稿リストが表示されます。



   A：送受信した日時とファクス／電話番号が表示されます。

   B：受付番号が表示されます。

   0001 ～ 4999 は、送信ファクスを指します。

   5001 ～ 9999 は、受信ファクスを指します。

   C：カラーファクスを送受信したときは［カラー］と表示されます。白黒ファクスを送受信したときは何も表示されません。

   参考

   - プリンターのメモリーに何も保存されていないときは、［メモリーに保存されている原稿がありません］と表示されます。［**OK**］を選ぶと元の画面に戻ります。

5. 削除メニューを選ぶ

- 削除する原稿を指定したいときは：

  [**原稿リスト**]画面で削除したいファクスを選んでから、[**指定原稿を削除**]を選びます。

  参考

  - 指定した原稿がプリンターのメモリーにない場合は、[**削除できる原稿がありません**]と表示されます。[**OK**]を選ぶと元の画面に戻ります。

  確認画面が表示されます。

  [**はい**]を選ぶと、指定したファクスが削除されます。

- プリンターのメモリーに保存されているすべての原稿を削除したいときは：

  [**一括処理**]を選んでから、[**すべての原稿を一括削除**]を選びます。

  確認画面が表示されます。

  [**はい**]を選ぶと、すべてのファクスが削除されます。

プリンターのメモリーに保存されているファクスをメモリーカードに保存する

プリンターのメモリーに保存されている受信ファクスを PDF としてメモリーカードに保存することができます。

受信ファクスを指定してメモリーカードに保存する、またはすべての受信ファクスを一度にメモリーカードに保存することができます。

重要

- ファクスを保存する前にメモリーカードをプリンターから抜き差ししないでください。
- メモリーカードに保存したファクスは、万一の故障に備えてほかの媒体に定期的に保存することをお勧めします。
- データの破損または消失については、プリンターの保証期間内であっても、理由の如何に関わらず、弊社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

参考

- ファクスを指定して保存する場合は受付番号でファクスを指定します。プリンターのメモリーに保存されているファクスの受付番号が印字される原稿リストをあらかじめ印刷しておくと便利です。

  プリンターのメモリーに保存されているファクスを印刷する

- プリンターのメモリーに保存されているファクスをメモリーカードに保存したあとも、ファクスはプリンターのメモリーに保存されたままです。

  プリンターのメモリーに保存されているファクスを削除する方法については、「プリンターのメモリーに保存されているファクスを削除する」を参照してください。

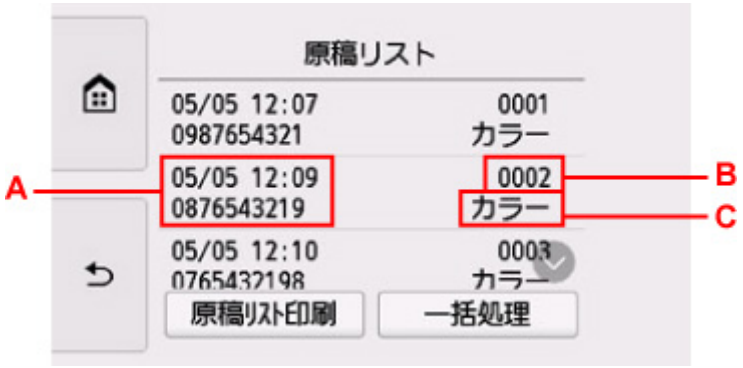
1. プリンターの電源が入っていることを確認する
2. メモリーカードをカードスロットにセットする
3. ホーム画面から ［**ファクス**］を選ぶ

   タッチスクリーンの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。
4. ［**機能一覧**］を選ぶ

   ［**機能一覧**］画面が表示されます。
5. ［**メモリー照会**］を選ぶ

   原稿リストが表示されます。



A：送受信した日時とファクス／電話番号が表示されます。

B：受付番号が表示されます。

0001 ～ 4999 は、送信ファクスを指します。

5001 ～ 9999 は、受信ファクスを指します。

C：カラーファクスを送受信したときは［カラー］と表示されます。白黒ファクスを送受信したときは何も表示されません。

参考

- プリンターのメモリーに何も保存されていないときは、［メモリーに保存されている原稿がありません］と表示されます。［**OK**］を選ぶと元の画面に戻ります。

6. 保存メニューを選ぶ

- メモリーカードに保存する原稿を指定したいときは：

  ［**原稿リスト**］画面で保存したいファクスを選んでから、［**指定原稿を保存**］を選びます。

  参考

  - 指定した原稿がプリンターのメモリーにない場合は、［保存できる原稿がありません］と表示されます。［**OK**］を選ぶと元の画面に戻ります。

  保存先として［**メモリーカード**］を選びます。指定した受信ファクスがメモリーカードに保存されます。

- プリンターのメモリーに保存されているすべての受信ファクスをメモリーカードに保存したいときは：

  ［**一括処理**］を選んでから、［**受信原稿を一括保存**］を選びます。

  保存先として［**メモリーカード**］を選びます。すべての受信ファクスがメモリーカードに保存されます。

参考

- 最大 250 ページまで、ひとつの PDF ファイルとしてファクスを保存することができます。
- 最大 2000 ファイルまで、PDF をメモリーカードに保存することができます。
- ［**受信原稿を一括保存**］でファクスを保存する場合は、受付番号順に保存されます。
- ファクスを保存している途中で、メモリーカードが抜かれたり、メモリーカードの容量がいっぱいになったりした場合、タッチスクリーンにエラーメッセージが表示されます。［**OK**］を選んで、エラーを解除してください。
- メモリーカードに保存されるファクスのフォルダ名とファイル名は、以下のようになります。

  ■■ フォルダー名：CANON_SC¥FAXDOC¥0001
  ■■ ファイル名（拡張子：PDF）：FAX_0001 から連番
  ■■ ファイルの日付：プリンターに登録されている日付／時刻で保存されます。

日付／時刻の設定については、以下を参照してください。

■ 日付と時刻を設定する

よくあるご質問

ネットワーク

- プリンターが見つからない
- 無線 LAN 接続（Wi-Fi）で使用中にプリンターが見つからない
- ネットワークキー（パスワード）を忘れてしまった／わからない
- 印刷／接続ができなくなった

ネットワークに関するその他の質問はこちら

印刷

- 印刷が始まらない
- 白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじ（線）が入る
- コピー／印刷結果に満足できない
- 用紙がつまったときの対処方法
- 印刷／接続ができなくなった

インストール

- MP ドライバーがインストールできない（Windows）

ファクス

- ファクスを送信できない
- ファクスを印刷できない／［メモリー受信しました］と表示される
- ファクスが受信できない／カラーファクスが受信できない
- ファクス設置ガイド

エラー

- トラブルが発生したときは
- メッセージ（サポート番号）が表示されている

問題の解決

うまく動かない

- 電源が入らない
- 電源が自動的に切れてしまう
- 日本語以外の言語が表示されている
- タッチスクリーンの表示が消えている
- USB 接続がうまくいかない
- USB 接続で通信ができない

- 印刷が始まらない
- コピー／印刷が途中で止まる
- AirPrint で印刷できない
- 印刷に時間がかかる
- インクが出ない
- 用紙がつまったときの対処方法
- 用紙がうまく送られない／「用紙なし」のエラーが発生する

- 自動両面印刷でうまく印刷できない
- プリンタードライバーで選んだ給紙箇所から用紙がうまく送られない（Windows）
- コピー／印刷結果に満足できない
- スキャンができない（Windows）
- スキャンができない（macOS）
- スキャン結果に満足できない（Windows）
- スキャン結果に満足できない（macOS）
- スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンできない
- ファクスを送信できない
- ファクスを印刷できない／［メモリー受信しました］と表示される
- ファクスが受信できない／カラーファクスが受信できない
- ダイヤルできない
- 通話中に電話が切れてしまう

うまく設定できない（ネットワーク）

- セットアップのときにプリンターが見つからない
- 無線 LAN 接続（Wi-Fi）で使用中にプリンターが見つからない
- 有線 LAN 接続で使用中にプリンターが見つからない
- プリンターが突然使えなくなった
- ネットワークキー（パスワード）を忘れてしまった／わからない
- プリンターに設定した管理者パスワードを忘れてしまった
- Wi-Fi ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった
- ネットワーク設定の途中パソコン画面にメッセージが表示された
- ネットワークに関する設定を調べたい
- プリンターの LAN 設定を初期設定状態に戻す

うまく設定できない（インストール）

- MP ドライバーがインストールできない（Windows）
- ネットワーク環境で MP ドライバーをアップデートする（Windows）

エラーメッセージが表示されている

- トラブルが発生したときは
- メッセージ（サポート番号）が表示されている
- ファクス待機画面にメッセージが表示されている
- エラーのサポート番号一覧
- PictBridge（Wi-Fi）対応機器にエラーメッセージが表示されている
- IJ Scan Utility エラーメッセージ一覧（Windows）
- IJ Scan Utility Lite エラーメッセージ一覧（macOS）
- ScanGear（スキャナードライバー）エラーメッセージ一覧（Windows）

機能別トラブル

- ネットワーク
- 印刷
- スマートフォン／タブレットから印刷／スキャン
- スキャン（Windows）
- スキャン（macOS）
- ファクス
- 本体
- インストール／ダウンロード
- エラー表示／メッセージ

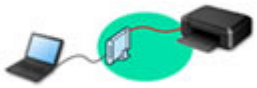
トラブルが解決しないときは

ネットワークについてよくあるご質問

ネットワークに関してよくあるご質問です。ご使用の、またはご使用になりたい接続方法を下から選んでください。

無線 LAN 接続（Wi-Fi）でご使用の場合

無線ダイレクトでご使用の場合



有線 LAN 接続でご使用の場合

無線 LAN 接続（Wi-Fi）でご使用の場合

プリンターが見つからない

- 無線 LAN 接続（Wi-Fi）で使用中にプリンターが見つからない
- セットアップのときにプリンターが見つからない
- ［プリンターの接続］画面から先に進めない（USB 接続したプリンターが見つからない）
- セットアップのときに IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索する
- 無線 LAN 接続（Wi-Fi）でセットアップのときにエラーが発生した
- 同じ名前のプリンターを検出したときは
- LAN の接続方法を切り替える／無線 LAN（Wi-Fi）の接続方法を切り替える

印刷／接続ができなくなった

- プリンターが突然使えなくなった
- Wi-Fi ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった
- 無線 LAN 接続（Wi-Fi）でパソコンなどの機器からインターネットに接続できない
- プリンターと Wi-Fi ルーターを［PC/スマホでかんたん接続］を使用して接続したい
- スマートフォン／タブレットを Wi-Fi ルーターに接続できない
- Wi-Fi ルーターのボタンを使用してプリンターと Wi-Fi ルーターを接続したい
- 無線 LAN 接続（Wi-Fi）でセットアップのときにエラーが発生した
- 他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える
- 印刷／接続ができなくなった

LAN の設定について知りたい、LAN の設定を変更したい

- ネットワークキー（パスワード）を忘れてしまった／わからない
- プリンターに設定した管理者パスワードを忘れてしまった
- ネットワークに関する設定を調べたい
- プリンターの LAN 設定を初期設定状態に戻す
- Wi-Fi ルーターのネットワーク名（SSID）／パスワードを確認したい
- スマートフォン／タブレットが選んでいる Wi-Fi ルーターのネットワーク名（SSID）を確認したい
- Wi-Fi ルーターのプライバシーセパレーター、SSID セパレーター、ネットワーク分離機能について
- 工場出荷時初期値（ネットワーク）
- 他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える
- プリンターのネットワーク設定情報を印刷する
- LAN の接続方法を切り替える／無線 LAN（Wi-Fi）の接続方法を切り替える
- ステータスコードについて確認したい

スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンするときは

- プリンターと Wi-Fi ルーターを［PC/スマホでかんたん接続］を使用して接続したい
- スマートフォン／タブレットを Wi-Fi ルーターに接続できない
- スマートフォン／タブレットが選んでいる Wi-Fi ルーターのネットワーク名（SSID）を確認したい
- スマートフォン／タブレットを使用してセットアップをしたい
- スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンできない
- スマートフォン／タブレットから Bluetooth 使用時にプリンターが見つからない
- Canon PRINT Inkjet/SELPHY をダウンロードしたい

使用中にこのようなことが起こったら

- ネットワーク設定の途中パソコン画面にメッセージが表示された
- 印刷に時間がかかる
- Canon IJ ステータスモニタでインク残量が表示されない（Windows）

無線ダイレクトでご使用の場合

印刷／接続ができなくなった

- プリンターが突然使えなくなった
- 無線 LAN 接続（Wi-Fi）でパソコンなどの機器からインターネットに接続できない
- 印刷／接続ができなくなった

LAN の設定について知りたい、LAN の設定を変更したい

- ネットワークキー（パスワード）を忘れてしまった／わからない
- プリンターに設定した管理者パスワードを忘れてしまった
- ネットワークに関する設定を調べたい
- プリンターの LAN 設定を初期設定状態に戻す
- 工場出荷時初期値（ネットワーク）
- プリンターのネットワーク設定情報を印刷する
- LAN の接続方法を切り替える／無線 LAN（Wi-Fi）の接続方法を切り替える
- ステータスコードについて確認したい

スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンするときは

- スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンできない
- スマートフォン／タブレットから Bluetooth 使用時にプリンターが見つからない
- Canon PRINT Inkjet/SELPHY をダウンロードしたい

使用中にこのようなことが起こったら

- ネットワーク設定の途中パソコン画面にメッセージが表示された
- 印刷に時間がかかる
- Canon IJ ステータスモニタでインク残量が表示されない（Windows）

有線 LAN 接続でご使用の場合

プリンターが見つからない

- セットアップのときに IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索する
- 有線 LAN 接続で使用中にプリンターが見つからない
- 同じ名前のプリンターを検出したときは

印刷／接続ができなくなった

- プリンターが突然使えなくなった
- 印刷／接続ができなくなった

LAN の設定について知りたい、LAN の設定を変更したい

- プリンターに設定した管理者パスワードを忘れてしまった
- ネットワークに関する設定を調べたい
- プリンターの LAN 設定を初期設定状態に戻す
- 工場出荷時初期値（ネットワーク）
- 他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える
- プリンターのネットワーク設定情報を印刷する
- LAN の接続方法を切り替える／無線 LAN（Wi-Fi）の接続方法を切り替える
- ステータスコードについて確認したい

使用中にこのようなことが起こったら

- ネットワーク設定の途中パソコン画面にメッセージが表示された
- 印刷に時間がかかる

ネットワークに関するトラブル

- プリンターが見つからない
- ネットワーク接続で使用中のトラブル
- ネットワークに関するその他のトラブル

プリンターが見つからない

- セットアップのときにプリンターが見つからない

プリンターを使用しているとき

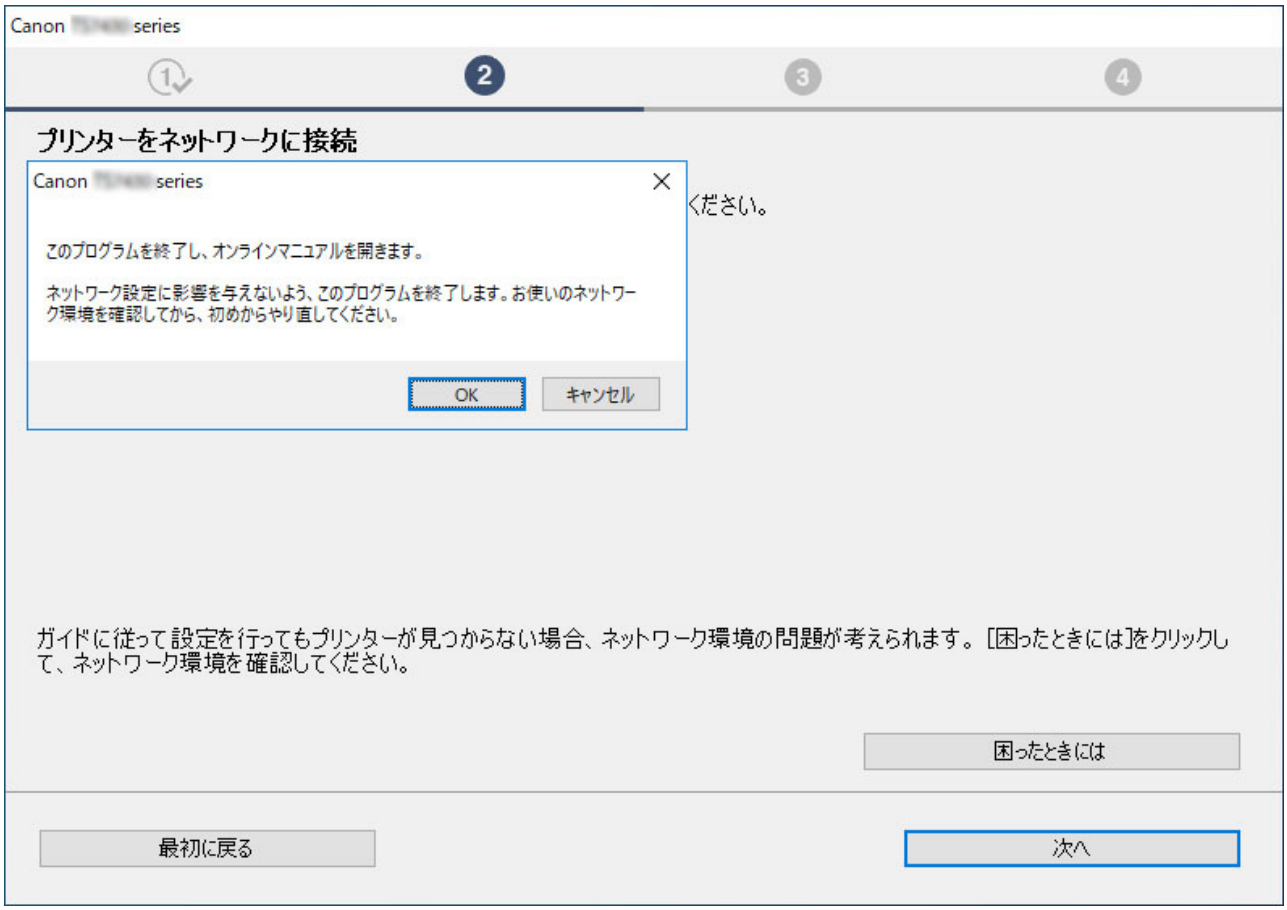
- 無線 LAN 接続（Wi-Fi）で使用中にプリンターが見つからない

参考

- 無線 LAN（Wi-Fi）と有線 LAN を同時に使用することはできません。

セットアップのときにプリンターが見つからない

セットアップのときにプリンターが見つからないときは、以下の項目について確認してください。



すべての確認と対応が終わったら、セットアップをやり直してください。

無線 LAN（Wi-Fi）の確認項目

プリンターを無線 LAN に接続する場合は、以下の [ステップ 1] の項目をすべて確認／対応後、セットアップをやり直してください。それでもセットアップがうまくいかないときは、[ステップ 2] の項目を行って対応後、セットアップをやり直してください。

ステップ 1 無線 LAN（Wi-Fi）の基本項目を確認する

ステップ 2 IJ Network Device Setup Utility を使って解決する

有線 LAN の確認項目

プリンターを有線 LAN に接続する場合は、以下の [ステップ 1] の項目をすべて確認／対応後、セットアップをやり直してください。それでもセットアップがうまくいかないときは、[ステップ 2] の項目を行って対応後、セットアップをやり直してください。

ステップ 1 有線 LAN の基本項目を確認する

ステップ 2 IJ Network Device Setup Utility を使って解決する

無線 LAN（Wi-Fi）の確認項目

ステップ 1 無線 LAN（Wi-Fi）の基本項目を確認する

1. 電源を確認する

プリンターと、ネットワーク機器（ルーターなど）の電源が入っているか確認してください。

一度セットアップを中断して、ルーター（モデム）→ プリンターの順番で電源を確認します。

1. ルーターなどのネットワーク機器の電源を確認する

電源が入っていない場合は、電源を入れます。すでに電源が入っている場合は、電源を入れ直してください。

ネットワーク機器は、電源を入れたあと、使用できる状態になるまで時間がかかる場合があります。

ルーターなどのネットワーク機器が使用できる状態になったら、次へ進みます。

2. プリンターの電源を確認する

電源が入っていない場合は、電源を入れます。すでに電源が入っている場合は、電源を入れ直してください。

以上の電源の確認／対処が終わったら次へ進みます。

2. パソコンのネットワーク接続を確認する

ご使用のパソコンで、インターネットの任意のウェブページが閲覧できるか確認します。パソコンとネットワーク機器（Wi-Fi ルーターなど）の設定が完了していれば、パソコンがネットワークに接続できる状態になっています。

パソコンから任意のウェブページが閲覧できない場合は、Wi-Fi ルーターの MAC アドレスフィルタリング、IP フィルタリングなどのセキュリティ設定や DHCP 機能など接続に関する設定を確認してください。

Wi-Fi ルーターの設定方法については、Wi-Fi ルーター付属の取扱説明書を参照するか、Wi-Fi ルーターのメーカーにお問い合わせください。

重要

- Wi-Fi ルーターによっては、ネットワーク名（SSID）の末尾の数字や記号で周波数帯（2.4GHz または 5GHz）、用途（パソコン用またはゲーム機用）を区別している場合があります。

Wi-Fi ルーターの確認がすんだら、パソコンのネットワーク設定を確認します。パソコンのネットワークに関する確認方法については、パソコンに付属の取扱説明書を参照するか、パソコンのメーカーにお問い合わせください。

Wi-Fi ルーターとパソコンの設定が確認できたら、Wi-Fi ルーターの情報を基にして、パソコンからインターネットの任意のウェブページが閲覧できるように設定を変更します。

以上のパソコンのネットワーク接続の確認／対処が終わったら次へ進みます。

3. プリンターの無線 LAN（Wi-Fi）設定を確認する

プリンターのタッチスクリーンに または アイコンが表示されていることを確認してください。

表示されていない場合

プリンターは無線 LAN（Wi-Fi）を使用する設定になっていません。プリンターを無線 LAN（Wi-Fi）で使用する設定に変更してください。

アイコンが表示されている場合

アイコンは、Wi-Fi ルーターとプリンターが接続されていない状態を示しています。Wi-Fi ルーターとプリンターの設置場所を再検討してください。

- Wi-Fi ルーターの設置場所を確認する

  Wi-Fi ルーターの設定を確認したあと、プリンターと Wi-Fi ルーターの距離が離れすぎていないか確認してください。プリンターは Wi-Fi ルーターとの距離が見通し 50 m（164 ft.）以内の屋内で使用していただくものです。プリンターと Wi-Fi ルーターを適正な距離に近づけてください。

  プリンターと Wi-Fi ルーターを、無線通信可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質により通信できない場合は、壁を挟まない場所でお使いください。

また、無線 LAN（Wi-Fi）で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波発生源からできるだけ離して設置してください。

- プリンターの設置場所を確認する

  プリンターが物陰に設置されていないか確認してください。壁の陰や棚の中などに設置すると、接続に失敗する場合があります。プリンターを物陰から出して設置してみてください。

  Wi-Fi ルーターの詳細については、付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

以上の［ステップ 1］の確認、対処を行ったら、セットアップをやり直してください。

セットアップをやり直してもプリンターが検出されない場合は、［ステップ 2］に進んでください。

［ステップ 2］ IJ Network Device Setup Utility を使用して解決する

有線 LAN の確認項目

ステップ 1 有線 LAN の基本項目を確認する

1. 電源と LAN ケーブルを確認する

LAN 接続を使ったセットアップのときに、セットアップの画面でプリンターが見つからないときは、すべてのネットワーク機器が LAN ケーブルでルーターやハブと接続されていて、かつ、すべての機器の電源が入っていることを確認します。

LAN ケーブルが接続されていない場合

ルーターやハブと、パソコンやプリンターを LAN ケーブルで接続してください。

プリンターの電源が入っていることを確認してください。

電源について

プリンターの電源が確認できたら、ルーターやハブの電源が入っていることを確認してください。

LAN ケーブルが接続されていて、電源が入っていない場合

各機器の電源を入れてください。

LAN ケーブルが接続されていて、電源が入っている場合

すでに電源が入っている場合は、電源を切ってから、電源を入れ直してください。

参考

- 電源を入れ直したあと、使用できる状態になるまで時間がかかる場合があります。電源を入れて、しばらくたったら、次へ進みます。

2. パソコンのネットワーク接続を確認する

ご使用のパソコンで、インターネットの任意のウェブページが閲覧できるか確認します。パソコンとネットワーク機器（ルーターなど）の設定が完了していれば、パソコンがネットワークに接続できる状態になっています。

閲覧できない場合は、ルーターの WAN 側に接続されているケーブルを抜き、直接パソコンの LAN ケーブル接続部に接続してインターネットの任意のウェブページが閲覧できるか確認します。

ウェブページが閲覧できた場合は、ルーターの設定を確認します。ルーターの設定を確認する方法、設定方法については、ルーター付属の取扱説明書を参照するか、ルーターのメーカーにお問い合わせください。併せてプロバイダーの接続に関する説明書もご確認ください。

ルーターの確認がすんだら、パソコンのネットワーク設定を確認します。パソコンのネットワークに関する確認方法については、パソコンに付属の取扱説明書を参照するか、パソコンのメーカーにお問い合わせください。

ルーターとパソコンの設定が確認できたら、ルーターの情報を基にして、パソコンからインターネットの任意のウェブページが閲覧できるように設定を変更します。

パソコンから任意のウェブページが閲覧できるようになったら、次へ進みます。

3. プリンターの有線 LAN 設定を確認する

プリンターのタッチスクリーンに アイコンが表示されていることを確認してください。

表示されていない場合

プリンターの有線 LAN の設定が有効になっていません。プリンターを有線 LAN で使用する設定に変更する必要があります。

以上の［ステップ 1］の確認、対処を行ったら、セットアップをやり直してください。

セットアップをやり直してもプリンターが検出されない場合は、［ステップ 2］に進んでください。

ステップ 2 IJ Network Device Setup Utility を使用して解決する

IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）を利用してネットワーク接続の診断と修復を行ってください。

以下のページから IJ Network Device Setup Utility をダウンロードし、パソコンにインストールできます。

- 「IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）」を使ってプリンターの接続状態を確認

IJ Network Device Setup Utility の起動のしかたは、以下を参照してください。

- **Windows をご使用の場合：**
  - IJ Network Device Setup Utility を起動する
- **macOS をご使用の場合：**
  - IJ Network Device Setup Utility を起動する

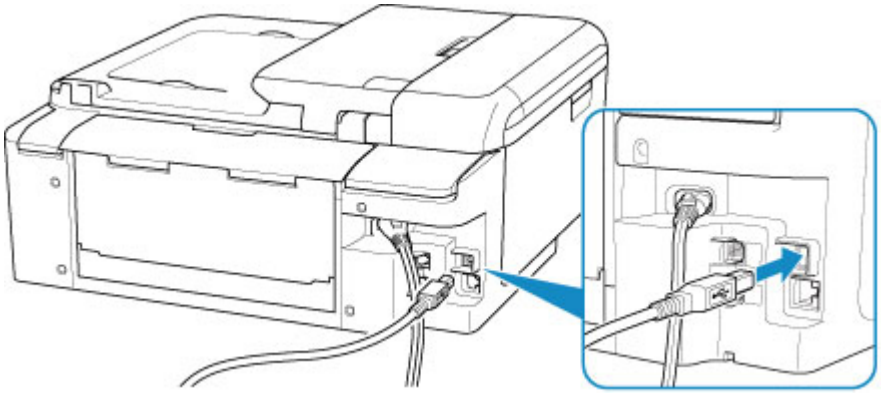
改善したあとは、セットアップをやり直してください。

[プリンターの接続] 画面から先に進めない（USB 接続したプリンターが見つからない）

[**プリンターの接続**] 画面から先に進めない場合は、以下の項目を確認してください。

チェック 1 プリンターの USB ケーブル接続部とパソコンが USB ケーブルでしっかり接続されていることを確認してください

下の図のようにパソコンとプリンターを USB ケーブルで接続してください。USB ケーブル接続部は、プリンターの背面にあります。



重要

- 「Type-B」コネクタの向きを確認し、プリンターに接続してください。詳細は USB ケーブルに付属の取扱説明書を参照してください。

チェック 2 以下の手順に従って、プリンターとパソコンの接続をやり直してください

重要

- macOS をご使用の場合は、[**プリンタとスキャナ**] の画面左下に、カギのアイコンがあるか確認してください。

  カギのアイコンが （ロック）になっている場合は、アイコンをクリックしてロックを解除してください。（ロックを解除するには管理者の名前とパスワードが必要です。）

1. プリンターとパソコンから USB ケーブルを抜き、接続し直す
2. プリンターが処理中でないことを確認し、プリンターの電源を切る
3. プリンターの電源を入れる

チェック 3 以下の手順に従って、MP ドライバーを再度インストールしてください

1. 最新の MP ドライバーをダウンロードする

2. プリンターの電源を切る

3. パソコンをシャットダウンする

   シャットダウンができたらパソコンを再起動して、手順 1 でダウンロードした最新の MP ドライバーをインストールします。

無線 LAN 接続（Wi-Fi）で使用中にプリンターが見つからない

最初にプリンターの電源が入っているか確認してください。次にパソコンでインターネットの任意のウェブページが閲覧できるか確認してください。２つの確認ができたら、IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）を利用してネットワーク接続の診断と修復を行ってください。

以下のページから IJ Network Device Setup Utility をダウンロードし、パソコンにインストールできます。

- 「IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）」を使ってプリンターの接続状態を確認

IJ Network Device Setup Utility の起動のしかたは、以下を参照してください。

- **Windows をご使用の場合：**
  - IJ Network Device Setup Utility を起動する
- **macOS をご使用の場合：**
  - IJ Network Device Setup Utility を起動する

IJ Network Device Setup Utility で診断と修復を行っても改善しない場合は、以下の項目を確認してください。

チェック１ プリンターのタッチスクリーンでネットワークの状況を確認してください

が表示されている場合、または のみ表示されている場合は、プリンターの無線 LAN（Wi-Fi）が無効になっています。

［**LAN 設定**］の［**Wi-Fi**］の［**Wi-Fi の有効/無効**］を［**有効**］に設定してください。

が表示されている場合は、セットアップが完了しているか、または通信を行う Wi-Fi ルーターの設定が正しいかを以下のチェックに進んで確認してください。

チェック２ パソコンでプリンターのセットアップが完了しているか確認してください

セットアップが完了していない場合は、ウェブページのセットアップガイドからセットアップを行ってください。

チェック３ 通信を行う Wi-Fi ルーターと設定が同一か確認してください

ネットワーク名（SSID）、ネットワークキー（パスワード）などのネットワーク設定が、プリンターと Wi-Fi ルーターで一致しているか確認してください。

Wi-Fi ルーターのネットワーク設定の確認方法については、Wi-Fi ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

参考

- Wi-Fi ルーターとの通信には、2.4GHz の周波数帯域を使用する必要があります。プリンターに設定されているネットワーク名（SSID）を、Wi-Fi ルーターの 2.4GHz 用ネットワーク名（SSID）に合わせてください。

プリンターに設定されているネットワーク名（SSID）は、タッチスクリーンに表示して確認するか、またはネットワーク設定情報を印刷して確認できます。

- プリンターのタッチスクリーンに表示する。

  LAN 設定

- ネットワーク設定情報を印刷する。

  プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

チェック４ プリンターと Wi-Fi ルーターの距離が離れすぎていないか確認してください

プリンターと Wi-Fi ルーターの距離が離れすぎていると、通信状態が悪くなります。プリンターと Wi-Fi ルーターを近づけてみてください。

チェック５ 電波の状態が悪い可能性があります。無線 LAN（Wi-Fi）の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください

プリンターと Wi-Fi ルーターは、無線通信が可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質により通信できない場合は、壁を挟まない場所でお使いください。

また、無線 LAN（Wi-Fi）で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波発生源からできるだけ離して設置してください。

プリンターのタッチスクリーンから、電波の状態を確認することができます。

タッチスクリーンの使いかた

チェック６ ［**プリンターのプロパティ**］画面の［**ポート**］シートで［**双方向サポートを有効にする**］にチェックマークが付いているか確認してください（Windows）

付いていない場合はチェックマークを付けて、双方向通信を行ってください。

チェック７ ファイアウォール関連のセキュリティソフトウェアの設定を確認してください

セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を使用している場合、キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージが表示される場合があります。警告メッセージが表示されたら、アクセスを常に許可するように設定してください。

また、ネットワーク環境を切り替えるソフトウェアをお使いの場合は、その設定を確認してください。

チェック８ AirMac とプリンターを無線 LAN 接続（Wi-Fi）でお使いの場合、ネットワーク上のネットワーク名（SSID）に半角英数字を使用していることを確認してください（macOS）

上記の項目を確認しても解決しない場合は、ウェブページのセットアップガイドからセットアップをやり直してください。

ネットワーク接続で使用中のトラブル

- プリンターが突然使えなくなった
- ネットワークキー（パスワード）を忘れてしまった／わからない
- Wi-Fi ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった

プリンターが突然使えなくなった

最初にプリンターの電源が入っているか確認してください。次にパソコンでインターネットの任意のウェブページが閲覧できるか確認してください。２つの確認ができたら、IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）を利用してネットワーク接続の診断と修復を行ってください。

以下のページから IJ Network Device Setup Utility をダウンロードし、パソコンにインストールできます。

- 「IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）」を使ってプリンターの接続状態を確認

IJ Network Device Setup Utility の起動のしかたは、以下を参照してください。

- **Windows をご使用の場合：**
  - IJ Network Device Setup Utility を起動する
- **macOS をご使用の場合：**
  - IJ Network Device Setup Utility を起動する

IJ Network Device Setup Utility で診断と修復を行っても改善しない場合は、以下の項目を確認してください。

- ネットワーク環境設定を変更したら、プリンターと通信できなくなった
- 無線 LAN 接続（Wi-Fi）でプリンターと通信できない
- 無線ダイレクト中のプリンターと通信できない
- 有線 LAN 接続でプリンターと通信できない
- ネットワーク接続されたパソコンから、印刷、スキャン、ファクスができない

Q ネットワーク環境設定を変更したら、プリンターと通信できなくなった

A

パソコンの IP アドレス取得に時間がかかったり、再起動が必要な場合があります。

パソコンに有効な IP アドレスが取得されていることを確認の上、再度プリンターを検索してください。

Q 無線 LAN 接続（Wi-Fi）でプリンターと通信できない

A

チェック１ プリンターとネットワーク機器（Wi-Fi ルーターなど）、スマートフォン／タブレットなどの機器の状態を確認してください

- 電源が入っていない場合は、電源を入れてください。
- すでに電源が入っている場合は、いったん電源を切ってから再度電源を入れてください。
- Wi-Fi ルーターのトラブルシューティング（キーの更新間隔、DHCP の更新間隔のマッチの問題、省エネモードなど）や、Wi-Fi ルーターのファームウェアのアップデートなどが必要な場合があります。

詳細については、Wi-Fi ルーターのメーカーにお問い合わせください。

チェック２ プリンターと Wi-Fi ルーターが接続されているか確認してください

プリンターのタッチスクリーンに表示される で、プリンターと Wi-Fi ルーターの接続の状態を確認してください。 が表示されていない場合は、プリンターの無線 LAN（Wi-Fi）の設定が有効になっていません。プリンターを無線 LAN（Wi-Fi）で使用する設定にしてください。

チェック３ プリンターと Wi-Fi ルーターのそれぞれのネットワーク設定が一致しているか確認してください

ネットワーク名（SSID）、ネットワークキー（パスワード）などのネットワーク設定が、プリンターと Wi-Fi ルーターで一致しているか確認してください。

Wi-Fi ルーターとの通信には、2.4GHz または 5GHz の周波数帯域のどちらか一方に合わせる必要があります。2.4GHz 周波数帯域のネットワーク名（SSID）と、5GHz 周波数帯域のネットワーク名（SSID）を組み合わせて使用することはできません。

プリンターに設定されているネットワーク名（SSID）を確認して、Wi-Fi ルーターの正しい周波数帯域のネットワーク名（SSID）に合わせてください。

Wi-Fi ルーターのネットワーク設定の確認方法については、Wi-Fi ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

プリンターに現在設定されているネットワーク設定は、操作パネルに表示して確認するか、ネットワーク設定情報を印刷して確認できます。

- プリンターのタッチスクリーンに表示する。

  LAN 設定

- ネットワーク設定情報を印刷する。

  プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

チェック４ プリンターと Wi-Fi ルーターの距離が離れすぎていないか確認してください

プリンターと Wi-Fi ルーターの距離が離れすぎていると、通信状態が悪くなります。プリンターと Wi-Fi ルーターを近づけてみてください。

チェック５ 電波の状態が悪い可能性があります。無線 LAN（Wi-Fi）の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください

プリンターと Wi-Fi ルーターは、無線通信が可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質により通信できない場合は、壁を挟まない場所でお使いください。

また、無線 LAN（Wi-Fi）で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波発生源からできるだけ離して設置してください。

プリンターのタッチスクリーンから、電波の状態を確認することができます。

タッチスクリーンの使いかた

チェック６ パソコンで使用している Wi-Fi の無線チャンネル番号を確認してください

パソコンと Wi-Fi ルーターで使用する無線チャンネル番号を同じにする必要があります。通常はすべての無線チャンネル番号が使用できるように設定されていますが、使用する無線チャンネル番号を制限していると、無線チャンネル番号が一致しない場合があります。

パソコンの取扱説明書を参照して、パソコンが使用できる無線チャンネル番号を確認してください。

チェック 7 Wi-Fi ルーターに設定されている無線チャンネル番号が、1 つ前のチェックで確認した無線チャンネル番号に含まれていることを確認してください

Wi-Fi ルーターに設定されている無線チャンネル番号が含まれていない場合は、Wi-Fi ルーターの無線チャンネル番号を変更してください。

チェック 8 ファイアウォール関連のセキュリティソフトウェアの設定を確認してください

セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を使用している場合、キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージが表示される場合があります。警告メッセージが表示されたら、アクセスを常に許可するように設定してください。

また、ネットワーク環境を切り替えるソフトウェアをお使いの場合は、その設定を確認してください。

チェック 9 AirMac とプリンターを無線 LAN 接続（Wi-Fi）でお使いの場合、ネットワーク上のネットワーク名（SSID）に半角英数字を使用していることを確認してください（macOS）

上記の項目を確認しても解決しない場合は、ウェブページのセットアップガイドからセットアップをやり直してください。

- **設置条件について**

  プリンターと Wi-Fi ルーターが、お互いに無線通信可能な見通しのよい場所に設置されていることを確認してください。

Q 無線ダイレクト中のプリンターと通信できない

A

チェック 1 プリンターのタッチスクリーンに アイコンが表示されているか確認してください

表示されていない場合は無線ダイレクトが無効になっています。無線ダイレクトを有効にしてください。

チェック 2 ご使用のスマートフォンやタブレットなどの機器の設定を確認してください

スマートフォン／タブレットなどの機器が無線 LAN 接続（Wi-Fi）を利用できる設定になっているか確認してください。

無線 LAN 接続（Wi-Fi）の設定のしかたについては、ご使用の機器に付属の取扱説明書を参照してください。

チェック３ ご使用の各種機器（スマートフォンやタブレットなど）で、接続先としてプリンターを選んでいるか確認してください

各種機器で、プリンターに設定されている無線ダイレクト時のネットワーク名（SSID）を選んでください。

ご使用の各種機器の接続先は、ご使用の機器から確認してください。

確認方法についてはご使用の機器の取扱説明書や、メーカーのホームページなどを参照してください。

プリンターに設定されている無線ダイレクト時のネットワーク名（SSID）は、操作パネルに表示して確認するか、ネットワーク設定情報を印刷して確認できます。

- プリンターのタッチスクリーンに表示する。
  - LAN 設定
- ネットワーク設定情報を印刷する。
  - プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

チェック４ プリンターに設定されている無線ダイレクトのパスワードを正しく入力しているか確認してください

プリンターに設定されているパスワードは、操作パネルに表示して確認するか、ネットワーク設定情報を印刷して確認できます。

- プリンターのタッチスクリーンに表示する。
  - LAN 設定
- ネットワーク設定情報を印刷する。
  - プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

チェック５ プリンターと各種機器の距離が離れすぎていないか確認してください

プリンターと各種機器の距離が離れすぎていると、通信状態が悪くなります。プリンターと各種機器を近づけてみてください。

チェック６ 6 台以上の各種機器をプリンターに接続しようとしていないか確認してください

無線ダイレクト使用時に接続できる各種機器は 5 台までです。

Q 有線 LAN 接続でプリンターと通信できない

A

チェック１ プリンターの電源が入っているか確認してください

チェック２ LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください

プリンターとルーターが LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。LAN ケーブルが抜けかかっている場合は、正しく接続してください。

LAN ケーブルがルーターの WAN 側に接続されている場合は、ルーターの LAN 側に接続してください。

上記の項目を確認しても解決しない場合は、ウェブページのセットアップガイドからセットアップをやり直してください。

Q ネットワーク接続されたパソコンから、印刷、スキャン、ファクスができない

A

チェック１ パソコンが正しく Wi-Fi ルーターに接続できているか確認してください

パソコンの設定や接続状態の確認方法については、ご使用のパソコンの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

チェック２ MP ドライバーをインストールしていない場合は、MP ドライバーをインストールしてください（Windows）

本ウェブページから MP ドライバーをインストールしてください。

チェック３ 無線 LAN 接続（Wi-Fi）の場合、Wi-Fi ルーターで、アクセスできるパソコンやプリンターを制限していないか確認してください

Wi-Fi ルーターの接続や設定方法については、お使いの Wi-Fi ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

参考

- パソコンの MAC アドレスや IP アドレスを確認する場合は、「パソコンの IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい」を参照してください。

ネットワークキー（パスワード）を忘れてしまった／わからない

IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）を利用してネットワーク接続の診断と修復を行ってください。

以下のページから IJ Network Device Setup Utility をダウンロードし、パソコンにインストールできます。

- 「IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）」を使ってプリンターの接続状態を確認

IJ Network Device Setup Utility の起動のしかたは、以下を参照してください。

- **Windows をご使用の場合：**
  - IJ Network Device Setup Utility を起動する
- **macOS をご使用の場合：**
  - IJ Network Device Setup Utility を起動する

IJ Network Device Setup Utility で診断と修復を行っても改善しない場合は、以下の項目を確認してください。

- WPA/WPA2 または WEP を設定した Wi-Fi ルーターと接続できない（設定した Wi-Fi のパスワードを忘れてしまった）
- 暗号化の設定方法がわからない

Q WPA/WPA2 または WEP を設定した Wi-Fi ルーターと接続できない（設定した Wi-Fi のパスワードを忘れてしまった）

A

Wi-Fi ルーターの設定を確認してください。確認方法については、Wi-Fi ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。また、パソコンと Wi-Fi ルーターが、その設定で通信できることを確認してください。

Q 暗号化の設定方法がわからない

A

Wi-Fi ルーターの設定を確認してください。確認方法については、Wi-Fi ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。また、パソコンと Wi-Fi ルーターが、その設定で通信できることを確認してください。

セキュリティレベルの観点から、WPA、WPA2、WPA/WPA2 を選ぶことをお勧めします。ご使用の Wi-Fi ルーターが WPA/WPA2 に対応している場合は、WPA2 または WPA でも接続することができます。

- **WPA/WPA2 を設定する場合（Windows）**

  認証タイプや Wi-Fi のパスワード、動的暗号化の種類は、プリンターと Wi-Fi ルーターおよびパソコンで合わせる必要があります。

  Wi-Fi のパスワードは、Wi-Fi ルーターで設定したパスワードを入力してください。

動的暗号化の種類（暗号化方式）は、TKIP（基本的な暗号化）または AES（強固な暗号化）が自動で選ばれます。

詳細については、「[WPA/WPA2 詳細］画面が表示された場合は」を参照してください。

参考

- 本製品では、認証タイプとして「WPA/WPA2-PSK（WPA/WPA2 パーソナル)」または「WPA2-PSK（WPA2 パーソナル)」をサポートしています。

- **WEP を設定する場合**

  Wi-Fi のパスワードの長さや書式、認証方式は、プリンターと Wi-Fi ルーターおよびパソコンで合わせる必要があります。

  パスワードを自動生成する Wi-Fi ルーターと通信するためには、Wi-Fi ルーターが自動生成したパスワードを Wi-Fi のパスワードとしてプリンターに設定する必要があります。

  ◦ Windows をご使用の場合：

  IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）で、[**ネットワーク設定(Wi-Fi)**］画面の［**検出...**］をクリックし、未接続の Wi-Fi ルーターを選んだあとに［**WEP 詳細**］画面が表示された場合、パスワードの長さ、書式、使用するパスワードを画面に従って設定してください。

  詳細については、「[WEP 詳細］画面が表示された場合は」を参照してください。

参考

- AirMac を無線 LAN 接続（Wi-Fi）でお使いの場合

  AirMac を無線 LAN 接続（Wi-Fi）でお使いの場合は、AirMac ユーティリティで「ワイヤレスセキュリティ」の設定を確認してください。

  ■■［**WEP 40 ビット**］を設定している場合は、パスワードの長さは［**64 ビット**］を選んでください。
  ■■ 使用するパスワードは［1］を選んでください。ほかのパスワードを選んだ場合は、パソコンから無線で接続できなくなります。

Wi-Fi ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった

Wi-Fi ルーターを買い替えた場合は、新しい Wi-Fi ルーターに合わせて、プリンターのネットワークの設定をやり直してください。

ウェブページのセットアップガイドからセットアップを行ってください。

参考

- IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）を利用するとネットワーク接続の診断と修復を行うことができます。

  以下のページから IJ Network Device Setup Utility をダウンロードし、パソコンにインストールしてください。

  - 「IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）」を使ってプリンターの接続状態を確認

  IJ Network Device Setup Utility の起動のしかたは、以下を参照してください。

  - Windows をご使用の場合：
    - IJ Network Device Setup Utility を起動する
  - macOS をご使用の場合：
    - IJ Network Device Setup Utility を起動する

ネットワークの設定をやり直しても解決しない場合は、以下を参照してください。

- Wi-Fi ルーターで MAC アドレスフィルタリングまたは IP アドレスフィルタリングの設定や、暗号化の設定を行ったら、プリンターと通信できなくなった
- プリンターに暗号化が設定されている場合、Wi-Fi ルーターの暗号方式を変更したら通信ができなくなった

Wi-Fi ルーターで MAC アドレスフィルタリングまたは IP アドレスフィルタリングの設定や、暗号化の設定を行ったら、プリンターと通信できなくなった

チェック 1 Wi-Fi ルーターの設定を確認してください

確認方法については、Wi-Fi ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。また、パソコンと Wi-Fi ルーターがその設定で通信できることを確認してください。

チェック 2 Wi-Fi ルーターで MAC アドレスフィルタリングまたは IP アドレスフィルタリングを行った場合、パソコンやネットワーク機器とプリンター双方の MAC アドレスまたは IP アドレスが登録されていることを確認してください

チェック３ WPA/WPA2 キーまたはパスワードを入力した場合、パソコンやネットワーク機器とプリンター双方で設定した暗号化キーと一致していることを確認してください

Wi-Fi のパスワードの長さや書式、認証方式は、プリンターと Wi-Fi ルーターおよびパソコンで合わせる必要があります。

詳しくは、「暗号化の設定方法がわからない」を参照してください。

Q プリンターに暗号化が設定されている場合、Wi-Fi ルーターの暗号方式を変更したら通信ができなくなった

A

Wi-Fi ルーターの暗号方式の設定を変更した後にパソコンとプリンターが通信できなくなった場合は、パソコンと Wi-Fi ルーターの暗号方式の設定がプリンターの設定と一致しているか確認してください。

- Wi-Fi ルーターで MAC アドレスフィルタリングまたは IP アドレスフィルタリングの設定や、暗号化の設定を行ったら、プリンターと通信できなくなった

ネットワークに関するその他のトラブル

- ネットワークに関する設定を調べたい
- プリンターの LAN 設定を初期設定状態に戻す

ネットワークに関する設定を調べたい

- プリンターの IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい
- パソコンの IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい
- パソコンとプリンター、またはパソコンと Wi-Fi ルーターが通信可能かを確認したい
- ネットワーク設定情報を確認したい

Q プリンターの IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい

A

プリンターの LAN 設定や MAC アドレスは、操作パネルに表示して確認するか、設定情報を印刷して確認できます。

- プリンターのタッチスクリーンに表示する。
  - LAN 設定
- ネットワーク設定情報を印刷する。
  - プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

Windows をご使用の場合はパソコンの画面で確認することもできます。

- ［Canon IJ Network Device Setup Utility］画面

Q パソコンの IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい

A

パソコンに割り振られている IP アドレスおよび MAC アドレスを知りたいときは、以下の手順で確認してください。

- **Windows をご使用の場合：**

  1. ［**スタート**］から［**コマンド プロンプト**］を選ぶ
  2. 「ipconfig/all」を入力し、［**Enter**］キーを押す

     ご使用のパソコンの IP アドレスおよび MAC アドレスが表示されます。パソコンがネットワークに接続されていない場合、IP アドレスは表示されません。

- **macOS をご使用の場合：**

  1. Apple メニューから［**システム環境設定**］を選び、［**ネットワーク**］をクリックする
  2. ご使用のネットワークが選ばれていることを確認して、［**詳細**］をクリックする

     ご使用のネットワークとして［**Wi-Fi**］が選ばれていることを確認してください。
  3. IP アドレスを確認するときは［**TCP/IP**］を、MAC アドレスを確認するときは［**ハードウェア**］をクリックする

パソコンとプリンター、またはパソコンと Wi-Fi ルーターが通信可能かを確認したい

ping コマンドを実行して、通信ができているか確認します。以下の手順で確認してください。

- **Windows をご使用の場合：**

  1. ［**スタート**］から［**コマンド プロンプト**］を選ぶ

  2. 「ping XXX.XXX.XXX.XXX」を入力し、［**Enter**］キーを押す

     XXX.XXX.XXX.XXX には、確認したいプリンターや Wi-Fi ルーターなどの IP アドレスを入力します。

     通信が正しく行われている場合は、以下のようなメッセージが表示されます。

     XXX.XXX.XXX.XXX からの応答: バイト数=32 時間=10ms TTL=255

     ［**Request timed out**］などが表示された場合は、正しく通信できていません。

- **macOS をご使用の場合：**

  1. 以下のように［**ネットワークユーティリティ**］を起動する

     Finder の［**移動**］メニューから［**コンピュータ**］を選び、［**Macintosh HD**］、［**システム**］、［**ライブラリ**］、［**CoreServices**］、［**Applications**］、［**ネットワークユーティリティ**］の順にダブルクリックします。

  2. ［**Ping**］をクリックする

  3. 以下のように ping の送信回数を確認する

     ［送信回数：XXping］（XX は数字）が選ばれていることを確認します。

  4. ［**ping コマンドを送信するネットワークアドレスを入力してください。**］の欄にプリンターや Wi-Fi ルーターの IP アドレスを入力する

  5. ［**Ping**］をクリックする

     XXX.XXX.XXX.XXX には、確認したいプリンターや Wi-Fi ルーターなどの IP アドレスを入力します。

     以下は Ping を 3 回送信した場合の例です。

     64 bytes from XXX.XXX.XXX.XXX: icmp_seq=0 ttl=64 time=3.394 ms

     64 bytes from XXX.XXX.XXX.XXX: icmp_seq=1 ttl=64 time=1.786 ms

     64 bytes from XXX.XXX.XXX.XXX: icmp_seq=2 ttl=64 time=1.739 ms

     --- XXX.XXX.XXX.XXX ping statistics ---

     3 packets transmitted, 3 packets received, 0% packet loss

     以下のように表示された場合は、正しく通信できていません。

PING XXX.XXX.XXX.XXX （XXX.XXX.XXX.XXX） : 56 data bytes

---XXX.XXX.XXX.XXX ping statistics ---

3 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss

ネットワーク設定情報を確認したい

プリンターの LAN 設定は、操作パネルに表示して確認するか、設定情報を印刷して確認できます。

- プリンターのタッチスクリーンに表示する。
  - LAN 設定
- ネットワーク設定情報を印刷する。
  - プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

プリンターの LAN 設定を初期設定状態に戻す

重要

- 初期化を行うとプリンターのネットワーク接続情報がすべて削除され、パソコンからの印刷、スキャンができなくなります。再度、ネットワーク接続でご使用になる場合は、ウェブページのセットアップガイドからセットアップをやり直してください。

プリンターの操作パネルから LAN 設定をリセットしてください。

- 設定リセット

スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンしているときのトラブル

- スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンできない

スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンできない

スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンできない場合は、プリンターとスマートフォン／タブレットが通信できていないことが考えられます。

接続方法に従って、チェックしてください。

- 無線 LAN 接続（Wi-Fi）でプリンターと通信できない
- 無線ダイレクト中のプリンターと通信できない

参考

- 他の接続方法で印刷しているときのトラブルや、他の接続方法の設定のしかたについては、以下を参照してください。
  - PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する
  - iOS 機器を使って印刷する（AirPrint）

Q 無線 LAN 接続（Wi-Fi）でプリンターと通信できない

A

無線 LAN 接続（Wi-Fi）でプリンターと通信できない場合は、以下の項目を確認してください。

チェック１ プリンターとネットワーク機器（Wi-Fi ルーターなど）、スマートフォン／タブレットなどの機器の状態を確認してください

- 電源が入っていない場合は、電源を入れてください。
- すでに電源が入っている場合は、いったん電源を切ってから再度電源を入れてください。
- Wi-Fi ルーターのトラブルシューティング（キーの更新間隔、DHCP の更新間隔のマッチの問題、省エネモードなど）や、Wi-Fi ルーターのファームウェアのアップデートなどが必要な場合があります。

詳細については、Wi-Fi ルーターのメーカーにお問い合わせください。

チェック２ ご使用のスマートフォンやタブレットなどの機器の設定を確認してください

スマートフォン／タブレットなどの機器が無線 LAN 接続（Wi-Fi）を利用できる設定になっているか確認してください。

無線 LAN 接続（Wi-Fi）の設定のしかたについては、ご使用の機器に付属の取扱説明書を参照してください。

チェック３ プリンターと Wi-Fi ルーターが接続されているか確認してください

- プリンターのタッチスクリーンの左下に表示されるアイコンで、プリンターと Wi-Fi ルーターの接続の状態を確認してください。

  が表示されていない場合は、プリンターの無線 LAN（Wi-Fi）の設定が有効になっていません。プリンターを無線 LAN（Wi-Fi）で使用する設定にしてください。

- ネットワーク名（SSID）、ネットワークキー（パスワード）などのネットワーク設定が、プリンターと Wi-Fi ルーターで一致しているか確認してください。

  Wi-Fi ルーターのネットワーク設定の確認方法については、Wi-Fi ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

プリンターで現在設定されているネットワーク設定は、操作パネルに表示して確認するか、ネットワーク情報を印刷して確認できます。

- プリンターのタッチスクリーンに表示する

  LAN 設定

- ネットワーク設定情報を印刷する

  プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

参考

- パソコンをお持ちの場合は、IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）を利用するとネットワーク接続の診断と修復を行うことができます。

  以下のページから IJ Network Device Setup Utility をダウンロードし、パソコンにインストールしてください。

  「IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）」を使ってプリンターの接続状態を確認

  IJ Network Device Setup Utility の起動のしかたは、以下を参照してください。

  Windows をご使用の場合：

  IJ Network Device Setup Utility を起動する

  macOS をご使用の場合：

  IJ Network Device Setup Utility を起動する

チェック４ Wi-Fi ルーターとご使用のスマートフォン／タブレットのそれぞれのネットワーク設定が一致しているか確認してください

ネットワーク名（SSID）、ネットワークキー（パスワード）などのネットワーク設定が、Wi-Fi ルーターとスマートフォン／タブレットで一致しているか確認してください。

スマートフォン／タブレットのネットワーク設定の確認方法については、スマートフォン／タブレットに付属の取扱説明書を参照してください。

スマートフォン／タブレットのネットワーク設定が Wi-Fi ルーターの設定と異なる場合は、Wi-Fi ルーターの設定に合わせて変更してください。

チェック５ プリンターと Wi-Fi ルーターの距離が離れすぎていないか確認してください

プリンターと Wi-Fi ルーターの距離が離れすぎていると、通信状態が悪くなります。プリンターと Wi-Fi ルーターを近づけてみてください。

チェック６ 電波の状態が悪い可能性があります。無線 LAN（Wi-Fi）の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください

プリンターと Wi-Fi ルーターは、無線通信が可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質により通信できない場合は、壁を挟まない場所でお使いください。

また、無線 LAN（Wi-Fi）で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波発生源からできるだけ離して設置してください。

プリンターのタッチスクリーンから、電波の状態を確認することができます。

タッチスクリーンの使いかた

無線ダイレクト中のプリンターと通信できない

無線ダイレクト中のプリンターと通信できない場合は、以下の項目を確認してください。

チェック１ プリンターとスマートフォン／タブレットなどの機器の状態を確認してください。

電源が入っていない場合は、電源を入れてください。

すでに電源が入っている場合は、いったん電源を切ってから再度電源を入れてください。

チェック２ プリンターのタッチスクリーンに アイコンが表示されているか確認してください

表示されていない場合は無線ダイレクトが無効になっています。無線ダイレクトを有効にしてください。

チェック３ ご使用のスマートフォンやタブレットなどの機器の設定を確認してください

スマートフォン／タブレットなどの機器が無線 LAN 接続（Wi-Fi）を利用できる設定になっているか確認してください。

無線 LAN 接続（Wi-Fi）の設定のしかたについては、ご使用の機器に付属の取扱説明書を参照してください。

チェック４ ご使用の各種機器（スマートフォンやタブレットなど）で、接続先としてプリンターを選んでいるか確認してください

各種機器で、プリンターに設定されている無線ダイレクト時のネットワーク名（SSID）を選んでください。

ご使用の各種機器の接続先は、ご使用の機器から確認してください。

確認方法についてはご使用の機器の取扱説明書や、メーカーのホームページなどを参照してください。

プリンターに設定されている無線ダイレクト時のネットワーク名（SSID）は、操作パネルに表示して確認するか、ネットワーク設定情報を印刷して確認できます。

- プリンターのタッチスクリーンに表示する。
  - LAN 設定
- ネットワーク設定情報を印刷する。
  - プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

チェック５ プリンターに設定されている無線ダイレクトのパスワードを正しく入力しているか確認してください

プリンターに設定されているパスワードは、操作パネルに表示して確認するか、ネットワーク設定情報を印刷して確認できます。

- プリンターのタッチスクリーンに表示する。
  - LAN 設定
- ネットワーク設定情報を印刷する。
  - プリンターのネットワーク設定情報を印刷する

チェック 6 プリンターと各種機器の距離が離れすぎていないか確認してください

プリンターと各種機器の距離が離れすぎていると、通信状態が悪くなります。プリンターと各種機器を近づけてみてください。

チェック 7 6 台以上の各種機器をプリンターに接続しようとしていないか確認してください

無線ダイレクト使用時に接続できる各種機器は 5 台までです。

印刷に関するトラブル

- 印刷が始まらない
- インクが出ない
- 用紙がうまく送られない／「用紙なし」のエラーが発生する
- コピー／印刷結果に満足できない

印刷が始まらない

チェック１ プリンターの電源が入っているか確認してください

プリンターの電源が入っていない場合は、電源プラグがしっかり差し込まれていることを確認し、電源を入れてください。

電源ランプが点滅している間は、プリンターが準備動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

参考

- 写真やグラフィックなど大容量のデータを印刷するときは、印刷が始まるまでに通常よりも時間がかかります。電源ランプが点滅している間、パソコンはデータを処理してプリンターに転送しています。印刷が始まるまで、しばらくお待ちください。

チェック２ カセットが正しくセットされているか確認してください

プリンターの下に物があると、カセットの差し込みが不十分となり、正しく給紙されない場合があります。

プリンターの下に物がないことを確認して、カセットを奥に突き当たるまでまっすぐ押し込んでください。

■ カセットに普通紙をセットする

チェック３ プリンターとパソコンが通信できる状態か確認してください

USB 接続（USB ケーブル）でプリンターをご使用の場合は、プリンターの USB ケーブル接続部とパソコンが USB ケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。 USB ケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

- USB ハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外してプリンターとパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USB ハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USB ケーブルに不具合があることも考えられます。別の USB ケーブルに交換し、再度印刷してみてください。

ネットワーク接続でプリンターをご使用の場合は、ネットワークの設定が正しくされているか確認してください。

■ 無線 LAN 接続（Wi-Fi）で使用中にプリンターが見つからない
■ 有線 LAN 接続で使用中にプリンターが見つからない

参考

- IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）を利用するとネットワーク接続の診断と修復を行うことができます。

  以下のページから IJ Network Device Setup Utility をダウンロードし、パソコンにインストールしてください。

  ■「IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）」を使ってプリンターの接続状態を確認

  IJ Network Device Setup Utility の起動のしかたは、以下を参照してください。

■■ **Windows をご使用の場合：**

■■ IJ Network Device Setup Utility を起動する

■■ **macOS をご使用の場合：**

■■ IJ Network Device Setup Utility を起動する

チェック４ 用紙の設定と後トレイまたはカセットに登録した用紙のサイズ、種類が一致しているか確認してください

用紙の設定と、後トレイまたはカセットに登録した用紙のサイズ、種類が一致していない場合は、タッチスクリーンにメッセージが表示されます。表示されているメッセージに従って操作してください。

参考

- 印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する／表示しないように切り替えることもできます。

■■ プリンターの操作パネルから印刷またはコピーするときの表示設定を変更するには：

■■ 給紙設定

■■ プリンタードライバーから印刷するときの表示設定を変更するには：

■■ プリンターの設定を変更する（Windows）
■■ プリンターの設定を変更する（macOS）

チェック５ パソコンからの印刷で、不要な印刷ジョブが残っている場合は、削除してください

- **Windows をご使用の場合：**

■■ 不要になった印刷ジョブを削除する

- **macOS をご使用の場合：**

■■ 不要になった印刷ジョブを削除する

チェック６ 印刷するときに、ご使用の機種のプリンタードライバーが選ばれているか確認してください

異なるプリンターを選んでいると、印刷は始まりません。

- **Windows をご使用の場合：**

［**印刷**］ダイアログで「Canon XXX series」（「XXX」は機種名）が選ばれていることを確認してください。

参考

- 複数のプリンターが登録されているときには、プリンターを通常使うプリンターに設定すると、常にプリンターが選ばれているようにできます。

- **macOS をご使用の場合：**

プリントダイアログの［**プリンタ**］でご使用の機種名が選ばれていることを確認してください。

参考

- 複数のプリンターが登録されているときには、［**システム環境設定**］の［**プリンタとスキャナ**］で、プリンターを［**デフォルトのプリンタ**］に設定すると、常にプリンターが選ばれているようにできます。

チェック７ 大きなファイルを印刷していませんか（Windows）

データのサイズが大きいファイルを印刷すると、印刷が開始されるまでに時間がかかります。

しばらく待っても印刷が開始されない場合は、［**印刷オプション**］のダイアログで、［**印刷データの欠落防止**］を［**オン**］に設定してください。

詳しくは「[ページ設定］シートの画面説明」を参照してください。

重要

- ［**印刷データの欠落防止**］を［**オン**］に設定すると、印刷品質が低下する場合があります。
- 印刷が終了したら、［**印刷データの欠落防止**］を［**オフ**］に戻してください。

チェック８ パソコンから印刷している場合、パソコンを再起動してみてください

パソコンを再起動した後、再度印刷してみてください。

インクが出ない

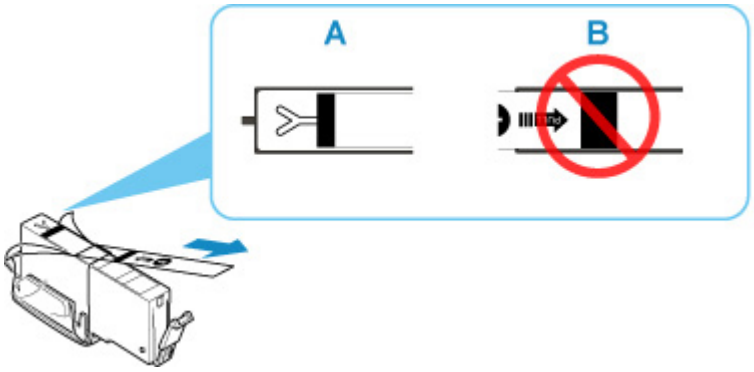
チェック１ インクタンクの状態を確認し、インクがなくなっている場合は、インクタンクを交換してください

- インクの状態をタッチスクリーンで確認する
- インクタンクを交換する

チェック２ インクタンクにオレンジ色のテープや保護フィルムが残っていないか確認してください

下の（A）のように、オレンジ色のテープがＹ字の空気溝からきれいにはがされていることを確認してください。

（B）のようにテープが残ってＹ字の空気溝をふさいでいる場合は、テープをきれいに取り除いてください。



チェック３ ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください

以下の手順にしたがって、ノズルチェックパターンを印刷し、インクが正常に出ているか確認してください。

ステップ１ ノズルチェックパターンを印刷する

ノズルチェックパターンを印刷して、正しく印刷されているか確認します。

- **Windows をご使用の場合：**
  - ノズルチェックパターンを印刷する
- **macOS をご使用の場合：**
  - ノズルチェックパターンを印刷する

正しく印刷されていない場合は、該当する色のインクタンクが空になっていないか確認してください。

インクが残っているのに印刷されない場合は、次のステップに進みます。

ステップ２ プリントヘッドをクリーニングする

プリントヘッドをクリーニングしてからノズルチェックパターンを印刷し、効果を確認します。

- **Windows をご使用の場合：**
  - プリントヘッドをクリーニングする
- **macOS をご使用の場合：**
  - プリントヘッドをクリーニングする

それでも改善されない場合は、次のステップに進みます。

ステップ 3 再度プリントヘッドをクリーニングする

再度プリントヘッドをクリーニングしてからノズルチェックパターンを印刷し、効果を確認します。

改善されない場合は、次のステップに進みます。

ステップ 4 プリントヘッドを強力クリーニングする

プリントヘッドを強力クリーニングしてからノズルチェックパターンを印刷し、効果を確認します。

- **Windows をご使用の場合：**

  プリントヘッドを強力クリーニングする

- **macOS をご使用の場合：**

  プリントヘッドを強力クリーニングする

改善されない場合は、電源を切ってから電源プラグを抜かずに 24 時間以上経過したあとに、次のステップに進みます。

ステップ 5 再度プリントヘッドを強力クリーニングする

再度プリントヘッドを強力クリーニングしてからノズルチェックパターンを印刷し、効果を確認します。

改善されない場合は、次のステップに進みます。

ステップ 6 修理を依頼する

強力クリーニングを 2 回繰り返しても改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」を参照してください。

用紙がうまく送られない／「用紙なし」のエラーが発生する

チェック１ 用紙がセットされているか確認してください

■ 用紙をセットする

チェック２ 次のことに注意して用紙をセットしてください

- 用紙を複数枚セットするときは、用紙の端をそろえてからセットしてください。
- 用紙を複数枚セットするときは、最大積載枚数を超えないようにしてください。

  ただし用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を最大積載枚数の半分以下に減らしてください。
- 印刷の向きに関わらず縦向きにセットしてください（往復はがきを除く）。
- 後トレイに用紙をセットするときは、印刷したい面を表にして、左右の用紙ガイドを用紙の両端に合わせてください。

  ■ 用紙をセットする
- カセットには普通紙のみセットできます。
- カセットに用紙をセットするときは、印刷したい面を裏にして、左右の用紙ガイドと手前の用紙ガイドを用紙の端に合わせてください。

  ■ 用紙をセットする

チェック３ 厚い用紙や反りのある用紙などを使用していないか確認してください

■ 使用できない用紙について

チェック４ はがきや封筒をセットする場合は、次のことに注意してください

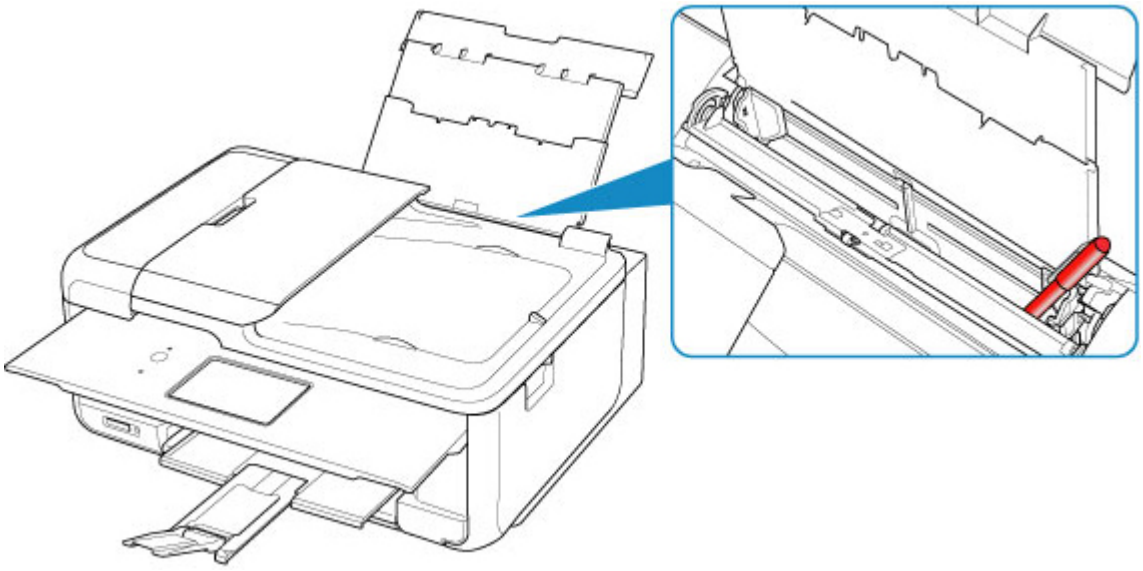
- はがき、往復はがきが反っていると、最大積載枚数以内の枚数をセットしていても、うまく送られないことがあります。

  はがき、往復はがきは、郵便番号欄が下にくるように後トレイにセットしてください。
- 封筒に印刷するときは「後トレイに封筒をセットする」を参照し、印刷前に準備をしてください。

  準備ができたら、プリンターに縦置きでセットしてください。横置きにすると、正しく送られません。

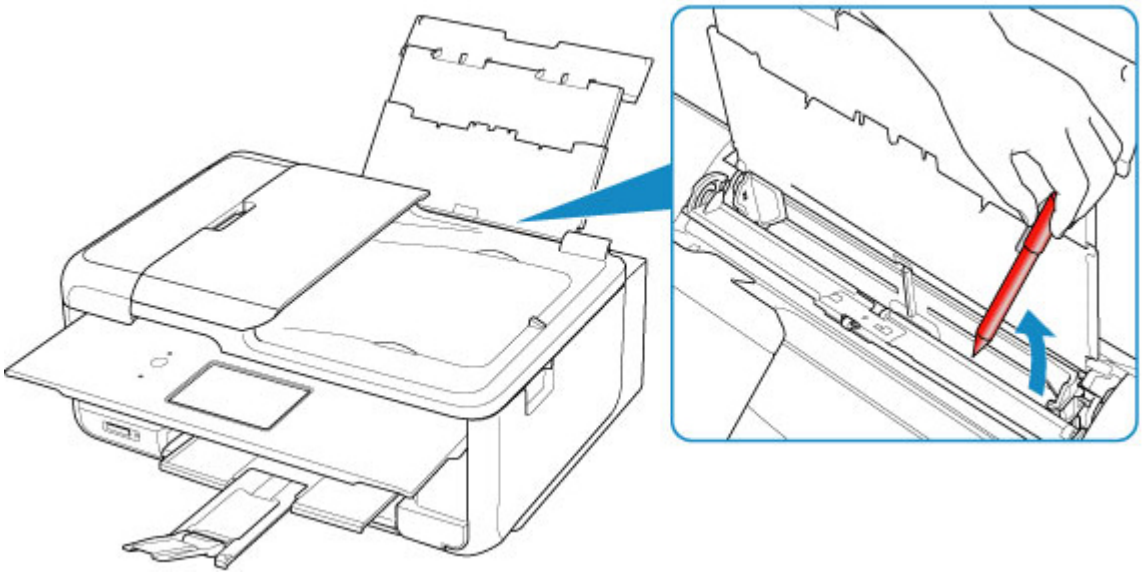
チェック５ セットした用紙と、用紙の種類やサイズの設定が合っているか確認してください

チェック６ 後トレイに異物が入っていないか確認してください



紙片が入っている場合は、「用紙がつまったときの対処方法」を参照してください。

後トレイに物が入っている場合は、かならず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、落としたものを取り除いてください。



参考

- 給紙口カバーを開けた場合は、ゆっくりと閉じてください。
- つまった用紙をプリンター背面から取り除いた直後に問題が発生した場合は、以下を参照してください。

  つまった用紙を背面から取り除く

チェック７ 給紙ローラーのクリーニングを行ってください

給紙ローラーをクリーニングする

参考

- 給紙ローラーのクリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

チェック８ カセットから用紙が複数枚排紙されるときは、カセットの内部を清掃してください

カセットの内部の清掃については、以下を参照してください。

■ カセットの内部を清掃する

チェック９ 搬送ユニットカバーと背面カバーは正しく取り付けられていますか

搬送ユニットカバーと背面カバーの位置については、「背面」を参照してください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

コピー／印刷結果に満足できない

白いすじが入る、線がずれる／ゆがむ、色むらがあるなど、思ったような印刷結果が得られないときは、まず用紙や印刷品質の設定を確認してください。

チェック１ セットされている用紙のサイズや種類が、設定と合っているか確認してください

設定と異なるサイズや種類の用紙をセットしていると、正しい結果が得られません。

例えば、写真やイラストを印刷したときにカラーの発色がよくない場合があります。

また、設定と異なる種類の用紙をセットしていると、印刷面がこすれる場合があります。

フチなし全面印刷を行う場合、セットした用紙と設定の組み合わせによっては、発色の差が発生する場合があります。

用紙や印刷品質の設定を確認する方法は、ご使用の機器によって異なります。

- **プリンターの操作でコピーまたは、メモリーカードから印刷する場合：**

  プリンターの操作パネルの設定を確認してください。

  - コピーするときの設定項目
  - プリンターの操作パネルを使って写真印刷するときの設定項目

- **パソコンから印刷する場合：**

  プリンタードライバーの設定を確認してください。

  - かんたんな設定で印刷を行う

- **PictBridge（Wi-Fi）対応機器から印刷する場合：**

  PictBridge（Wi-Fi）対応機器またはプリンターの操作パネルの設定を確認してください。

  - PictBridge（Wi-Fi）の印刷設定について
  - PictBridge 設定

- **スマートフォン／タブレットの Canon PRINT Inkjet/SELPHY から印刷する場合：**

  Canon PRINT Inkjet/SELPHY の設定を確認してください。

  - スマホでかんたん写真プリント

チェック２ チェック１のリストを参照して、適切な印刷品質が選ばれていることを確認してください

用紙の種類や印刷するデータに応じた印刷品質を選んでください。インクのにじみや色むらが気になる場合は、画質を優先する設定にして印刷してみてください。

参考

- PictBridge（Wi-Fi）対応機器から印刷する場合は、プリンターの操作パネルで印刷品質を設定してください。

PictBridge（Wi-Fi）対応機器からは印刷品質の設定はできません。

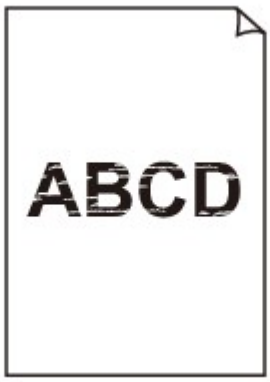
チェック３ それでも解決しない場合は、以下の項目についても確認してください

- 白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじ（線）が入る
- 線がずれる／ゆがむ
- 印刷面が汚れる／こすれる
- 画像の横に縦線パターンが印刷される
- 最後まで印刷できない
- 文書の一部が印刷されない（Windows）
- 罫線が欠けるまたは印刷されない（Windows）
- 画像が欠けるまたは印刷されない（Windows）
- インクがにじむ／用紙が反る
- 用紙の裏面が汚れる
- 色むらや色すじがある

白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじ（線）が入る

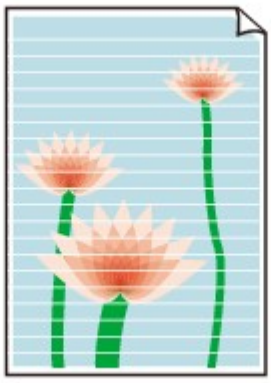
白紙のまま排紙される

印刷がかすれる



違う色になる

白いすじ（線）が入る



A

チェック１ 用紙や印刷品質を確認してください

- コピー／印刷結果に満足できない

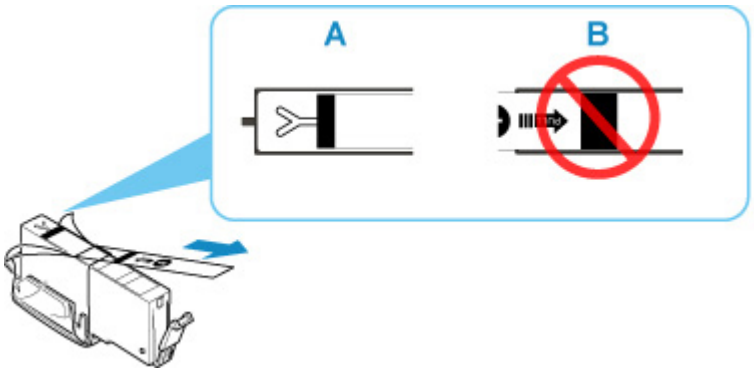
チェック２ インクタンクの状態を確認し、インクがなくなっている場合は、インクタンクを交換してください

- インクの状態をタッチスクリーンで確認する
- インクタンクを交換する

チェック３ インクタンクにオレンジ色のテープや保護フィルムが残っていないか確認してください

下の（A）のように、オレンジ色のテープがＹ字の空気溝からきれいにはがされていることを確認してください。

（B）のようにテープが残ってＹ字の空気溝をふさいでいる場合は、テープをきれいに取り除いてください。



チェック４ ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください

以下の手順にしたがって、ノズルチェックパターンを印刷し、インクが正常に出ているか確認してください。

ステップ１ ノズルチェックパターンを印刷する

ノズルチェックパターンを印刷して、正しく印刷されているか確認します。

- **Windows をご使用の場合：**
  - ノズルチェックパターンを印刷する

- **macOS をご使用の場合：**

  ノズルチェックパターンを印刷する

正しく印刷されていない場合は、該当する色のインクタンクが空になっていないか確認してください。

インクが残っているのに印刷されない場合は、次のステップに進みます。

ステップ 2 プリントヘッドをクリーニングする

プリントヘッドをクリーニングしてからノズルチェックパターンを印刷し、効果を確認します。

- **Windows をご使用の場合：**

  プリントヘッドをクリーニングする

- **macOS をご使用の場合：**

  プリントヘッドをクリーニングする

それでも改善されない場合は、次のステップに進みます。

ステップ 3 再度プリントヘッドをクリーニングする

再度プリントヘッドをクリーニングしてからノズルチェックパターンを印刷し、効果を確認します。

改善されない場合は、次のステップに進みます。

ステップ 4 プリントヘッドを強力クリーニングする

プリントヘッドを強力クリーニングしてからノズルチェックパターンを印刷し、効果を確認します。

- **Windows をご使用の場合：**

  プリントヘッドを強力クリーニングする

- **macOS をご使用の場合：**

  プリントヘッドを強力クリーニングする

改善されない場合は、電源を切ってから電源プラグを抜かずに 24 時間以上経過したあとに、次のステップに進みます。

ステップ 5 再度プリントヘッドを強力クリーニングする

再度プリントヘッドを強力クリーニングしてからノズルチェックパターンを印刷し、効果を確認します。

改善されない場合は、次のステップに進みます。

ステップ 6 修理を依頼する

強力クリーニングを 2 回繰り返しても改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」を参照してください。

チェック 5 片面にのみ印刷可能な用紙を使用している場合は、用紙の表と裏を間違えてセットしていないか確認してください

表と裏を間違えると、かすれたり、正しく印刷されないことがあるので注意してください。

後トレイから印刷するときは印刷面を表に、カセットから印刷するときは印刷面を裏にしてセットしてください。

用紙の印刷面については、ご使用の用紙に付属の取扱説明書を参照してください。

- **コピーしているときは以下の項目もチェックしてみてください：**

チェック 6 原稿台ガラスや、ADF（自動原稿給紙装置）のガラスが汚れていないか確認してください

原稿台ガラスや ADF（自動原稿給紙装置）のガラスを清掃してください。

- 原稿台の周辺部分を清掃する
- ADF（自動原稿給紙装置）を清掃する

参考

- ADF（自動原稿給紙装置）のガラスが汚れていると、以下の図のように黒いすじが入る場合があります。

チェック７ 原稿が原稿台または ADF（自動原稿給紙装置）に正しくセットされていることを確認してください

原稿を原稿台にセットするときは、コピーする面を下にしてください。ADF にセットするときは、コピーする面を上にしてください。

- 原稿をセットする

チェック８ プリンターで印刷したものをコピーしていないか確認してください

プリンターから印刷したものを原稿としてコピーする場合、元の写真や文書によっては、きれいに印刷されないことがあります。

プリンターから直接印刷するか、パソコンから印刷ができる場合はパソコンから印刷し直してください。

線がずれる／ゆがむ

チェック１ 用紙や印刷品質を確認してください

- コピー／印刷結果に満足できない

チェック２ プリントヘッドの位置調整を行ってください

線がずれる／ゆがむなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッド位置を調整してください。

- プリントヘッド位置を調整する

参考

- プリントヘッド位置調整を行ってもなお、印刷結果が思わしくない場合は、パソコンから手動プリントヘッド位置調整を行ってください。

  Windows をご使用の場合：

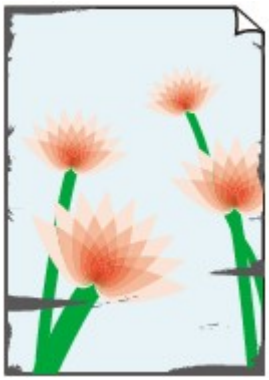
  - 手動でプリントヘッドの位置を調整する

チェック３ 印刷設定で品位を上げて印刷してください

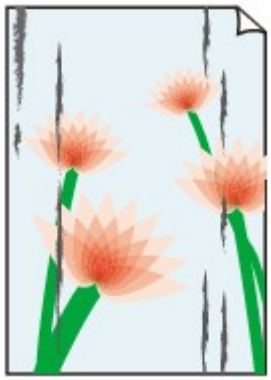
プリンターの操作パネルまたはパソコンで印刷品質の設定を上げると、印刷結果が改善される場合があります。

印刷面が汚れる／こすれる

印刷面が汚れる



用紙の端が汚れる



用紙の端以外が汚れる

印刷面がこすれる

チェック１ 用紙や印刷品質を確認してください

■ コピー／印刷結果に満足できない

チェック２ 適切な用紙を使用しているか確認してください

ご使用の用紙が目的の印刷に適した用紙か確認してください。

■ 使用できる用紙について

チェック３ 反りのある用紙は、反りを直してから使用してください

キヤノン写真用紙・絹目調をご使用の場合は、用紙が反っていてもそのまま 1 枚ずつセットして使用してください。丸めると用紙の表面にひび割れが発生し、印刷品質が低下する場合があります。

なお、長期間ご使用にならない用紙は、用紙が入っていたパッケージに入れて水平に保管することをお勧めします。

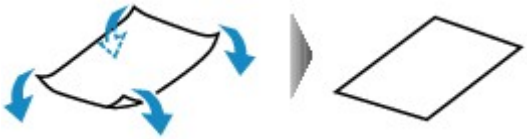
- **普通紙の場合：**

  用紙の裏表を逆にしてセットしてください。

- **はがき、封筒などその他の用紙の場合：**

  用紙の四隅が 3 mm（0.1 in.）（A）以上反っている場合、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりするおそれがあります。以下の手順で反りを修正してから使用してください

1. 下の図のように、対角線上の端を、反りと逆方向に丸める

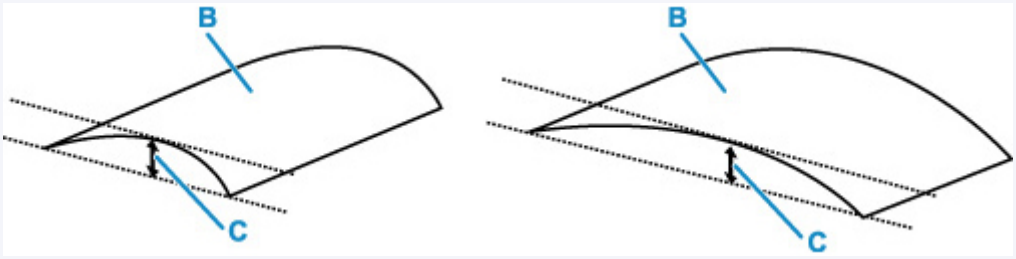


2. 印刷する用紙が、平らになっていることを確認する

   反りを修正した用紙は、1 枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

参考

- ご使用の用紙によっては、反りのない用紙を使用していても、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりすることがあります。その場合は、印刷する前にあらかじめ 3 mm（0.1 in.）（C）程度反りをつけてから印刷してみてください。印刷の結果が改善される場合があります。



(B) 印刷面

反りをつけた用紙は、1 枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

チェック４ 用紙のこすれを改善する設定にしてみてください

用紙のこすれを改善する設定にすると、プリントヘッドと紙の間隔が広くなります。用紙の種類を正しく設定していても印刷面がこすれる場合は、プリンターの操作パネルかパソコンで用紙のこすれを改善する設定にしてください。

用紙のこすれを改善する設定にすると、印刷速度が遅くなる場合があります。

* 印刷後は用紙のこすれを改善する設定を解除してください。設定を解除しないと、次回以降の印刷でもこの設定が有効になります。

- **プリンターの操作パネルで設定する場合**

  ホームボタンをタップして、 （**セットアップ**）、［**本体設定**］、［**印刷設定**］を順に選び、［**用紙のこすれ改善**］を［**する**］に設定してください。

  プリンターの操作パネルで設定を変更する

- **パソコン（Windows）で設定する場合：**

  1. プリンターの電源が入っていることを確認する

2. Canon IJ Printer Assistant Tool（キヤノン・アイジェイ・プリンター・アシスタント・ツール）を開く

   メンテナンスツール（Canon IJ Printer Assistant Tool）を開く

3. ［**特殊設定**］を選ぶ

4. ［**用紙のこすれを改善する**］にチェックマークを付け、［**OK**］を選ぶ

5. メッセージを確認し、［**OK**］を選ぶ

- **パソコン（macOS）で設定する場合：**

  リモート UI から、用紙のこすれ改善の設定を行ってください。

  メンテナンスのためにリモート UI を開く

チェック５ 印刷の濃度を高く設定している場合は、濃度の設定を下げてもう一度印刷してみてください

普通紙に濃度の設定を上げて印刷すると、インクを吸収しすぎて用紙が波打つことがあり、印刷面がこすれる原因になります。

- パソコンから印刷する場合（Windows）

  濃度の設定は、プリンタードライバーで確認できます。

  濃度を調整する

- コピーする場合

  コピーするときの設定項目

チェック６ 原稿台ガラスが汚れていないか確認してください

原稿台ガラスを清掃してください。

原稿台の周辺部分を清掃する

チェック７ 給紙ローラーが汚れていないか確認してください

給紙ローラーのクリーニングを行ってください。

給紙ローラーをクリーニングする

参考

- 給紙ローラーのクリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

チェック８ プリンター内部が汚れていないか確認してください

両面印刷などを行うと、プリンターの内側にインクが付いて用紙が汚れる場合があります。

インクふき取りクリーニングを行って、プリンター内部をお手入れしてください。

インクふき取りクリーニングを行う

参考

- 内部の汚れを防ぐために、用紙サイズを正しく設定してください。

チェック９ インク乾燥待ち時間を長く設定してみてください

印刷面が乾きやすくなり、汚れやこすれを防ぎます。

- **Windows をご使用の場合：**

  1. プリンターの電源が入っていることを確認する
  2. Canon IJ Printer Assistant Tool（キヤノン・アイジェイ・プリンター・アシスタント・ツール）を開く

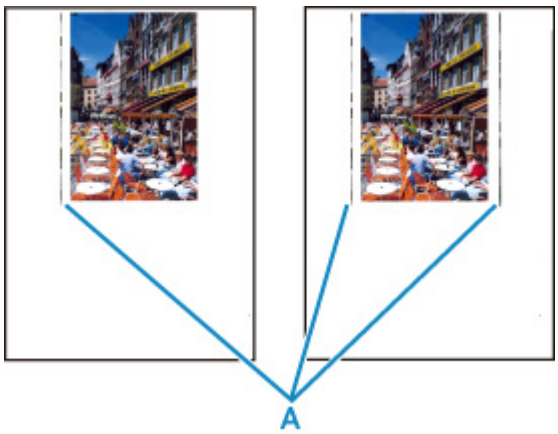
     メンテナンスツール（Canon IJ Printer Assistant Tool）を開く
  3. ［**特殊設定**］を選ぶ
  4. ［**インク乾燥待ち時間**］のスライドバーを使って待ち時間を調整し、［**OK**］を選ぶ
  5. メッセージを確認し、［**OK**］を選ぶ

- **macOS をご使用の場合：**

  リモート UI から、インク乾燥待ち時間の設定を行ってください。

  メンテナンスのためにリモート UI を開く

画像の横に縦線パターンが印刷される



チェック 正しいサイズの用紙をセットしているか確認してください

設定した用紙サイズより大きいサイズの用紙をセットすると、左または左右の余白部分に縦線パターン（A）が印刷されることがあります。

セットした用紙のサイズに合わせて、用紙サイズを設定してください。

■コピー／印刷結果に満足できない

参考

- 画像ファイルや印刷設定によっては、縦線パターン（A）の向きやパターンが変わる場合があります。
- 本製品はきれいな印刷が保てるように、状況に応じて自動的にクリーニングを行い、わずかにインクをふき出します。

  本来、クリーニングで使用されたインクは用紙の外側のインク吸収体にふき出されますが、設定した用紙サイズより大きいサイズの用紙をセットすると、用紙の上にインクがふき出されてしまう場合があります。

スキャンに関するトラブル（macOS）

- スキャンができない

スキャンができない

- スキャナーが動かない
- スキャナードライバーがアプリケーションソフトから呼び出せない

スキャナーが動かない

チェック１ ご使用のスキャナーまたはプリンターの電源が入っていることを確認してください

チェック２ ネットワーク接続でご使用の場合は、接続状況を確認し、必要に応じて接続し直してください

チェック３ USB 接続でご使用の場合、パソコンに複数の USB ポートがあるときは、ほかの USB ポートに差し替えてください

チェック４ USB ケーブルを USB ハブなどを介して接続しているときは、パソコンの USB ポートに直接接続してください

チェック５ パソコンを再起動してください

チェック６ USB 接続でプリンターの操作パネルからスキャンしたい場合は、［**スキャン設定(基本設定)**］ダイアログにある［**操作パネルからのスキャン設定**］をクリックして、下記にチェックマークが付いていることを確認してください。

- ご使用のスキャナーまたはプリンター
- ［**操作パネルからのスキャンを有効にする**］

スキャナードライバーがアプリケーションソフトから呼び出せない

チェック１ アプリケーションソフトが AirPrint に対応していることを確認してください

チェック２ アプリケーションソフトのメニューで、ご使用のスキャナーまたはプリンターを選択してください

参考

- アプリケーションソフトによっては、起動方法が異なる場合があります。

チェック３ IJ Scan Utility Lite でスキャンして画像を保存し、ご使用のアプリケーションソフトでファイルを開いてください

チェック４ ご使用のスキャナーのロックは解除されていますか（パーソナル向けスキャナー）

IJ Scan Utility Lite／アプリケーションソフトを起動している場合は、いったん終了してください。そのあと、スキャナーロックスイッチを解除側（ ）にスライドし、USB ケーブルを接続し直してください。

ファクスに関するトラブル

- ファクスを送信できない
- ファクスを受信できない
- 電話がつながらない
- 受信したファクスの画質が悪い

ファクスを送信できない

- ファクスを送信できない
- 送信時にエラーが発生しやすい

ファクスを送信できない

ファクスを送信できないときは、以下の項目を確認してください。

チェック１ 電話回線が正しく接続されているか以下の項目にしたがって確認してください

- モジュラーケーブルを電話回線接続部（

）に、反対側を壁または電話アダプターのモジュラージャック（差込口）に、接続し直してください。
  電話回線を接続する
- 画面に「**回線が使用中です**」が表示されている場合は、子電話で回線を使用中です。しばらくしてから確認してください。
- フックキーを押したときに、プリンターから正常な電話回線の音(ダイヤルトーン)が聞こえない場合は、電話回線の接続方法が誤っているか、電話回線の問題が考えられます。電話回線の接続方法が間違っていないことを確認して、電話会社、接続している電話アダプターまたはTA（ターミナルアダプター）のメーカーへお問い合わせください。
- フックキーを押したときに、「**オンフックキーは無効です**」と表示される場合は、［**ファクス設定**］の［**あんしん通信管理**］にある［**オンフックキー設定**］を［**有効**］に変更してください。
  ファクス設定

チェック２ 電話回線の種類（プッシュ回線／ダイヤル回線）が正しく設定されているか確認してください

電話回線が自動で正しく設定されないことがあります。電話回線の種類を確認して設定を手動で変更してください。

回線種別を設定する

チェック３ ［**ダイヤルトーン検知**］の設定が［**する**］になっていないか確認してください

［**ファクス設定**］の［**ファクスの詳細設定**］にある［**ダイヤルトーン検知**］を［**しない**］に設定してください。

ファクス設定

チェック４ 電話帳にファクス／電話番号が正しく登録されているか確認してください

ファクス／電話番号が違っていた場合は、電話帳のファクス／電話番号を変更してから、もう一度送信してください。

登録した情報を変更する

チェック５ プリンターのメモリーがいっぱいになっていないか確認してください

プリンターのメモリーに保存されているファクスを削除してから、もう一度送信してください。

プリンターのメモリーに保存されているファクスについて

チェック６ 原稿が正しくセットされているか確認してください

一度原稿を取り出し、原稿台または ADF（自動原稿給紙装置）に正しくセットし直してください。

■ 原稿をセットする

チェック 7 プリンターエラーが発生していないか確認してください

タッチスクリーンにメッセージが表示されているか確認してください。表示されている場合は、内容を確認してください。

メッセージについては「メッセージ（サポート番号）が表示されている」を参照してください。

［**ストップ**］をタップしてエラーメッセージが閉じたときは、ファクスを送信することができます。

送信時にエラーが発生しやすい

チェック 電話回線や接続の状態を確認してください

IP 電話回線を使用しているときにエラーが頻繁に発生する場合、[**ファクス設定**]の[**ファクスの詳細設定**]の[**エラー低減設定(VoIP)**]で[**低減する**]を選ぶとエラーを低減できる可能性があります。

詳細は[**エラー低減設定(VoIP)**]を参照してください。

ファクス設定

参考

- [**低減する**]を選んでいても通信エラーが低減しない場合は、設定を[低減しない]に戻してください。

また、IP 電話回線を使用しているときは、[**送信スタートスピード**]の設定を[**4800 bps**]または[**9600 bps**]にするとエラーが発生しやすくなる可能性があります。設定を[**14400 bps**]または[**33600 bps**]にしてください。

一般電話回線を使用しているときに電話回線や接続の状態がよくないときは、送信スタートスピードを遅くすると、エラーが解消されることがあります。

[**ファクス設定**]の[**ファクスの詳細設定**]の[**高度な通信設定**]にある[**送信スタートスピード**]の設定を遅くしてください。

ファクス設定

ファクスを受信できない

- ファクスを印刷できない／［メモリー受信しました］と表示される

ファクスを印刷できない／［メモリー受信しました］と表示される

チェック１ 印刷するのに十分なインクが残っているか確認してください

- 印刷するのに十分なインクが残っていない場合、受信したファクスは印刷されずにプリンターのメモリーへ保存されます（メモリー受信）。インクタンクを交換したあと、自動的に印刷が始まります。

  プリンターのメモリーに保存されているファクスについて

- インクが少なくなっても、受信したファクスを強制的に印刷するように設定することもできます。

  ［**ファクス設定**］から［**自動印刷設定**］を選び、［**インク切れでの印刷**］を［**印刷する**］に設定してください。

  ただし、この設定でファクスを印刷しているときにインクがなくなると、ファクスの内容は途中から白紙で出力され、そのファクスの内容はプリンターのメモリーから印刷済として消去されます。

チェック２ 操作パネルが閉まっていないか確認してください

受信時に操作パネルが閉まっていると、受信したファクスは印刷されず、プリンターのメモリーに保存されます（メモリー受信）。操作パネルを開いて、［**OK**］を選んでください。

チェック３ ［**ファクス用紙設定**］の［**用紙サイズ**］で設定したサイズと異なるサイズの用紙をセットしていないか確認してください

［**用紙サイズ**］で設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙がセットされている場合、受信したファクスは印刷されず、プリンターのメモリーに保存されます（メモリー受信）。［**用紙サイズ**］で設定したサイズと同じサイズの用紙をセット後、［**OK**］を選んでください。

チェック４ 用紙がセットされているか確認してください

用紙がセットされていないと、受信したファクスは印刷されず、プリンターのメモリーに保存されます（メモリー受信）。［**ファクス**］を選び、用紙をセットしてプリンターの［**OK**］を選んでください。

電話がつながらない

- ダイヤルできない
- 通話中に電話が切れてしまう

ダイヤルできない

チェック１ モジュラーケーブルが正しく接続されているか確認してください

モジュラーケーブルが正しく接続されているか確認してください。

■ 電話回線を接続する

チェック２ 本製品および外付け電話機で、電話回線の種類（プッシュ回線／ダイヤル回線）が正しく設定されているか確認してください

電話回線の種類を確認し、設定を変更してください。

■ 回線種別を設定する

通話中に電話が切れてしまう

チェック モジュラーケーブル、電話機（外付け電話、留守番電話、パソコンのモデムなどの周辺機器）が正しく接続されているか確認してください

モジュラーケーブル、電話機（外付け電話、留守番電話、パソコンのモデムなどの周辺機器）が正しく接続されていることを確認してください。

電話回線を接続する

受信したファクスの画質が悪い

チェック１ 送信側のファクス機の原稿の読み取り設定を確認してください

送信側に連絡して、原稿の読み取り時の設定を調節してもらってください。

チェック２ ［**ECM 受信**］の設定が［**しない**］になっていないか確認してください

［**ファクス設定**］の［**ファクスの詳細設定**］内の［**高度な通信設定**］にある［**ECM 受信**］を［**する**］に設定してください。

［**する**］に設定すると、送信側のファクス機が自動的に誤りを訂正し再送します。

■ ファクス設定

チェック３ 送信側のファクス機の原稿や読み取り部分が汚れていないか確認してください

ファクスの画質は、おもに送信側のファクス機によって決まります。送信側に連絡して、読み取り部分が汚れていないか確認してもらってください。

チェック４ 回線の状態が悪いときに ECM 送受信をしていないか、または送信側が ECM に対応しているか確認してください

- ［**ファクス設定**］の［**ファクスの詳細設定**］内の［**高度な通信設定**］にある［**ECM 受信**］を［**する**］に設定してください。

  ■ ファクス設定

- 送信側のファクス機が ECM 送信をするように設定されているか確認してください。

  送受信側のファクス機が ECM に対応していないときは、自動誤り訂正は行われずに送受信されます。

- ［**ファクス設定**］の［**ファクスの詳細設定**］内の［**高度な通信設定**］にある［**受信スタートスピード**］の設定を遅くしてください。

  ■ ファクス設定

チェック５ 用紙や印刷品質を確認してください

■ コピー／印刷結果に満足できない

本体に関するトラブル

- 電源が入らない
- 電源が自動的に切れてしまう
- USB 接続がうまくいかない
- USB 接続で通信ができない
- 日本語以外の言語が表示されている

電源が入らない

チェック１ 電源ボタンを押してみてください

電源について

チェック２ プリンターと電源コードがしっかりと接続されているかを確認し、電源を入れ直してください

チェック３ 電源プラグをコンセントから抜き、２分以上たってから、電源プラグをコンセントにつないでプリンターの電源を入れ直してください

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

電源が自動的に切れてしまう

チェック 自動的に電源が切れる設定になっている場合は、設定を解除してください

自動的に電源が切れる設定になっていると、設定した時間に応じてプリンターの電源は自動的に切れます。

- **プリンターの操作パネルから設定を解除する場合：**

  1. プリンターの電源が入っていることを確認する
  2. ホーム画面で（セットアップ）を選ぶ
  3. ［**ECO**］を選ぶ
  4. ［**省電力設定**］を選ぶ
  5. 表示されるメッセージを確認して、［**次へ**］を選ぶ
  6. ［**自動電源オフ**］を選ぶ
  7. ［**しない**］を選ぶ
  8. ［**OK**］を選ぶ

     自動的に電源が切れる設定が解除されます。

- **パソコンから設定を解除する場合：**

  Windows をご使用の場合は、Canon IJ Printer Assistant Tool（キヤノン・アイジェイ・プリンター・アシスタント・ツール）や ScanGear（スキャナードライバー）で設定を解除できます。

  Canon IJ Printer Assistant Tool では、以下の手順で設定を解除します。

  1. Canon IJ Printer Assistant Tool を開く

     メンテナンスツール（Canon IJ Printer Assistant Tool）を開く
  2. ［**自動電源設定**］を選ぶ
  3. ［**自動電源オフ**］で［**無効**］を選ぶ
  4. ［**OK**］を選ぶ

5. 表示された画面で［**OK**］を選ぶ

自動的に電源が切れる設定が解除されます。

参考

- ScanGear（スキャナードライバー）から設定を解除する方法については、以下を参照してください。

  ［スキャナー］シート

USB 接続がうまくいかない

次のいずれかの現象に該当する場合は、以下の項目を確認してください。

- 印刷／スキャン速度が遅い
- Hi-Speed USB として動作しない
- ［**さらに高速で実行できるデバイス**］などの警告文が画面に表示される（Windows）

参考

- Hi-Speed USB に対応していない環境では、Full-Speed または Low-Speed での接続となります。この場合、プリンターは正常に動作しますが、通信速度の違いから印刷／スキャン速度が遅くなることがあります。

チェック ご使用の環境が Hi-Speed USB に対応しているか、次の点を確認してください

- パソコンの USB ケーブル接続部は、Hi-Speed USB に対応していますか。
- USB ケーブルと USB ハブは、Hi-Speed USB に対応していますか。

  USB ケーブルは、かならず Hi-Speed USB 認証ケーブルをご使用ください。また、長さ 3 m（10 ft）以内のものをお勧めします。
- ご使用のパソコンで、Hi-Speed USB ドライバーが正しく動作していますか。

  最新の Hi-Speed USB 対応 USB ドライバーが正しく動作しているか確認して、必要に応じてアップデートをインストールしてください。

重要

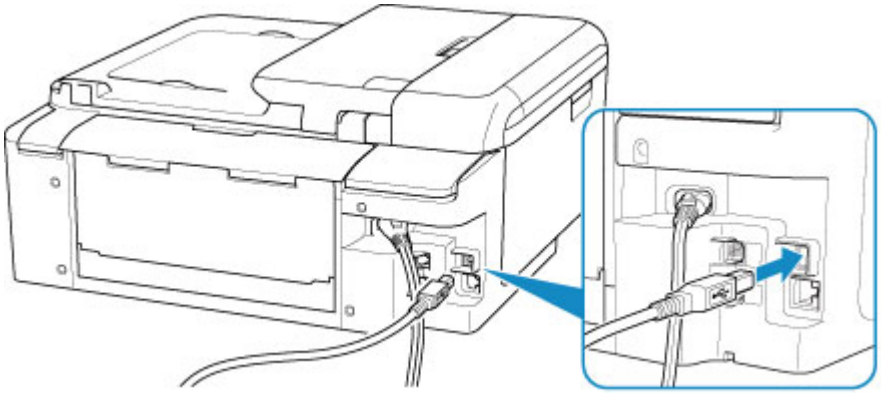
- それぞれの操作については、ご使用のパソコン、USB ケーブル、USB ハブのメーカーにご確認ください。

USB 接続で通信ができない

チェック１ プリンターの電源が入っているか確認してください

チェック２ USB ケーブルを正しく接続してください

USB ケーブル接続部は、下の図のようにプリンターの背面にあります。



重要

- 「Type-B」コネクタの向きを確認し、プリンターに接続してください。詳細は USB ケーブルに付属の取扱説明書を参照してください。

チェック３ ［**プリンターのプロパティ**］画面の［**ポート**］シートで［**双方向サポートを有効にする**］にチェックマークが付いているか確認してください（Windows）

付いていない場合はチェックマークを付けて、双方向通信を行ってください。

■ プリンタードライバーの設定画面の開きかた

日本語以外の言語が表示されている

次の手順で、日本語の設定に戻してください。

1. **ホーム**ボタンをタップして少し待つ
2. （**セットアップ**）を選ぶ
   - タッチスクリーンの使いかた
3. を選ぶ
4. 上から 8 番目の設定項目を選ぶ
5. ［**日本語**］を選ぶ
6. 表示された画面で左下のボタンを選ぶ

インストール／ダウンロードに関するトラブル

- MP ドライバーがインストールできない（Windows）
- ネットワーク環境で MP ドライバーをアップデートする（Windows）

MP ドライバーがインストールできない（Windows）

MP ドライバーが正しくインストールできなかった場合、**Windows Update** がすべて適用されていることを確認してください。**Windows Update** がすべて適用されていない場合は、すべての **Windows Update** を適用させてください。

Windows Update の確認ができたら、以下の操作を行なって MP ドライバーをインストールしてください。

1. MP ドライバーをアンインストールするための画面を開く

   Windows 10 をご使用の場合：

   ［**設定**］から［**アプリ**］を選びます。

   Windows 8.1／Windows 7 をご使用の場合：

   ［**コントロールパネル**］から［**プログラムと機能**］を選びます。

2. 一覧にインストールしたい「Canon XXX series MP Drivers」がないか確認する

   「XXX」には、プリンターの機種名が入ります。

3. インストールしたいプリンターの MP ドライバーが見つかった場合はアンインストールする

   見つからなかった場合は次の手順へ進みます。

4. パソコンを再起動する

   再起動後、最新の MP ドライバーをインストールします。

ネットワーク環境で MP ドライバーをアップデートする（Windows）

あらかじめ新しいバージョンの MP ドライバーをダウンロードしてください。

最新の MP ドライバーを入手するには、キヤノンのホームページにあるソフトウェアダウンロードのページから、お使いの機種の MP ドライバーをダウンロードします。

ダウンロードが完了したら、新しいバージョンの MP ドライバーを所定のインストール手順に従って上書きインストールしてください。

参考

- プリンターに設定済みのネットワーク設定は変更されませんので、そのままプリンターをネットワーク接続で使用できます。

エラー表示／メッセージについて

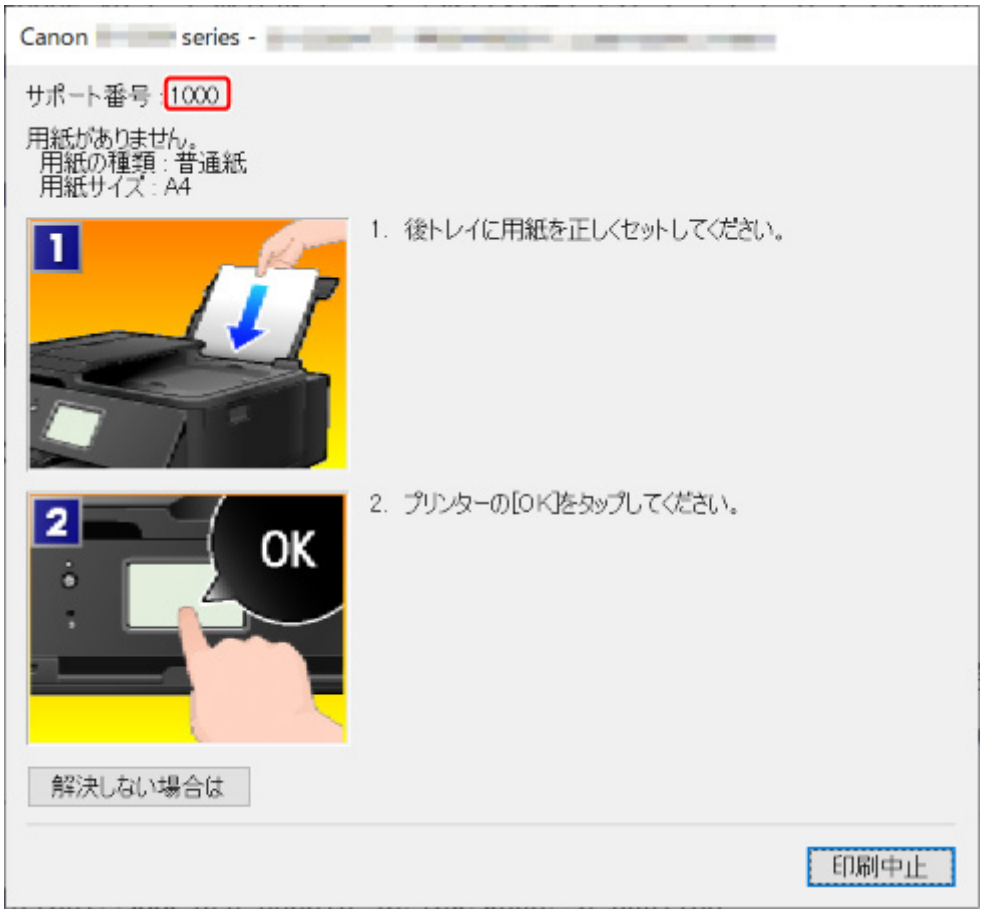
- トラブルが発生したときは
- メッセージ（サポート番号）が表示されている

トラブルが発生したときは

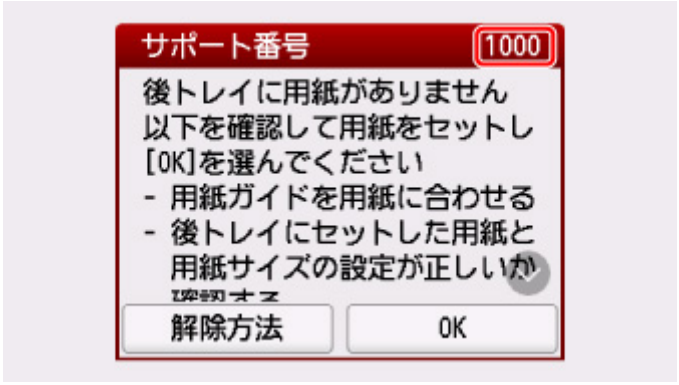
印刷中に用紙がなくなる、または紙づまりなどのトラブルが発生すると、自動的にトラブルの対処方法を示すメッセージが表示されます。トラブルの内容によっては、サポート番号（エラー識別番号）も表示されます。

表示された対処方法に従って操作してください。

パソコンにサポート番号とメッセージが表示される例（Windows）：



プリンターのタッチスクリーンにサポート番号とメッセージが表示される例：



サポート番号が表示されるトラブルの対処方法については、「エラーのサポート番号一覧」を参照してください。

サポート番号が表示されないトラブルの対処方法については、「メッセージ（サポート番号）が表示されている」を参照してください。

メッセージ（サポート番号）が表示されている

ここでは、一部のメッセージについて説明します。

参考

- エラーの内容によっては、サポート番号（エラー識別番号）が表示されます。サポート番号が表示されているメッセージについては、「エラーのサポート番号一覧」を参照してください。

プリンターのタッチスクリーンにメッセージが表示されている場合は、以下を参照してください。

■ プリンターのタッチスクリーンにメッセージが表示されている

パソコンの画面にメッセージが表示されている場合は、以下を参照してください。

■ 自動両面印刷に関するエラーメッセージが表示されている
■ 電源プラグの抜き差しに関するエラーメッセージが表示されている（Windows）
■ 「書き込みエラー／出力エラー」または「通信エラー」（Windows）
■ そのほかのエラーメッセージ（Windows）

プリンターのタッチスクリーンにメッセージが表示されている

メッセージを確認し、対処方法に従って操作してください。

- **前回、正しい手順で電源が切られていません　電源を切るときは、ボタンを押してください**

  前回プリンターの電源を切ったときに、電源が入った状態で電源プラグが抜かれた可能性があります。

  プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**OK**］を選んでエラーを解除してください。

  正しい電源プラグの抜きかたについては、「電源プラグを抜く」を参照してください。

- **サーバーに接続できません　しばらく待ってからやり直してください**

  通信が正しく行われなかった、または通信中に何らかのトラブルが発生したため、サーバーにアクセスできませんでした。

  プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**OK**］を選んでエラーを解除し、しばらく待ってから操作をやり直してください。

- **適切なデータが保存されていません**

  - セットしたメモリーカードに、読み込める画像や文書データが保存されていません。
  - ファイル名（フォルダー名）に、全角文字（漢字、カナ等）があると、認識できない場合があります。全角文字を半角英数字に変更してみてください。
  - パソコン上で編集／加工した画像データは、かならずパソコンから印刷してください。

  参考

  ■ パソコンなどで撮影情報が編集された写真をタッチスクリーンに表示しようとすると、「?」が表示されます。

- **用紙サイズを確認して、［OK］をタップしてください**

  プリンターの［**ファクス用紙設定**］の［**用紙サイズ**］に設定したサイズと異なるサイズの用紙がセットされています。

  プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**OK**］を選んでエラーを解除してください。

  ［**ファクス**］から［**機能一覧**］を選び、［**ファクス用紙設定**］の［**用紙サイズ**］、［**用紙種類**］、［**給紙位置**］を確認し、用紙をセットし直してください。

- **電源プラグが抜かれたためメモリーの未送信／受信原稿が失われました**

  プリンターのメモリーにファクスが保存されているときに、プリンターの電源が入った状態で停電が発生したか、電源プラグが抜かれた可能性があります。

  プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**OK**］を選んでエラーを解除してください。

  プリンターのメモリーから消去されたファクスの一覧（メモリークリアリスト）が印刷されます。詳しくは、「印刷できるレポートとリスト」を参照してください。

  正しい電源プラグの抜きかたについては、「電源プラグを抜く」を参照してください。

  重要

  - 停電が発生したり電源プラグを抜いたりすると、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

- **受話器を置いてください**

  外付け電話機の受話器が外れています。

  受話器をきちんと戻してください。

参考

- ファクス待機画面に表示されるメッセージについては、「ファクス待機画面にメッセージが表示されている」を参照してください。

自動両面印刷に関するエラーメッセージが表示されている

チェック 「自動両面印刷でうまく印刷できない」を参照し、対処してください

電源プラグの抜き差しに関するエラーメッセージが表示されている（Windows）

プリンターの電源が入った状態で、電源プラグが抜かれた可能性があります。

メッセージの内容を確認し、画面の［**OK**］をクリックしてください。

印刷が開始されます。

正しい電源プラグの抜きかたについては、「電源プラグを抜く」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

「書き込みエラー／出力エラー」または「通信エラー」（Windows）

チェック１ **電源**ランプが消えている場合は、電源コードが接続されていることを確認し、**電源**ボタンを押してください

電源ランプが点滅している間は、プリンターが初期動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

チェック２ プリンターとパソコンが通信できる状態か確認してください

USB 接続（USB ケーブル）でプリンターをご使用の場合は、プリンターの USB ケーブル接続部とパソコンが USB ケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。USB ケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

- USB ハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外してプリンターとパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USB ハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USB ケーブルに不具合があることも考えられます。別の USB ケーブルに交換し、再度印刷してみてください。

ネットワーク接続でプリンターをご使用の場合は、ネットワークの設定が正しくされているか確認してください。

チェック３ MP ドライバーが正しくインストールされていることを確認してください

「不要になった MP ドライバーを削除する」に記載されている手順に従って MP ドライバーを削除したあと、本ウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。

チェック４ USB 接続（USB ケーブル）でプリンターをご使用の場合は、パソコンでデバイスの状態を確認してください

以下の手順に従って、パソコンでデバイスの状態を確認してください。

1. ［**コントロールパネル**］→［**ハードウェアとサウンド**］→［**デバイスマネージャー**］の順に選ぶ

   参考

   - ［**ユーザー アカウント制御**］画面が表示された場合は、［**続行**］を選びます。

2. ［**USB 印刷サポートのプロパティ**］を開く

   ［**ユニバーサル シリアル バス コントローラー**］、［**USB 印刷サポート**］の順にダブルクリックします。

   参考

   - ［**USB 印刷サポートのプロパティ**］が表示されない場合は、プリンターとパソコンが接続されていることを確認してください。

     チェック２ プリンターとパソコンが通信できる状態か確認してください

3. ［**全般**］タブをクリックして、デバイスの異常が表示されているか確認する

   デバイスの異常が表示されている場合は、Windows のヘルプを参照してトラブルを解決してください。

そのほかのエラーメッセージ（Windows）

チェック プリンター状態の確認画面以外でエラーメッセージが表示された場合は、次の点を確認してください

- ［**ディスク容量不足のため、正常にスプールできませんでした。**］

  不要なファイルを削除してディスクの空き容量を増やしてください。

- ［**メモリー不足のため、正常にスプールできませんでした。**］

  起動中のほかのアプリケーションソフトを終了して空きメモリーを増やしてください。

  それでも印刷できない場合は、パソコンを再起動してもう一度印刷してみてください。

- [**プリンタードライバーが読み込めませんでした。**]

  「不要になった MP ドライバーを削除する」に記載されている手順に従って MP ドライバーを削除したあと、本ウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。

- [**「アプリケーションソフト名」 – 「文書名」を印刷できませんでした。**]

  現在印刷中の文書の印刷が終わったら、もう一度印刷してみてください。

エラーのサポート番号一覧

エラーが発生したときに、プリンターのタッチスクリーンとパソコンにサポート番号が表示されます。
「サポート番号」とはエラー識別番号で、エラーメッセージと合わせて表示されます。
エラーが発生したときはサポート番号を確認し、それぞれの対処方法に従って操作してください。

表示されるサポート番号

- **1000～1ZZZ**

  1000 1003 1200 1240 1300 1303

  1304 1309 1310 1313 1401 1403

  1405 140B 1410 1411 1412 1413

  1414 15A1 15A2 1600 1660 1684

  1688 1689 168C 1700 1701 1730

  1731 1871 1890

- **2000～2ZZZ**

  2110 2113 2114 2120 2123 2504

  2700 2801 2802 2803 2900 2901

- **3000～3ZZZ**

  3402 3403 3404 3405 3406 3407

  3408 340A 340B 340C 340D 340E

  3410 3411 3412 3413 3438 3439

  3440 3441 3442 3443 3444 3445

  3446 3447

- **4000～4ZZZ**

  4100 4103 4104 495A

- **5000～5ZZZ**

  5011 5012 5040 5050 5100 5200

  520E 5400 5700 5B00 5B01 5C02

- **6000～6ZZZ**

  6000 6001 6004 6500 6502 6800

6801 6830 6831 6832 6833 6900

6901 6902 6910 6920 6921 6930

6931 6932 6933 6936 6937 6938

6939 693A 6940 6941 6942 6943

6944 6945 6946 6951 6A80 6A81

6D01

- **7000～7ZZZ**

  7500 7600 7700 7800

- **8000～8ZZZ**

  8300

- **9000～9ZZZ**

  9500

- **A000～ZZZZ**

  C000

参考

- 紙づまりの対処方法については、「用紙がつまったときの対処方法」を参照してください。

用紙がつまったときの対処方法

用紙がつまった場合は、以下で示す手順に従って用紙を取り除いてください。

- つまった用紙が後トレイや排紙口から見えている場合
  - 1300
- つまった用紙が後トレイや排紙口から見えない場合
  - カセットから印刷しているときに用紙がつまった場合
    - 1303
  - 自動両面印刷をしているときに用紙がつまった場合
    - 1304
  - 印刷済みの用紙が引き込まれてつまった場合
    - 1313
  - つまった用紙が破れて排紙口から取り除けない場合や、プリンターの内部で用紙がつまっている場合
    - プリンターの内部で用紙がつまった
- ADF（自動原稿給紙装置）に原稿がつまった場合
  - 2801
- 上記に当てはまらない場合
  - それ以外のとき

1300

原因

後トレイから印刷しているときに、用紙がつまりました。

対処方法

以下の手順でつまった用紙を取り除いてください。

重要

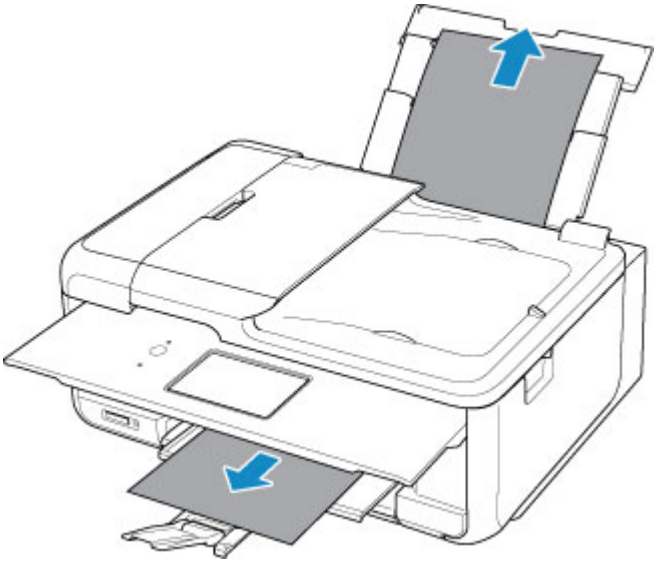
- ファクスの送受信中やメモリー受信中、未送信のファクスがプリンターのメモリーに保存されている場合は電源を切ることができません。

  ファクスの受信または送信が完了していることを確認してから電源を切ってください。このとき電源プラグを抜かないでください。

  電源プラグを抜くと、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

1. 排紙口または後トレイ（引き出しやすい方）から用紙をゆっくり引っ張り、用紙を取り除く

   用紙を両手でしっかりと持ち、紙が破れないようにゆっくりと引き抜いてください。



参考

- 用紙が引き抜けない場合は無理に引っ張らず、プリンターの電源を入れ直してください。用紙が自動的に排出されることがあります。
- 印刷中につまった用紙を取り除くためプリンターの電源を切る場合は、プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**ストップ**］をタップして印刷を中止してから、電源を切ってください。
- 用紙が破れて排紙口または後トレイから引き抜けなくなった場合は、プリンターの内部から用紙を取り除いてください。

  プリンターの内部で用紙がつまった

  プリンターの内部から取り除けない場合は、プリンターの背面から取り除いてください。

  つまった用紙を背面から取り除く

2. 用紙をセットし直し、プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**OK**］を選ぶ

   印刷が再開されます。つまったときに印刷していたページが正しく印刷されなかった場合は、再度印刷を行ってください。

   手順 1 で電源を入れ直した場合、プリンターに送信されていた印刷データは消去されますので、印刷をやり直してください。

   参考

   - 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。
   - 写真やグラフィックを含む原稿の印刷は A5 サイズ以外の用紙に印刷することをお勧めします。A5 サイズの用紙に印刷すると、用紙が反って排紙できない原因になることがあります。

上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1303

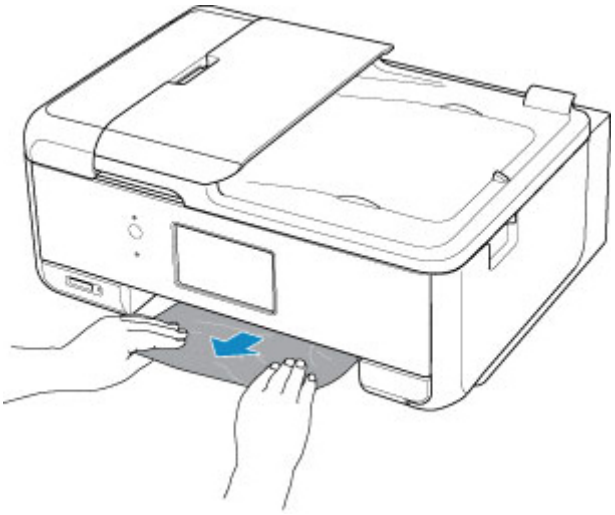
原因

カセットから印刷しているときに、用紙がつまりました。

対処方法

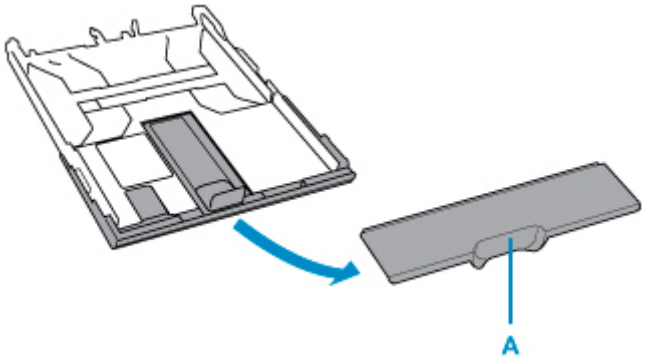
1. つまった用紙を取り除く
   - 排紙口でつまっている場合
     1300
   - プリンターの内部でつまっている場合
     プリンターの内部で用紙がつまった
   - カセットの給紙口でつまっている場合

     カセットを引き出し、つまった用紙を両手でゆっくりと引き抜いてください。

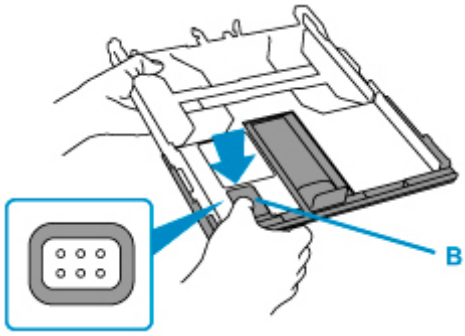
     
   - 上記の方法では取り除けなかった場合
     つまった用紙を背面から取り除く
2. 用紙を正しくカセットにセットする

   カセットに A4 サイズの用紙をセットする場合は、カセットを伸ばしているか確認してください。

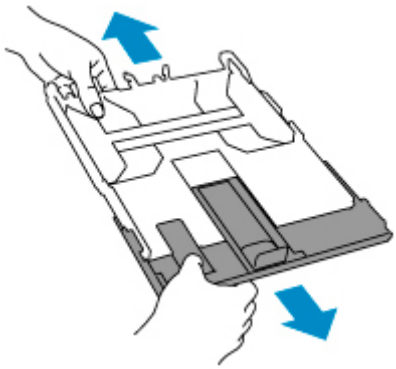
   1. カセットカバー（A）を取り外します。

2. カセットのロック（B）を押します。



3. ロック（B）を押したまま、カセットを前後に引きます。



カセットに普通紙をセットする

3. プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**OK**］を選ぶ

   印刷が再開されます。つまったときに印刷していたページが正しく印刷されなかった場合は、再度印刷を行ってください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

1304

原因

自動両面印刷をしているときに、用紙がつまりました。

対処方法

1. つまった用紙を取り除く

   - 排紙口でつまっている場合

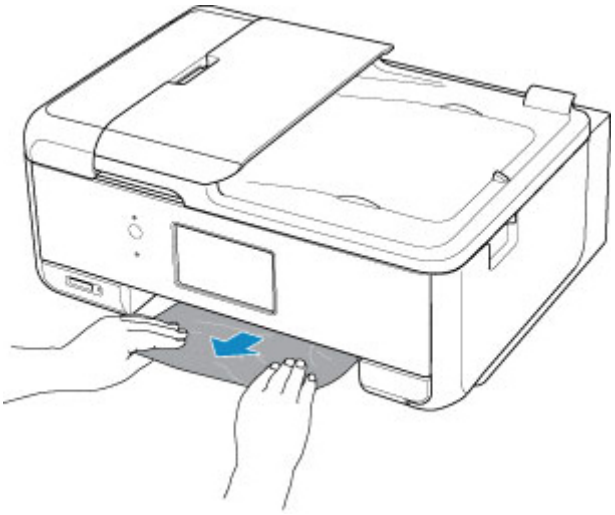
     1300

   - プリンターの内部でつまっている場合

     プリンターの内部で用紙がつまった

   - カセットの給紙口でつまっている場合

     カセットを引き出し、つまった用紙を両手でゆっくりと引き抜いてください。

   - 上記の方法では取り除けなかった場合

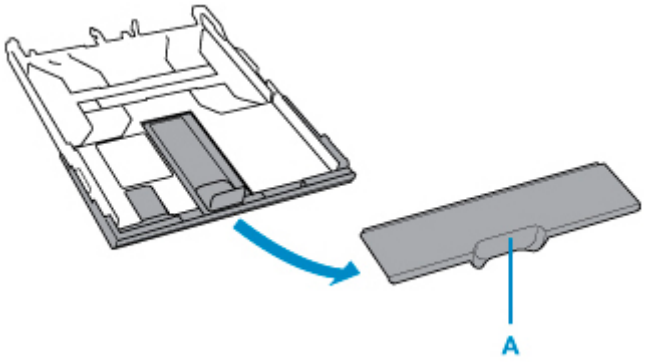
     つまった用紙を背面から取り除く

2. 用紙を正しくセットする

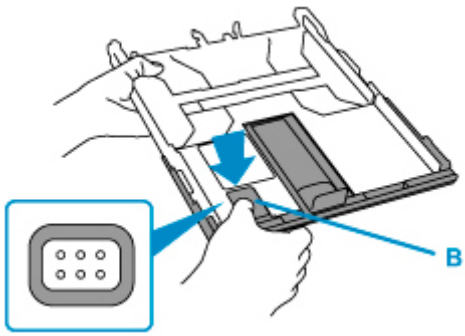
   後トレイに普通紙や写真用紙、はがきをセットする
   カセットに普通紙をセットする

   カセットに A4 サイズの用紙をセットする場合は、カセットを伸ばしているか確認してください。

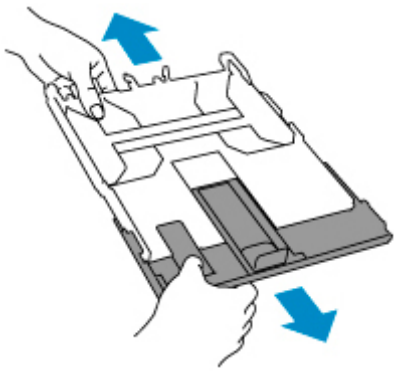
   1. カセットカバー（A）を取り外します。



2. カセットのロック（B）を押します。



3. ロック（B）を押したまま、カセットを前後に引きます。



3. プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**OK**］を選ぶ

印刷が再開されます。つまったときに印刷していたページが正しく印刷されなかった場合は、再度印刷を行ってください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

1313

原因

印刷済みの用紙が引き込まれて、つまりました。

対処方法

つまっている場所に応じて、対処してください。

- 排紙口でつまっている場合
  - 1300
- プリンターの内部でつまっている場合
  - プリンターの内部で用紙がつまった
- 上記の方法では取り除けなかった場合
  - つまった用紙を背面から取り除く

重要

- 電源プラグを抜くと、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

プリンターの内部で用紙がつまった

つまった用紙が破れて排紙口や給紙口から取り除けないときや、プリンターの内部で用紙がつまっているときは、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

重要

- ファクスの送受信中やメモリー受信中、未送信のファクスがプリンターのメモリーに保存されている場合は電源を切ることができません。

  ファクスの受信または送信が完了していることを確認してから電源を切ってください。このとき電源プラグを抜かないでください。

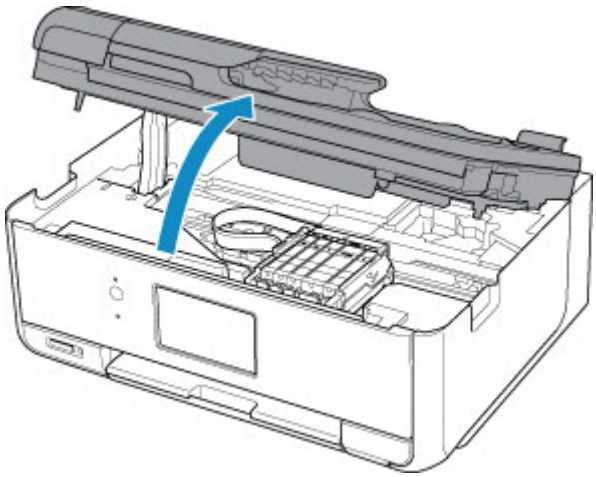
  電源プラグを抜くと、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

参考

- 印刷中につまった用紙を取り除くためプリンターの電源を切る場合は、プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**ストップ**］をタップして印刷を中止してから、電源を切ってください。

1. プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

2. スキャナーユニット/カバーを開く



重要

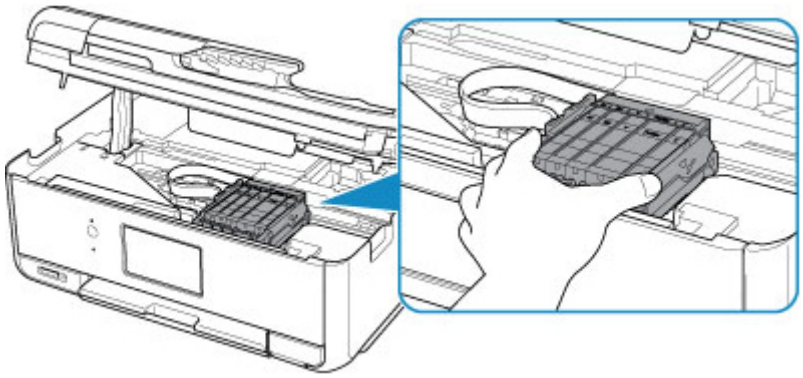
- 白い帯状の部品（A）に触れないでください。

用紙や手が触れて部品が汚れたり傷ついたりすると、故障の原因になります。

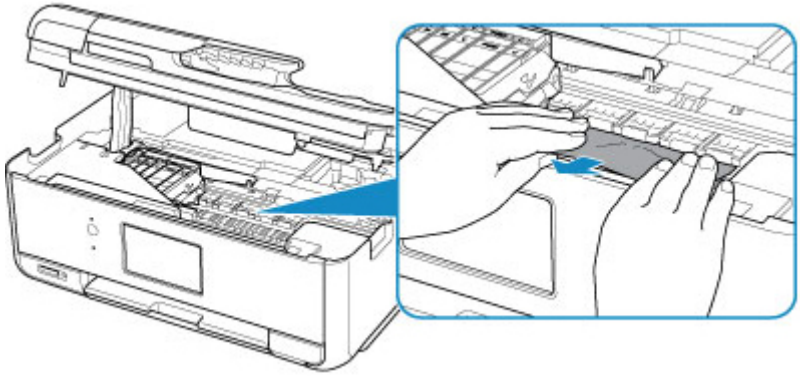
3. プリントヘッドホルダーの下につまった用紙がないか確認する

プリントヘッドホルダーの下につまった用紙があるときは、プリントヘッドホルダーを動かしやすい方向（右端または左端）へ動かして、用紙を取り除きやすくしてください。

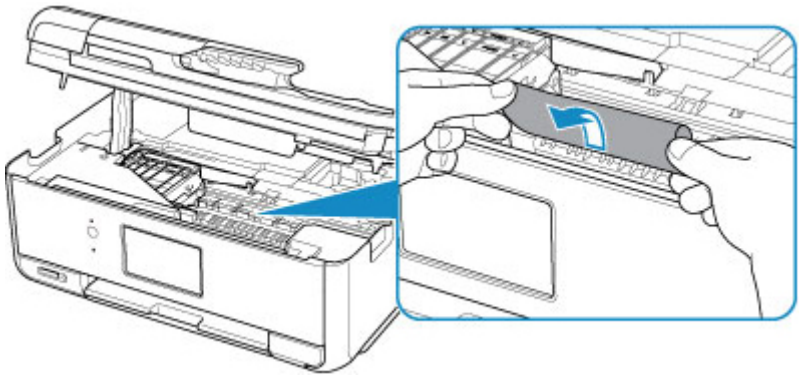
プリントヘッドホルダーを動かすときは、プリントヘッドホルダーの上部をしっかりとつかみ、右端または左端に、ゆっくりとスライドさせてください。



4. つまっている用紙を両手でしっかりとつかむ

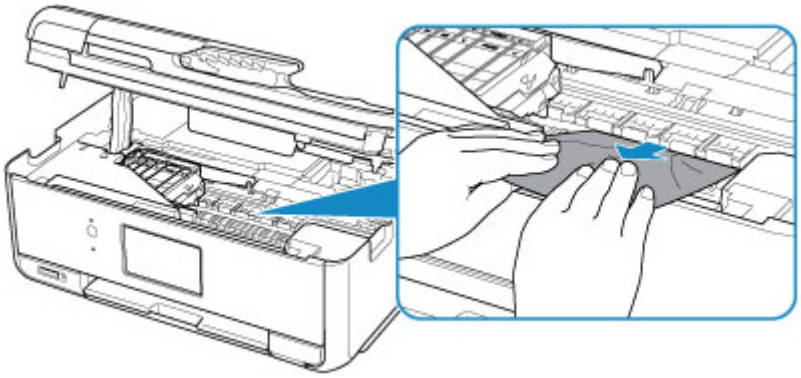


用紙が丸まっている場合は、用紙を引き出してください。



5. 破れないように、ゆっくり用紙を引き抜く

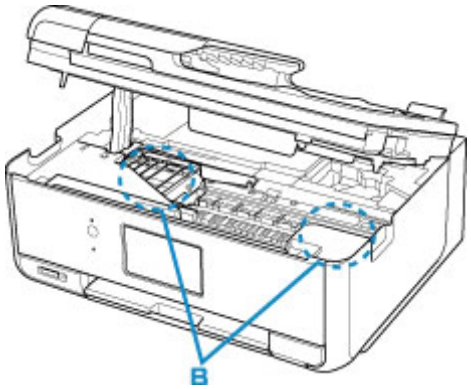
斜め 45 度ぐらいの角度でゆっくりと用紙を引き抜いてください。



6. つまった用紙がすべて取り除かれたことを確認する

引き抜いた用紙が破れている、または欠けている場合は、プリンターの内部に紙片が残っている可能性があります。次のことを確認し、紙片がある場合は取り除いてください。

- プリントヘッドホルダーの下に紙片が残っていないか
- 小さな紙片が残っていないか
- プリンター内部の左側／右側の空間（B）に紙片が残っていないか



7. スキャナーユニット/カバーをゆっくり閉じる

8. 電源プラグをコンセントに差してから、プリンターの電源を入れる

プリンターに送信されていた印刷データは消去されますので、印刷をやり直してください。

参考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。

  つまった用紙をすべて取り除いたあとで印刷を再開したときに、紙づまりに関するメッセージがプリンターのタッチスクリーンやパソコンに表示される場合は、プリンターの内部に紙片が残っている可能性があります。その場合はもう一度プリンターの内部に紙片が残っていないか、確認してください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

つまった用紙を背面から取り除く

重要

- ファクスの送受信中やメモリー受信中、未送信のファクスがプリンターのメモリーに保存されている場合は電源を切ることができません。

  ファクスの受信または送信が完了していることを確認してから電源を切ってください。このとき電源プラグを抜かないでください。

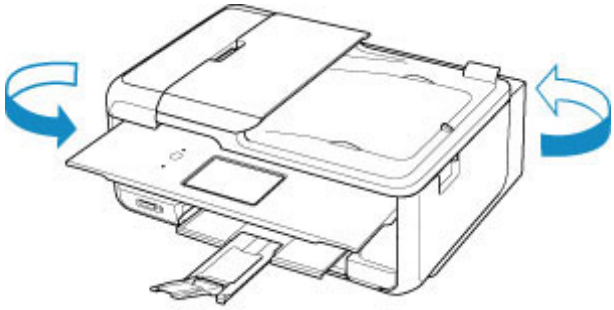
  電源プラグを抜くと、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

参考

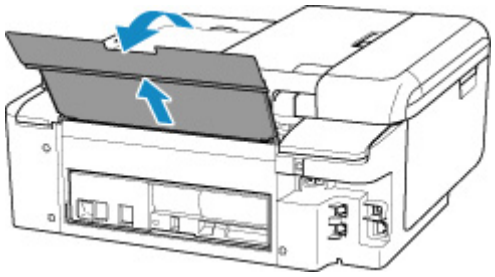
- 印刷中につまった用紙を取り除くためプリンターの電源を切る場合は、プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**ストップ**］をタップして印刷を中止してから、電源を切ってください。

1. プリンターの電源プラグがコンセントから抜いてあることを確認する

2. プリンターの背面が手前にくるように、プリンターを回転させる

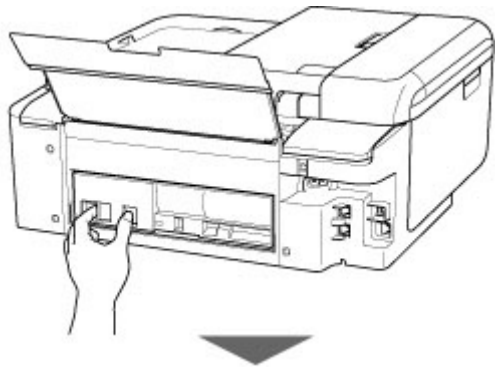


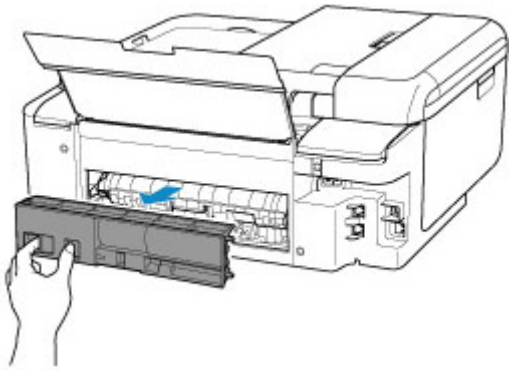
3. 後トレイカバーを開き、用紙サポートを引き上げる



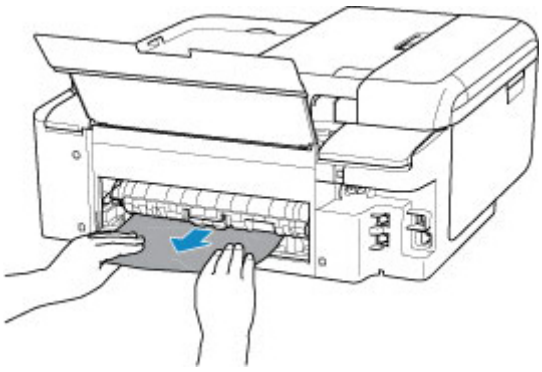
4. 背面カバーを取り外す

   背面カバーを手前に引き出してください。





5. 用紙をゆっくり引っ張る



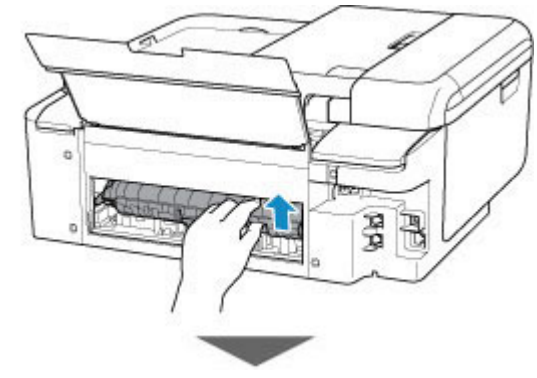
参考

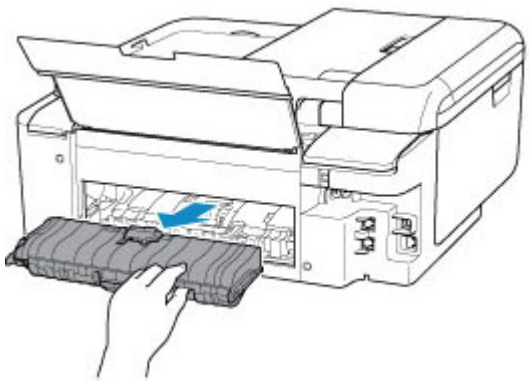
- プリンターの内部の部品には触れないようにしてください。

つまった用紙を取り除けない場合は、以下の手順で搬送ユニットカバーを取り外してつまった用紙を取り除きます。

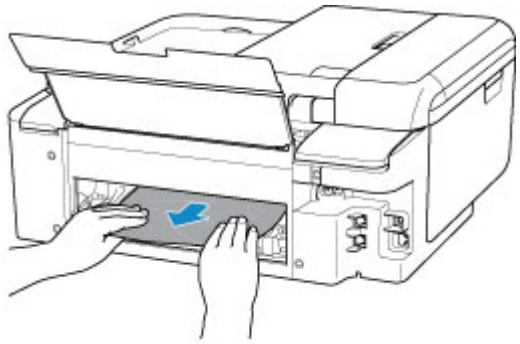
1. 搬送ユニットカバーを取り外す

搬送ユニットカバーはいったん持ち上げてから引き出します。





2. 用紙をゆっくり引っ張る

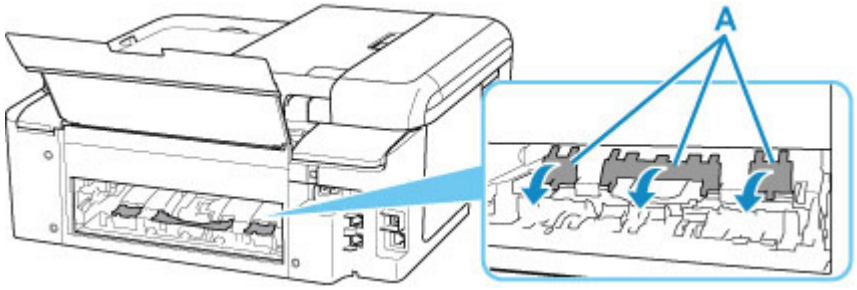


参考

- プリンターの内部の部品には触れないようにしてください。

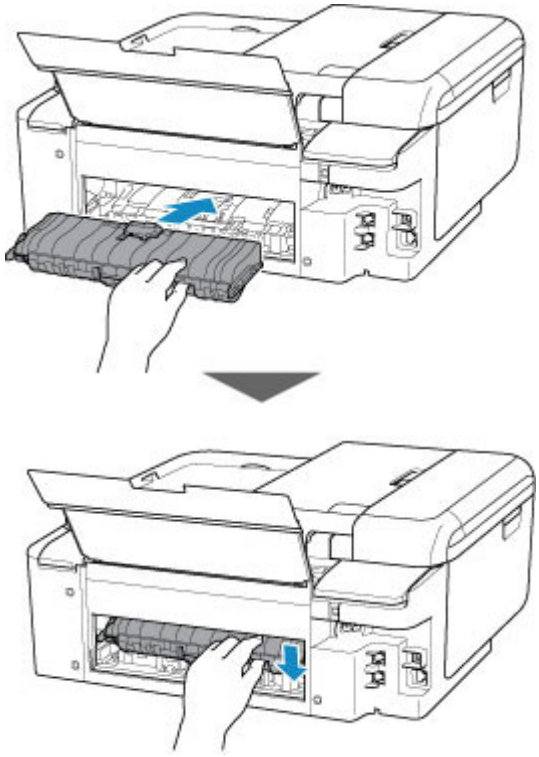
3. つまった用紙をすべて取り除いたか確認する

4. 部品（A）が立ち上がっている場合は、手前に倒す



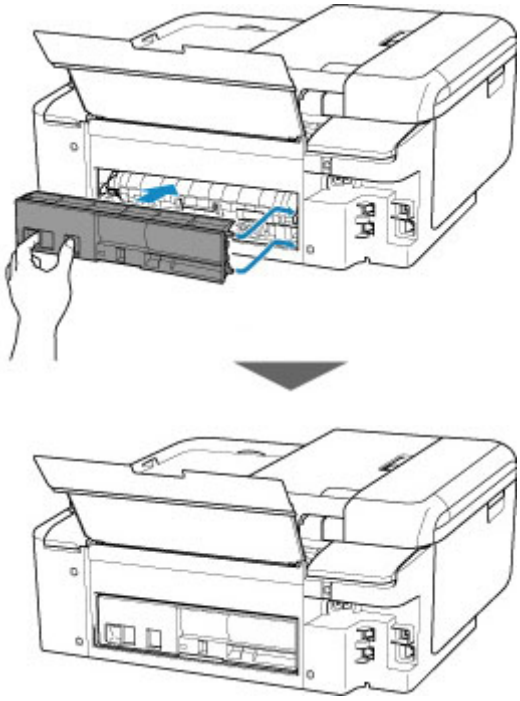
5. 搬送ユニットカバーを取り付ける

搬送ユニットカバーをゆっくりと奥まで差し込んで下ろします。



6. 背面カバーを取り付ける

背面カバーの右側の突起をプリンターの穴に入れ、背面カバーの左側をしっかりと押し込んでください。



7. 電源プラグをコンセントに差してから、プリンターの電源を入れる

プリンターに送信されていた印刷データは消去されますので、印刷をやり直してください。

参考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。
- 印刷を開始する前に、操作パネルを開き、排紙トレイと排紙サポートを引き出し、補助トレイを開いてください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1000

原因

以下の原因が考えられます。

- 後トレイに用紙がない
- 後トレイに用紙が正しくセットされていない

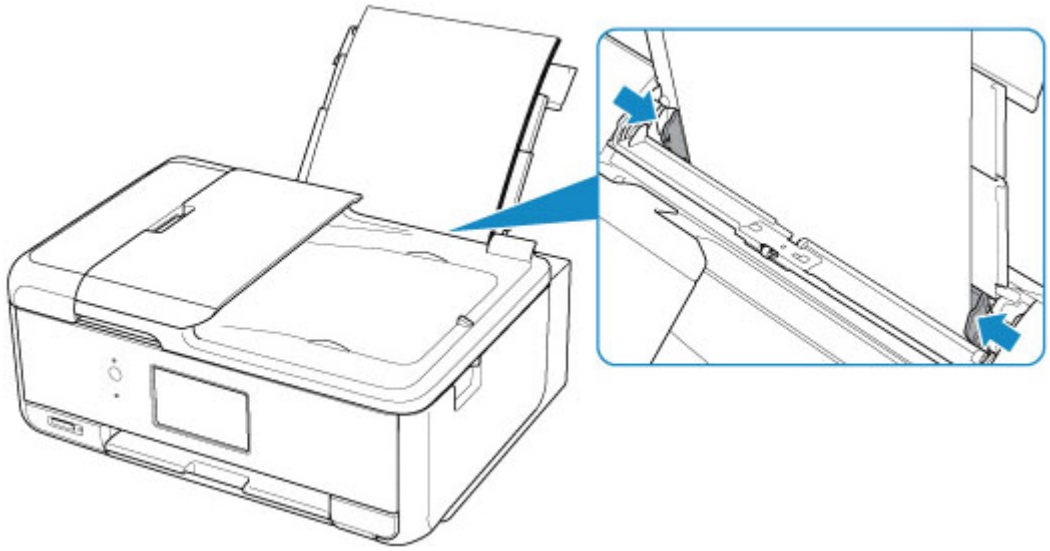
対処方法

以下の対処を行ってみてください。

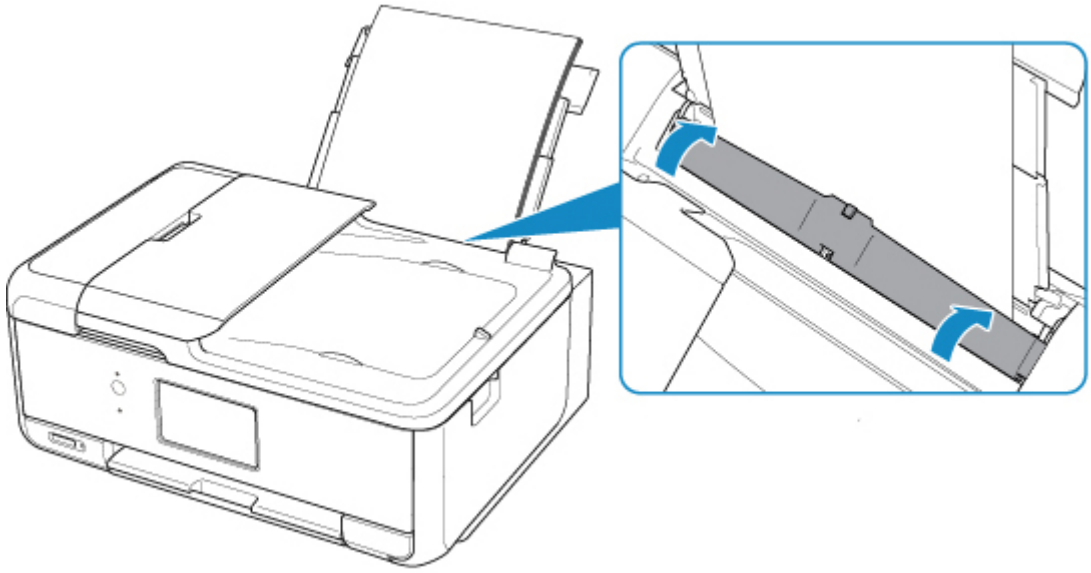
- 後トレイに用紙をセットしてください。

  後トレイに普通紙や写真用紙、はがきをセットする

- 後トレイの用紙ガイドを用紙の端に合わせてください。



- 給紙口カバーを閉じてください。



上記の対処を行ったあと、プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**OK**］を選んでエラーを解除してください。

参考

- 印刷を中止する場合は、プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**ストップ**］をタップしてください。

1003

原因

以下の原因が考えられます。

- カセットに用紙がない
- カセットに用紙が正しくセットされていない

対処方法

以下の対処を行ってみてください。

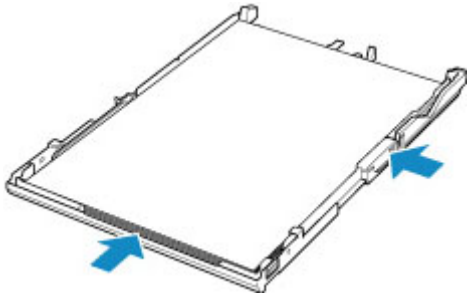
- カセットに用紙をセットしてください。

  カセットに普通紙をセットする

  参考

  - 給紙箇所によって、セットできる用紙は異なります。カセットにセットできる用紙は、A4、レターサイズ、A5、または B5 の普通紙です。

- カセットの用紙ガイドを用紙の端に合わせてください。



上記の対処を行ったあと、プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**OK**］を選んでエラーを解除してください。

参考

- 印刷を中止する場合は、プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**ストップ**］をタップしてください。
- つまった用紙を背面から取り除いたときに、搬送ユニットカバーが正しく取り付けられていない可能性があります。以下のページを参考に確認してください。

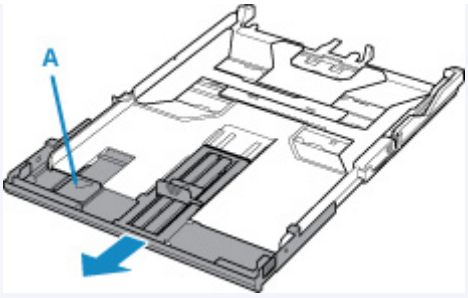
  つまった用紙を背面から取り除く

カセットに用紙がありません（セットアップ時）

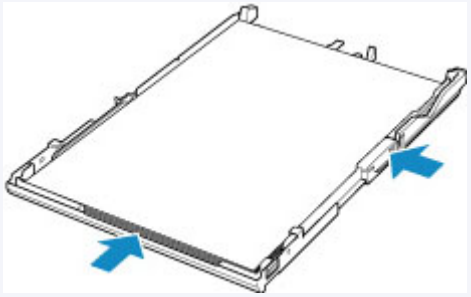
カセットに、A4 またはレターサイズの普通紙を 1 枚以上セットしてください。

参考

- A4 サイズの用紙をセットする場合は、カセットのロック（A）を押しながら手前に伸ばしてください。



- 用紙をセットしたあと、カセットの用紙ガイドを用紙の端に合わせてください。



プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**OK**］を選んでエラーを解除してください。

参考

- プリンターのセットアップ中にヘッド位置調整シートを印刷している場合は、印刷を中止しないでください。

1200

原因

スキャナーユニット/カバーが開いています。

対処方法

スキャナーユニット/カバーを閉じ、しばらくお待ちください。

インクタンクを交換中の場合は、作業を終了してから閉じてください。

1401

原因

プリントヘッドが故障している可能性があります。

対処方法

プリンターの電源をいったん切り、電源を入れ直してください。

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

1600

原因

インクがなくなった可能性があります。

対処方法

インクタンクを交換することをお勧めします。

印刷が終了していない場合は、インクタンクを取り付けたままプリンターの［OK］をタップすると、印刷を続けることができます。印刷が終了したらインクタンクを交換することをお勧めします。

この状態で印刷するとファクスの内容が失われる可能性があるため、インクを交換するまでは、受信したファクスを印刷しないでプリンターのメモリーに保存します。メモリーに保存したファクスは手動で印刷する必要があります。

メモリーに保存しないで、強制的に印刷するようにも設定できますが、インク切れにより、ファクスの内容が部分的に、もしくはすべて印刷されないことがあります。

1660

原因

インクタンクが認識できません。

対処方法

インクタンクが取り付けられていないか、プリンターがサポートできないインクタンクが取り付けられているため、印刷できません。

インクタンクを確認してください。

印刷を中止する場合は、プリンターの［ストップ］をタップしてください。

1688

原因

インクがなくなりました。

対処方法

インクタンクを交換して、スキャナーユニット/カバーを閉じてください。

印刷を続けるには、インク残量検知機能を無効にする必要があります。プリンターの［ストップ］を５秒以上タッチしてから離してください。

この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。

キヤノン純正品以外のインクタンク、またはキヤノン純正品以外のインクを使用したことが原因の故障については、キヤノンは責任を負えません。

参考

- インク残量検知機能を無効にすると、タッチスクリーンのインク残量画面でインクタンクが白色に表示されます。

1689

原因

インクなしを検知しました。

対処方法

インクタンクを交換して、スキャナーユニット/カバーを閉じてください。

一度空になったインクタンクが取り付けられています。

印刷を続けるにはインク残量検知機能を無効にする必要があります。無効にする場合は、プリンターの［ストップ］を 5 秒以上タッチしてから離してください。

この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。

キヤノン純正品以外のインクタンク、またはキヤノン純正品以外のインクを使用したことが原因の故障については、キヤノンは責任を負えません。

参考

- インク残量検知機能を無効にすると、タッチスクリーンのインク残量画面でインクタンクが白色に表示されます。

1700

原因

インク吸収体が満杯に近づいています。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**OK**］を選ぶと、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めにキヤノンホームページから交換のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

参考

- インクの残量に関する警告やエラーが発生している状態では、本製品を使って印刷したりスキャンしたりすることはできません。

輸送用テープなどが残っています（1890）

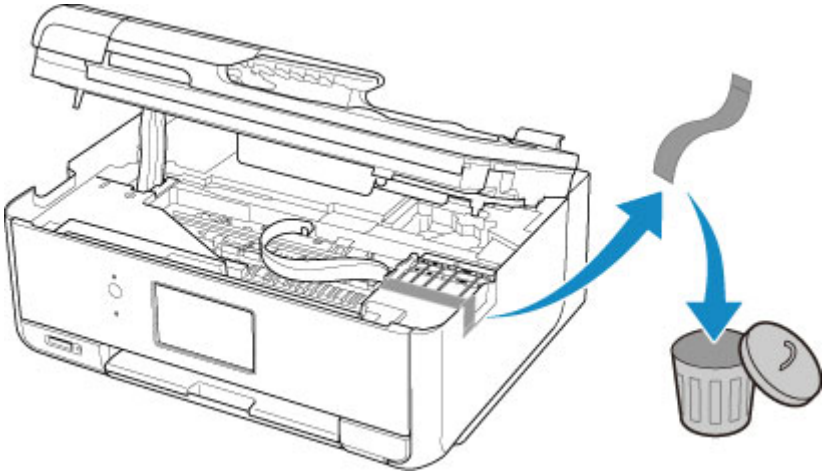
原因

プリントヘッドホルダーを固定している輸送用テープが取り付けられたままになっている可能性があります。

対処方法

スキャナーユニット/カバーを開き、プリントヘッドホルダーを固定している輸送用テープが取り付けられたままになっていないか確認してください。

テープが取り付けられたままになっている場合は、取り除いてから、スキャナーユニット/カバーを閉じてください。



はじめてプリンターをセットアップする場合は、こちらのページから製品名を選択のうえ、参照してください。

2110

原因

印刷／コピーするときに指定した用紙設定が、プリンターに登録したカセットの用紙情報と異なります。

参考

- プリンタードライバーで指定する用紙設定と、プリンターに登録する用紙情報の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Windows）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（Windows）
- コピーするときは、コピーの用紙設定を、プリンターに登録したカセットの用紙情報と一致させてください。
- プリンターに用紙情報を登録する方法については、以下を参照してください。
  - 印刷時の用紙設定

例えば、以下のように、印刷するときに指定した用紙設定と、プリンターに登録したカセットの用紙情報が異なると、プリンターのタッチスクリーンにメッセージが表示されます。

- 印刷するときにプリンタードライバーで指定した用紙設定：

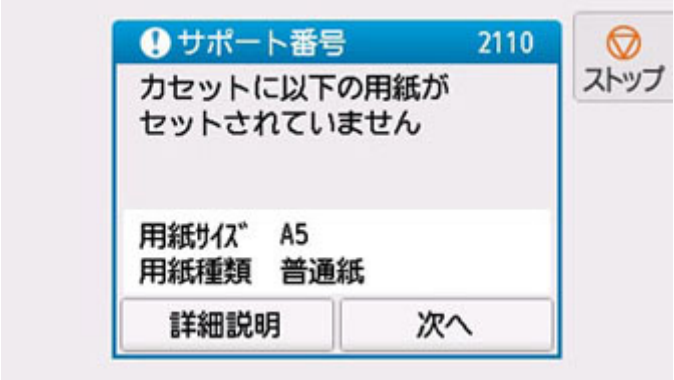
  用紙サイズ：**A5**

  用紙種類：**普通紙**

- プリンターに登録したカセットの用紙情報：

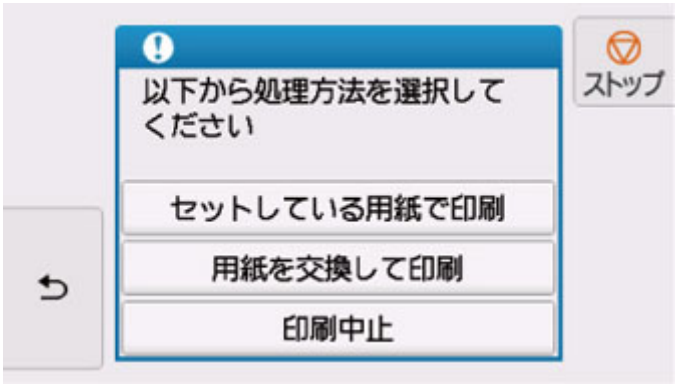
  用紙サイズ：**A4**

  用紙種類：**普通紙**



対処方法

プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**次へ**］を選ぶと、以下の画面が表示されます。



処理方法を選んでください。

参考

- 設定によっては、以下の処理方法が表示されない場合があります。

セットしている用紙で印刷

印刷／コピーするときに指定した用紙設定のままで、印刷／コピーする場合に選びます。

例えば、印刷するときに指定した用紙サイズが A5 で、カセットの用紙情報は A4 と登録していた場合に、この選択肢を選ぶと、カセットにセットされている A4 用紙に A5 設定のままで印刷します。

用紙を交換して印刷

カセットの用紙を交換してから印刷／コピーする場合に選びます。

例えば、印刷するときに指定した用紙サイズが A5 で、カセットの用紙情報は A4 と登録していた場合に、この選択肢を選ぶと、カセットの用紙を A5 に交換した後に印刷を開始します。

用紙を交換しカセットを取り付けると、カセットの用紙情報登録画面が表示されます。セットした用紙の用紙情報を登録してください。

参考

- カセットにセットする用紙の用紙サイズと用紙種類が分からない場合は、（**戻る**）をタップして前の画面に戻り、表示される用紙サイズと用紙種類を確認してください。
- プリンタードライバーで指定する用紙設定と、プリンターに登録する用紙情報の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。

  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Windows）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（Windows）

印刷中止

印刷／コピーを中止します。

印刷／コピーするときに指定した用紙設定を変更する場合に選びます。用紙設定を変更し、印刷／コピーをやり直してください。

参考

- 印刷ミスを防止するためのメッセージが表示されないようにすることもできます。表示されないようにした場合は、印刷／コピーするときに指定した用紙設定とプリンターに登録したカセットの用紙情報が異なっていても、そのまま印刷／コピーが始まります。

  - プリンタードライバーを使用せずに印刷／コピーする場合に、印刷ミスを防止するメッセージの表示／非表示を変更するには：

    - 給紙設定

■■ プリンタードライバーを使用して印刷する場合に、印刷ミスを防止するメッセージの表示／非表示を変更するには：

- ■ プリンターの設定を変更する（Windows）
- ■ プリンターの設定を変更する（macOS）

2113

原因

印刷／コピーするときに指定した用紙設定が、プリンターに登録した後トレイおよびカセットのどちらの用紙情報とも異なります。

参考

- プリンタードライバーで指定する用紙設定と、プリンターに登録する用紙情報の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Windows）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（Windows）
- コピーするときは、コピーの用紙設定を、プリンターに登録した後トレイまたはカセットの用紙情報と一致させてください。
- プリンターに用紙情報を登録する方法については、以下を参照してください。
  - 印刷時の用紙設定

例えば、給紙口を自動で選択する設定にしている場合に、以下のように、印刷するときに指定した用紙設定が、プリンターに登録した後トレイおよびカセットのどちらの用紙情報とも異なると、プリンターのタッチスクリーンにメッセージが表示されます。

- 印刷するときにプリンタードライバーで指定した用紙設定：

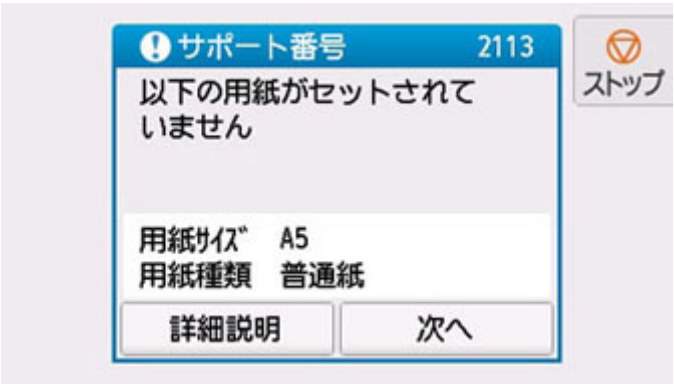
  用紙サイズ：**A5**

  用紙種類：**普通紙**

- プリンターに登録した後トレイおよびカセットの用紙情報：

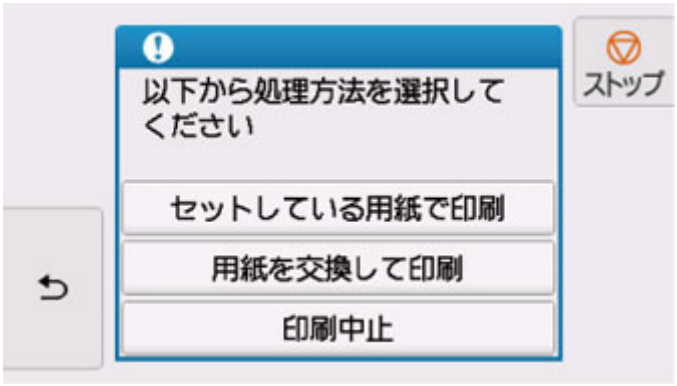
  用紙サイズ：**A4**

  用紙種類：**普通紙**



対処方法

プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**次へ**］を選ぶと、以下の画面が表示されます。



処理方法を選んでください。

参考

- 設定によっては、以下の処理方法が表示されない場合があります。

セットしている用紙で印刷

印刷／コピーするときに指定した用紙設定のままで、印刷／コピーする場合に選びます。

例えば、印刷するときに指定した用紙サイズが A5 で、後トレイおよびカセットの用紙情報は A4 と登録していた場合に、この選択肢を選ぶと、後トレイまたはカセットにセットされている A4 用紙に A5 設定のままで印刷します。

用紙を交換して印刷

後トレイまたはカセットの用紙を交換してから印刷／コピーする場合に選びます。

例えば、印刷するときに指定した用紙サイズが A5 で、後トレイおよびカセットの用紙情報は A4 と登録していた場合に、この選択肢を選ぶと、後トレイまたはカセットの用紙を A5 に交換した後に印刷を開始します。

用紙を交換すると、用紙情報登録画面が表示されます。セットした用紙の用紙情報を登録してください。

参考

- 後トレイまたはカセットにセットする用紙の用紙サイズと用紙種類が分からない場合は、（**戻る**）をタップして前の画面に戻り、表示される用紙サイズと用紙種類を確認してください。
- プリンタードライバーで指定する用紙設定と、プリンターに登録する用紙情報の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Windows）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（Windows）

印刷中止

印刷／コピーを中止します。

印刷／コピーするときに指定した用紙設定を変更する場合に選びます。用紙設定を変更し、印刷／コピーをやり直してください。

参考

- 印刷ミスを防止するためのメッセージが表示されないようにすることもできます。表示されないようにした場合は、印刷／コピーするときに指定した用紙設定とプリンターに登録した後トレイまたはカセットの用紙情報が異なっていても、そのまま印刷／コピーが始まります。
  - プリンタードライバーを使用せずに印刷／コピーする場合に、印刷ミスを防止するメッセージの表示／非表示を変更するには：

■ 給紙設定

■■ プリンタードライバーを使用して印刷する場合に、印刷ミスを防止するメッセージの表示／非表示を変更するには：

■ プリンターの設定を変更する（Windows）
■ プリンターの設定を変更する（macOS）

2114

原因

印刷／コピーするときに指定した用紙設定が、プリンターに登録した後トレイの用紙情報と異なります。

参考

- プリンタードライバーで指定する用紙設定と、プリンターに登録する用紙情報の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Windows）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（Windows）
- コピーするときは、コピーの用紙設定を、プリンターに登録した後トレイの用紙情報と一致させてください。
- プリンターに用紙情報を登録する方法については、以下を参照してください。
  - 印刷時の用紙設定

例えば、以下のように、印刷するときに指定した用紙設定と、プリンターに登録した後トレイの用紙情報が異なると、プリンターのタッチスクリーンにメッセージが表示されます。

- 印刷するときにプリンタードライバーで指定した用紙設定：

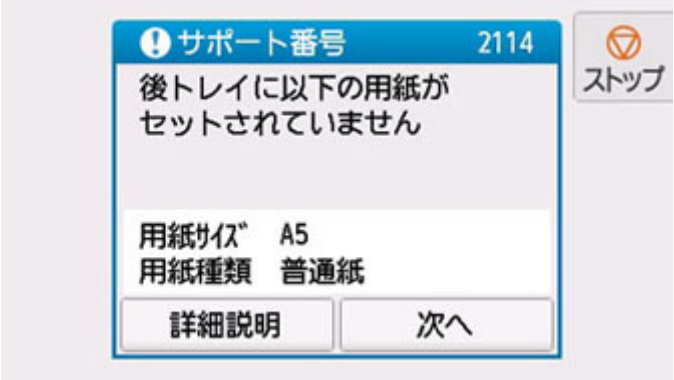
  用紙サイズ：**A5**

  用紙種類：**普通紙**

- プリンターに登録した後トレイの用紙情報：

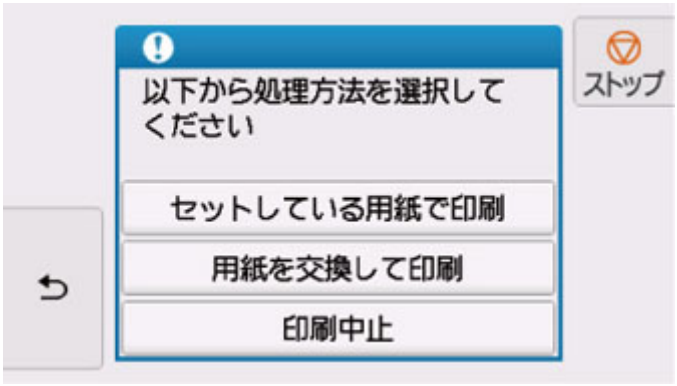
  用紙サイズ：**A4**

  用紙種類：**普通紙**



対処方法

プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**次へ**］を選ぶと、以下の画面が表示されます。



処理方法を選んでください。

参考

- 設定によっては、以下の処理方法が表示されない場合があります。

セットしている用紙で印刷

印刷／コピーするときに指定した用紙設定のままで、印刷／コピーする場合に選びます。

例えば、印刷するときに指定した用紙サイズが A5 で、後トレイの用紙情報は A4 と登録していた場合に、この選択肢を選ぶと、後トレイにセットされている A4 用紙に A5 設定のままで印刷します。

用紙を交換して印刷

後トレイの用紙を交換してから印刷／コピーする場合に選びます。

例えば、印刷するときに指定した用紙サイズが A5 で、後トレイの用紙情報は A4 と登録していた場合に、この選択肢を選ぶと、後トレイの用紙を A5 に交換した後に印刷を開始します。

用紙を交換し給紙口カバーを閉じると、後トレイの用紙情報登録画面が表示されます。セットした用紙の用紙情報を登録してください。

参考

- 後トレイにセットする用紙の用紙サイズと用紙種類が分からない場合は、（**戻る**）をタップして前の画面に戻り、表示される用紙サイズと用紙種類を確認してください。
- プリンタードライバーで指定する用紙設定と、プリンターに登録する用紙情報の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。

  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Windows）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（Windows）

印刷中止

印刷／コピーを中止します。

印刷／コピーするときに指定した用紙設定を変更する場合に選びます。用紙設定を変更し、印刷／コピーをやり直してください。

参考

- 印刷ミスを防止するためのメッセージが表示されないようにすることもできます。表示されないようにした場合は、印刷／コピーするときに指定した用紙設定とプリンターに登録した後トレイの用紙情報が異なっていても、そのまま印刷／コピーが始まります。

  - プリンタードライバーを使用せずに印刷／コピーする場合に、印刷ミスを防止するメッセージの表示／非表示を変更するには：

    - 給紙設定

■■ プリンタードライバーを使用して印刷する場合に、印刷ミスを防止するメッセージの表示／非表示を変更するには：

■ プリンターの設定を変更する（Windows）
■ プリンターの設定を変更する（macOS）

2900

原因

プリントヘッド位置調整シートの読み込みに失敗しました。

対処方法

プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**OK**］を選んでエラーを解除したあと、以下の対処を行ってみてください。

- 原稿台にプリントヘッド位置調整シートを置く向きと位置を確認してください。
- 原稿台やプリントヘッド位置調整シートが汚れていないか確認してください。
- カセットに、A4 またはレターサイズの普通紙をセットしてください。
- ノズルチェックパターンを印刷して、ノズルが目づまりしていないか確認してください。

上記の対処を行ったあと、自動プリントヘッド位置調整をやり直してください。

それでもエラーが解決しない場合は、プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**OK**］を選んでエラーを解除したあと、手動でプリントヘッド位置調整を行ってください。

2901

原因

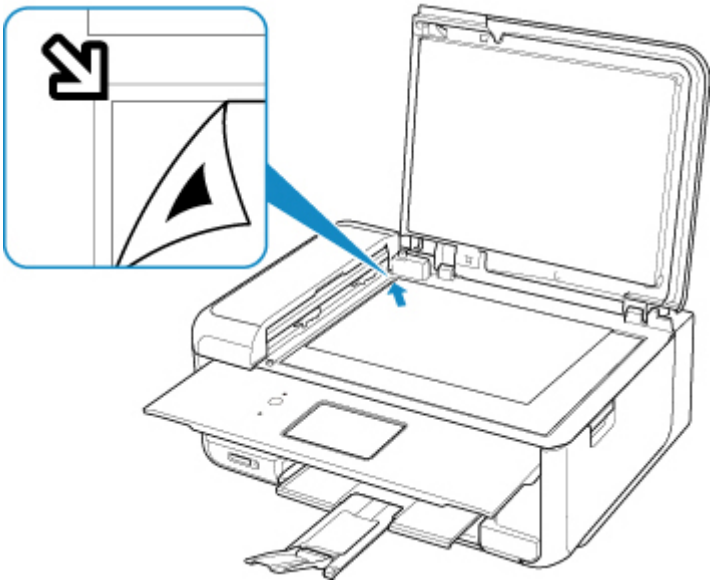
プリントヘッド位置調整シートの印刷が完了して、シートの読み取り待ちの状態になっています。

対処方法

印刷された調整用のパターンを読み取ります。

1. プリントヘッド位置調整シートを原稿台にセットする

   ヘッド位置調整パターンが印刷された面を下にして、シートの左上隅の ◤ マークを原稿位置合わせマーク（ ）に合わせます。



2. 原稿台カバーをゆっくり閉じ、プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**OK**］を選ぶ

   プリントヘッド位置調整シートの読み取りが開始され、自動的にプリントヘッド位置が調整されます。

4103

原因

現在の印刷設定では印刷ができません。

対処方法

プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**ストップ**］をタップして、いったん印刷を中止してください。

印刷するときに指定する印刷設定を変更し、印刷をやり直してください。

5011

原因

プリントラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

プリンターの電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

5012

原因

プリントラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

プリンターの電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

5100

原因

プリントトラブルが発生しました。

対処方法

印刷中の場合は、プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**ストップ**］をタップして印刷を中止したあと、プリンターの電源を切ってください。

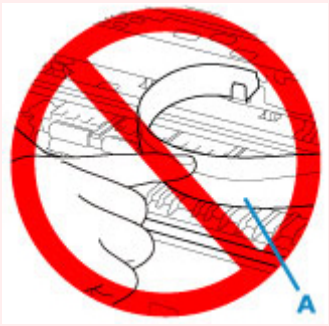
続いて、以下のことを確認してください。

- プリントヘッドホルダーを固定している輸送用テープやつまった用紙など、プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものがないか

  プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものがあれば、取り除いてください。

  重要

  - プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものを取り除くときは、白い帯状の部品（A）に触れないよう、十分注意してください。

    用紙や手が触れて部品が汚れたり傷ついたりすると、故障の原因になります。

- インクタンクが正しくセットされているか

  インクタンクは「カチッ」という音がするまでしっかり押してください。

最後に、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

5200

原因

プリントラブルが発生しました。

対処方法

プリンターの電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

しばらく時間をおいてから、プリンターの電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

5B00

原因

インク吸収体が満杯になりました。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、交換が必要です。お早めにキヤノンホームページから交換のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

参考

- インクの残量に関する警告やエラーが発生している状態では、本製品を使って印刷したりスキャンしたりすることはできません。

6000

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

用紙がつまっている場合は、つまった場所や原因に応じて用紙を取り除いてください。

■ 用紙がつまったときの対処方法

プリンターの電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

プリンターの電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

C000

原因

プリントトラブルが発生しました。

対処方法

印刷中の場合は、プリンターのタッチスクリーンに表示されている［**ストップ**］をタップして印刷を中止したあと、プリンターの電源を切ってください。

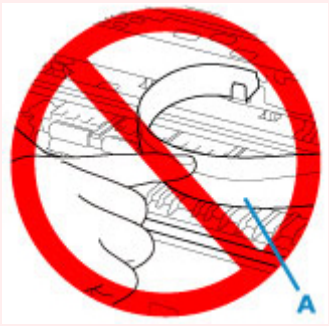
続いて、以下のことを確認してください。

- プリントヘッドホルダーを固定している輸送用テープやつまった用紙など、プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものがないか

  プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものがあれば、取り除いてください。

  重要

  - プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものを取り除くときは、白い帯状の部品（A）に触れないよう、十分注意してください。

    用紙や手が触れて部品が汚れたり傷ついたりすると、故障の原因になります。

- インクタンクが正しくセットされているか

  インクタンクは「カチッ」という音がするまでしっかり押してください。

最後に、プリンターの電源を入れ直してください。

それでも回復しない場合は、キヤノンホームページから修理のお申し込み、もしくはパーソナル機器修理受付センターに修理をご依頼ください。

詳しくは、『設置・基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、プリンターのメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。